

国際保健・国際看護学特論Ⅰ

更新日：2025/01/24 15:21:53

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	810110	授業コード	
担当教員	小川 里美, 緒方 文子, 森山 ますみ						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 国際保健・国際看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

災害・国際協力、ヘルスプロモーションの分野における個人・集団の健康を多角的・構造的に捉えるために必要となる基本的な概念、諸理論、方法論を探究する。

到達目標

1	国際保健の基本的概念や動向を理解できる
2	ヘルスプロモーションにおいて活用できる概念、理論、方法・手法を理解できる
3	健康の危機的状況を分析的にとらえる概念や理論を理解する
4	個や集団の健康問題にアプローチする方法・手法について学び、その有効性と限界を理解できる

DPとの関連

DP1 ◎

授業計画

1	プライマリ・ヘルス・ケアの理念と概念 【授業内容】アルマ・アタ宣言の分析 【授業方法】講義 【担当】小川、森山
2	ヘルスプロモーションの理念と概念 【授業内容】オタワ憲章の分析 【授業方法】講義 【担当】小川、森山
3	社会保障とヘルスケアシステムの概要 【授業内容】社会保障とヘルスケアの歴史的発展と検証 【授業方法】講義 【担当】小川、森山
4	社会保障の理論と方法① 【授業内容】「保健医療福祉行政・財政の理念としくみ」について、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義、発表、討議 【担当】小川、緒方
5	社会保障の理論と方法② 【授業内容】「社会保障制度と政策」について、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義、発表、討議 【担当】小川、緒方
6	社会保障の理論と方法③ 【授業内容】「保健医療福祉の計画と評価」について、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義、発表、討議 【担当】小川、緒方
7	ヘルスプロモーションの理論・方法① 【授業内容】ヘルスプロモーションで活用できる理論と方法について 【授業方法】講義 【担当】緒方
8	ヘルスプロモーションの理論・方法② 【授業内容】「地域特性のアセスメント」について、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義、発表、討議 【担当】緒方
9	ヘルスプロモーションの理論・方法③ 【授業内容】「健康課題のアセスメント」について、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義、発表、討議 【担当】緒方
10	ヘルスプロモーションの理論・方法④ 【授業内容】「地区活動のためのアセスメント」について、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義、発表、討議 【担当】緒方

11	人間の安全保障の概念と背景 【授業内容】人間の安全保障の概念について 【授業方法】講義 【担当】小川、森山
12	人間の安全保障と健康格差 【授業内容】人間の安全保障と指標、健康格差について 【授業方法】講義 【担当】小川、森山
13	人間の安全保障と国際社会の取り組み 【授業内容】人間の安全保障の現状と国際機関の取り組みについて 【授業方法】講義 【担当】小川、森山
14	人間の安全保障における国際連携の成果と課題① 【授業内容】「人間の安全保障が脅かされている事例と国際機関の連携の現状について」大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義、発表、討議 【担当】小川、森山
15	人間の安全保障における国際連携の成果と課題② 【授業内容】「人間の安全保障が脅かされている事例と国際機関の連携における現状から見えてきた課題について」大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義、発表、討議 【担当】小川、森山

学習方法

授業は、教員による講義および院生によるプレゼンテーションとディスカッションで進めます。プレゼンテーション資料は、前週までに提示してください。各院生は事前学習を行い、授業に参加してください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。

s-ogawa@jrckicn.ac.jp（小川） a-ogata@jrckicn.ac.jp（緒方） m-moriyama@jrckicn.ac.jp（森山）

テキスト

特に指定しない

参考文献

- ・ Pender, Nola: Health Promotion in nursing practice (3rd ed) . 1996, 小西恵美子監訳：ペンダーヘルスプロモーション看護論．東京，日本看護協会出版会，1997．
- ・ Lynne E.Young, Virginia Hayes: Transforming Health Promotion Practice: Concepts, Issues and Applications. 2002, 高野順子，北山秋雄 監訳：ヘルスプロモーション実践の変革 新たな看護実践に挑む．東京，日本看護協会出版会，2008．
- ・ Green, L. W. Kreuter, M: Health Program Planning: An Educational and Ecological Approach 4th ed.. 2005, 神馬征峰訳：実践ヘルスプロモーション—PRECEDE-PROCEED モデルによる企画と評価．東京，医学書院，2005．
- ・ Anderson, E.T. McFarlane J.: Community as Partner Theory and Practice in Nursing 4th ed.. 2014, エリザベス T. アンダーソン・ジュディス・マクファーレン編集，金川克子・早川和生監訳：コミュニティ アズ パートナー地域看護学の理論と実際（第2 版）．東京，医学書院， 2007．
- ・ Leaning, J. et al.: Humanitarian CrisesThe medical and public health response. Cambridge, Harvard University Press, 1999.
- ・ 日本国際保健医療学会編：国際保健医療学第3 版．東京，杏林書院，2013．
- ・ World Health Organisation. "The Ottawa Charter for Health Promotion." <http://www.who.int/healthpromotion/conferences/previous/ottawa/en/> (accessd 2017-11-14) ．
- ・ <https://iris.who.int/bitstream/handle/10665/260172/WHO-NMH-PND-18.2-eng.pdf?sequence=1> (accessd2024-2-3)
- ・ 島内憲夫，鈴木美奈子：21 世紀の健康戦略シリーズ 6 ヘルスプロモーション WHO バンコク憲章．東京，垣内出版，2012．
- ・ 棕野美智子，田中耕太郎：はじめての社会保障 福祉を学ぶ人へ 第 13 版．東京，有斐閣， 2016．
- ・ 鎮目真人：比較福祉国家 理論・計量・各国事例．京都，ミネルヴァ書房，2013．
- ・ 佐伯和子編：地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド 第2版 地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案．東京，医歯薬出版，2020．
- ・ 山浦晴男：地域再生入門：寄りあいワークショップの力．東京，筑摩書房，2015．

評価方法

授業への参加度（10％） プレゼンテーション（40％） レポート（50％）

国際保健・国際看護学特論Ⅱ

更新日：2025/04/24 17:25:32

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	810210	授業コード	
担当教員	小川 里美, 森山 ますみ						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：国際看護・災害看護						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 国際保健・国際看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

災害・国際協力、ヘルスプロモーションの各分野において、主要な概念、諸理論、方法論について探究し、各分野における専門性発展のための方法を検討する。

到達目標

1	コミュニティ・アセスメントの概念、理論、方法・手法を用いて、保健看護活動の計画、実施、評価を行うことができる。
2	健康の危機的状況を分析的にとらえる概念や理論を活用して、介入の課題を考察できる。

DPとの関連

DP2 ◎

授業計画

1	コミュニティ・アセスメントの概念 【授業内容】コミュニティ・アセスメントの発展過程 【授業方法】講義 【担当】小川、森山
2	コミュニティ・アセスメントの実際① 【授業内容】コミュニティ・アセスメントの場面と展開について 【授業方法】講義 【担当】小川、森山
3	コミュニティ・アセスメントの実際② 【授業内容】地域特性・健康課題のアセスメントについて 【授業方法】講義 【担当】小川、森山
4	コミュニティ・アセスメントの実際③ 【授業内容】「データ収集と分析：量的データ」について、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義、発表 【担当】小川、森山
5	コミュニティ・アセスメントの実際④ 【授業内容】「データ収集と分析：質的データ」について、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義、発表 【担当】小川、森山
6	コミュニティ・アセスメントの実際⑤ 【授業内容】「データ収集と分析：収集したデータの総合的判断」について、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義、発表 【担当】小川、森山
7	自然災害時の健康と看護①（急性期・慢性期） 【授業内容】災害急性期・慢性期の特徴、健康問題と看護 【授業方法】講義 【担当】小川
8	自然災害時の健康と看護② 【授業内容】災害復興期、静穏期・準備期の特徴と看護 【授業方法】講義 【担当】小川
9	人為的災害時の健康と看護①（紛争下にある人々の健康） 【授業内容】武力紛争時の健康課題と看護について 【授業方法】講義 【担当】小川
10	人為的災害時の健康と看護②（難民・避難民の健康） 【授業内容】難民・避難民の健康課題と看護について 【授業方法】講義 【担当】小川

11	開発協力①保健人材開発の戦略と課題 【授業内容】 開発協力の編成と人材開発について 【授業方法】 講義 【担当】 小川、森山
12	開発協力②開発途上国における保健人材育成の取り組みの実際 【授業内容】 保健人材育成の実際について 【授業方法】 講義 【担当】 小川、森山
13	災害・国際協力、ヘルスプロモーションに関する最近の国内外の文献（事例を含む）を大学生が選択し、抄読・クリティークを行う（1） 【授業内容】 「ヘルスプロモーションに関する文献クリティーク」 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 講義、発表、討議 【担当】 小川、森山
14	災害・国際協力、ヘルスプロモーションに関する最近の国内外の文献（事例を含む）を大学生が選択し、抄読・クリティークを行う（2） 【授業内容】 「災害に関する国内外の文献クリティーク」 大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】 講義、発表、討議 【担当】 小川、森山
15	災害・国際協力、ヘルスプロモーションに関する最近の国内外の文献（事例を含む）を大学生が選択し、抄読・クリティークを行う（3）、フィードバック 【授業内容】 「国際協力の動向と課題に関する文献クリティーク」 大学院生によるプレゼンテーション、フィードバック 【授業方法】 講義、発表、討議 【担当】 小川、森山

学習方法

授業は、教員による講義および院生によるプレゼンテーションとディスカッションにて進めます。プレゼンテーション資料は、前週までに提示してください。各院生は事前学習を行い、授業に参加してください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。
s-ogawa@jrckicn.ac.jp（小川）、a-ogata@jrckicn.ac.jp（緒方）

テキスト

特に指定しない

参考文献

国際保健特論Ⅰに準ずる。他、適宜紹介する。

評価方法

授業への参加度（10%） プレゼンテーション（40%） レポート（50%）

国際保健・国際看護学特論Ⅱ

更新日：2025/03/24 15:31:23

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	810210	授業コード	
担当教員	緒方 文子, 松尾 和枝						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：ヘルスプロモーション						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 国際保健・国際看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	-/-	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

災害・国際協力、ヘルスプロモーションの各分野において、主要な概念、諸理論、方法論について探究し、各分野における専門性発展のための方法を検討する。

到達目標

1	コミュニティ・アセスメントの概念、理論、方法・手法を用いて、保健看護活動の計画、実施、評価を行うことができる。
2	健康の危機的状況を分析的にとらえる概念や理論を活用して、介入の課題を考察できる。

DPとの関連

DP2 ◎

授業計画

1	コミュニティ・アセスメントの概念 【授業内容】コミュニティ・アセスメントの発展過程 【授業方法】講義 【担当】緒方、松尾
2	コミュニティ・アセスメントの実際① 【授業内容】コミュニティ・アセスメントの場面と展開について 【授業方法】講義 【担当】緒方、松尾
3	コミュニティ・アセスメントの実際② 【授業内容】地域特性・健康課題のアセスメントについて 【授業方法】講義 【担当】緒方、松尾
4	コミュニティ・アセスメントの実際③ 【授業内容】「データ収集と分析：量的データ」について、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義、発表 【担当】緒方、松尾
5	コミュニティ・アセスメントの実際④ 【授業内容】「データ収集と分析：質的データ」について、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義、発表 【担当】緒方、松尾
6	コミュニティ・アセスメントの実際⑤ 【授業内容】「データ収集と分析：収集したデータの総合的判断」について、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義、発表 【担当】緒方、松尾
7	自然災害時の健康と看護①（急性期・慢性期） 【授業内容】災害急性期・慢性期の特徴、健康問題と看護 【授業方法】講義 【担当】緒方、松尾
8	自然災害時の健康と看護② 【授業内容】災害復興期、静穏期・準備期の特徴と看護 【授業方法】講義 【担当】緒方、松尾
9	人為的災害時の健康と看護①（紛争下にある人々の健康） 【授業内容】武力紛争時の健康課題と看護について 【授業方法】講義 【担当】緒方、松尾
10	人為的災害時の健康と看護②（難民・避難民の健康） 【授業内容】難民・避難民の健康課題と看護について 【授業方法】講義 【担当】緒方、松尾

11	開発協力①保健人材開発の戦略と課題 【授業内容】開発協力の編成と人材開発について 【授業方法】講義 【担当】緒方、松尾
12	開発協力②開発途上国における保健人材育成の取り組みの実際 【授業内容】保健人材育成の実際について 【授業方法】講義 【担当】緒方、松尾
13	災害・国際協力、ヘルスプロモーションに関する最近の動向（１） 【授業内容】「ヘルスプロモーションに関する文献クリティーク」大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義、発表、討議 【担当】緒方、松尾
14	災害・国際協力、ヘルスプロモーションに関する最近の動向（２） 【授業内容】「災害に関する国内外の文献クリティーク」大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】講義、発表、討議 【担当】緒方、松尾
15	災害・国際協力、ヘルスプロモーションに関する最近の動向（３）、フィードバック 【授業内容】「国際協力の動向と課題に関する文献クリティーク」大学院生によるプレゼンテーション、フィードバック【授業方法】講義、発表、討議 【担当】緒方、松尾

学習方法

授業は、教員による講義および院生によるプレゼンテーションとディスカッションにて進めます。プレゼンテーション資料は、前週までに提示してください。各院生は事前学習を行い、授業に参加してください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。
a-ogata@jrckicn.ac.jp（緒方）、k-matsuo@jrckicn.ac.jp（松尾）

テキスト

特に指定しない

参考文献

国際保健特論Ⅰに準ずる。他、適宜紹介する。

評価方法

授業への参加度（10％） プレゼンテーション（40％） レポート（50％）

演習（国際保健・国際看護学）

更新日：2025/03/21 16:42:41

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	810310	授業コード	
担当教員	小川 里美, 森山 ますみ						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：国際看護・災害看護						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 国際保健・国際看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について説明できる
2	文献レビュー、論文クリティークを通して、研究の方向性を説明できる
3	研究計画書の構成および作成方法を説明できる

DPとの関連

DP3 ◎

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機についての討議 【授業内容】研究テーマについて 【授業方法】演習 【担当】小川、森山
2	英文献の検索方法 【授業内容】データベースと文献管理ツールについて 【授業方法】演習 【担当】図書館（多川、白倉）
3	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】研究テーマに関連する文献検索について 【授業方法】演習 【担当】小川、森山
4	文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業内容】学生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習、プレゼンテーション 【担当】小川、森山
5	文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業内容】学生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習、プレゼンテーション 【担当】小川、森山
6	文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業内容】学生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習、プレゼンテーション 【担当】小川、森山
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（5） 【授業内容】研究テーマ、方法に関連のある文献クリティーク、学生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習、プレゼンテーション 【担当】小川、森山
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（6） 【授業内容】研究テーマ、方法に関連のある文献クリティーク、学生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習、プレゼンテーション 【担当】小川、森山
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（7） 【授業内容】研究テーマ、方法に関連のある文献クリティーク、学生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習、プレゼンテーション 【担当】小川、森山
10	文献レビューおよびクリティーク・討議（8） 【授業内容】研究テーマ、方法に関連のある文献クリティーク、学生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習、プレゼンテーション 【担当】小川、森山

11	文献レビューおよびクリティーク・討議 (9) 【授業内容】研究テーマ、方法に関連のある文献クリティーク、学生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習、プレゼンテーション 【担当】小川、森山
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討(1) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討(2) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討(3) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討(4) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
17	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (1) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
18	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (2) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
19	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (3) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
20	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (4) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
21	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (5) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (1) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (2) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (3) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
25	研究計画の中間報告 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
26	研究計画に関する修正・検討 (1) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
27	研究計画に関する修正・検討 (2) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山

28	研究計画に関する修正・検討（3） 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
29	研究計画に関する修正・検討（4） 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山
30	研究計画に関する修正・検討（5）、フィードバック 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議、フィードバック 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】小川、森山

学習方法

ゼミナール形式で行います。各自が研究テーマを確定し、研究の方向性を導き出せるように事前に充分な準備を行った上で進めてください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。
s-ogawa@jrckicn.ac.jp（小川） m-moriyama（森山）

テキスト

特に指定しない

参考文献

適宜、紹介する

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション（50％） 研究計画書（50％）

演習（国際保健・国際看護学）

更新日：2025/03/24 15:34:49

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	810310	授業コード	
担当教員	緒方 文子, 松尾 和枝						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：ヘルスプロモーション						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 国際保健・国際看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について説明できる
2	文献レビュー、論文クリティークを通して、研究の方向性を説明できる
3	研究計画書の構成および作成方法を説明できる

DPとの関連

- DP2 ○
DP3 ◎
DP4 ○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】研究テーマについて 【授業方法】演習 【担当】緒方、松尾
2	英文文献の検索方法 【授業内容】データベースと文献管理ツールについて 【授業方法】演習 【担当】図書館（多川、白倉）
3	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】研究テーマに関連する文献検索について 【授業方法】演習 【担当】緒方、松尾
4	文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業内容】学生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習、プレゼンテーション 【担当】緒方、松尾
5	文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業内容】学生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習、プレゼンテーション 【担当】緒方、松尾
6	文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業内容】学生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習、プレゼンテーション 【担当】緒方、松尾
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（5） 【授業内容】研究テーマ、方法に関連のある文献クリティーク、学生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習、プレゼンテーション 【担当】緒方、松尾
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（6） 【授業内容】研究テーマ、方法に関連のある文献クリティーク、学生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習、プレゼンテーション 【担当】緒方、松尾
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（7） 【授業内容】研究テーマ、方法に関連のある文献クリティーク、学生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習、プレゼンテーション 【担当】緒方、松尾

10	文献レビューおよびクリティーク・討議 (8) 【授業内容】研究テーマ、方法に関連のある文献クリティーク、学生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習、プレゼンテーション 【担当】緒方、松尾
11	文献レビューおよびクリティーク・討議 (9) 【授業内容】研究テーマ、方法に関連のある文献クリティーク、学生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習、プレゼンテーション 【担当】緒方、松尾
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (1) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】緒方、松尾
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (2) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】緒方、松尾
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (3) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】緒方、松尾
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (4) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】緒方、松尾
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】緒方、松尾
17	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (1) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】緒方、松尾
18	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (2) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】緒方、松尾
19	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (3) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】緒方、松尾
20	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (4) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】緒方、小川
21	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (5) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】緒方、小川
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (1) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】緒方、松尾
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (2) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】緒方、小川
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (3) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】緒方、松尾
25	研究計画の中間報告 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】緒方、松尾
26	研究計画に関する修正・検討 (1) 【授業内容】学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】演習、プレゼンテーション、討議 【担当】緒方、松尾

27	研究計画に関する修正・検討 (2) 【授業内容】 学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】 演習、プレゼンテーション、討議 【担当】 緒方、松尾
28	研究計画に関する修正・検討 (3) 【授業内容】 学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】 演習、プレゼンテーション、討議 【担当】 緒方、松尾
29	研究計画に関する修正・検討 (4) 【授業内容】 学生によるプレゼンテーション・討議 【授業方法】 演習、プレゼンテーション、討議 【担当】 緒方、松尾
30	研究計画に関する修正・検討 (5)、フィードバック 【授業内容】 学生によるプレゼンテーション・討議、フィードバック 【授業方法】 演習、プレゼンテーション、討議 【担当】 緒方、松尾

学習方法

ゼミナール形式で行います。各自が研究テーマを確定し、研究の方向性を導き出せるよう事前に十分な準備を行った上で進めてください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。
a-ogata@jrckicn.ac.jp(緒方)、k-matsuo@jrckicn.ac.jp (松尾)

テキスト

特に指定しない

参考文献

適宜、紹介する

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション (50%) 研究計画書 (50%)

特別研究（国際保健・国際看護学）

更新日：2025/01/24 15:07:33

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	810410	授業コード	
担当教員	小川 里美, 森山 ますみ						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：国際看護学・災害看護学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 国際保健・国際看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画書に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2 ○
DP3 ◎
DP4 ○

授業計画

1	研究課題の設定 本学修士論文審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、下記の修士論文作成過程を展開する。修士論文は、論文の審査基準（修士論文：特別研究のチェックリスト）を踏まえて作成する。 【授業内容】 文献レビューおよびフィールド活動をととして研究課題を設定する。 【授業方法】 講義、演習 【担当】 小川、森山
2	研究計画書作成 【授業内容】 設定した研究課題について、リサーチエスチョン、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】 講義、演習 【担当】 小川、森山
3	本研究倫理審査委員会への申請 【授業内容】 本研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】 講義、演習 【担当】 小川、森山
4	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】 研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】 講義、演習 【担当】 小川、森山
5	データの分析 【授業内容】 データ分析の確認 【授業方法】 講義、演習 【担当】 小川、森山
6	論文作成 【授業内容】 論文の執筆、抄録の作成 【授業方法】 講義、演習 【担当】 小川、森山
7	修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備、フィードバック 【授業内容】 発表資料の確認 【授業方法】 講義、演習 【担当】 小川、森山
8	学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案 【授業内容】 学会誌への投稿、学会発表の確認 【授業方法】 講義、演習 【担当】 小川、森山

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。大学院生は担当教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。さらに、総合研究指導体制を活用して、領域を超えた視点や論点から自分の研究を検討し、さらなる充実を目指して他領域の教員に助言や意見を求めることも積極的に行ってください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。
s-ogawa@jrckicn.ac.jp（小川） m-moriyama@jrckicn.ac.jp（森山）

テキスト

指定しない

参考文献

適宜、提示する

評価方法

修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。

特別研究（国際保健・国際看護学）

更新日：2025/03/24 15:36:53

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	810410	授業コード	
担当教員	緒方 文子, 松尾 和枝						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：ヘルスプロモーション						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 国際保健・国際看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画書に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2 ☐
DP3 ☒
DP4 ☐

授業計画

1	研究課題の設定 本学修士論文審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、下記の修士論文作成過程を展開する。修士論文は、論文の審査基準（修士論文：特別研究のチェックリスト）を踏まえて作成する。 【授業内容】文献レビューおよびフィールド活動をとおして研究課題を設定する。 【授業方法】講義・演習 【担当】緒方、松尾
2	研究計画書作成 【授業内容】設定した研究課題について、リサーチエスチョン、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】講義、演習 【担当】緒方、松尾
3	本研究倫理審査委員会への申請 【授業内容】本研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】講義・演習 【担当】緒方、松尾
4	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】講義、演習 【担当】緒方、松尾
5	データの分析 【授業内容】データ分析の確認 【授業方法】講義、演習 【担当】緒方、松尾
6	論文作成 【授業内容】論文の執筆、抄録の作成 【授業方法】講義、演習 【担当】緒方、松尾
7	修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備、フィードバック 【授業内容】発表資料の確認 【授業方法】講義、演習 【担当】緒方、松尾
8	学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案 【授業内容】学会誌への投稿、学会発表の確認 【授業方法】講義、演習 【担当】緒方、松尾

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。大学院生は担当教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。さらに、総合研究指導体制を活用して、領域を超えた視点や論点から自分の研究を検討し、さらなる充実を目指して他領域の教員に助言や意見を求めることも積極的に行ってください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。
a-ogata@jrckicn.ac.jp（緒方）、k-matsuo@jrckicn.ac.jp（松尾）

テキスト

指定しない

参考文献

適宜、提示する

評価方法

修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。

生涯発達看護学特論Ⅰ

更新日：2025/04/25 08:46:51

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	820110	授業コード	820110
担当教員	姫野 稔子, 永松 美雪, 原田 紀美枝, 川崎 幹子, 西山 陽子, 山本 孝治, 町島 希美絵						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 生涯発達看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

看護の対象者を生涯発達の観点で捉え、各期に生じる健康問題と生活への影響、それらの援助に必要な概念、諸理論、アセスメントについて探究する。

到達目標

1	生涯発達に関する理論・概念を説明できる
2	発達各期に関する理論・概念・ケアモデルを説明できる
3	発達各期における理論・概念・ケアモデルを用いて、看護の対象の健康課題を包括的に説明できる

DPとの関連

DP1 ○

DP2 ◎

DP5 ○

授業計画

1	【生涯発達に関する理論・概念】ライフサイクル理論 【授業内容】ライフサイクル理論の歴史およびライフステージにおける諸理論を概観する。 【授業方法】講義 【担当】姫野
2	【発達各期の理論・概念・ケアモデル】愛着形成理論 【授業内容】アタッチメント理論について概観する。 【授業方法】講義 【担当】川崎
3	【生涯発達に関する理論・概念】家族発達理論 【授業内容】家族発達理論について概観する。 【授業方法】講義 【担当】川崎
4	【生涯発達に関する理論・概念】心理社会発達理論 【授業内容】心理社会発達理論について概観する。 【授業方法】講義 【担当】永松
5	【生涯発達に関する理論・概念】 【授業内容】発達課題論を概観し、看護実践における理論の活用について理解する。 【授業方法】講義 【担当】町島
6	【生涯発達に関する理論・概念】セルフケア理論 【授業内容】セルフケア理論について概観し、実践への活用について考察する 【授業方法】講義（一部、GW） 【担当】山本
7	【生涯発達に関する理論・概念】行動変容理論 【授業内容】トランスセオレティカルモデルを概観し、実践への活用について考察する。 【授業方法】講義（一部討議） 【担当】西山
8	【生涯発達に関する理論・概念】役割理論 【授業内容】役割理論について概観し、実践への活用を考察する。 【授業方法】講義 【担当】原田
9	【生涯発達に関する理論・概念】危機理論・家族ストレス対処理論 【授業内容】危機理論・家族ストレス対処理論について概観し、実践への活用を考察する。 【授業方法】講義 【担当】永松
10	【発達各期の理論・概念・ケアモデル】病みの軌跡理論 【授業内容】「慢性疾患の病みの軌跡」看護モデルを概観し、実践への活用について考察する。 【授業方法】講義（一部、GW） 【担当】山本

11	【健康課題とアセスメント】発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント（1） 【授業内容】学生による発達各期の理論・概念・ケアモデルを用いたアセスメントとそれに基づいたディスカッションを行う。 【授業方法】発表・討議 【担当】姫野・永松・原田・川崎・西山・山本・町島
12	【健康課題とアセスメント】発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント（2） 【授業内容】学生による発達各期の理論・概念・ケアモデルを用いたアセスメントとそれに基づいたディスカッションを行う。 【授業方法】発表・討議 【担当】姫野・永松・原田・川崎・西山・山本・町島
13	【健康課題とアセスメント】発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント（3） 【授業内容】学生による発達各期の理論・概念・ケアモデルを用いたアセスメントとそれに基づいたディスカッションを行う。 【授業方法】発表・討議 【担当】姫野・永松・原田・川崎・西山・山本・町島
14	【健康課題とアセスメント】発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント（4） 【授業内容】学生による発達各期の理論・概念・ケアモデルを用いたアセスメントとそれに基づいたディスカッションを行う。 【授業方法】発表・討議 【担当】姫野・永松・原田・川崎・西山・山本・町島
15	【健康課題とアセスメント】発達各期における理論・概念・ケアモデルを活用した健康課題とアセスメント（5）、まとめ 【授業内容】学生による発達各期の理論・概念・ケアモデルを用いたアセスメントとそれに基づいたディスカッションを行う。科目のまとめ 【授業方法】発表・討議 【担当】姫野・永松・原田・川崎・西山・山本・町島

学習方法

生涯発達・発達各期に関する理論等の講義・ワークシートを用いた演習に加え、発達各期の事例課題より、適切な理論、概念などを用いて、患者の健康課題を包括的に検討し、より効果的なアセスメントや看護について発表、討議を行う。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：金曜日の昼休み、t-himeno@jrckicn.ac.jp

永松：火曜日の昼休み、m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp

原田：水曜日の昼休み、k-harada@jrckicn.ac.jp

川崎：火曜日の昼休み、m-kawasaki@jrckicn.ac.jp

西山：火曜日の昼休み、y-nishiyama@jrckicn.ac.jp

山本：木曜日の昼休み、k-yamamoto@jrckicn.ac.jp

町島：火曜日の昼休み、k-machishima@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

佐藤栄子：中範囲理論入門（第2版）。名古屋，日総研出版，2009.

野川道子編：看護実践に活かす中範囲理論 第3版。メジガルフレンド，2023.

筒井真優美：看護理論家の業績と理論評価（第2版）。東京，医学書院，2020.

評価方法

授業への参加度・討議（50％）、発表(50％)

生涯発達看護学特論Ⅱ

更新日：2025/02/01 16:24:23

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	820210	授業コード	
担当教員	永松 美雪, 川崎 幹子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：成育看護（小児・母性）						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 生涯発達看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

人間の生涯発達の各期におけるさまざまな健康レベルに応じた看護介入方法について探究する。

到達目標

1	胎児期から更年期の成長・発達に影響する要因と健康問題を説明できる。
2	胎児期から更年期の健康問題に対する支援を説明できる。
3	対象と家族の健康問題と支援に関する論文を抄読し、研究の動向を説明できる。
4	対象と家族の健康問題に対して、論文を活用して支援方法を考察できる。

DPとの関連

DP1 ○

DP2 ◎

DP5 ○

授業計画

1	【胎児期】 出生後の子どもに影響する要因と健康問題 【授業内容】 DoHad概念、子どもの成長・発達に影響する要因と健康問題 【授業方法】 講義・討議 【担当】 永松
2	【胎児期】 妊娠前からの支援 【授業内容】 妊娠前からの支援 【授業方法】 講義・討議 【担当】 永松
3	【新生児期・乳児期・幼児期】 子どもの成長・発達に影響する要因と健康問題 【授業内容】 新生児期・乳児期・幼児期における子どもの成長・発達に影響する要因と健康問題 【授業方法】 講義・討議 【担当】 川崎
4	【新生児期・乳児期・幼児期】 子どもと家族の支援 【授業内容】 新生児期・乳児期・幼児期における子どもと家族の支援 【授業方法】 講義・討議 【担当】 川崎
5	【児童期・思春期】 子どもの成長・発達に影響する要因と健康問題 【授業内容】 児童期・思春期における子どもの成長・発達に影響する要因と健康問題 【授業方法】 講義・討議 【担当】 川崎
6	【児童期・思春期】 子どもと家族の支援 【授業内容】 児童期・思春期における子どもと家族の支援 【授業方法】 講義・討議 【担当】 川崎
7	【更年期】 女性に影響する要因と健康問題 【授業内容】 更年期の女性に影響する要因と健康問題 【授業方法】 講義・討議 【担当】 永松
8	【更年期】 女性と家族の支援 【授業内容】 更年期の女性と家族の支援 【授業方法】 講義・討議 【担当】 永松
9	クリティーク① 【授業内容】 対象と家族の健康問題と支援に関する論文のクリティーク 【授業方法】 学生によるプレゼンテーション 【担当】 永松

10	クリティーク② 【授業内容】対象と家族の健康問題と支援に関する論文のクリティーク 【授業方法】学生によるプレゼンテーション 【担当】川崎
11	クリティーク③ 【授業内容】対象と家族の健康問題と支援に関する論文のクリティーク 【授業方法】学生によるプレゼンテーション 【担当】川崎
12	クリティーク④ 【授業内容】対象と家族の健康問題と支援に関する論文のクリティーク 【授業方法】学生によるプレゼンテーション 【担当】川崎
13	クリティーク⑤ 【【授業内容】対象と家族の健康問題と支援に関する論文のクリティーク 【授業方法】学生によるプレゼンテーション 【担当】永松
14	クリティーク⑥ 【授業内容】対象と家族の健康問題と支援に関する論文のクリティーク 【授業方法】学生によるプレゼンテーション 【担当】永松
15	クリティーク⑦ 【授業内容】対象と家族の健康問題と支援に関する論文のクリティーク、まとめ、フィードバック 【授業方法】学生によるプレゼンテーション 【担当】永松、川崎

学習方法

生涯発達看護特論Ⅰを基盤に各分野に分かれ、その理論や他領域の最新研究知見に基づいた講義を行い、個人学習に取り組み、演習により看護介入方法について探究する。課題に対し文献検索およびクリティークを行い、ディスカッションし自らの考えを深め、言語化する。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。
金曜日の昼休み、永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp、川崎：m-kawasaki@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

随時、紹介する

評価方法

授業への参加度・ディスカッション（50％） プレゼンテーション（50％）

生涯発達看護学特論Ⅱ

更新日：2024/12/12 12:30:13

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	820210	授業コード	
担当教員	西山 陽子, 山本 孝治						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：成人看護（慢性）						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 生涯発達看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

人間の生涯発達の各期におけるさまざまな健康レベルに応じた看護介入方法について探究する。

到達目標

1	成人看護（慢性、エンドオブライフ）における実践・研究のための基本概念および理論を理解する。
2	成人看護（慢性、エンドオブライフ）における倫理的課題と解決方法を考察することができる。
3	成人看護（慢性、エンドオブライフ）の対象に応じた介入・支援方法を考察することができる。
4	成人看護（慢性、エンドオブライフ）分野の論文を抄読し、実践・研究の方向性を概観できる。

DPとの関連

DP1○

DP2◎

DP5○

授業計画

1	慢性病を持つ成人期の特徴 【授業内容】慢性病を持つ人の成人期の特徴を学び、そのQOLについて考察する。 【授業方法】講義および討論 【担当】山本
2	成人看護（慢性期）における実践・研究のための基本概念と理論（1） 【授業内容】成人の発達課題と成人を対象とする学習理論（アンドラゴジー）を学び、効果的学習支援について考察する。 【授業方法】講義および討論 【担当】山本
3	成人看護（慢性期）における実践・研究のための基本概念と理論（2） 【授業内容】コンプライアンス/アドヒアランス、行動変容に関する理論を概観する。 【授業方法】講義および討論 【担当】山本
4	成人看護（慢性期）における実践・研究のための基本概念と理論（3） 【授業内容】行動変容に関する理論の中から、ヘルス・ビリーフ・モデル、自己効力感、変化のステージモデルについて学び、効果的な行動変容への支援を検討する。 【授業方法】講義および討論 【担当】山本
5	成人看護（慢性期）における実践・研究のための基本概念と理論（4） 【授業内容】慢性看護に関連する中範囲理論、病みの軌跡、病気の不確かさ理論を概観する。 【授業方法】講義および討論 【担当】西山
6	成人看護（エンドオブライフケア）における実践・研究のための基本概念と理論 【授業内容】終末期看護、エンドオブライフケアの歴史を概観し、関連する基本概念を理解する。 【授業方法】講義および討論 【担当】西山
7	成人看護（慢性看護、エンドオブライフ）における倫理的課題 【授業内容】慢性期およびエンドオブライフにおける倫理的課題に関連する概念(スティグマ、アドボカシー等)を学ぶ。 【授業方法】講義および討論 【担当】西山
8	成人看護（慢性看護、エンドオブライフケア）における意思決定支援 【授業内容】慢性病を持つ人の意思決定の特徴を学び、支援について検討する。 【授業方法】講義および討論 【担当】西山
9	成人看護（慢性看護、エンドオブライフケア）における困難事例の検討（1） 【授業内容】慢性看護における困難事例を検討する。 【授業方法】講義・発表・討議 【担当】西山 山本

10	成人看護（慢性期、エンドオブライフケア）における困難事例の検討（2） 【授業内容】エンドオブライフケアにおける困難事例を検討する。 【授業方法】講義・発表・討議 【担当】西山 山本
11	成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する研究論文の抄読およびクリティーク（1） 【授業内容】学生による成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する論文クリティークについてのプレゼンテーションを基に、ディスカッションを通して実践・研究の方向性を検討する。 【授業方法】講義・発表・討議 【担当】西山 山本
12	成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する研究論文の抄読およびクリティーク（2） 【授業内容】成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する論文クリティークについてのプレゼンテーションを基に、ディスカッションを通して実践・研究の方向性を検討する。 【授業方法】講義・発表・討議 【担当】西山 山本
13	成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する研究論文の抄読およびクリティーク（3） 【授業内容】成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する論文クリティークについてのプレゼンテーションを基に、ディスカッションを通して実践・研究の方向性を検討する。 【授業方法】講義・発表・討議 【担当】西山 山本
14	成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する研究論文の抄読およびクリティーク（4） 【授業内容】成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する論文クリティークについてのプレゼンテーションを基に、ディスカッションを通して実践・研究の方向性を検討する。 【授業方法】講義・発表・討議 【担当】西山 山本
15	成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する研究論文の抄読およびクリティーク（5）Ⅰ まとめ・フィードバック 【授業内容】成人看護（慢性期、エンドオブライフ）に関する論文クリティークについてのプレゼンテーションを基に、ディスカッションを通して実践・研究の方向性を検討する。 第9回～15回までのプレゼンテーション・ディスカッションに対し、フィードバックを行う。 【授業方法】講義・発表・討議 【担当】西山 山本

学習方法

生涯発達看護特論Ⅰを基盤として、成人看護学（慢性看護学）の理論や他領域の最新研究知見に基づいた講義を行い、看護介入方法について探究する。課題に対し文献検索およびレビューを行い、発表・討議を通して自らの考えを深め言語化する。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

西山：木曜日の昼休み、y-nishiyama@jrckicn.ac.jp

山本：木曜日の昼休み、k-yamamoto@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない。

参考文献

Bandura, A. : Self-efficacy in changing societies. (1995) / 本明寛, 野口京子 (監訳) (1997) .激動社会の中の自己効力. 東京：金子書房.
一般社団法人 日本健康教育学会 (2019) .健康行動理論による研究と実践. 東京：医学書院.
Lubkin, I. M., Larsen, P. D.:Chronic Illness Impact and interventions. (2002) /黒江ゆり子 (監訳) (2007) .クロニックイルネス人と病いの新たなかかわり. 医学書院.
長江弘子 (2014) .看護実践にいかすエンド・オブ・ライフケア. 東京：日本看護協会出版会.
Prochaska, J. O., Norcross, J. C., & DiClemente. C. C (1994) / 中村正和 (監訳) (2005) .チェンジング・フォー・グッドー ステージ変容理論で上手に行動を変える. .法研.
他、適宜紹介する。

評価方法

授業への参加度・討議（50％）と発表（50％）を総合的に評価します。

生涯発達看護学特論Ⅱ

更新日：2025/04/25 08:47:11

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	820210	授業コード	
担当教員	姫野 稔子, 原田 紀美枝, 町島 希美絵						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：老年看護						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 生涯発達看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

人間の生涯発達の各期におけるさまざまな健康レベルに応じた看護介入方法について探究する。

到達目標

1	Aging のメカニズムを理解できる。
2	Aging に関する諸理論やケアモデルを看護介入に活用する方法を理解することができる。
3	老年期における倫理的問題と解決方法を理解することができる。
4	老年看護領域における論文を抄読し、研究の動向を概観することができる。

DPとの関連

DP1○

DP2◎

DP5○

授業計画

1	Aging の理論 【授業内容】生物学・心理学社会学的理論を理解する 【授業方法】講義 【担当】姫野
2	アドバンスケアプランニング（ACP） 【授業内容】アドバンスケアプランニングの倫理的意義と課題および事例への応用を理解する。 【授業方法】講義 【担当】姫野
3	人口の高齢化と制度の変遷 【授業内容】日本の高齢化の特徴及び保健医療福祉政策を学習し、看護における課題を考察する。 【授業方法】講義 【担当】原田
4	老年期におけるケアモデルと看護への適用（1） 【授業内容】研究的視点より高齢者に活用できるケアモデルを学び、実践への応用について理解する。 【授業方法】講義 【担当】町島
5	老年期におけるケアモデルと看護への適用（2） 【授業内容】コンフォート理論を学び、実践への活用について考察する。 【授業方法】講義 【担当】原田
6	高齢者の健康問題と看護介入方法 【授業内容】高齢者の健康問題に対する介入方法を研究的視点から理解する。 【授業方法】講義 【担当】姫野
7	老年看護分野における倫理的問題 【授業内容】倫理的判断の基準となるガイドラインを学習し、老年看護分野における倫理的課題を解決するための看護の役割を考察する。 【授業方法】講義 【担当】原田
8	院生による老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク（1） 【授業内容】老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田 町島
9	院生による老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク（2） 【授業内容】老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田 町島

10	院生による老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク（3） 【授業内容】老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田 町島
11	院生による老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク（4） 【授業内容】老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田 町島
12	院生による老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク（5） 【授業内容】老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田 町島
13	院生による老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク（6） 【授業内容】老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田 町島
14	院生による老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク（7） 【授業内容】老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田 町島
15	院生による老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク（8） 【授業内容】老年看護に関する研究論文の抄読およびクリティーク 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田 町島

学習方法

生涯発達看護特論Ⅰを基盤に各分野に分かれ、その理論や他領域の最新研究知見に基づいた講義を行い、看護介入方法について探究する。課題に対し文献検索およびレビューを行い、討議し自らの考えを深め、言語化する。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：火曜日の昼休み、t-himeno@jrckicn.ac.jp

原田：水曜日の昼休み、k-harada@jrckicn.ac.jp

町島：火曜日の昼休み、k-machishima@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

Joyce, E. Thompson, et al. : Bioethical Decision Making For Nurses. 1992, ケイコ・イマイ・キシ他訳：看護倫理のための意思決定 10 のステップ. 東京, 日本看護協会出版会, 2004.

安藤邑恵他：ICFの視点に基づく高齢者ケアプロセス. 東京, 学文社, 2009.

評価方法

授業への参加度・討議（50％） 発表（50％）

演習（生涯発達看護学）

更新日：2025/01/30 09:58:08

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	820310	授業コード	
担当教員	永松 美雪, 川崎 幹子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：成育看護（小児・母性）						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 生涯発達看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について説明できる。
2	文献レビュー、論文クリティークを通して、研究の方向性を説明できる。
3	研究計画書の構成および作成方法を説明できる。

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業方法】演習 【担当】永松、川崎
2	英文文献の検索方法 【授業内容】データベースと文献管理ツールについて 【授業方法】演習 【担当】図書館（多川、白倉）
3	研究テーマに関連した国内の文献クリティーク・討議（5回） 【授業内容】選択した研究テーマに関連した国内の文献クリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【担当】永松、川崎
4	研究テーマに関連した国外の文献クリティーク・討議（5回） 【授業内容】選択した研究テーマに関連した国外の文献クリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【担当】永松、川崎
5	研究の仮テーマの確定 【授業内容】進めようとしている研究の仮テーマの検討および確定 【授業方法】演習 【担当】永松、川崎
6	研究の仮テーマにそった文献レビュー・討議（5回） 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビュー 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【担当】永松、川崎
7	文献レビューに基づき研究計画書の作成（5回） 【授業内容】文献レビューに基づいた研究計画書 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【担当】永松、川崎
8	研究計画書と資料の作成（5回） 【授業内容】研究計画書審査のための研究計画書と資料の作成 【授業方法】演習 【担当】永松、川崎
9	研究計画書と資料に関する検討・修正 【授業内容】研究計画書と資料の検討及び修正 【授業方法】演習 【担当】永松、川崎

10	研究倫理審査申請書の作成 【授業内容】研究倫理審査のための研究倫理審査申請書の作成 【授業方法】演習 【担当】永松、川崎
----	---

学習方法

学生が主体となりプレゼンテーションを行う演習で、それぞれの授業内容に沿って事前準備を十分に整えて参加する。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。
金曜日の昼休み、永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp、川崎：m-kawasaki@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

適宜、紹介する

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション（50％） 研究計画書（50％）

演習（生涯発達看護学）

更新日：2025/03/21 16:43:53

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	820310	授業コード	
担当教員	山本 孝治, 西山 陽子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：成人看護学（慢性）						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 生涯発達看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について説明できる
2	文献レビュー、論文クリティークを通して、研究の方向性を説明できる
3	研究計画書の構成および作成方法を説明できる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】演習計画のスケジュールの検討、研究動機とテーマについての討議 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
2	英文文献の検索方法 【授業内容】データベースと文献管理ツールについて 【授業方法】演習 【担当】図書館（多川、白倉）
3	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、学生の発表（プレゼンテーション） 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
4	文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、学生の発表（プレゼンテーション） 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
5	文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、学生の発表（プレゼンテーション） 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
6	文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、学生の発表（プレゼンテーション） 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（5） 【授業内容】学生が関心を寄せている分野の研究論文を検索し、クリティーク及び討議を行う 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（6） 【授業内容】学生が関心を寄せている分野の研究論文を検索し、クリティーク及び討議を行う 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（7） 【授業内容】学生が関心を寄せている分野の研究論文を検索し、クリティーク及び討議を行う 【授業方法】演習 【担当】山本 西山

10	文献レビューおよびクリティーク・討議 (8) 【授業内容】学生が関心を寄せている分野の研究論文を検索し、クリティーク及び討議を行う 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
11	文献レビューおよびクリティーク・討議 (9) 【授業内容】学生が関心を寄せている分野の研究論文を検索し、クリティーク及び討議を行う 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (1) 【授業内容】学生が進めようとしている研究に関する文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (2) 【授業内容】学生が進めようとしている研究に関する文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (3) 【授業内容】学生が進めようとしている研究に関する文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (4) 【授業内容】学生が進めようとしている研究に関する文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】学生が進めようとしている研究に関する文献レビューおよび研究の仮テーマ決定 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
17	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (1) 【授業内容】学生の研究仮テーマにそった文献レビューとクリティークおよび検討 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
18	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (2) 【授業内容】学生の研究仮テーマにそった文献レビューとクリティークおよび検討 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
19	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (3) 【授業内容】学生の研究仮テーマにそった文献レビューとクリティークおよび検討 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
20	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (4) 【授業内容】学生の研究仮テーマにそった文献レビューとクリティークおよび検討 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
21	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (5) 【授業内容】学生の研究仮テーマにそった文献レビューとクリティークおよび検討 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (1) 【授業内容】学生の研究仮テーマに関する文献レビュー・クリティークおよび研究計画書作成 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (2) 【授業内容】学生の研究仮テーマに関する文献レビュー・クリティークおよび研究計画書作成 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (3) 【授業内容】学生の研究仮テーマに関する文献レビュー・クリティークおよび研究計画書作成 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
25	研究計画の中間報告 【授業内容】研究計画書の発表および検討 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
26	研究計画に関する修正・検討 (1) 【授業内容】研究計画書の検討及び修正 【授業方法】演習 【担当】山本 西山

27	研究計画に関する修正・検討（2） 【授業内容】研究計画書の検討及び修正 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
28	研究計画に関する修正・検討（3） 【授業内容】研究計画書の検討及び修正 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
29	研究計画に関する修正・検討（4） 【授業内容】研究計画書の検討及び修正 【授業方法】演習 【担当】山本 西山
30	研究計画に関する修正・検討（5） 【授業内容】研究計画書の検討及び修正 【授業方法】演習 【担当】山本 西山

学習方法

学生の発表（プレゼンテーション）を基に討議を通して、各自の研究計画につないでいく演習科目です。それぞれの授業内容に沿って事前準備を十分に整え、効果的な指導・助言を得られるように学生が主体的に取り組むことを期待します。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

山本：木曜日の昼休み、k-yamamoto@jrckicn.ac.jp

西山：火曜日の昼休み、y-nishiyama@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

適宜紹介する

評価方法

授業への参加度・発表（50％） 研究計画書（50％）を総合的に評価します。

演習（生涯発達看護学）

更新日：2025/04/25 08:47:28

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	820310	授業コード	
担当教員	姫野 稔子, 原田 紀美枝, 町島 希美絵						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：老年看護学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 生涯発達看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について説明できる
2	文献レビュー、論文クリティークを通して、研究の方向性を説明できる
3	研究計画書の構成および作成方法を説明できる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業方法】演習 【担当】姫野、原田、町島
2	英文文献の検索方法 【授業内容】データベースと文献管理ツールについて 【授業方法】演習 【担当】図書館（多川、白倉）
3	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、大学院生による発表、 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
4	文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、大学院生による発表、 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
5	文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、大学院生による発表、 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
6	文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、大学院生による発表、 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（5） 【授業内容】各自が関心を寄せている分野の研究論文を検索し、クリティーク及び討議を行う 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（6） 【授業内容】各自が関心を寄せている分野の研究論文を検索し、クリティーク及び討議を行う 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（7） 【授業内容】各自が関心を寄せている分野の研究論文を検索し、クリティーク及び討議を行う 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島

10	文献レビューおよびクリティーク・討議 (8) 【授業内容】各自が関心を寄せている分野の研究論文を検索し、クリティーク及び討議を行う 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
11	文献レビューおよびクリティーク・討議 (9) 【授業内容】各自が関心を寄せている分野の研究論文を検索し、クリティーク及び討議を行う 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (1) 【授業内容】各自が進めようとしている研究に関する文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (2) 【授業内容】各自が進めようとしている研究に関する文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (3) 【授業内容】各自が進めようとしている研究に関する文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (4) 【授業内容】各自が進めようとしている研究に関する文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】各自が進めようとしている研究に関する文献レビューおよび研究の仮テーマの検討および確定 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
17	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (1) 【授業内容】各自の仮テーマにそった文献レビューとクリティークおよび検討 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
18	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (2) 【授業内容】各自の仮テーマにそった文献レビューとクリティークおよび検討 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
19	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (3) 【授業内容】各自の仮テーマにそった文献レビューとクリティークおよび検討 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
20	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (4) 【授業内容】各自の仮テーマにそった文献レビューとクリティークおよび検討 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
21	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (5) 【授業内容】各自の仮テーマにそった文献レビューとクリティークおよび検討 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (1) 【授業内容】仮テーマに関する文献レビュー・クリティークおよび研究計画書の作成 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (2) 【授業内容】仮テーマに関する文献レビュー・クリティークおよび研究計画書の作成 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (3) 【授業内容】仮テーマに関する文献レビュー・クリティークおよび研究計画書の作成 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
25	研究計画の中間報告 【授業内容】研究計画書の中間報告および検討 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
26	研究計画に関する修正・検討 (1) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 (1) 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島

27	研究計画に関する修正・検討（2） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（2） 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
28	研究計画に関する修正・検討（3） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（3） 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
29	研究計画に関する修正・検討（4） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（4） 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島
30	研究計画に関する修正・検討（5） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（5） 【授業方法】演習・発表・討議 【担当】姫野、原田、町島

学習方法

学生が主体となり発表を行う演習科目です。それぞれの授業内容に沿って事前準備を十分に整えて参加してください。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：金曜日の昼休み, t-himeno@jrckicn.ac.jp

原田：水曜日の昼休み, k-harada@jrckicn.ac.jp

町島：火曜日の昼休み, k-machishima@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

適宜紹介する

評価方法

授業への参加度・発表（50％） 研究計画書（50％）

特別研究（生涯発達看護学）

更新日：2025/01/30 10:27:49

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	820410	授業コード	
担当教員	永松 美雪, 川崎 幹子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：成育看護（小児・母性）						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 生涯発達看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	本学研究倫理審査委員会への申請 【授業内容】本学研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】演習 【担当】永松、川崎
2	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】演習 【担当】永松、川崎
3	データの分析 【授業内容】それぞれの研究計画に基づき、データの分析を行う。 【授業方法】演習 【担当】永松、川崎
4	論文作成 【授業内容】論文の執筆 【授業方法】演習 【担当】永松、川崎
5	抄録作成 【授業内容】抄録の作成 【授業方法】演習 【担当】永松、川崎
6	論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備 【授業内容】論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備を行う 【授業方法】演習 【担当】永松、川崎
7	修士論文を修正し最終論文を提出 【授業内容】修士論文を修正し最終論文を提出する 【授業方法】演習 【担当】永松、川崎
8	学会発表・学会誌への投稿準備 【授業内容】学会発表・学会誌への投稿に向けての準備を行う。 【授業方法】演習 【担当】永松、川崎

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。大学院生は担当教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。毎回のゼミナールの前に、同時間相当の個人学習に取り組み、必要時、個別指導を受け、主体的に進めてください。さらに、総合研究指導体制を活用して、領域を超えた視点や論点から自分の研究を検討し、さらなる充実を目指して他領域の教員に助言や意見を求めることも行ってください。

オフィスアワー

メールでのアポイントメントにて設定します。

永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp 川崎：m-kawasaki@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

随時提示する

評価方法

修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。

特別研究（生涯発達看護学）

更新日：2024/12/12 12:06:26

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	820410	授業コード	
担当教員	西山 陽子, 山本 孝治						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：成人看護学（慢性）						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 生涯発達看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	研究課題の設定 本学修士論文審査に関する日程と学生の研究計画に基づき、下記の修士論文作成過程を展開する。修士論文は、論文の審査基準（修士論文：特別研究のチェックリスト）を踏まえて作成する。 【授業内容】文献レビューおよびフィールド活動をととして研究課題を設定する。 【授業方法】演習 【担当】西山 山本
2	研究計画書作成 【授業内容】設定した研究課題について、リサーチクエスチョン、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】演習 【担当】西山 山本
3	本学研究倫理審査委員会への申請 【授業内容】本学研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】演習 【担当】西山 山本
4	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】演習 【担当】西山 山本
5	データの分析 【授業内容】それぞれの研究計画に基づき、データの分析を行う。 【授業方法】演習 【担当】西山 山本
6	論文作成 【授業内容】論文の執筆、抄録の作成 【授業方法】演習 【担当】西山 山本
7	論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備 【授業内容】論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備を行う 【授業方法】演習 【担当】西山 山本
8	学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案 【授業内容】学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案を行う 【授業方法】演習 【担当】西山 山本

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。担当教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。研究のさらなる充実を目指して積極的に教員に助言や意見を求めてください。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

西山：火曜日の昼休み、n-nishiyama@jrckicn.ac.jp

山本：木曜日の昼休み、k-yamamoto@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

随時提示する

評価方法

修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。

特別研究（生涯発達看護学）

更新日：2025/04/25 08:47:47

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	820410	授業コード	
担当教員	姫野 稔子, 原田 紀美枝, 町島 希美絵						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：老年看護学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 生涯発達看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	研究課題の設定 本学修士論文審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、下記の修士論文作成過程を展開する。修士論文は、論文の審査基準（修士論文：特別研究のチェックリスト）を踏まえて作成する。 【授業内容】文献レビューおよびフィールド活動をととして研究課題を設定する。 【授業方法】演習 【担当】姫野、原田、町島
2	研究計画書作成 【授業内容】設定した研究課題について、リサーチクエスション、研究目的、研究方法、研究倫理の 確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】演習 【担当】姫野、原田、町島
3	本学研究倫理審査委員会への申請 【授業内容】本学研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】演習 【担当】姫野、原田、町島
4	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】演習 【担当】姫野、原田、町島
5	データの分析 【授業内容】それぞれの研究計画に基づき、データの分析を行う。 【授業方法】演習 【担当】姫野、原田、町島
6	論文作成 【授業内容】論文の執筆、抄録の作成 【授業方法】演習 【担当】姫野、原田、町島
7	論文審査・修士論文発表会における発表の準備 【授業内容】論文審査・修士論文発表会における発表の準備を行う 【授業方法】演習 【担当】姫野、原田、町島
8	学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案 【授業内容】学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案を行う 【授業方法】演習 【担当】姫野、原田、町島

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。大学院生は担当教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。さらに、

総合研究指導体制を活用して、領域を超えた視点や論点から自分の研究を検討し、さらなる充実を目指して他領域の教員に助言や意見を求めることも積極的に行ってください。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：火曜日の昼休み, t-himeno@jrckicn.ac.jp

原田：水曜日の昼休み, k-harada@jrckicn.ac.jp

町島：火曜日の昼休み, k-machishima@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

随時提示する

評価方法

修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。

広域看護学特論Ⅰ

更新日：2025/04/25 09:27:49

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	830110	授業コード	830110
担当教員	高橋 清美, 西村 和美, 牧 マリコ, 立野 淳子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 広域看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケアの各分野における国内外の諸制度やしくみを理解し、システムにおける実際と現状における諸問題に着目し、今後の在り方を考える。

到達目標

1	テーマに基づき広域看護の3つの分野からの視点を学ぶ意義について説明できる
2	クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケアの各分野における法制度としくみについて、基本的な知識と最新の知識を理解し、政策的な動向による看護職の役割について討議することができる
3	専門的関心がある現象について、理論や先行研究を引用しながら自己の洞察をレポートで表現することができる

DPとの関連

DP1◎

DP2○

DP5○

授業計画

1	10 年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック 【授業内容】10 年後を見据えた日本の保健医療看護のトピックに関する知識を踏まえたうえで議論を通して、広域看護の意義を理解する。 【授業方法】講義 【予習】30分：関心がある内容について調べておく 【担当】高橋
2	在宅看護における法制度としくみについて 【授業内容】在宅看護における法制度としくみを学修する 【授業方法】講義 【予習】30分：関心がある内容について調べておく 【担当】西村
3	メンタルヘルスにおける法制度としくみについて 【授業内容】メンタルヘルスにおける法制度としくみを学修する 【授業方法】講義 【予習】30分：関心がある内容について調べておく 【担当】高橋
4	クリティカルケアにおける法制度としくみについて 【授業内容】クリティカルケアにおける法制度としくみを学修する 【授業方法】講義 【予習】30分：関心がある内容について調べておく 【担当】立野
5	家族看護に関する理論とアセスメント 【授業内容】家族看護に関する理論とアセスメントを学ぶ 【授業方法】講義 【予習】30分：関心がある内容について調べておく 【担当】牧
6	家族看護に関する事例分析 【授業内容】家族看護に関する 事例分析を学ぶ 【授業方法】学生によるプレゼンテーション（演習） 【予習】30分：関心がある内容について調べておく 【担当】牧
7	10 年後を見据えた日本の保健医療看護のトピックに関する討議 【授業内容】10 年後を見据えた日本の保健医療看護のトピックに関する討議を通して今後の課題を探究する 【授業方法】演習 【予習】30分：関心がある内容について調べておく 【担当】立野

8	10 年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック 検討会① 【授業内容】 10 年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック に関するプレゼンテーションを通して専門的関心がある現象に対する今後の課題を探究する 【授業方法】 学生によるプレゼンテーション（演習） 【予習】 60分：関心がある内容についてプレゼンテーションの準備を行う 【担当】 立野
9	10 年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック 検討会② 【授業内容】 10 年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック に関するプレゼンテーションを通して専門的関心がある現象に対する今後の課題を探究する 【授業方法】 学生によるプレゼンテーション（演習） 【予習】 60分：関心がある内容についてプレゼンテーションの準備を行う 【担当】 立野
10	10 年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック 検討会③ 【授業内容】 10 年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック に関するプレゼンテーションを通して専門的関心がある現象に対する今後の課題を探究する 【授業方法】 学生によるプレゼンテーション（演習） 【予習】 60分：関心がある内容についてプレゼンテーションの準備を行う 【担当】 立野
11	チームアプローチの理論と今日的課題 【授業内容】 チームアプローチの理論を学び今日的課題を探究する 【授業方法】 講義 【予習】 30分：関心がある内容について調べておく 【担当】 立野
12	チームアプローチに関するプレゼンテーション① 【授業内容】 チームアプローチに関するプレゼンテーション 【授業方法】 学生によるプレゼンテーション（演習） 【予習】 60分：関心がある内容についてプレゼンテーションの準備を行う 【担当】 立野
13	チームアプローチに関するプレゼンテーション② 【授業内容】 チームアプローチに関するプレゼンテーション 【授業方法】 学生によるプレゼンテーション（演習） 【予習】 60分：関心がある内容についてプレゼンテーションの準備を行う 【担当】 立野
14	代理意思決定に関する理論 【授業内容】 代理意思決定に関する理論を学ぶ 【授業方法】 講義 【予習】 30分：関心がある内容について調べておく 【担当】 立野
15	代理意思決定支援についての事例分析 【授業内容】 代理意思決定支援に関する事例発表を行う 全体フィードバック 【授業方法】 学生によるプレゼンテーション（演習） 【予習】 60分：関心がある内容について発表準備を行う（形式は問わない。） 【担当】 立野

学習方法

クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケアにおける①法制度としくみ ② 10 年後を見据えた日本の保健医療看護のトピック ③家族看護 ④チームアプローチ ⑤代理意思決定の 5 つをテーマとし、各分野、ならびにこれらを統合したものを広域看護の視点として学ぶ。教員は、学生がどのような予習を行ったかを確認しながら講義を進めていくため、学生は予習を行っておくこと。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください

高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp 立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp

西村：k-nishimura@jrckicn.ac.jp 牧：m-maki@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

適宜指定する

評価方法

討議への参加度（40％）・プレゼンテーション（60％）

広域看護学特論Ⅱ

更新日：2025/04/25 09:19:54

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	830210	授業コード	
担当教員	立野 淳子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：クリティカルケア看護学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 広域看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケアの各分野において、活用できる概念、諸理論などについて検討し、各分野における専門性の発展のための方法を探究する。

到達目標

1	クリティカルケアを受ける患者および家族を、全人的に理解できる
2	クリティカルケア看護を提供するための諸理論を理解できる
3	クリティカルケア看護を提供するための諸理論の適用について探究できる

DPとの関連

DP1○

DP2◎

DP5○

授業計画

1	クリティカルケアとは何か、発展プロセスと現状を理解する。 【授業内容】クリティカルケアとは何か、発展プロセスと現状を理解する。 【授業方法】講義 【担当】立野
2	生体侵襲理論を用いた患者のアセスメント 【授業内容】生体侵襲理論を用いた患者のアセスメントを学ぶ 【授業方法】講義 【担当】立野
3	生体侵襲理論を用いた患者のアセスメントと看護介入 【授業内容】生体侵襲理論を用いた患者のアセスメントと看護介入を学ぶ 【授業方法】講義 【担当】立野
4	危機理論、ストレスコーピング理論 【授業内容】危機理論、ストレスコーピング理論を学ぶ 【授業方法】講義 【担当】立野
5	危機理論、ストレスコーピング理論を用いたアセスメントと看護介入 【授業内容】危機理論、ストレスコーピング理論を用いたアセスメントと看護介入を学ぶ 【授業方法】講義 【担当】立野
6	クリティカルケアにおけるトピックス① 【授業内容】クリティカルケアにおけるトピックス① 【授業方法】講義 【担当】立野
7	クリティカルケアにおけるトピックス② 【授業内容】クリティカルケアにおけるトピックス② 【授業方法】講義 【担当】立野
8	クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その1） 【授業内容】クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その1） 【授業方法】演習 【担当】立野
9	クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その2） 【授業内容】クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その2） 【授業方法】演習 【担当】立野

10	クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その3） 【授業内容】クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その3） 【授業方法】演習 【担当】立野
11	クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その4） 【授業内容】クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その4） 【授業方法】演習 【担当】立野
12	クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その5） 【授業内容】クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その5） 【授業方法】演習 【担当】立野
13	クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その6） 【授業内容】クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その6） 【授業方法】演習 【担当】立野
14	クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その7） 【授業内容】クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その7） 【授業方法】演習 【担当】立野
15	クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その8） 【授業内容】クリティカルケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その8） 【授業方法】演習 【担当】立野

学習方法

講義および討議形式で進める。講義で得た知識を実践にどのように適用できるかを討議するので、準備をして参加する

オフィスアワー

授業終了後もしくはメールによるアポイントに応じます。

担当教員へご連絡ください。

立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

- ・Sonya Rら、Synergy for Clinical Excellence: The AACN Synergy Model for Patient Care、Jones & Bartlett Learning; 2版 (2016/8/10)
- ・林峻一郎編訳: ストレスとコーピングーラザルス理論への招待. 星和書店, 1990.
- ・Donna C. Aguilera: Crisis Intervention theory and methodology. 8th Ed 1998, 小松源助他訳: 危機介入の理論と実際—医療・看護・福祉のために—. 川島書店, 1997
- ・森山美知子他著: ファミリーナースィンク? フラクティス 家族看護の理論と実践. 医学書院, 2001
- ・IHI Open School <http://www.ihio.org/education/IHIOpenSchool/courses/Pages/default.aspx>

評価方法

レポート（100%）

広域看護学特論Ⅱ

更新日：2025/01/24 15:19:55

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	830210	授業コード	
担当教員	高橋 清美, 牧 マリコ						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：精神看護学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 広域看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケアの各分野において、活用できる概念、諸理論などについて検討し、各分野における専門性の発展のための方法を探究する。

到達目標

1	現代社会におけるメンタルヘルスの問題を分析し、対応すべき課題について抽出できる
2	メンタルヘルスの状態を把握するためのアセスメント内容・方法を検討することができる
3	先行研究を用いてメンタルヘルスの安定を保つための方法を検討し、新たな対応策を探究することができる

DPとの関連

DP1○

DP2◎

DP5○

授業計画

1	現代社会と精神保健 【授業内容】現代社会と精神保健に関する概要を学ぶ 【授業方法】講義 【担当】高橋
2	精神発達に伴う精神保健的問題（人格水準と発達課題） 【授業内容】精神発達に伴う精神保健的問題に関する理論を学ぶ 【授業方法】講義 【担当】高橋
3	脳の生理的機能と行動との関連 【授業内容】脳の生理機能と行動との関連に関する理論を学ぶ 【授業方法】講義 【担当】高橋
4	精神アセスメント 【授業内容】精神症状と状態像の把握について学修する 【授業方法】演習 学生によるプレゼンテーション 【担当】高橋
5	精神障害と身体合併症看護 【授業内容】精神障害と身体合併症看護について学ぶ 【授業方法】講義 【担当】高橋
6	メンタルヘルスケアに関するトピックス 【授業内容】メンタルヘルスケアに関するトピックスを学ぶ 【授業方法】演習 学生プレゼンテーション 【担当】高橋
7	メンタルヘルス領域の家族看護に関する課題 【授業内容】メンタルヘルス領域の家族看護に関する課題を学修する 【授業方法】講義 【担当】牧
8	家族看護に関する研究の動向 【授業内容】家族看護に関する研究の動向を学ぶ 【授業方法】演習 学生によるプレゼンテーション 【担当】牧
9	メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その1） 【授業内容】メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その1） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧

10	メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その2） 【授業内容】メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その2） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
11	メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その3） 【授業内容】メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その3） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
12	メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その4） 【授業内容】メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その4） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
13	メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その5） 【授業内容】メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その5） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
14	メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その6） 【授業内容】メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その6） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
15	メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その7） 【授業内容】メンタルヘルスケアに関する最近の国内外の保健・看護論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行なう。（その7）、全体フィードバック。 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧

学習方法

各回のテーマごとに提示される事前課題を準備して参加する。授業内容について、講義およびプレゼンテーション、ディスカッションを通じて理解する

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください

高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp

牧：m-maki@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

随時紹介する

評価方法

レポート（50％） プレゼンテーション（50％）

広域看護学特論Ⅱ

更新日：2025/01/30 08:56:28

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	830210	授業コード	
担当教員	西村 和美						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：在宅看護学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 広域看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケアの各分野において、活用できる概念、諸理論などについて検討し、各分野における専門性の発展のための方法を探究する。

到達目標

1	国内外の在宅医療・看護を取り巻く社会背景と在宅ケアシステムの変遷について述べることができる。
2	在宅ケアにおいて活用できる概念、諸理論について説明できる。
3	在宅ケアにおける保健・医療・福祉制度や関連する機関の機能を理解し、関係機関・職種との連携・協働のあり方について考察することができる。
4	在宅看護におけるケアマネジメントの過程、展開について考察することができる。
5	在宅ケアの研究論文を抄読し、看護の専門性の発展のための方法を探究することができる。

DPとの関連

DP1○

DP2◎

DP5○

授業計画

1	在宅医療・福祉・看護の変遷と課題 【授業内容】日本や諸外国の在宅医療・福祉・看護の変遷を学修し、在宅ケアシステムの課題について検討する 【授業方法】講義（討議） 【担当】西村
2	在宅医療・福祉・看護の理論と概念 【授業内容】在宅医療・福祉・看護において活用できる理論、概念を学修する 【授業方法】講義（討議） 【担当】西村
3	在宅医療・福祉・看護におけるシステム 【授業内容】在宅医療・福祉・看護に関連する法制度、関係機関の機能を理解する 【授業方法】講義（討議） 【担当】西村
4	多職種連携・協働とケアマネジメント 【授業内容】在宅における多職種連携・協働とケアマネジメントについて学修する 【授業方法】講義（討議） 【担当】西村
5	ケアマネジメントの展開：事例検討① 高齢者・家族のケアマネジメント 【授業内容】在宅で療養する高齢者とその家族のケアマネジメントの過程、展開について検討する 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
6	ケアマネジメントの展開：事例検討② 難病患者・家族のケアマネジメント 【授業内容】在宅で療養する難病患者とその家族のケアマネジメントの過程、展開について検討する 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
7	ケアマネジメントの展開：事例検討③ がん患者・家族のケアマネジメント 【授業内容】在宅で療養するがん患者とその家族のケアマネジメントの過程、展開について検討する 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
8	在宅における End of Life Care （1） 【授業内容】在宅における End of Life Care について学修する 【授業方法】講義（討議） 【担当】西村
9	在宅における End of Life Care （2） 【授業内容】在宅における End of Life Care における在宅ケアシステムについて学修する 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村

10	在宅ケアに関する研究論文の抄読およびクリティーク（１） 【授業内容】在宅ケアに関する国内外の研究論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
11	在宅ケアに関する研究論文の抄読およびクリティーク（２） 【授業内容】在宅ケアに関する国内外の研究論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
12	在宅ケアに関する研究論文の抄読およびクリティーク（３） 【授業内容】在宅ケアに関する国内外の研究論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
13	在宅ケアに関する研究論文の抄読およびクリティーク（４） 【授業内容】在宅ケアに関する国内外の研究論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
14	在宅ケアに関する研究論文の抄読およびクリティーク（５） 【授業内容】在宅ケアに関する国内外の研究論文を学生が選択し、論文抄読・クリティークを行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
15	在宅ケアの発展に向けての課題、課題に対するフィードバック 【授業内容】在宅ケアの発展に向けての看護の専門性について理解する 課題（レポート、プレゼンテーション等）に対してフィードバックを行う 【授業方法】講義（討議） 【担当】西村

学習方法

テーマごとに提示される事前課題を準備して参加する。
授業内容について、講義（討議）およびプレゼンテーションを通じて理解する。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください
西村：k-nishimura@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

白澤政和：ケアマネジメント論 わかりやすい基礎理論と幅広い事例から学ぶ．3-98，京都，ミネルヴァ書房，2019．
上田敏：国際生活機能分類 ICFの理解と活用 一人が「生きること」「生きることの困難（障害）」をどうとらえるか．5-69，東京，萌文社，2019．

評価方法

課題（レポート含む）100％

演習（広域看護学）

更新日：2025/04/25 09:20:28

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	830310	授業コード	
担当教員	立野 淳子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：クリティカルケア看護学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 広域看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について説明できる
2	文献レビュー、論文クリティークを通して、研究の方向性を説明できる
3	研究計画書の構成および作成方法を説明できる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについて討議する 【授業方法】演習 【担当】立野
2	英文文献の検索方法 【授業内容】データベースと文献管理ツールについて 【授業方法】演習 【担当】図書館（多川、白倉）
3	量的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野
4	量的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野
5	量的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野
6	量的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野

10	文献レビューおよびクリティーク・討議 (4) 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 (4) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
11	文献レビューおよびクリティーク・討議 (5) 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 (5) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (1) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (1) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (2) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (2) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (3) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (3) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (4) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (4) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】研究の仮テーマの確定 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
17	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (1) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (1) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
18	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (2) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (2) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
19	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (3) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (3) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
20	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (4) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (4) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
21	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (5) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (5) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (1) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 (1) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (2) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 (2) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (3) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 (3) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
25	研究計画の中間報告 【授業内容】研究計画の中間報告 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
26	研究計画に関する修正・検討 (1) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 (1) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野

27	研究計画に関する修正・検討 (2) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 (2) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
28	研究計画に関する修正・検討 (3) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 (3) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
29	研究計画に関する修正・検討 (4) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 (4) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野
30	研究計画に関する修正・検討 (5) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 (5) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】立野

学習方法

全領域共通の講義・討議に加え、領域ごとにゼミナール形式で行います。各自が研究テーマを確定し、研究の方向性を導き出せるように進めてください。

オフィスアワー

授業終了後もしくはメールによるアポイントに応じます。

担当教員へご連絡ください。

立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp

テキスト

授業中に適宜紹介する。

参考文献

相原 守夫、診療ガイドラインのためのGRADEシステム 第3版、中外医学社; 第3版 (2018/12/21)

参考文献は、授業中に適宜紹介する。

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション (50%) 研究計画書 (50%)

演習（広域看護学）

更新日：2025/03/21 16:46:29

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	830310	授業コード	
担当教員	高橋 清美, 牧 マリコ						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：精神看護学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 広域看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について説明できる
2	文献レビュー、論文クリティークを通して、研究の方向性を説明できる
3	研究計画書の構成および作成方法を説明できる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議する 【授業方法】演習 【担当】高橋、牧
2	英文文献の検索方法 【授業内容】データベースと文献管理ツールについて 【授業方法】演習 【担当】図書館（多川、白倉）
3	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
4	文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
5	文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
6	文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（5） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（6） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（7） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧

10	文献レビューおよびクリティーク・討議 (8) 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 (4) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
11	文献レビューおよびクリティーク・討議 (9) 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 (5) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (1) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (1) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (2) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (2) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (3) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (3) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (4) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (4) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】研究の仮テーマの確定 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
17	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (1) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (1) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
18	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (2) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (2) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
19	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (3) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (3) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
20	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (4) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (4) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
21	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (5) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (5) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (1) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 (1) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (2) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 (2) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (3) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 (3) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
25	研究計画の中間報告 【授業内容】研究計画の中間報告 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
26	研究計画に関する修正・検討 (1) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 (1) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧

27	研究計画に関する修正・検討 (2) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 (2) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
28	研究計画に関する修正・検討 (3) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 (3) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
29	研究計画に関する修正・検討 (4) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 (4) 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧
30	研究計画に関する修正・検討 (5) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 (5) ならびに全体フィードバック 【授業方法】演習 (学生プレゼンテーション) 【担当】高橋、牧

学習方法

学生が主体となりプレゼンテーションを行う演習科目です。それぞれの授業内容に沿って事前準備を十分に整えて参加してください。

オフィスアワー

金曜日の昼休みもしくはメールによるアポイントに応じます。
高橋 k-takahashi@jrckicn.ac.jp 牧 m-maki@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

参考文献は、授業中に適宜紹介する。

評価方法

授業への参加度 (20%)、発表・資料 (30%)、研究計画書 (50%)

演習（広域看護学）

更新日：2025/01/30 09:23:25

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	830310	授業コード	
担当教員	西村 和美						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：在宅看護学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 広域看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について理解できる。
2	文献レビュー、論文クリティークを通して、研究の方向性を定めることができる。
3	研究計画書の構成および作成方法が理解できる。

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議する 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
2	英文文献の検索方法 【授業内容】データベースと文献管理ツールについて学修する 【授業方法】演習 【担当】図書館（多川、白倉）
3	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】量的研究論文のクリティークを行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
4	文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業内容】量的研究論文のクリティークを行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
5	文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業内容】質的研究論文のクリティークを行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
6	文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業内容】質的研究論文のクリティークを行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（5） 【授業内容】文献レビューおよびクリティークを行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（6） 【授業内容】文献レビューおよびクリティークを行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（7） 【授業内容】文献レビューおよびクリティークを行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村

10	文献レビューおよびクリティーク・討議 (8) 【授業内容】文献レビューおよびクリティークを行う 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
11	文献レビューおよびクリティーク・討議 (9) 【授業内容】文献レビューおよびクリティークを行う 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (1) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討を行う 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (2) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討を行う 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (3) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討を行う 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (4) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討を行う 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】研究の仮テーマを確定する 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
17	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (1) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティークを行う 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
18	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (2) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティークを行う 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
19	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (3) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティークを行う 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
20	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (4) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティークを行う 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
21	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (5) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティークを行う 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (1) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書を作成する 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (2) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書を作成する 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (3) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書を作成する 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
25	研究計画の中間報告 【授業内容】研究計画の中間報告を行う 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
26	研究計画に関する修正・検討 (1) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討を行う 【授業方法】演習 (討議)、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村

27	研究計画に関する修正・検討（2） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討を行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
28	研究計画に関する修正・検討（3） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討を行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
29	研究計画に関する修正・検討（4） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討を行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
30	研究計画に関する修正・検討（5） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討を行う 課題（文献レビュー、研究計画書等）に対するフィードバックを行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村

学習方法

領域ごとにゼミナール形式で行います。

各自が研究テーマを確定し、研究の方向性を導き出せるように進めてください。

オフィスアワー

金曜日の昼休みもしくはメールによるアポイントに応じます。

西 村 k-nishimura@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

参考文献は、授業中に適宜紹介する。

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション（50％）、研究計画書（50％）

特別研究(広域看護学)

更新日：2025/04/25 09:21:00

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	830410	授業コード	
担当教員	立野 淳子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：クリティカルケア学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 広域看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	研究課題の設定 本学修士論文審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、下記の修士論文作成過程を展開する。修士論文は、論文の審査基準（修士論文：特別研究のチェックリスト）を踏まえて作成する。 【授業内容】文献レビューおよびフィールド活動をととして研究課題を設定する。 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野
2	研究計画書作成 【授業内容】設定した研究課題について、リサーチクエスション（RQ）を設定し、設定されたRQに対するシステムティックレビュー（SR）を行う。SRを踏まえ、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野
3	本学研究倫理審査委員会への申請 【授業内容】本学研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野
4	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野
5	データの分析 【授業内容】データの分析を検討する 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野
6	論文作成 【授業内容】論文の執筆、抄録の作成 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野
7	論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備 【授業内容】論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野
8	学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案 【授業内容】学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案を行う 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。学生は担当教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。さらに、総合研究指導体制を活用して、領域を超えた視点や論点から自分の研究を検討し、さらなる充実を目指して他領域の教員に助言や意見

を求めることも積極的に行ってください。

オフィスアワー

授業終了後もしくはメールによるアポイントに応じます。

担当教員へご連絡ください。

立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

相原 守夫、診療ガイドラインのためのGRADEシステム 第3版、中外医学社; 第3版 (2018/12/21)

適宜、紹介する

評価方法

修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。

特別研究(広域看護学)

更新日：2025/01/24 15:50:07

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	830410	授業コード	
担当教員	高橋 清美, 牧 マリコ						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：精神看護学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 広域看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	研究課題の設定（第1講義～第5講義） 本学修士論文審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、下記の修士論文作成過程を展開する。修士論文は、論文の審査基準（修士論文：特別研究のチェックリスト）を踏まえて作成する。 【授業内容】文献レビューおよびフィールド活動をととして研究課題を設定する。 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
2	研究計画書作成（第6講義～第10講義） 【授業内容】設定した研究課題について、リサーチクエスト、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
3	本学研究倫理審査委員会への申請（第11講義～第15講義） 【授業内容】本学研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
4	研究計画に基づいたデータ収集（第16講義～第30講義） 【授業内容】研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
5	データの分析（第31講義～第40講義） 【授業内容】データの分析を検討する 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
6	論文作成（第41講義～第50講義） 【授業内容】論文の執筆、抄録の作成 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
7	論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備（第51講義～第58講義） 【授業内容】論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
8	学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案（第59講義～第60講義） 【授業内容】学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案を行う。全体フィードバック。 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。学生は担当教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。自分の研究をより深めていくために、他領域の教員に助言や意見を求めることも積極的に行ってください。更に、学会発表、関連専門誌への投

稿を計画的に進めていくために、指導教員のアドバイスを得てください。

オフィスアワー

金曜日の昼休みもしくはメールによるアポイントメントに応じます。

高橋 k-takahashi@jrckicn.ac.jp 牧 m-maki@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

適宜、紹介する

評価方法

修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。

特別研究(広域看護学)

更新日：2025/01/30 09:29:47

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	830410	授業コード	
担当教員	西村 和美						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：在宅看護学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 広域看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる。
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる。
3	研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる。

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	研究課題の設定（第1講義～第5講義） 本学修士論文審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、下記の修士論文作成過程を展開する。修士論文は、論文の審査基準（修士論文：特別研究のチェックリスト）を踏まえて作成する 【授業内容】文献レビューおよびフィールド活動をととして研究課題を設定する 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
2	研究計画書作成（第6講義～第10講義） 【授業内容】設定した研究課題について、リサーチクエスチョン、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
3	本学研究倫理審査委員会への申請（第11講義～第15講義） 【授業内容】本学研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
4	研究計画に基づいたデータ収集（第16講義～第30講義） 【授業内容】研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
5	データの分析（第31講義～第40講義） 【授業内容】データの分析を検討する 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
6	論文作成（第41講義～第50講義） 【授業内容】論文の執筆、抄録の作成について検討する 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
7	論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備（第51講義～第58講義） 【授業内容】論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備を行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】西村
8	学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案（第59講義～第60講義） 【授業内容】学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案を行う 論文審査・修士論文発表会に対するフィードバックを行う 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。

学生は担当教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。さらに、総合研究指導体制を活用して、領域を超えた視点や論点から自分の研究を検討し、さらなる充実を目指して他領域の教員に助言や意見を求めることも積極的に行ってください。

オフィスアワー

金曜日の昼休みもしくはメールによるアポイントメントに応じます。
西 村 k-nishimura@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

適宜、紹介する

評価方法

修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。

基盤看護学特論Ⅰ

更新日：2025/02/04 09:12:20

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	840110	授業コード	840110
担当教員	本田 多美枝						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 基盤看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

人間の尊厳を基本とした看護ケアの本質的側面を問い、そのケア提供を可能にするための看護管理、看護政策、看護教育のあり方について、基本となる概念、諸理論、方法論を探究する。

到達目標

1	看護基礎教育および看護継続教育の現状と課題を社会変化との関連で捉え、今後を展望できる
2	看護の本質や専門職実践の特徴を踏まえた人材開発の諸理論や方法論について概要を説明できる
3	看護職の人材開発に関する諸理論や方法論を活用し、各自の実践例を多角的に検討し考察できる

DPとの関連

DP1◎

DP2○

DP5○

授業計画

1	看護職の人材開発の基盤となる考え方について理解する 【授業内容】看護の本質と看護教育・看護管理・看護政策との関係、看護職の人材開発の特徴と基盤となる考え方、教育パラダイムの変化とその背景 【授業方法】講義および討論
2	看護基礎教育の現状と課題① 【授業内容】看護教育制度の成り立ち・特徴、社会の変化と看護学教育行政の動向 【授業方法】講義および討論
3	看護基礎教育の現状と課題② 【授業内容】看護教育カリキュラムの変遷、看護基礎教育をめぐる議論と今日的課題 【授業方法】講義および討論
4	看護継続教育の現状と課題① 【授業内容】看護職の生涯教育・生涯学習における継続教育の位置づけ、政策的動向、継続教育の範囲と現場の課題 【授業方法】講義および討論
5	看護継続教育の現状と課題② 【授業内容】人材開発研究の発展経緯と動向、看護継続教育の今日的課題 【授業方法】講義および討論
6	看護の本質と専門性の探究について考える① 【授業内容】ペナー看護論1～3章 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論
7	看護の本質と専門性の探究について考える② 【授業内容】ペナー看護論4～12章の中から選択する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論
8	成人学習者としてのリフレクション 【授業内容】成人学習者としての自己をリフレクションし、看護専門職として生涯を通して学ぶことの意味を考える 【授業方法】グループワーク
9	成人学習者の支援者としてのリフレクション 【授業内容】成人学習者の支援者としての自己や組織をリフレクションし、支援を行う上での課題について考える 【授業方法】グループワーク
10	人材開発の理論・方法論① 成人学習理論 【授業内容】調べた内容をもとに各自の実践事例を検討し、看護人材開発のあり方について議論する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討議、FB
11	人材開発の理論・方法論② 経験学習、経験学習支援 【授業内容】調べた内容をもとに各自の実践事例を検討し、看護人材開発のあり方について議論する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討議、FB
12	人材開発の理論・方法論③ 省察的实践 【授業内容】調べた内容をもとに各自の実践事例を検討し、看護人材開発のあり方について議論する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討議、FB

13	人材開発の理論・方法論④ キャリア開発 【授業内容】調べた内容をもとに各自の実践事例を検討し、看護人材開発のあり方について議論する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討議、FB
14	人材開発の理論・方法論⑤ 組織学習論、学習する組織 【授業内容】調べた内容をもとに各自の実践事例を検討し、看護人材開発のあり方について議論する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討議、FB
15	人材開発の理論・方法論⑥ 多職種連携教育 【授業内容】調べた内容をもとに各自の実践事例を検討し、看護人材開発のあり方について議論する、授業のまとめ 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討議、FB

学習方法

この授業は、教員による講義および大学院生によるプレゼンテーションと討論にて進める。プレゼンテーション担当の大学院生は、前週までに教員および大学院生に必読文献を提示すること、各大学院生は事前学習を行い、授業に参加することが求められる。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。
t-honda@jrckicn.ac.jp（本田）

テキスト

Benner,P.（2001）/ 井部俊子監訳（2005）. ベナー看護論新訳版—初心者から達人へ—. 医学書院.

参考文献

杉森みどり・舟島なをみ（2024）. 看護教育学（第8版）. 医学書院.
舟島なをみ（2018）. 看護教育学研究 発見・創造・証明の過程（第3版）. 医学書院.
佐々木幾美他 監訳（2021）. 看護を教授すること 大学教員のためのガイド原著第6版（第2版）. 東京：医歯薬出版.

Benner,P., et al.（2010）/早野 ZITO 真佐子訳（2011）. ベナー ナースを育てる. 医学書院.
福澤英弘（2009）. 人材開発マネジメントブック—学習が企業を強くする—. 日本経済新聞出版社.
中原淳（2017）. 人材開発研究大全. 東京大学出版会.
Merriam,S.B., & Caffarella,R.S.（1999）/立田慶裕, 三輪建二監訳（2005）. 成人期の学習—理論と実践. 鳳書房.
三輪健二（2023）. わかりやすい省察的実践 実践・学び・研究をつなぐために. 医学書院.
松尾睦他（2023）. 看護師・医師を育てる経験学習支援 認知的徒弟制による6ステップアプローチ. 医学書院.
その他、適宜紹介する

評価方法

授業への参加度・ディスカッション（40%）、プレゼンテーション（60%）

基盤看護学特論Ⅱ

更新日：2025/01/22 15:44:57

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	840210	授業コード	
担当教員							
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：看護管理学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 基盤看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

激動する社会を見据え、看護管理、看護教育、看護倫理の各分野において中核的役割を担うために必要となる概念、諸理論、方法論などについて検討し、各分野における専門性の発展のための方策を探究する。

到達目標

1	看護管理学の研究領域・研究方法の特徴を説明できる
2	安全かつ円滑に看護を実践するために、最善かつ現実的な看護マネジメントに必要な諸理論・方法論、法制度について学び、解決すべき課題について分析できる
3	先行研究の分析を通して、看護管理学の専門性発展のための新たな方策を探究できる

DPとの関連

DP1○

DP2◎

DP5○

授業計画

1	看護管理学の研究領域・研究方法の特徴 【授業内容】看護管理学の研究領域・研究方法の動向と特徴を捉える 【授業方法】講義
2	行動科学の展開① 【授業内容】行動科学に関する諸理論を取り上げ、実践上の課題を議論する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション
3	行動科学の展開② 【授業内容】行動科学に関する諸理論を取り上げ、実践上の課題を議論する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション
4	管理者の能力（コンピテンシー）① 【授業内容】管理者の能力（コンピテンシー）に関する諸理論を概観し、実践上の課題を議論する 【授業方法】抄読と討議
5	管理者の能力（コンピテンシー）② 【授業内容】管理者の能力（コンピテンシー）に関する諸理論を概観し、実践上の課題を議論する 【授業方法】抄読と討議
6	看護管理者の能力開発（経験学習）① 【授業内容】看護管理者の能力開発（経験学習）に関する諸理論を概観し、実践上の課題を議論する 【授業方法】講義
7	看護管理者の能力開発（経験学習）② 【授業内容】看護管理者の能力開発（経験学習）に関する諸理論を概観し、実践上の課題を議論する 【授業方法】講義
8	組織倫理① 【授業内容】組織倫理に関する諸理論を概観し、実践上の課題を議論する 【授業方法】抄読と討議
9	組織倫理② 【授業内容】組織倫理に関する諸理論を概観し、実践上の課題を議論する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション
10	看護労働に関する法的諸問題 【授業内容】看護労働の場に生じている法的諸問題について検討する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション
11	看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション
12	看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション

13	看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション
14	看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション
15	看護管理の今日的課題の克服に向けた提案 【授業内容】看護管理に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション、フィードバック

学習方法

教員による講義および大学院生によるプレゼンテーションとディスカッションにて進める。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。
@jrckicn.ac.jp ()

テキスト

Hersey P.B., Blanchard H.K., and Johnson D.E. Management of Organizational Behavior Utilizing Human Resources (7th). 1996, 山本成二, 山本あづさ訳：入門から応用へ行動科学の展開（新版）人的資源の活用．東京，生産性出版，2000.

Spencer M.L., & Spencer M. S. Competence at work. 1993, 梅津祐良，成田攻，横山哲夫訳：コンピテンシー・マネジメントの展開[監訳版]．東京，生産性出版，2011.

倉岡有美子：看護師長として成長しつづける! 経験学習ガイドブック．東京，医学書院，2019

参考文献

井部俊子，中西睦子監修：看護管理学習テキスト第3版 2020年度刷①～⑤巻．東京，日本看護協会出版会，2020．

虎の門病院看護部：看護管理者のコンピテンシー・モデル: 開発から運用まで．東京，医学書院，2013．

看護管理コンピテンシー研究会編：看護管理者のコンピテンシー・モデル事例集: 書き方とその評価．東京，医学書院，2015．

武村雪絵編著：看護管理に活かすコンピテンシー．東京メヂカルフレンド社，2014．

松尾 睦：成長する管理職．東京，東洋経済新報社，2013．

鶴若麻理，倉岡有美子編著：看護管理と倫理の考えかた．東京，学研メディカル秀潤社，2014．

勝原裕美子：組織で生きる－管理と倫理のはざままで．東京，医学書院，2016．

評価方法

授業への参画（プレゼンテーション・討議：40％）、課題レポート（60％）

基盤看護学特論Ⅱ

更新日：2025/03/03 15:52:00

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	840210	授業コード	
担当教員	本田 多美枝, 阿部 オリエ, 小手川 良江						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：看護教育学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 基盤看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

激動する社会を見据え、看護管理、看護教育、看護倫理の各分野において中核的役割を担うために必要となる概念、諸理論、方法論などについて検討し、各分野における専門性の発展のための方策を探究する。

到達目標

1	看護学教育の研究領域・研究方法の特徴を説明できる
2	看護専門職の育成を目指した看護学教育を行うために必要となる概念や諸理論・方法論、教育制度等について学び、解決すべき課題について分析できる
3	先行研究の分析を通して、看護学教育の専門性発展のための新たな方策を探究できる

DPとの関連

DP1○

DP2◎

DP5○

授業計画

1	看護学教育の現状と解決すべき課題 【授業内容】看護学教育の中で解決すべき課題について議論する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部・小手川
2	看護学教育における主要概念の理解 【授業内容】概念分析の考え方と研究において概念を明確化する意義について 【授業方法】講義および討論 【担当】阿部・本田・小手川
3	教師の専門性と看護教師教育の現状と課題 【授業内容】教師の専門性と看護教師教育の現状と課題、先行研究の動向 【授業方法】講義および討論 【担当】阿部・本田・小手川
4	臨地実習指導論 【授業内容】臨地実習指導論、先行研究の動向 【授業方法】講義および討論 【担当】阿部・本田・小手川
5	キャリア開発 【授業内容】看護職のキャリア開発の現状と課題、先行研究の動向 【授業方法】講義および討論 【担当】小手川・本田・阿部
6	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する国内外の研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部・小手川
7	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する国内外の研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部・小手川
8	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する国内外の研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部・小手川
9	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する国内外の研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部・小手川

10	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する国内外の研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部・小手川
11	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する国内外の研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部・小手川
12	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する国内外の研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部・小手川
13	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する国内外の研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部・小手川
14	看護教育に関する研究論文の抄読とクリティーク 【授業内容】看護教育に関する国内外の研究論文の抄読とクリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論 【担当】本田・阿部・小手川
15	看護学教育の今日的課題と変革に向けた提案 【授業内容】大学院生の問題意識に基づき、看護学教育の変革に向けた提案について討論する 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論、フィードバック 【担当】本田・阿部・小手川

学習方法

教員による講義および大学院生によるプレゼンテーションとディスカッションにて進める。プレゼンテーション担当の大学院生は、前週までに教員および大学院生に必読文献を提示する。各自、事前学習を行い、授業に参加することが求められる。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。
t-honda@jrckicn.ac.jp（本田） o-abe@jrckicn.ac.jp（阿部） y-kotegawa@jrckicn.ac.jp（小手川）

テキスト

特に指定しない

参考文献

杉森みどり・舟島なをみ（2024）．看護教育学（第8版）．医学書院．
佐々木幾美他 監訳（2021）．看護を教授すること 大学教員のためのガイド原著第6版（第2版）．医歯薬出版．
舟島なをみ（2018）．看護教育学研究 発見・創造・証明の過程（第3版）．医学書院．
舟島なをみ（2020）．看護学教育における授業展開（第2版）．医学書院．
舟島なをみ監修（2024）．看護実践・教育のための測定用具ファイル開発過程から活用の実際まで（第4版）．医学書院．
Benner,P., et al.（2010）/早野 ZITO 真佐子訳（2011）．ベナー ナースを育てる．医学書院．
基盤看護学特論Ⅰで配布した文献リストの他、適宜、紹介する。

評価方法

授業への参加度・ディスカッション（40％）、プレゼンテーション（60％）

基盤看護学特論Ⅱ

更新日：2024/10/15 15:50:19

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	840210	授業コード	
担当教員							
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義 分野：看護倫理学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 基盤看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

激動する社会を見据え、看護管理、看護教育、看護倫理の各分野において中核的役割を担うために必要となる概念、諸理論、方法論などについて検討し、各分野における専門性の発展のための方策を探究する。

到達目標

1	看護倫理学の研究領域・研究方法の特徴を説明できる
2	看護実践の場において倫理的感受性を高め、倫理的判断を下すために必要となる諸理論・方法論、倫理規範について学び、解決すべき課題について分析できる
3	先行研究の分析を通して、看護倫理学の発展のための新たな方策を探究できる

DPとの関連

DP1○

DP2◎

DP5○

授業計画

1	看護倫理の基本的考え方について議論する 【授業内容】看護倫理の基本書を精読し、専門用語について確認する 【授業方法】講義 【担当】柳井
2	日本の看護倫理学発展過程と今日的課題を議論する 【授業内容】トピックを取り上げ、原則的視点で検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
3	看護現場における他の専門職者との関係から生じる課題を議論する 【授業内容】看護の法的位置づけについて検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
4	患者の権利とアドボケイトについて議論する 【授業内容】患者の権利論を看護者として検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
5	看護専門職と倫理規範について議論する 【授業内容】倫理規範を精読し探求する 【授業方法】講義 【担当】柳井
6	看護実践現場で直面する法的問題について議論する 【授業内容】倫理的思考の基盤となる法の枠組みと手段について検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
7	関心ある看護倫理問題へのアプローチ法について議論する 【授業内容】問題解決に向かうためにとるべきアプローチの方策を検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
8	他国での研究動向について検討する（1） 【授業内容】海外での看護倫理に関する問題状況について文献探索を行う 【授業方法】講義 【担当】柳井
9	他国での研究動向について検討する（2） 【授業内容】文献検索で見つけた論文について検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井

10	看護倫理に関する研究論文の抄読とクリティーク（１） 【授業内容】研究課題の科学的根拠について検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
11	看護倫理に関する研究論文の抄読とクリティーク（２） 【授業内容】研究課題の科学的根拠について検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
12	看護倫理に関する研究論文の抄読とクリティーク（３） 【授業内容】研究課題の科学的根拠について検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
13	看護倫理に関する研究論文の抄読とクリティーク（４）（５） 【授業内容】研究課題の科学的根拠について検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
14	看護倫理に関する研究論文の抄読とクリティーク（６） 【授業内容】研究課題の科学的根拠について検討する 【授業方法】講義 【担当】柳井
15	研究課題への取組方法について議論する 【授業内容】研究課題の科学的根拠について検討し、研究計画に向けた準備を行う 【授業方法】講義 【担当】柳井

学習方法

授業は、教員による講義と受講者によるプレゼンテーション・ディスカッションにて進める。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。
k-yanai@jrckicn.ac.jp.（柳井）

テキスト

特に指定しない

参考文献

下記以外は、授業内で紹介します。

小西恵美子：看護倫理を考える言葉.東京,日本看護協会出版会,2018.

浅井篤，小西恵美子：倫理的に考える医療の論点.東京,日本看護協会出版会,2018.

Fry, S.T.: Ethics in Nursing Practice : A Guide to Ethical Decision Making, THIRD EDITION

2008, 片田範子・山本あい子訳：看護実践の倫理【第３版】倫理的意思決定のためのガイド．東京，日本看護協会出版会，2010．

宮脇美保子：看護実践のための倫理と責任．東京，中央法規，2014．

Chambliss, D. F. : Beyond Caring : Hospitals, Nurses, and the Social Organization of Ethics,

1996. 浅野祐子訳：ケアの向こう側 看護職が直面する道徳的・倫理的矛盾．東京，日本看護協会出版会，2002．

Thompson, J. E., Thompson, H. O: Bioethical Decision making for nurses, 1985, ケイコ・イマイ・キン・竹内博明監修・監訳：看護倫理のための意思決定 10 のステップ．東京，日本看護協会出版会，2004．

評価方法

授業への参画（プレゼンテーション・討議：40％）、課題レポート（60％）

演習（基盤看護学）

更新日：2025/03/21 16:47:17

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	840310	授業コード	
担当教員							
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：看護管理学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 基盤看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について説明できる
2	文献レビュー、論文クリティークを通して、研究の方向性を説明できる
3	研究計画書の構成および作成方法を説明できる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業方法】演習 【担当】
2	英文文献の検索方法 【授業内容】データベースと文献管理ツールについて 【授業方法】演習 【担当】図書館（多川、白倉）
3	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
4	文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
5	文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
6	文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（5） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】演習 【担当】
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（6） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】演習 【担当】
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（7） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】演習 【担当】

10	文献レビューおよびクリティーク・討議 (8) 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】演習 【担当】
11	文献レビューおよびクリティーク・討議 (9) 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】演習 【担当】
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (1) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (2) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (3) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (4) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】研究の仮テーマの確定 【授業方法】演習 【担当】
17	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (1) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】
18	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (2) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】
19	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (3) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】
20	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (4) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】
21	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (5) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (1) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 【授業方法】演習 【担当】
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (2) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 【授業方法】演習 【担当】
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (3) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 【授業方法】演習 【担当】
25	研究計画の中間報告 【授業内容】研究計画の中間報告 【授業方法】演習 【担当】
26	研究計画に関する修正・検討 (1) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】

27	研究計画に関する修正・検討 (2) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】
28	研究計画に関する修正・検討 (3) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】
29	研究計画に関する修正・検討 (4) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】
30	研究計画に関する修正・検討 (5) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習、フィードバック 【担当】

学習方法

全領域共通の講義・討議に加え、領域ごとにゼミナール形式で行います。各自が研究テーマを確定し、研究の方向性を導き出せるように進めてください。

オフィスアワー

テキスト

指定しない

参考文献

適宜、紹介する

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション (50%) 研究計画書 (50%)

演習（基盤看護学）

更新日：2025/03/21 16:47:54

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	840310	授業コード	
担当教員	本田 多美枝, 阿部 オリエ, 小手川 良江						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：看護教育学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 基盤看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について説明できる
2	文献レビュー、論文クリティークを通して、研究の方向性を説明できる
3	研究計画書の構成および作成方法を説明できる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
2	英文文献の検索方法 【授業内容】データベースと文献管理ツールについて 【授業方法】演習 【担当】図書館（多川、白倉）
3	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
4	文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
5	文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
6	文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（5） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（6） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（7） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川

10	文献レビューおよびクリティーク・討議 (8) 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
11	文献レビューおよびクリティーク・討議 (9) 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (1) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (2) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (3) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (4) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】研究の仮テーマの確定 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
17	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (1) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
18	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (2) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
19	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (3) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
20	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (4) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
21	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (5) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (1) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (2) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (3) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
25	研究計画の中間報告 【授業内容】研究計画の中間報告 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
26	研究計画に関する修正・検討 (1) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川

27	研究計画に関する修正・検討 (2) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
28	研究計画に関する修正・検討 (3) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
29	研究計画に関する修正・検討 (4) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
30	研究計画に関する修正・検討 (5) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習、計画書に対するフィードバック 【担当】本田、阿部、小手川

学習方法

ゼミナール形式で行います。各自が研究テーマを確定し、研究の方向性を導き出せるように進めてください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。

t-honda@jrckicn.ac.jp (本田) o-abe@jrckicn.ac.jp (阿部) y-kotegawa@jrckicn.ac.jp (小手川)

テキスト

指定しない

参考文献

適宜、紹介する

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション (50%) 研究計画書 (50%)

演習（基盤看護学）

更新日：2025/03/21 16:48:39

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	840310	授業コード	
担当教員							
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：看護倫理学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 基盤看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について説明できる
2	文献レビュー、論文クリティークを通して、研究の方向性を説明できる
3	研究計画書の構成および作成方法を説明できる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業方法】演習 【担当】
2	英文文献の検索方法 【授業内容】データベースと文献管理ツールについて 【授業方法】演習 【担当】図書館（多川、白倉）
3	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
4	文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
5	文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
6	文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（5） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】演習 【担当】
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（6） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】演習 【担当】
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（7） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】演習 【担当】

10	文献レビューおよびクリティーク・討議 (8) 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】演習 【担当】
11	文献レビューおよびクリティーク・討議 (9) 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 【授業方法】演習 【担当】
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (1) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (2) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (3) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (4) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 【授業方法】演習 【担当】
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】研究の仮テーマの確定 【授業方法】演習 【担当】
17	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (1) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】柳井
18	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (2) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】
19	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (3) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】
20	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (4) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】
21	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (5) 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク 【授業方法】演習 【担当】
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (1) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 【授業方法】演習 【担当】
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (2) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 【授業方法】演習 【担当】
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (3) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 【授業方法】演習 【担当】
25	研究計画の中間報告 【授業内容】研究計画の中間報告 【授業方法】演習 【担当】
26	研究計画に関する修正・検討 (1) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】

27	研究計画に関する修正・検討（2） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】
28	研究計画に関する修正・検討（3） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】
29	研究計画に関する修正・検討（4） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】
30	研究計画に関する修正・検討（5） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 【授業方法】演習 【担当】

学習方法

全領域共通の講義・討議に加え、領域ごとにゼミナール形式で行います。各自が研究テーマを確定し、研究の方向性を導き出せるように進めてください。

オフィスアワー

テキスト

指定しない

参考文献

適宜、紹介する

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション（50％） 研究計画書（50％）

特別研究（基盤看護学）

更新日：2024/10/15 15:50:56

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	840410	授業コード	
担当教員							
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：看護管理学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 基盤看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	研究課題の設定 本学修士論文審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、下記の修士論文作成過程を展開する。修士論文は、論文の審査基準（修士論文：特別研究のチェックリスト）を踏まえて作成する。 【授業内容】文献レビューおよびフィールド活動をととして研究課題を設定する。 【授業方法】演習
2	研究計画書作成 【授業内容】設定した研究課題について、リサーチクエスション、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】演習
3	本学研究倫理審査委員会への申請 【授業内容】本学研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】演習
4	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】演習
5	データの分析 【授業内容】データの分析 【授業方法】演習
6	論文作成 【授業内容】論文の執筆、抄録の作成 【授業方法】演習
7	論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備 【授業内容】論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備 【授業方法】演習
8	学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案 【授業内容】学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案 【授業方法】演習、フィードバック

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。大学院生は担当教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。さらに、総合研究指導体制を活用して、領域を超えた視点や論点から自分の研究を検討し、さらなる充実を目指して他領域の教員に助言や意見を求めることも積極的に行ってください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。
y-kuraoka@jrckicn.ac.jp（倉岡）

テキスト

指定しない

参考文献

適宜、紹介する

評価方法

修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。

特別研究（基盤看護学）

更新日：2025/03/03 15:14:39

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	840410	授業コード	
担当教員	本田 多美枝, 阿部 オリエ, 小手川 良江						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：看護教育学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 基盤看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	研究課題の設定 本学修士論文審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、下記の修士論文作成過程を展開する。修士論文は、論文の審査基準（修士論文：特別研究のチェックリスト）を踏まえて作成する。 【授業内容】文献レビューおよびフィールド活動をととして研究課題を設定する。 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
2	研究計画書作成 【授業内容】設定した研究課題について、リサーチエスチョン、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】演習、討論、フィードバック 【担当】本田、阿部、小手川
3	本研究倫理審査委員会への申請 【授業内容】本研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
4	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
5	データの分析 【授業内容】データの分析 【授業方法】演習、討論、フィードバック 【担当】本田、阿部、小手川
6	論文作成 【授業内容】論文の執筆、抄録の作成 【授業方法】演習、討論、フィードバック 【担当】本田、阿部、小手川
7	論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備 【授業内容】論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川
8	学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案 【授業内容】学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案 【授業方法】演習 【担当】本田、阿部、小手川

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。大学院生は担当教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。

t-honda@jrckicn.ac.jp（本田） o-abe@jrckicn.ac.jp（阿部） y-kotegawa@jrckicn.ac.jp（小手川）

テキスト

指定しない

参考文献

適宜、紹介する

評価方法

修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。

特別研究（基盤看護学）

更新日：2025/02/18 12:56:31

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	840410	授業コード	
担当教員							
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習 分野：看護倫理学						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 教育・研究者コース 基盤看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

各自の研究課題に対する研究計画を完成させ、計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を修士論文としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2○

DP3◎

DP4○

授業計画

1	研究課題の設定（第1講義～第5講義） 本学修士論文審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、下記の修士論文作成過程を展開する。修士論文は、論文の審査基準（修士論文：特別研究のチェックリスト）を踏まえて作成する 【授業内容】文献レビューおよびフィールド活動をととして研究課題を設定する 【授業方法】演習（討議） 【担当】
2	研究計画書作成（第6講義～第10講義） 【授業内容】設定した研究課題について、リサーチクエスション、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】
3	本学研究倫理審査委員会への申請（第11講義～第15講義） 【授業内容】本学研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う 【授業方法】演習（討議） 【担当】
4	研究計画に基づいたデータ収集（第16講義～第30講義） 【授業内容】研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う 【授業方法】演習（討議） 【担当】
5	データの分析（第31講義～第40講義） 【授業内容】データの分析を検討する 【授業方法】演習（討議） 【担当】
6	論文作成（第41講義～第50講義） 【授業内容】論文の執筆、抄録の作成について検討する 【授業方法】演習（討議） 【担当】
7	論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備（第51講義～第58講義） 【授業内容】論文審査・修士論文発表会におけるプレゼンテーションの準備を行う 【授業方法】演習（討議）、学生によるプレゼンテーション 【担当】
8	学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案（第59講義～第60講義） 【授業内容】学会発表・関連専門誌への投稿に向けての計画立案を行う 論文審査・修士論文発表会に対するフィードバックを行う 【授業方法】演習（討議） 【担当】

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。大学院生は担当教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。さらに、総合研究指導体制を活用して、領域を超えた視点や論点から自分の研究を検討し、さらなる充実を目指して他領域の教員に助言や意見を求めることも積極的に行ってください。

オフィスアワー

テキスト

指定しない

参考文献

適宜、紹介する

評価方法

修士論文作成過程、修士論文審査および最終試験に基づき評価する。

クリティカルケア看護学特論Ⅰ

更新日：2025/04/25 09:19:24

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	850110	授業コード	850110
担当教員	立野 淳子, 池松 裕子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース クリティカルケア看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

クリティカルケア領域で、ストレスフルな体験をする患者および家族の危機状況をアセスメントし、看護介入するための理論やモデルを理解する。

到達目標

1	理論に基づきクリティカルケアの対象となる患者や家族の心理社会的特徴を理解できる
2	理論に基づいたアセスメントをもとに、クリティカルケア領域における患者や家族に対する高度な看護実践を考究できる
3	クリティカルな状況にある患者とその家族の心理社会的状況を踏まえた地域連携を探究できる

DPとの関連

DP1○
DP2○
DP6（CNS）◎

授業計画

1	危機に関する概念と危機理論の成り立ち 【授業内容】 危機に関する概念と危機理論の成り立ち 【授業方法】 講義 【担当】 立野、池松
2	危機介入の目的と方法 【授業内容】 危機介入の目的と方法 【授業方法】 講義 【担当】 立野、池松
3	危機状況の患者・家族を理解するための理論やモデル① 【授業内容】 危機理論・危機モデル 【授業方法】 講義 【担当】 立野、池松
4	危機状況の患者・家族を理解するための理論やモデル② 【授業内容】 危機理論・危機モデル 【授業方法】 講義 【担当】 立野、池松
5	危機状況の患者・家族を理解するための理論やモデル③ 【授業内容】 ストレス・コーピング理論 【授業方法】 講義 【担当】 立野、池松
6	危機状況の患者・家族を理解するための理論やモデル④ 【授業内容】 ストレス・コーピング理論 【授業方法】 講義 【担当】 立野、池松
7	危機状況の患者・家族を理解するための理論やモデル⑤ 【授業内容】 家族発達理論、家族システム理論 【授業方法】 講義 【担当】 立野、池松
8	理論やモデルを用いたクリティカルな状況における患者および家族のアセスメント事例検討① 【授業内容】 理論やモデルを用いたクリティカルな状況における患者および家族のアセスメント事例検討 【授業方法】 講義 【担当】 立野、池松
9	理論やモデルを用いたクリティカルな状況における患者および家族のアセスメント事例検討② 【授業内容】 理論やモデルを用いたクリティカルな状況における患者および家族のアセスメント事例検討 【授業方法】 講義 【担当】 立野、池松
10	理論やモデルを用いたクリティカルな状況における患者および家族のアセスメント事例検討③ 【授業内容】 理論やモデルを用いたクリティカルな状況における患者および家族のアセスメント事例検討 【授業方法】 講義 【担当】 立野、池松

11	危機状況にある患者および家族看護に関する研究クリティーク① 【授業内容】危機状況にある患者および家族看護に関する研究クリティーク 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
12	危機状況にある患者および家族看護に関する研究クリティーク② 【授業内容】危機状況にある患者および家族看護に関する研究クリティーク 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
13	クリティカルケアにおける患者とその家族の心理社会的状況を踏まえた地域連携① 【授業内容】クリティカルケアにおける患者とその家族の心理社会的状況を踏まえた地域連携 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
14	クリティカルケアにおける患者とその家族の心理社会的状況を踏まえた地域連携② 【授業内容】クリティカルケアにおける患者とその家族の心理社会的状況を踏まえた地域連携 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー
15	クリティカルケアにおける患者とその家族の心理社会的状況を踏まえた地域連携③ 【授業内容】クリティカルケアにおける患者とその家族の心理社会的状況を踏まえた地域連携 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー

学習方法

高度な看護実践を提供するための知識を獲得するために、学生の臨床での経験を言語化し、それらを知識に基づいて分析した結果を討議する方法で進めていく

オフィスアワー

授業終了後もしくはメールによるアポイントに応じます。

担当教員へご連絡ください。

立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp

池松：y-ikematsu@jrckicn.ac.jp

テキスト

適宜紹介する

参考文献

- ・Donna C. Aguilera：Crisis Intervention theory and methodology（7th）. St.Louis Mosby.1993,小松源助他訳：危機介入の理論と実際―医療・看護・福祉のために―. 東京, 川島書店, 1997.
- ・林峻一郎編訳：ラザルス講演 ストレスとコーピング―ラザルス理論への招待. 東京, 星和書店, 1990.
- ・Editor:Karen K, Carlson, AACN Advanced Critical Care Nursing, SAUNDERS ELSEVIER

評価方法

授業・討議への参加度（50%）、学習への取り組み・学生プレゼンテーション（50%）

クリティカルケア看護学特論Ⅱ

更新日：2025/04/25 09:21:22

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	850210	授業コード	850210
担当教員	立野 淳子, 池松 裕子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース クリティカルケア看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

クリティカルケアを必要とする患者の生活行動や機能回復状況を把握し、高度な看護実践を導くための、主要系統別・状況別フィジカルアセスメントができる

到達目標

1	複雑かつ急激に変化する患者の状況をアセスメントする目的について理解できる。
2	クリティカルケアにおける主要系統別・状況別フィジカルアセスメントの内容及方法について理解できる。
3	事例を通して、患者の生活行動や機能回復状況を判断し、高度な看護実践を見出すことができる。

DPとの関連

DP6（CNS）◎

DP7（CNS）○

授業計画

1	クリティカルケアにおけるフィジカルアセスメントとは 【授業内容】クリティカルケアにおけるフィジカルアセスメントとは 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
2	脳神経系の基礎知識 【授業内容】構造/機能、障害、脳虚血、CBF/ CPP 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
3	脳神経系のフィジカルアセスメントの実際 【授業内容】意識状態、運動機能/反射、瞳孔の評価、バイタルサインの変化、髄膜刺激症状 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
4	呼吸器系の基礎知識 【授業内容】構造、呼吸調節、ガス交換、換気力学、血流均衡、肺内シャント 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
5	呼吸器系のフィジカルアセスメントの実際 【授業内容】呼吸音、モニタリング（血液ガス分析、EtCO 2、人工呼吸器グラフィックモニター） 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
6	循環器系の基礎知識 【授業内容】構造/機能、刺激伝導系の異常 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
7	循環器系のフィジカルアセスメントの実際 【授業内容】心音、モニタリング（心電図、動脈圧、フロートラック、中心静脈圧、肺動脈圧） 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
8	代謝系の基礎知識 【授業内容】糖・蛋白質・脂質・ビリルビン代謝、ビタミン貯蔵、ホルモン作用 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
9	代謝系のフィジカルアセスメントの実際、機能の評価、栄養状態の評価 【授業内容】代謝系のフィジカルアセスメントの実際、機能の評価、栄養状態の評価 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
10	外傷患者の基礎知識 【授業内容】診断と治療について、ショックの病態 【授業方法】講義 【担当】立野、池松

11	外傷患者のフィジカルアセスメントの実際 【授業内容】外傷患者のPrimary Survey 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
12	Common Disease のフィジカルアセスメント（発熱、頭痛、胸痛、腹痛）の実際 【授業内容】Common Disease のフィジカルアセスメント（発熱、頭痛、胸痛、腹痛）の実際 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
13	事例演習① 【授業内容】脳出血 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
14	事例演習② 【授業内容】ACS による心不全 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
15	事例演習③ 【授業内容】ARDS 【授業方法】講義 【担当】立野、池松

学習方法

高度な看護実践を提供するための知識を獲得するために、学生の臨床での経験を言語化し、それらを知識に基づいて分析した結果を討議する方法を進めていく

オフィスアワー

授業終了後もしくはメールによるアポイントに応じます。

担当教員へご連絡ください。

立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp

池松：y-ikematsu@jrckicn.ac.jp

テキスト

必要時、資料を配布する。

参考文献

Lippincott Williams & Wilkins.2013：福井次矢，井部俊子，山内豊明日本語版監修，ベイツ診察法 第2 版．東京，メディカル・サイエンス・インターナショナル，2015．

David L. Simel, Drummond Rennie：JAMA evidence The Rational Clinical Examination Evidence- Based Clinical Diagnosis. 2008：竹本毅訳：JAMA 版 論理的診察の技術 エビデンスに基づく診断のノウハウ．東京，日経BP社，2010．

評価方法

授業・討議への参加度（50％）、学習への取り組み・学生プレゼンテーション（50％）

クリティカルケア看護学特論III

更新日：2025/04/25 09:21:59

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	850310	授業コード	850310
担当教員	立野 淳子, 池松 裕子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース クリティカルケア看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

複雑かつ急激に変化するクリティカルな状況の患者の病態生理とそれに伴う管理を、生体侵襲理論を用いて理解し、緊急的な管理および集中的な管理に関する最新のエビデンスから、患者・家族を尊重した高度な看護を見出す

到達目標

1	クリティカルな状況にある患者の身体内部で起こる複雑かつ急激な変化を、生体侵襲理論を用いて説明することができる。
2	クリティカルな状況にある患者の生命維持に関する緊急処置や集中管理を、エビデンスに基づいて理解し、高度な看護実践を考究することができる。

DPとの関連

DP2○
DP6（CNS）◎
DP7（CNS）○

授業計画

1	生体侵襲理論① 【授業内容】生体侵襲概要、急性相反応の特徴、Moorの分類、SIRS/CARS 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
2	生体侵襲理論② 【授業内容】自律神経系・内分泌系・炎症性・代謝系反応 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
3	脳神経管理とクリティカルケア① 【授業内容】脳卒中における頭蓋内圧管理 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
4	脳神経管理とクリティカルケア② 【授業内容】看護ケアの実際 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
5	循環管理とクリティカルケア① 【授業内容】血圧管理、尿量、輸液の選択、輸血 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
6	循環管理とクリティカルケア② 【授業内容】補助循環、致死的不整脈の管理 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
7	循環管理とクリティカルケア③ 【授業内容】看護ケアの実際 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
8	呼吸管理とクリティカルケア① 【授業内容】換気・酸素化・酸塩基平衡の管理、酸素療法 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
9	呼吸管理とクリティカルケア② 【授業内容】気道管理、人工呼吸器管理、鎮静、ウイニング 【授業方法】講義 【担当】立野、池松
10	呼吸管理とクリティカルケア③ 【授業内容】看護ケアの実際 【授業方法】講義 【担当】立野、池松

11	栄養・代謝管理とクリティカルケア① 【授業内容】 栄養・代謝（糖、蛋白質）・電解質の管理 【授業方法】 講義 【担当】 立野、池松
12	栄養・代謝管理とクリティカルケア② 【授業内容】 目標体温管理 【授業方法】 講義 【担当】 立野、池松
13	栄養・代謝管理とクリティカルケア③ 【授業内容】 栄養管理（TPN, PPN, 経腸栄養）時のケア 【授業方法】 講義 【担当】 立野、池松
14	外傷管理とクリティカルケア① 【授業内容】 頭部/胸部/腹部/骨盤/脊椎/多発外傷の管理 【授業方法】 講義 【担当】 立野、池松
15	外傷管理とクリティカルケア② 【授業内容】 看護ケアの実際 【授業方法】 講義 【担当】 立野、池松

学習方法

クリティカルな状況にある患者の状態を生体侵襲という視点から理解し、身体の機能別にその管理と看護を深く追及する。一般的な解剖生理学の知識は必須となるため、事前に計画的に自己学習して講義にのぞむ。

オフィスアワー

授業終了後もしくはメールによるアポイントに応じます。
 担当教員へご連絡ください。
 立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp
 池松：y-ikematsu@jrckicn.ac.jp

テキスト

毎回の講義で提示する

参考文献

適宜紹介する

評価方法

授業への参加度（50%）、課題レポート（50%）

クリティカルケア看護学演習Ⅰ

更新日：2025/04/25 09:22:27

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	850410	授業コード	850410
担当教員	立野 淳子, 池松 裕子, 大山 祐介						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース クリティカルケア看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

クリティカルな状況にある患者の回復に向けた、ケアとキュアが融合した介入、および家族に対する援助的かかわりについての実践力を養う。

到達目標

1	クリティカルな状況にある患者の症状緩和をめざし、ケアとキュアを融合させた高度な看護の提供ができる。
2	エビデンスに基づいた日常生活援助方法について理解できる。
3	クリティカルな状況にある患者、家族に対し、援助関係論や家族看護論を基盤にした適切な心のケアが提供できる。

DPとの関連

DP2○
DP6（CNS）◎
DP7（CNS）○

授業計画

1	生体侵襲理論、身体的ストレス理論を踏まえた患者の特徴、ケアとキュアのあり方 本授業では、患者の症状回復、および患者と家族の心理的安寧のための援助方法の修得をめざす。 【授業内容】 【授業方法】 演習 【担当】 立野、池松
2	循環を安定させるためのケアとキュアの実際① 【授業内容】 循環を安定させるためのケアとキュアの実際 【授業方法】 演習 【担当】 立野、池松
3	循環を安定させるためのケアとキュアの実際① 【授業内容】 循環を安定させるためのケアとキュアの実際 【授業方法】 演習 【担当】 立野、池松
4	循環を安定させるためのケアとキュアの実際② 【授業内容】 循環を安定させるためのケアとキュアの実際 【授業方法】 演習 【担当】 立野、池松
5	循環を安定させるためのケアとキュアの実際② 【授業内容】 循環を安定させるためのケアとキュアの実際 【授業方法】 演習 【担当】 立野、池松
6	呼吸を整えるためのケアとキュアの実際① 【授業内容】 呼吸を整えるためのケアとキュアの実際 【授業方法】 演習 【担当】 立野、池松
7	呼吸を整えるためのケアとキュアの実際① 【授業内容】 呼吸を整えるためのケアとキュアの実際 【授業方法】 演習 【担当】 立野、池松
8	呼吸を整えるためのケアとキュアの実際② 【授業内容】 呼吸を整えるためのケアとキュアの実際 【授業方法】 演習 【担当】 立野、池松
9	呼吸を整えるためのケアとキュアの実際② 【授業内容】 呼吸を整えるためのケアとキュアの実際 【授業方法】 演習 【担当】 立野、池松
10	日常生活援助のエビデンス 【授業内容】 日常生活援助のエビデンス 【授業方法】 演習 【担当】 立野、池松

11	日常生活援助のエビデンス 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
12	日常生活援助のエビデンス 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
13	日常生活援助のエビデンス 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
14	日常生活援助のエビデンス 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
15	リラクゼーションをめざしたケア 【授業内容】リラクゼーションをめざしたケア 【授業方法】演習 【担当】長崎大学 大山 祐介
16	リラクゼーションをめざしたケア 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
17	リラクゼーションをめざしたケア 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
18	リラクゼーションをめざしたケア 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
19	リラクゼーションをめざしたケア 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
20	患者、家族の心のケア 【授業内容】家族看護論 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
21	心のケアの実際（患者事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
22	心のケアの実際（患者事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
23	心のケアの実際（患者事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
24	心のケアの実際（家族事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
25	心のケアの実際（家族事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
26	心のケアの実際（家族事例） 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
27	心のケアの実際：患者事例検討 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松

28	心のケアの実際：患者事例検討 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
29	心のケアの実際：家族事例検討 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
30	心のケアの実際：家族事例検討 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松

学習方法

本授業では、患者の症状回復に向けた援助方法 の修得をめざす。また1～9回目の演習は、専門科目の「クリティカルケア看護特論Ⅲ」を、20～30回目は、「クリティカルケア看護特論Ⅰ」の内容を十分に復習し、理解したうえで臨む必要がある。

オフィスアワー

授業終了後もしくはメールによるアポイントに応じます。

担当教員へご連絡ください。

立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp

池松：y-ikematsu@jrckicn.ac.jp

テキスト

毎回の講義で提示する

参考文献

山勢博彰：救急・重症患者と家族のための心のケア。大阪，メディカ出版，2010。

道又元裕：重症患者の全身管理。名古屋，日総研出版，2009。

評価方法

担当したプレゼンテーションの内容（70％）、授業への積極的参加度（30％）

クリティカルケア看護学演習Ⅱ

更新日：2025/04/25 09:23:04

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	850510	授業コード	850510
担当教員	立野 淳子, 池松 裕子, 小山 泰明						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース クリティカルケア看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

クリティカルな状況における個人の選択と意思決定などの倫理的諸問題に対応しうる知識を獲 得し、問題解決のための実践力を養う。

到達目標

1	倫理的諸問題を解決するための具体的方策、倫理的判断力を獲得できる。
2	倫理的問題に対する感受性を高めることができる。
3	倫理調整に必要な指導的役割、コンサルテーション技法、コーディネーション技法を獲得できる。

DPとの関連

DP1◎
DP5○
DP6（CNS）○

授業計画

1	クリティカルケアにおける倫理的諸問題に関する現状と看護師の役割 ※各テーマは、院生の知的関心、時事、趨勢を見極め変更することがある 【授業内容】クリティカルケアにおける倫理的諸問題に関する現状と看護師の役割 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
2	自己決定権（尊厳死、リビングウィル、延命治療）の諸相と倫理的問題 【授業内容】自己決定権（尊厳死、リビングウィル、延命治療）の諸相と倫理的問題 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
3	自己決定権 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
4	自己決定権 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
5	自己決定権 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
6	自己決定権 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
7	インフォームドコンセントの在り方をめぐる倫理的問題 【授業内容】インフォームドコンセントの在り方をめぐる倫理的問題 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
8	インフォームドコンセント 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
9	インフォームドコンセント 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
10	インフォームドコンセント 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松

11	インフォームドコンセント 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
12	脳死下臓器移植で生じる倫理的問題 【授業内容】脳死下臓器移植で生じる倫理的問題 【授業方法】演習 【担当】日立総合病院 小山泰明
13	脳死下臓器移植 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
14	脳死下臓器移植 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
15	脳死下臓器移植 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
16	脳死下臓器移植 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
17	自殺企図をめぐる個人的価値観と専門的価値観 【授業内容】自殺企図をめぐる個人的価値観と専門的価値観 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
18	自殺企図 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
19	自殺企図 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
20	自殺企図 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
21	自殺企図 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
22	全人的痛みと Comfort care 【授業内容】全人的痛みと Comfort care 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
23	全人的痛みと Comfort care 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
24	全人的痛みと Comfort care 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
25	全人的痛みと Comfort care 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
26	全人的痛みと Comfort care 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
27	クリティカルケアにおける終末期看護 【授業内容】クリティカルケアにおける終末期看護 【授業方法】演習 【担当】立野、池松

28	End of life care 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
29	End of life care 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
30	End of life care 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松

学習方法

授業は、倫理的諸問題に関する講義と討議で構成されている。討議の参加においては、講義資料を熟読するとともに、テーマに関連する資料を自主的に集め、自己の考えをまとめておく必要がある。

オフィスアワー

授業終了後もしくはメールによるアポイントに応じます。

担当教員へご連絡ください。

立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp

池松：y-ikematsu@jrckicn.ac.jp

テキスト

毎回の講義で提示する

参考文献

国際看護師協会：ICN 看護師の倫理綱領2012 年版。東京，日本看護協会，2012。

<http://www.nurse.or.jp/nursing/international/icn/document/ethics/pdf/icncodejapanese.pdf>.

アン J. デーヴィス監修：看護倫理 理論・実践・研究。東京，日本看護協会，2002。

日本看護協会：看護者の倫理綱領。東京，日本看護協会，2003。

<https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/rinri/pdf/rinri.pdf>.

Mayeroff, Milton: On caring.1971, 田村真, 向野宣之訳：ケアの本質-生きることの意味。東京，ゆみる出版，1987。

Gsupple 編集委員会：改訂2版 事例でまなぶケアの倫理。吹田，メディカ出版，2010。

評価方法

授業への積極的参加度（20％）、プレゼンテーション（40％）、倫理的諸問題における看護師の役割についてのレポート（40％）

クリティカルケア看護学演習Ⅲ

更新日：2025/04/25 09:23:28

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	850610	授業コード	850610
担当教員	立野 淳子, 池松 裕子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース クリティカルケア看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

全人的な苦痛を緩和・軽減するためのケア・処置に関する諸理論、原理、方法、効果判定などについての実践力を養う。

到達目標

1	各アセスメントツールの使用方法について学び、過大な侵襲を受けている患者を客観的に評価する手段を獲得することができる。
2	具体的な実践事例を通し、学んだアセスメントツールを用いたうえで、患者の病態を正しく判断し、適切な看護ケアを導き出すことができる。
3	スケールやアセスメントツールの開発の過程と、それらを用いた国内外の研究の動向を知ることができる。

DPとの関連

DP2◎
DP5○
DP6（CNS）○

授業計画

1	鎮静と睡眠の評価① 本科目は、クリティカルな状況にある患者の状態を客観的に評価するための方法について、国内外で用いられている高い信頼性を持つスケールを教授するとともに、具体的な実践事例を用いて検討することで、正しく患者の病態を判断し、適切な看護ケアを導き出せる専門職者の育成をめざす。 【授業内容】意識と脳、睡眠の基礎 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
2	鎮静と睡眠の評価② 【授業内容】せん妄の分類、診断基準、発症構造と起因子 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
3	鎮静と睡眠の評価③ 【授業内容】予防と発症後ケア 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
4	鎮静と睡眠の評価④ 【授業内容】日本語版 CAM-ICU、鎮静プロトコルの活用とケア 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
5	疼痛評価① 【授業内容】痛みの定義、分類と特徴 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
6	疼痛評価② 【授業内容】鎮痛薬の種類、効能のメカニズム 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
7	疼痛評価③ 【授業内容】疼痛アセスメント 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
8	疼痛評価④ 【授業内容】鎮痛ケアの実際とその効果の判定 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
9	睡眠ケアと鎮静管理モデル開発と研究の動向 【授業内容】睡眠ケアと鎮静管理モデル開発と研究の動向 【授業方法】演習 【担当】立野、池松

10	睡眠ケアと鎮静管理モデル開発と研究の動向 【授業内容】睡眠ケアと鎮静管理モデル開発と研究の動向 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
11	睡眠ケアと鎮静管理の実際 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
12	睡眠ケアと鎮静管理の実際 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
13	睡眠ケアと鎮静管理の実際 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
14	睡眠ケアと鎮静管理の実際 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
15	疼痛管理に関する研究の動向 【授業内容】疼痛管理に関する研究の動向 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
16	疼痛管理に関する研究の動向 【授業内容】疼痛管理に関する研究の動向 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
17	看護師による疼痛管理の実際 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
18	看護師による疼痛管理の実際 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
19	看護師による疼痛管理の実際 【授業内容】大学院生によるプレゼンテーション 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
20	重症度評価① 【授業内容】APACHEスコアを用いた評価の実際 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
21	重症度評価② 【授業内容】ISS、RTS、TRISS などを用いた評価の実際 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
22	重症度評価③ 【授業内容】重症度評価に関する研究の動向 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
23	院生による看護ケアの検討 【授業内容】事例1準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
24	院生による看護ケアの検討 【授業内容】事例1準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
25	院生による看護ケアの検討 【授業内容】事例1発表 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
26	院生による看護ケアの検討 【授業内容】事例1発表 【授業方法】演習 【担当】立野、池松

27	院生による看護ケアの検討 【授業内容】事例2準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
28	院生による看護ケアの検討 【授業内容】事例2準備 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
29	院生による看護ケアの検討 【授業内容】事例2発表 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
30	院生による看護ケアの検討 【授業内容】事例2発表 【授業方法】演習 【担当】立野、池松

学習方法

授業は、客観的評価方法としてのスケールやアセスメントツールに関する講義と討議で構成する。討議の準備として、各テーマに関連する資料を自主的に集め、自己の考えをまとめておく必要がある。

オフィスアワー

授業終了後もしくはメールによるアポイントに応じます。

担当教員へご連絡ください。

立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp

池松：y-ikematsu@jrckicn.ac.jp

テキスト

毎回の講義で提示する

参考文献

道又元裕：ICUディジーズ．東京，学研メディカル秀潤社，2013．

評価方法

担当したプレゼンテーションの内容（70％）、授業への積極的参加度（30％）

クリティカルケア看護学演習Ⅳ

更新日：2025/04/25 09:24:01

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	850710	授業コード	850710
担当教員	立野 淳子, 池松 裕子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース クリティカルケア看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

クリティカルケアのサブスペシャリティである救命・救急看護における専門性を理解したうえで高度な実践力を養う。

到達目標

1	救急患者の緊急度を把握するために必要となるフィジカルアセスメントを実践できる。
2	アセスメント結果を踏まえ、臨床推論のプロセスを効果的に用い、救急患者の緊急度を正確に把握することができる。
3	緊急時のケアとキューに関するスキルをみがき、急変対応能力を高めることができる。
4	救急患者、家族の心理状態をアセスメントし、必要となる看護ケアを導き出せる。

DPとの関連

DP5◎
DP6（CNS）○
DP7（CNS）○

授業計画

1	緊急度判定における基本概念の整理、患者の特徴、緊急度判定能力とは 本授業では、フィジカルイグザミネーションと フィジカルアセスメント、およびクリティカルシンキング能力の向上をめざし、症例シナリオを繰り返し実践することで、救急看護師に必要となる臨床推論の思考プロセスの修得をめざす。 【授業内容】緊急度判定における基本概念の整理、患者の特徴、緊急度判定能力とは 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
2	緊急度判定における臨床推論とは、その思考プロセス 【授業内容】緊急度判定における臨床推論とは、その思考プロセス 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
3	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】フィジカルアセスメントの実際① 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
4	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】フィジカルアセスメントの実際① 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
5	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】フィジカルアセスメントの実際② 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
6	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】フィジカルアセスメントの実際② 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
7	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】フィジカルアセスメントの実際③ 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
8	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】フィジカルアセスメントの実際③ 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
9	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】フィジカルアセスメントの実際④ 【授業方法】演習 【担当】立野、池松

10	症例シナリオを用いた臨床推論：フィジカルアセスメントの実際④ 【授業内容】フィジカルアセスメントの実際④ 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
11	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】フィジカルアセスメントの実際⑤ 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
12	症例シナリオを用いた臨床推論 【授業内容】フィジカルアセスメントの実際⑤ 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
13	日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の概要 【授業内容】日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の概要 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
14	日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の概要 【授業内容】日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の概要 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
15	日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業内容】日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
16	日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業内容】日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
17	日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業内容】日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
18	日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業内容】日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
19	日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業内容】日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
20	日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業内容】日本語版緊急度判定支援システム（JTAS）の実践 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
21	急変対応、緊急時のケア 【授業内容】来院時心肺停止への対応、救命処置 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
22	急変対応、緊急時のケア 【授業内容】呼吸を安楽にするためのケアとキューア 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
23	急変対応、緊急時のケア 【授業内容】循環を安定させるためのケアとキューア 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
24	急変対応、緊急時のケア 【授業内容】急性薬物中毒患者へのケアとキューア 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
25	急変対応、緊急時のケア 【授業内容】輸液・輸血管理、救急外来で使用する薬剤の効能のメカニズム 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
26	急変対応、緊急時のケア 【授業内容】輸液・輸血管理、救急外来で使用する薬剤の効能のメカニズム 【授業方法】演習 【担当】立野、池松

27	急変対応、緊急時のケア 【授業内容】輸液・輸血管理、救急外来で使用する薬剤の効能のメカニズム 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
28	急変対応、緊急時のケア 【授業内容】輸液・輸血管理、救急外来で使用する薬剤の効能のメカニズム 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
29	救命・救急における終末期看護 【授業内容】救命・救急における終末期看護 【授業方法】演習 【担当】立野、池松
30	救命・救急における終末期看護 【授業内容】救命・救急における終末期看護 【授業方法】演習 【担当】立野、池松

学習方法

共通科目の「フィジカルアセスメント特論」、「病態生理学特論」を十分に理解したうえで、演習に臨む必要がある。

オフィスアワー

授業終了後もしくはメールによるアポイントに応じます。

担当教員へご連絡ください。

立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp

池松：y-ikematsu@jrckicn.ac.jp

テキスト

毎回の講義で提示する

参考文献

山勢博彰：救命救急ディジーズ．東京，学研メディカル秀潤社，2015．

日本臨床救急医学会：緊急度判定支援システム．東京，へるす出版，2010．

日本臨床救急医学会：緊急度判定支援システムプロバイダーマニュアル．東京，へるす出版，2011．

評価方法

授業への積極的参加度（30％）、

救命・救急における終末期看護に関するレポート（70％）

クリティカルケア看護学実習Ⅰ

更新日：2025/04/25 09:24:39

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	850810	授業コード	850810
担当教員	立野 淳子, 池松 裕子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース クリティカルケア看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	5	
	備考(配当)						

授業の目的

集中ケアを必要とする患者とその家族に対する高度で専門的な看護実践能力を獲得するとともに、専門看護師の役割である実践、相談、調整、倫理調整、および教育のための基礎的能力を養う

到達目標

1	看護過程を論理的に展開し、適切な臨床判断のもと看護ケアを提供することができる。1）患者の身体的・心理的・社会的状態について、専門的なアセスメントができる。
2	看護過程を論理的に展開し、適切な臨床判断のもと看護ケアを提供することができる。2）患者の身体的問題を効果的に解決し、苦痛緩和を図ることができる。
3	看護過程を論理的に展開し、適切な臨床判断のもと看護ケアを提供することができる。3）患者の心理・社会的問題に対し、効果的に看護介入することができる。
4	患者家族への心理的な援助を、理論を適用して実践できる。
5	看護師の学習課題を把握し、教育計画を立案して指導することができる。
6	看護師からの患者ケアに対する相談に対し、コンサルテーションを実施できる。
7	チーム医療におけるコーディネーターとしての役割を認識し、実践できる。
8	ポスト・クリティカル期または急性期リハビリテーションケアを受ける患者とその家族の健康問題に対し、効果的に看護介入することができる。
9	自己の看護を評価し、今後の課題も含めて考察できる。

DPとの関連

DP5○
DP6（CNS）◎
DP7（CNS）○

授業計画

1	急性疾患により生命の危機状態にある患者や、大手術後の患者などを受け持ち、看護実践をおこなう 【授業内容】急性疾患により生命の危機状態にある患者や、大手術後の患者などを受け持ち、看護実践をおこなう 【授業方法】実習 【担当】立野、池松 【実習場所】福岡赤十字病院ICUなど 授業計画1ー5は、合計4-5週間程度の期間で行う。実施方法の詳細は、実習要綱を参照すること
2	可能な限りポスト・クリティカル期または急性期リハビリテーションケアを受ける患者への看護実践も経験する 【授業内容】可能な限りポスト・クリティカル期または急性期リハビリテーションケアを受ける患者への看護実践も経験する 【授業方法】実習 【担当】立野、池松 【実習場所】福岡赤十字病院ICUなど
3	受け持ち患者に対する看護計画をカンファレンスで発表し、指導看護師の助言を受け、より適切な看護ケアを提供する 【授業内容】受け持ち患者に対する看護計画をカンファレンスで発表し、指導看護師の助言を受け、より適切な看護ケアを提供する 【授業方法】実習 【担当】立野、池松 【実習場所】福岡赤十字病院ICUなど
4	到達目標の達成に向け、コンサルテーションや倫理調整を専門看護師のスーパーバイズを受けながら活動する 【授業内容】到達目標の達成に向け、コンサルテーションや倫理調整を専門看護師のスーパーバイズを受けながら活動する 【授業方法】実習 【担当】立野、池松 【実習場所】福岡赤十字病院ICUなど
5	自己の実践内容を評価し、文献的知見も含めて考察する 【授業内容】自己の実践内容を評価し、文献的知見も含めて考察する 【授業方法】実習 【担当】立野、池松 【実習場所】福岡赤十字病院ICUなど

学習方法

クリティカルケア看護特論Ⅰ～Ⅲ、クリティカルケア看護演習Ⅰ～Ⅳ、および共通科目での学びを十分に復習したうえで、実習に臨む必要がある。また実習終了後は、受け持った全ケースの看護展開を再検討し、実習終了後の発表会において成果を報告できるよう準備する。
担当教員によるスーパーバイズを週に1回以上受けながら実習を展開していく。その他、注意事項などは実習要項を参照すること

オフィスアワー

授業終了後もしくはメールによるアポイントに応じます。
担当教員へご連絡ください。
立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp
池松：y-ikematsu@jrckicn.ac.jp

テキスト

クリティカルケア看護特論Ⅰ～Ⅲ、クリティカルケア看護演習Ⅰ～Ⅳ、および共通科目で配布された資料

参考文献

クリティカルケア看護特論Ⅰ～Ⅲ、クリティカルケア看護演習Ⅰ～Ⅳ、および共通科目で紹介された資料

評価方法

看護実践内容（25%）、実習記録（25%）、
実習中のカンファレンスや実習後の発表会でのプレゼンテーション内容（50%）

クリティカルケア看護学実習Ⅱ

更新日：2025/04/25 09:25:03

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	850910	授業コード	850910
担当教員	立野 淳子, 池松 裕子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース クリティカルケア看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	5	
	備考(配当)						

授業の目的

救急患者とその家族に対する高度で専門的な看護実践能力を獲得するとともに、専門看護師の役割である実践、相談、調整、倫理調整、および教育のための基礎的能力を養う

到達目標

1	救急患者の状態を専門的に判断し、適切な臨床推論のもと看護ケアを提供することができる。1) 救急患者の緊急度・重症度を判断できる。
2	救急患者の状態を専門的に判断し、適切な臨床推論のもと看護ケアを提供することができる。2) 救急患者の身体的問題に対する苦痛緩和を図ることができる。
3	救急患者の状態を専門的に判断し、適切な臨床推論のもと看護ケアを提供することができる。3) 救急患者や家族の心理・社会的問題に対し、効果的に看護介入することができる。
4	救急患者や家族の尊厳を守り、倫理的な問題に対応できる
5	看護師の学習上のニーズを分析し、教育計画を立案して指導することができる。
6	看護師からの患者ケアに対する相談に対し、コンサルテーションを実施できる。
7	チーム医療におけるコーディネーターとしての役割を認識し、実践できる。
8	自己の看護を評価し、今後の課題を明らかにできる。

DPとの関連

DP1○
DP6（CNS）◎
DP7（CNS）○

授業計画

1	救命救急センターに搬送され、呼吸・循環・代謝管理が必要な患者を受け持ち、看護ケアを提供する 【授業内容】 【授業方法】実習 【担当】立野、池松 【実習場所】福岡赤十字病院ICUなど ＊授業計画1－5は、合計4-5週間程度の期間で行う。実施方法の詳細は、実習要綱を参照すること
2	救命救急センターでは、可能な限りポスト・クリティカル期または急性期リハビリテーションケアを受ける患者への看護実践も経験する 【授業内容】 【授業方法】実習 【担当】立野、池松 【実習場所】福岡赤十字病院ICUなど
3	救急外来での院内トリアージを行う 【授業内容】 【授業方法】実習 【担当】立野、池松 【実習場所】福岡赤十字病院ICUなど
4	受け持ち患者に対する看護計画をカンファレンスで発表し、指導看護師の助言を受け、より適切な看護ケアを提供する 【授業内容】 【授業方法】実習 【担当】立野、池松 【実習場所】福岡赤十字病院ICUなど
5	到達目標の達成に向け、専門看護師のスーパーバイズを受けながらコンサルテーションや倫理調整を行う 【授業内容】 【授業方法】実習 【担当】立野、池松 【実習場所】福岡赤十字病院ICUなど
6	自己の実践内容を評価し、文献的知見も含めて考察する 【授業内容】 【授業方法】実習 【担当】立野、池松 【実習場所】福岡赤十字病院ICUなど

学習方法

クリティカルケア看護特論Ⅰ～Ⅲ、クリティカルケア看護演習Ⅰ～Ⅳ、および共通科目での学びを十分に復習したうえで、実習に臨む必要がある。また実習終了後は、受け持った全ケースの看護展開を再検討し、実習終了後の発表会において成果を報告できるよう準備する。
担当教員によるスーパーバイズを週に1回以上受けながら実習を展開していく。その他、注意事項などは実習要項を参照すること。

オフィスアワー

授業終了後もしくはメールによるアポイントに応じます。
担当教員へご連絡ください。
立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp
池松：y-ikematsu@jrckicn.ac.jp

テキスト

クリティカルケア看護特論Ⅰ～Ⅲ、クリティカルケア看護演習Ⅰ～Ⅳ、および共通科目で配布された資料

参考文献

クリティカルケア看護特論Ⅰ～Ⅲ、クリティカルケア看護演習Ⅰ～Ⅳ、および共通科目で紹介された資料

評価方法

看護実践内容（25％）、実習記録（25％）、
実習中のカンファレンスや実習後の発表会でのプレゼンテーション内容（50％）

在宅看護学特論Ⅰ

更新日：2025/03/05 15:08:58

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	860100	授業コード	86010
担当教員	西村 和美, 鎌田 ゆき						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 在宅看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

多職種連携とチームアプローチを基盤としたケアマネジメント能力を修得し、在宅移行可能性を推進するための退院支援・調整を検討し、在宅移行後の支援調整を学ぶ。また、保健医療福祉の諸制度および社会資源について理解し、関係機関・職種とのネットワークの構築と地域包括ケアシステム実現のための戦略を探究する。

到達目標

1	我が国の保健医療福祉制度を理解し、諸外国の制度と比較しながら訪問看護制度の現状と課題を述べることができる。
2	在宅看護の利用者・家族および退院希望者の包括的ケアマネジメントが展開でき、個々のニーズ充足を推進し、これからのケアマネジメントのあり方について考察することができる。
3	利用者のためのネットワークを構築し、新たなサポートシステムの開発を推進することができる。
4	地域包括ケアシステムを理解し、システム構築に向けた方策について提言ができる。

DPとの関連

DP5 ◎
DP6 (CNS) ○
DP7 (CNS) ○

授業計画

1	我が国における在宅療養者とその家族を取り巻く現状と課題 【授業内容】我が国における在宅療養者とその家族を取り巻く現状と課題について学ぶ。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村
2	我が国における社会保障制度の動向 【授業内容】我が国における社会保障制度の動向について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】西村
3	医療保険制度の概要と課題 【授業内容】我が国の医療保険制度の概要と課題について学ぶ。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村
4	介護保険制度の概要と変遷 【授業内容】介護保険制度の趣旨と概要、介護保険財政、介護保険制度創設からの推移、介護サービス利用のしくみ、ネットワーク構築、地域包括支援センターと地域包括ケアシステムについて学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】西村
5	障害者総合支援法の概要と変遷 【授業内容】障害者総合支援法の趣旨と概要、障害者自立支援制度からの推移、福祉サービス利用のしくみについて学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】西村、ゲストスピーカー
6	難病者に対する支援制度の概要と変遷 【授業内容】難病対策の推移と難病法の成立、指定難病と医療費助成、児童福祉法改正と小児慢性特定疾病の医療費助成、障害者総合支援法について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】西村
7	地域におけるネットワーキングとケアマネジメント（1） 【授業内容】在宅療養者と家族の生活を支えるためのネットワーキング、ケアマネジメントの理論について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】西村
8	地域におけるネットワーキングとケアマネジメント（2） 【授業内容】ケアマネジメント事例を分析し、個別事例検討から地域包括ケアシステム構築に視点を広げ、インテグレイトケアを学ぶ。 【授業方法】講義、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】西村

9	チームアプローチ理論と多職種連携・協働 【授業内容】チームアプローチ理論、多職種連携・協働を学び、最新の動向や我が国における課題を整理する。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村、鎌田
10	ケアマネジメントの展開 【授業内容】ケアマネジメントの理論を学び、在宅療養の様々な過程におけるケアマネジメント事例を展開する。展開事例は、退院支援・調整におけるケアマネジメントとする。これらの学びを通して、在宅移行可能性の推進について討議する。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村、鎌田
11	ケアマネジメントの展開 【授業内容】ケアマネジメントの理論を学び、在宅療養の様々な過程におけるケアマネジメント事例を展開する。展開事例は、退院支援・調整におけるケアマネジメントとする。これらの学びを通して、在宅移行可能性の推進について討議する。 【授業方法】講義、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】西村、鎌田
12	ケアマネジメントの展開 【授業内容】ケアマネジメントの理論を学び、在宅療養の様々な過程におけるケアマネジメント事例を展開する。展開事例は、在宅療養安定期におけるケアマネジメント（介護保険制度・障害者総合支援法におけるケアマネジメント）とする。これらの学びを通して、在宅移行可能性の推進について討議する。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村、鎌田
13	ケアマネジメントの展開 【授業内容】ケアマネジメントの理論を学び、在宅療養の様々な過程におけるケアマネジメント事例を展開する。展開事例は、在宅療養安定期におけるケアマネジメント（介護保険制度・障害者総合支援法におけるケアマネジメント）とする。これらの学びを通して、在宅移行可能性の推進について討議する。 【授業方法】講義、討議、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】西村、鎌田
14	ケアマネジメントの展開 【授業内容】ケアマネジメントの理論を学び、在宅療養の様々な過程におけるケアマネジメント事例を展開する。展開事例は、退院支援・調整におけるケアマネジメント、在宅療養安定期におけるケアマネジメント（介護保険制度・障害者総合支援法におけるケアマネジメント）とする。これらの学びを通して、在宅移行可能性の推進について討議する。 【授業方法】講義、討議、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】西村、鎌田
15	ケアマネジメントの展開、課題に対するフィードバック 【授業内容】ケアマネジメントの理論を学び、在宅療養の様々な過程におけるケアマネジメント事例を展開する。展開事例は、退院支援・調整におけるケアマネジメント、在宅療養安定期におけるケアマネジメント（介護保険制度・障害者総合支援法におけるケアマネジメント）とする。これらの学びを通して、在宅移行可能性の推進について討議する。 【授業方法】講義、討議、フィードバック 【担当】西村

学習方法

主体的に学習に取り組めるようテーマに関する大学院生のプレゼンテーションと討議を基本とする。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・ 星旦二，麻原きよみ：これからの保健医療福祉行政論 第3版．東京，日本看護協会出版会，2022．
- ・ 棕野美智子，田中耕太郎：はじめての社会保障―福祉を学ぶ人へ 第18版．東京，有斐閣，2021．
- ・ 平林勝政，小西知世，和泉澤千絵，看護をめぐる法と制度第2版（健康支援と社会保障）．大阪，メディカ出版，2021．
- ・ 島崎謙治：日本の医療―制度と政策．東京，東京大学出版会，2020．
- ・ 日本看護協会編：令和4年版看護白書．東京，日本看護協会出版会，2022．
- ・ 白澤政和：ケアマネジメント論～わかりやすい基礎理論と幅広い事例から学ぶ～．東京，ミネルヴァ書房，2018．
- ・ 増田雅暢：逐条解説 介護保険法．東京，法研，2016．
- ・ 社会福祉士養成講座編集委員会：新・社会福祉士養成講座〈13〉高齢者に対する支援と介護保険制度 第6版，東京，中央法規，2019．
- ・ 障害者福祉研究会編：逐条解説 障害者総合支援法．東京，中央法規，2019
- ・ 社会福祉士養成講座編集委員会：新・社会福祉士養成講座〈14〉障害者に対する支援と障害者自立支援制度 第6版，東京，中央法規，2019．
- ・ 野中猛，野中ケアマネジメント研究会：多職種連携の技術（アート）―地域生活支援のための理論と実践―．東京，中央法規，2014．
- ・ 野中猛：図説 ケアマネジメント．東京，中央法規，1997．
- ・ 筒井孝子：地域包括ケアシステム構築のためのマネジメント戦略―integrated care の理論とその応用―．東京，中央法規出版，2014．
- ・ 二木立：地域包括ケアと地域医療連携．東京，勁草書房，2015．
- ・ 宮本恭子：越境する介護政策～とドイツの介護保障システムの検証～．日本評論社，2021．
- ・ 宮崎徳子，豊島泰子，立石宏昭：地域包括ケアのすすめ～これからの保健・医療・福祉～（実践のすすめ），2016．
- ・ 東京大学高齢社会総合研究機構：地域包括ケアのすすめ：在宅医療推進のための多職種連携の試み．東京，東京大学出版会，2014．
- ・ 細田満和子：「チーム医療」とは何か―医療とケアに生かす社会学からのアプローチ．東京，日本看護協会出版会，2012．
- ・ エイミー・C・エドモンドソン：チームが機能するとはどういうことか―「学習力」と「実行力」を高める実践アプローチ―．東京，英治出版，2014．
- ・ 篠田道子：多職種連携を高める チームマネジメントの知識とスキル．東京，医学書院，2011．

- ・ 長江弘子編：生活と医療を統合する継続看護マネジメント．東京，医歯薬出版社，2018．
- ・ 宇都宮宏子，三輪恭子編：これからの退院支援・退院調整—ジェネラリストナースがつなぐ外来・病棟・地域—．東京，日本看護協会出版会，2011．
- ・ 宇都宮宏子，山田雅子編：看護がつながる在宅療養移行支援—病院・在宅の患者像別看護ケアのマネジメント．東京，日本看護協会出版会，2014．
- ・ 宇都宮宏子監修：退院支援ガイドブック：「これまでの暮らし」「そしてこれから」をみすえてかかわる．東京，学研メディカル秀潤社，2015．

評価方法

授業・討議への参加度（50％）、学習への取り組み・プレゼンテーション（50％）

在宅看護学特論Ⅱ

更新日：2025/03/05 15:10:08

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	860200	授業コード	86020
担当教員	西村 和美, 鎌田 ゆき						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 在宅看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

在宅療養者の健康と生活に活用できる理論やモデルを応用して、家族アセスメント、セルフケアアセスメント、生活環境アセスメントを行う能力を修得する。

到達目標

1	在宅看護の利用者・家族の安全で安心した療養生活を支援するために、高度で専門的な身体・心理・社会的な診断能力を持つことができる。
2	在宅看護に関連する専門知識・理論を活用し、家族アセスメントと家族支援について考察することができる。
3	在宅看護に関連する専門知識・理論を活用し、包括的アセスメントについて検討することができる。

DPとの関連

DP2 ◎
DP6 (CNS) ○
DP7 (CNS) ○

授業計画

1	ICF モデルに基づいた在宅療養生活の支援 【授業内容】 ICF の理念と ICF モデルについて学ぶ。 【授業方法】 講義、討議 【担当】 西村
2	在宅看護におけるフィジカルアセスメント 【授業内容】 在宅療養者のフィジカルアセスメントの知識、技術について学ぶ。 【授業方法】 講義、討議 【担当】 西村
3	在宅看護における症状・徴候のアセスメント 【授業内容】 在宅療養者の異常の早期発見等のためのアセスメント技術の方法を学ぶ。 【授業方法】 講義、討議 【担当】 西村
4	自立を支援する理論と方法（1） 【授業内容】 在宅療養者のセルフケアおよびセルフマネジメント理論を学ぶ。 【授業方法】 講義、討議 【担当】 西村
5	自立を支援する理論と方法（2） 【授業内容】 在宅療養者とその家族のセルフケアアセスメントの知識と技術について学ぶ。 【授業方法】 講義、討議 【担当】 西村
6	在宅看護における生活環境のアセスメント（1） 【授業内容】 在宅療養者の安全で安心な療養生活のための環境アセスメントについて学ぶ。 【授業方法】 講義、討議 【担当】 西村
7	在宅看護における生活環境のアセスメント（2） 【授業内容】 ICF モデルに基づき、在宅療養者の生活行動・社会参加にかかわる生活環境のアセスメントについて学ぶ。 【授業方法】 講義、討議 【担当】 西村
8	家族アセスメントと家族支援（1） 【授業内容】 家族アセスメントに必要な理論を学ぶ。家族発達理論、家族システム理論、家族ストレス対処理論（ジェットコースターモデル、二重 ABC-X モデル）。 【授業方法】 講義、討議 【担当】 西村
9	家族アセスメントと家族支援（2） 【授業内容】 渡辺式家族アセスメントモデルを学ぶ。 【授業方法】 講義、討議 【担当】 西村
10	家族アセスメントと家族支援（3） 【授業内容】 在宅療養者とその家族の事例について、渡辺式家族アセスメントモデルを用いて、家族アセスメントを展開し支援策を検討する。 【授業方法】 講義、討議 【担当】 西村

11	家族アセスメントと家族支援（４） 【授業内容】在宅療養者とその家族の事例について、渡辺式家族アセスメントモデルを用いて、家族アセスメントを展開し支援策を検討する。 【授業方法】講義、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】西村
12	在宅看護における包括的アセスメントの特性（１） 【授業内容】在宅看護における包括的アセスメントの特性について学ぶ。 在宅療養者とその家族の事例について、包括的アセスメント（ICF モデル、フィジカルアセスメント、症状・徴候アセスメント、セルフケアアセスメント、生活環境アセスメント、家族アセスメント）を行う。さらに、在宅看護における包括的アセスメントについて検討する。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村、鎌田
13	在宅看護における包括的アセスメントの特性（２） 【授業内容】在宅療養者とその家族の事例について、包括的アセスメント（ICF モデル、フィジカルアセスメント、症状・徴候アセスメント、セルフケアアセスメント、生活環境アセスメント、家族アセスメント）を行う。さらに、在宅看護における包括的アセスメントについて検討する。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村、鎌田
14	在宅看護における包括的アセスメントの特性（３） 【授業内容】在宅療養者とその家族の事例について、包括的アセスメント（ICF モデル、フィジカルアセスメント、症状・徴候アセスメント、セルフケアアセスメント、生活環境アセスメント、家族アセスメント）を行う。さらに、在宅看護における包括的アセスメントについて検討する。 【授業方法】講義、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】西村、鎌田
15	在宅看護における包括的アセスメントの特性（４）、課題に対するフィードバック 【授業内容】在宅療養者とその家族の事例について、包括的アセスメント（ICF モデル、フィジカルアセスメント、症状・徴候アセスメント、セルフケアアセスメント、生活環境アセスメント、家族アセスメント）を行う。さらに、在宅看護における包括的アセスメントについて検討する。 【授業方法】講義、討議、フィードバック 【担当】西村

学習方法

主体的に学習に取り組めるテーマに関する大学院生のプレゼンテーションと討議を基本とする。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・ 障害者福祉研究会編：ICF 国際生活機能分類-国際障害分類改定版，東京，中央法規出版， 2008．
- ・ 上田敏：ICF（国際生活機能分類）の理解と活用：人が「生きること」「生きることの困難（障害）」をどうとらえるか．東京，きょうされん，2005．
- ・ 山内豊明：訪問看護アセスメントハンドブック．東京，中央法規，2020．
- ・ 山内豊明：フィジカルアセスメント ガイドブック―目と手と耳でここまでわかる．東京， 医学書院，2011．
- ・ 山内豊明：生命・生活の両面から捉える訪問看護アセスメント・プロトコル 改訂版．中央法規出版，2015．
- ・ 日本訪問看護財団：訪問看護のフィジカルアセスメントと急変対応．東京，中央法規出版， 2016．
- ・ 阿部勉編：生活期リハ・訪問リハで役立つフィジカルアセスメント リスク管理ハンドブック．名古屋，gene，2014．
- ・ 酒見英太監修：ジェネラリストのための内科診断リファレンス：エビデンスに基づく究極の診断学をめざして．東京，医学書院，2014．
- ・ 上田剛士：高齢者診療で身体診察を強力な武器にするためのエビデンス第2版．東京，シーニュ， 2020．
- ・ 澤口裕二：アウェアネス介助論―気づくことから始める介助論【上巻】解剖学・生理学と基礎的理解．東京，シーニュ，2014．
- ・ 澤口裕二：アウェアネス介助論―気づくことから始める介助論【下巻】接触と動きと介助の実際．東京，シーニュ，2014．
- ・ 藤島一郎、谷口洋：脳卒中の摂食・嚥下障害 第3版．東京，医歯薬出版，2017．
- ・ 小山珠美：口から食べる幸せをサポートする包括的スキル～KTバランスチャートの活用と支援～第2版．東京，医学書院，2017．
- ・ Friedman, M.M. : FAMILY NURSING Theory and Assessment . 1986, 野嶋佐由美訳：家族看護学：理論とアセスメント，東京，へるす出版， 1993．
- ・ 鈴木和子，渡辺裕子，佐藤律子：家族看護学 理論と実践 第5版．東京，日本看護協会出版会， 2019
- ・ 中野綾美，瓜生浩子：家族看護学～家族のエンパワメントを支えるケア～．大阪，メディカ出版，2020．
- ・ 森山美知子編：ファミリーナースングプラクティス：家族看護の理論と実践．東京，医学 書院，2001
- ・ L.M. ライト他，小林奈美監訳：病の苦悩を和らげる家族システム看護．東京，日本看護協会出版会，2011．
- ・ ロザリнда・アルファロー・ルフィーヴァ著，本郷久美子監訳：基本から学ぶ看護過程と看護診断 第7版，東京，医学書院，2012．
- ・ リンダ J. カルベニート，新道幸恵監訳：看護診断ハンドブック 第11版，東京，医学書院， 2018．
- ・ Christine A Tanner: Clinical Judgment and Evidence-Based Practice: Toward and Pedagogies of Integration. Journal of Nursing Education, 47 (8) : 335-336, 2008.

評価方法

授業・討議への参加度（50%）、学習への取り組み・プレゼンテーション（50%）

在宅看護学特論Ⅲ

更新日：2025/03/05 15:11:11

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	860300	授業コード	86030
担当教員	西村 和美, 鎌田 ゆき						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 在宅看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

療養上複雑で多様な課題を持つ療養者やケア提供者に対して倫理的判断・臨床的判断を総合して、問題解決方法を提案し、実施できる。

到達目標

1	在宅ケアにおける療養者・家族への倫理的判断・臨床的判断に関する基本的な概念や理論について説明できる。
2	在宅ケアにおける療養者・家族への倫理的判断・臨床的判断に必要な能力や技術を修得することができる。
3	在宅ケアで直面する可能性の高い倫理的課題について具体的な問題解決方法を考察することができる。
4	療養上複雑で多様な課題を持つ療養者・家族およびケア提供者について倫理的判断・臨床的判断を統合して、問題解決方法を提案することができる。

DPとの関連

DP1 ◎
DP6 (CNS) ○
DP7 (CNS) ○

授業計画

1	看護倫理の基礎知識 【授業内容】臨床における倫理的判断を検討するために必要な基本的な概念である倫理原則、徳の倫理、ケアリング、アドボカシーの諸理論と、文化的価値観や専門職としての倫理的責任について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】西村
2	在宅ケアで直面する倫理的問題 【授業内容】在宅ケアで直面するインフォームドコンセントや意思決定、倫理的・臨床的判断が必要な場面での現状、最新の動向や研究について討論する。 【授業方法】講義、討議 【担当】鎌田
3	在宅ケアにおける意思決定支援 【授業内容】療養者とその家族の意思決定の様相を理解し、意思決定支援に必要なコミュニケーションスキルやツールを学び、具体的な支援について討論する。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村
4	在宅看護過程の展開（1） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ認知症の事例について、生活ニーズを抽出し、倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し在宅看護過程を展開する。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村
5	在宅看護過程の展開（1） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ認知症の事例について、生活ニーズを抽出し、倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し在宅看護過程を展開する。 【授業方法】講義、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】西村
6	在宅看護過程の展開（2） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ難病の事例について、生活ニーズを抽出し、倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し在宅看護過程を展開する。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村
7	在宅看護過程の展開（2） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ難病の事例について、生活ニーズを抽出し、倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し在宅看護過程を展開する。 【授業方法】講義、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】西村
8	在宅看護過程の展開（3） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ小児の事例について、生活ニーズを抽出し、倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し在宅看護過程を展開する。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村

9	在宅看護過程の展開（３） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ小児の事例について、生活ニーズを抽出し、倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し在宅看護過程を展開する。 【授業方法】講義、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】西村
10	在宅看護過程の展開（４） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ終末期の事例について、生活ニーズを抽出し、倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し在宅看護過程を展開する。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村
11	在宅看護過程の展開（４） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ終末期の事例について、生活ニーズを抽出し、倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し在宅看護過程を展開する。 【授業方法】講義、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】西村
12	在宅看護過程の展開（５） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ虐待事例への倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し具体的な支援を考える。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村
13	在宅看護過程の展開（５） 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持つ虐待事例への倫理的・臨床的判断と問題解決方法を検討し具体的な支援を考える。 【授業方法】講義、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】西村
14	在宅看護過程の展開：事例検討 【授業内容】学生がこれまで経験した療養上複雑で多様な課題を持つ事例への支援をリフレクションする。そして本授業での学びを踏まえ、詳細な分析を行い、問題解決方法を検討する。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村
15	在宅看護過程の展開：事例検討、課題に対するフィードバック 【授業内容】学生がこれまで経験した療養上複雑で多様な課題を持つ事例への支援をリフレクションする。そして本授業での学びを踏まえ、詳細な分析を行い、問題解決方法を検討する。 【授業方法】講義、討議、フィードバック 【担当】西村

学習方法

主体的に学習に取り組めるようテーマに関する大学院生のプレゼンテーションと討議を基本とする。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- Sara T. Fry, Megan-Jane Johnstone: Ethics in Nursing Practice Thurd Edition A Guide to Ethical Decision Making. 2009, 片田範子, 山本あい子訳: 看護実践の倫理 第3版. 東京, 日本看護協会出版会, 2010.
- 中山和弘, 岩本貴編: 患者中心の意思決定支援. 東京, 中央法規, 2012.
- 石垣靖子, 清水哲郎編: 臨床倫理ベーシックレクチャー—身近な事例から倫理的問題を学ぶ. 東京, 日本看護協会出版会, 2012.
- 池永 昌之, 濱吉 美穂: ACPアドバンス・ケア・プランニング実践ガイド～患者・利用者の生き方・暮らしに焦点をあてた意思決定支援に向けて～. 東京, 中央法規, 2020.
- 宮脇美保子: 身近な事例で学ぶ看護倫理 改訂. 東京, 中央法規, 2020.
- シリーズ生命倫理学編集委員会編: シリーズ生命倫理学 14 看護倫理. 東京, 丸善出版, 2012.
- 堂園俊彦, 竹下啓: 倫理コンサルテーションケースブック. 東京, 医歯薬出版, 2020.
- 堂園俊彦, 竹下啓: 倫理コンサルテーションハンドブック. 東京, 医歯薬出版, 2019.
- 赤林朗編: 入門・医療倫理Ⅰ 改訂版. 東京, 勁草書房, 2017.
- 赤林朗編: 入門・医療倫理Ⅱ. 東京, 勁草書房, 2007.
- INR 日本版編集委員会: 臨床で直面する倫理的諸問題—キーワードと事例から学ぶ対処法. 東京, 日本看護協会出版会, 2001.
- 木村利人他著: 看護に生かすバイオエシックス—よりよい倫理判断のために, 東京, 学研, 2004.
- 岡崎寿美子, 小島恭子: ケアの質を高める看護倫理—ジレンマを解決するために, 東京, 医歯薬出版, 2002.
- 清水哲郎: 医療現場に臨む哲学, 東京, 勁草書房, 1997.
- 清水哲郎: 医療現場に臨む哲学Ⅱ, 東京, 勁草書房, 2000.
- 杉谷藤子, 川合政恵監修: 『看護者の倫理綱領』で読み解く ベッドサイドの看護倫理事例30, 東京, 日本看護協会出版会, 2007.
- Thompson, J. E., Thompson, H. O.: BIOETHICAL DECISION MAKING FOR NURSES. 1992, ケイコ・イマイ・キシ, 竹内博明, 山本千紗子監訳: 看護倫理のための意思決定 10 のステップ. 東京, 日本看護協会出版会, 2004.
- Christine A Tanner: Clinical Judgment and Evidence-Based Practice: Toward and Pedagogies of Integration. Journal of Nursing Education, 47 (8): 335-336, 2008.
- Patricia Benner 著, 井部俊子監訳: ベナー看護論 新訳版 初心者から達人へ. 東京, 医学書院, 2005.
- Patricia Benner ほか, 井上智子監訳: ベナー 看護ケアの臨床知 行動しつつ考えること 第2版. 東京, 医学書院, 2012.

評価方法

授業・討議への参加度（50％）、学習への取り組み・プレゼンテーション（50％）

在宅看護学特論Ⅳ

更新日：2025/01/24 16:44:24

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	860400	授業コード	86040
担当教員	西村 和美, 岩野 歩, 山田 真理子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 在宅看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

医療処置の必要な対象に対して医療機関の包括的支援を基盤として、検査、処置、対症療法、薬物調整などについて、アセスメントを実施し、看護を実践できる。

到達目標

1	在宅医療における主要な疾患の疾病管理と症状マネジメントについて説明できる。
2	医療処置の必要な対象には包括的支援を基盤として、検査、処置、対症療法、薬物調整などについてアセスメントを実施することができる。
3	在宅の主な医療処置について、医療機器や器具の取り扱い方法を学ぶとともに療養者及び家族への指導方法について考察することができる。

DPとの関連

DP2 ○
DP6（CNS）◎
DP7（CNS）○

授業計画

1	在宅医療の疾病管理と症状マネジメント（１）総論 本科目は、在宅医療に関してケアとキュアの統合を学ぶ科目であり、1～11回においては、この視点を踏まえて学習し、12～15回は、ケアとキュアの統合の総合的な学びをまとめる。 【授業内容】在宅医療（外来を含む）における疾病管理および症状マネジメントを学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】医療法人コールメディカルクリニック福岡 理事長 岩野 歩
2	在宅医療の疾病管理と症状マネジメント（２）循環器系疾患 【授業内容】在宅医療（外来を含む）における循環器系疾患の診断と治療（検査方法、処置、対症療法、薬物治療を含む）、症状マネジメントを学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】医療法人コールメディカルクリニック福岡 理事長 岩野 歩
3	在宅医療の疾病管理と症状マネジメント（３）呼吸器系疾患 【授業内容】在宅医療（外来を含む）における呼吸器系疾患の診断と治療（検査方法、処置、対症療法、薬物治療を含む）、症状マネジメントを学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】医療法人コールメディカルクリニック福岡 理事長 岩野 歩
4	在宅医療の疾病管理と症状マネジメント（４）在宅酸素療法を含む疾病管理 【授業内容】在宅医療（外来を含む）における在宅酸素療法を含む疾病管理と症状マネジメントを学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】楽らくサポートセンターレスピケアナース 管理者 在宅看護専門看護師 山田真理子
5	在宅医療の疾病管理と症状マネジメント（５）脳血管疾患 【授業内容】在宅医療（外来を含む）における脳血管疾患の診断と治療（検査方法、処置、対症療法、薬物治療を含む）、症状マネジメントを学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】医療法人コールメディカルクリニック福岡 理事長 岩野 歩
6	在宅医療の疾病管理と症状マネジメント（６）脳血管疾患 【授業内容】在宅医療（外来を含む）における脳血管疾患から生じる機能障害への対応とリハビリテーションを学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】西村
7	在宅医療の疾病管理と症状マネジメント（７）内分泌・代謝系疾患 【授業内容】在宅医療（外来を含む）における内分泌・代謝系疾患の診断と治療（検査方法、処置、対症療法、薬物治療を含む）・糖尿病、腎疾患を中心とした疾病管理、症状マネジメントを学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】医療法人コールメディカルクリニック福岡 理事長 岩野 歩
8	在宅医療の疾病管理と症状マネジメント（８）消化器系疾患 【授業内容】在宅医療（外来を含む）における消化器系疾患の診断と治療（検査方法、処置、対症療法、薬物治療を含む）、症状マネジメントを学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】医療法人コールメディカルクリニック福岡 理事長 岩野 歩

9	在宅医療の疾病管理と症状マネジメント（9）消化器系疾患 【授業内容】在宅医療（外来を含む）における消化器系疾患の症状マネジメント（排便コントロール、栄養状態のアセスメントとその対策等）を学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】西村
10	在宅における感染症とその対策 【授業内容】在宅における発熱時や感染徴候についてのアセスメントを実施し、方法および薬物調整を含めた治療法、予防的ケアについて学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー おおしろ脳神経外科 副院長 大城知子
11	在宅における褥瘡ケア 【授業内容】褥瘡治療における壊死組織の除去、不良肉芽の切除、褥瘡に対する陰圧閉鎖療法等の医療的処置について学び、訪問看護における褥瘡ケアに結びつける。 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー 総合せき損センター 皮膚・排泄ケア認定看護師 尾下美保子
12	在宅医療におけるケアとキュアの統合（1） 【授業内容】1～11回までの学修を踏まえ、ケアとキュアの統合による高度な知識技術を駆使した看護実践について討議する。さらに、在宅人工呼吸療法など高度な医療処置を必要とする療養者に対する症状、検査、処置、対症療法、薬物調整等についてアセスメントを実施する。 【授業方法】講義、討議 【担当】楽しくサポートセンター レスピケアナース 管理者 在宅看護専門看護師 山田真理子 西村
13	在宅医療におけるケアとキュアの統合（2） 【授業内容】1～11回までの学修を踏まえ、ケアとキュアの統合による高度な知識技術を駆使した看護実践について討議する。さらに、在宅人工呼吸療法など高度な医療処置を必要とする療養者に対する症状、検査、処置、対症療法、薬物調整等についてアセスメントを実施する。 【授業方法】講義、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】楽しくサポートセンター レスピケアナース 管理者 在宅看護専門看護師 山田真理子 西村
14	在宅医療におけるケアとキュアの統合（3） 【授業内容】1～11回までの学修を踏まえ、ケアとキュアの統合による高度な知識技術を駆使した看護実践について討議する。さらに、在宅人工呼吸療法など高度な医療処置を必要とする療養者に対する症状、検査、処置、対症療法、薬物調整等についてアセスメントを実施する。 【授業方法】講義、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】楽しくサポートセンター レスピケアナース 管理者 在宅看護専門看護師 山田真理子 西村
15	在宅医療におけるケアとキュアの統合（4）、課題に対するフィードバック 【授業内容】1～12回までの学修を踏まえ、ケアとキュアの統合による高度な知識技術を駆使した看護実践について討議する。さらに、在宅人工呼吸療法など高度な医療処置を必要とする療養者に対する症状、検査、処置、対症療法、薬物調整等についてアセスメントを実施する。 【授業方法】講義、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】西村

学習方法

主体的に学習に取り組めるようテーマに関する大学院生のプレゼンテーションと討議を基本とする。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

担当教員（西村）に連絡をしてください。担当教員から兼任講師、ゲストスピーカーに連絡します。

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・医療情報科学研究所：病気がみえる第5版 循環器，東京，メディックメディア，2021.
- ・医療情報科学研究所：病気がみえる第6版 消化器，東京，メディックメディア，2020.
- ・医療情報科学研究所：病気がみえる第5版 糖尿病・代謝・内分泌，東京，メディックメディア，2019.
- ・医療情報科学研究所：病気がみえる第3版 呼吸器，東京，メディックメディア，2018.
- ・医療情報科学研究所：病気がみえる第2版 脳・神経，東京，メディックメディア，2017.
- ・医療情報科学研究所：病気がみえる第3版 腎・泌尿器，東京，メディックメディア，2019.
- ・川人明：在宅医療の完全解説 2020-21年版—在宅診療・指導管理・適応疾患・使用材料の全ディテール。東京，医学通信社，2020.
- ・日本医療ソーシャルワーク研究会、村上須賀子：医療福祉総合ガイドブック 2021年度版。東京，医学書院，2021.
- ・川口有美子，小長谷百絵：在宅人工呼吸器ケア実践ガイド。東京，医歯薬出版，2016.
- ・全国訪問看護事業協会：在宅看護が支えるターミナルケア。東京，日本看護協会出版会。2021.
- ・井上善文：静脈経腸栄養ナビゲータ〜エビデンスに基づいた栄養管理。東京，照林社，2021.
- ・トータルケアをめざす褥瘡予防のためのポジショニング。東京，照林社，2018.
- ・社会保険研究所編：訪問看護業務の手引—介護保険・医療保険，東京，社会保険研究所，2021.
- ・日本褥瘡学会：在宅褥瘡テキストブック。東京，照林社，2018.
- ・WOC Nursing Vol.2 No.10—WOC（創傷・オストミー・失禁）予防・治療・ケア 特集：在宅で考える褥瘡治療の基本と実際。2014.
- ・日本褥瘡学会（編）：在宅褥瘡予防・治療ガイドブック 第3版 褥瘡予防・管理ガイドライン（第4版）準拠。東京，昭林社，2015.
- ・遠藤光洋，大曲貴夫：在宅医療×感染症。東京，南山堂，2016.
- ・日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン作成委員会：がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2020年版。東京，金原出版，2020.

- ・国立がん研究センター中央病院薬剤部：オピオイドによるがん疼痛緩和改訂版，東京，エルゼビアジャパン，2012.
- ・日本呼吸器学会（編）：NPPV（非侵襲的陽圧換気療法）ガイドライン．東京，南江堂，2015.

評価方法

評価方法 授業・討議への参加度（50％）、学習への取り組み・プレゼンテーション（50％）

在宅看護学特論Ⅴ

更新日：2025/01/24 16:47:44

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	860500	授業コード	86050
担当教員	西村 和美, 山田 真理子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 在宅看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

訪問看護事業所等の開設、効率的な管理・運営および経営戦略について探究する。さらに、在宅看護の効果とその根拠、ケアの質評価とケア効果を高める方法について検討する。

到達目標

1	訪問看護ステーションなど在宅ケア事業所の開設方法について説明できる。
2	訪問看護ステーションの効率的な管理・運営および経営戦略を考察することができる。
3	在宅看護におけるケアの質評価とケア効果を高める方法について考察することができる。

DPとの関連

DP1 ○
DP6（CNS）○
DP7（CNS）◎

授業計画

1	訪問看護ステーションの開設と経営戦略（１） 【授業内容】訪問看護に関連する介護報酬と診療報酬および公費負担医療制度の基礎知識について学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】西村
2	訪問看護ステーションの開設と経営戦略（２） 【授業内容】経営理念と経営目標について学ぶ。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村
3	看護職が地域で事業を立ち上げることは（１） 【授業内容】開業ナースおよびメッセンジャーナースについて学ぶ。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村
4	看護職が地域で事業を立ち上げることは（２） 【授業内容】開業ナースおよびメッセンジャーナースの活動の実際について学ぶ。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村
5	訪問看護ステーションの管理・運営（１） 【授業内容】財務管理と人材育成について学ぶ。 【授業方法】講義、討議 【担当】楽らくサポートセンターレスピケアナース 管理者 在宅看護専門看護師 山田真理子
6	訪問看護ステーションの管理・運営（２） 【授業内容】情報管理と安全管理について学ぶ。 【授業方法】講義、討議 【担当】楽らくサポートセンターレスピケアナース 管理者 在宅看護専門看護師 山田真理子
7	仮想 訪問看護ステーションの開設計画、事業計画の作成（１） 【授業内容】地域特性および訪問看護市場の市場分析について学ぶ。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村
8	仮想 訪問看護ステーションの開設計画、事業計画の作成（２） 【授業内容】訪問看護ステーションの特徴と運営方針、広報活動について学ぶ。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村
9	在宅看護におけるケアの質評価について考える（１） 【授業内容】質の良い訪問看護とは何かについて討議する。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村

10	在宅看護におけるケアの質評価について考える（2） 【授業内容】訪問看護の質評価とは何かについて討議する。 【授業方法】講義、討議、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】西村
11	看護ケアの質評価の方法 【授業内容】看護ケアの質の評価方法、訪問看護サービス質評価のためのガイドラインについて学ぶ。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村
12	訪問看護の質評価とケア効果を高める方法（1） 【授業内容】演習用に作成した事業所の情報を用いて、SWOT 分析演習を行う。 【授業方法】講義、討議 【担当】西村
13	訪問看護の質評価とケア効果を高める方法（2） 【授業内容】演習用に作成した事業所の情報を用いて、改善計画立案演習を行う。 【授業方法】講義、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】西村
14	訪問看護の質評価とケア効果を高める方法（3） 【授業内容】演習用事業所の質評価と改善に向けての提言書作成演習を行う。 【授業方法】講義、発表（学生によるプレゼンテーション） 【担当】西村
15	在宅看護におけるケアの質評価のまとめ、課題に対するフィードバック 【授業内容】在宅看護におけるケアの質評価のまとめを行う。 【授業方法】講義、討議、課題に対するフィードバック 【担当】西村

学習方法

主体的に学習に取り組めるようテーマに関する大学院生のプレゼンテーションと討議を基本とする。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・ 全国訪問看護事業協会：訪問看護ステーションの開設・運営ガイドブック～ここから始める～．大阪，メディカ出版，2021．
- ・ 全国訪問看護事業協会：訪問看護の安全対策～マニュアルの作成とヒヤリハット報告書の活用～ 第3版．東京，日本看護協会出版会，2017．
- ・ 一般社団法人全国訪問看護事業協会（編集）：訪問看護実務相談 Q&A 令和2年度改定版．東京，中央法規，2020．
- ・ 島内節：現場で使える在宅ケアのアウトカム評価～ケアの質を高めるために～．東京，ミネルヴァ書房，2018．
- ・ 加藤明子：訪問看護ステーションの労務管理．東京，日本看護協会出版会，2019．
- ・ 公益財団法人日本訪問看護財団：訪問看護お悩み相談室～報酬・制度・実践のはてなを解決～<令和2年版>．東京，中央法規出版，2020．

評価方法

評価方法 授業・討議への参加度（50%）、学習への取り組み・プレゼンテーション（50%）

在宅看護学演習Ⅰ

更新日：2025/03/05 15:06:05

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	860600	授業コード	86060
担当教員	西村 和美, 鎌田 ゆき						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 在宅看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

運動機能障害、摂食・嚥下障害、呼吸機能障害等のある者へのリハビリテーション、障害への対処・セルフケアの支援について、家族への指導を含めて学ぶ。

到達目標

1	療養上複雑で多様な課題を持ち自立促進へのケアが必要な在宅療養者とその家族に対する包括的アセスメントを行い、エビデンスに基づく自立促進ケアを考察することができる。
2	自立促進に関する看護について既存データや研究結果を評価し、エビデンスに基づいた専門性の高い看護ケアの方法を提言することができる。
3	自立促進へのケアのために多職種との連携協働する方策と地域におけるネットワークや新たなサポートシステムの確立について提言することができる。
4	ケアスタッフに対する自立促進ケアの相談、教育方法を考えることができる。

DPとの関連

DP5 ○
DP6（CNS）◎
DP7（CNS）○

授業計画

1	自立促進へのケアに関する基本的知識と研究動向 【授業内容】自立促進に関連する基本的なヘルスリテラシー、意思決定、ICF、リハビリテーション、セルフマネジメント、パーソンセンタードケア等の各概念の定義と範囲について理解し、国内外の研究動向について発表と討議を行う。 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
2	自立促進へのケアに関する基本的知識と研究動向 【授業内容】自立促進に関連する基本的なヘルスリテラシー、意思決定、ICF、リハビリテーション、セルフマネジメント、パーソンセンタードケア等の各概念の定義と範囲について理解し、国内外の研究動向について発表と討議を行う。 【授業方法】演習（発表、討議） 【担当】西村
3	療養上複雑で多様な課題を持ち運動機能障害のある人とその家族への自立促進へのケア：脳卒中後の麻痺、神経難病、頸椎損傷等の運動障害を持つ訪問看護利用者の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業内容】看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
4	療養上複雑で多様な課題を持ち運動機能障害のある人とその家族への自立促進へのケア：脳卒中後の麻痺、神経難病、頸椎損傷等の運動障害を持つ訪問看護利用者の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業内容】看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
5	療養上複雑で多様な課題を持ち運動機能障害のある人とその家族への自立促進へのケア：脳卒中後の麻痺、神経難病、頸椎損傷等の運動障害を持つ訪問看護利用者の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業内容】看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村

6	療養上複雑で多様な課題を持ち運動機能障害のある人とその家族への自立促進へのケア：脳卒中後の麻痺、神経難病、頸椎損傷等の運動障害を持つ訪問看護利用者の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習（発表、討議） 【担当】 西村
7	療養上複雑で多様な課題を持ち摂食・嚥下障害のある人とその家族の自立促進へのケア：摂食・嚥下障害を持つ訪問看護利用者の事例の嚥下造影結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習（討議） 【担当】 西村
8	療養上複雑で多様な課題を持ち摂食・嚥下障害のある人とその家族の自立促進へのケア：摂食・嚥下障害を持つ訪問看護利用者の事例の嚥下造影結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習（討議） 【担当】 西村
9	療養上複雑で多様な課題を持ち摂食・嚥下障害のある人とその家族の自立促進へのケア：摂食・嚥下障害を持つ訪問看護利用者の事例の嚥下造影結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習（発表、討議） 【担当】 西村
10	療養上複雑で多様な課題を持ち呼吸機能障害のある人とその家族の自立促進へのケア：COPD、神経難病等の呼吸機能障害を持つ訪問看護利用者の事例の肺呼吸分画、胸部レントゲン・胸部 CT 等の画像検査、気管支内視鏡検査、生化学検査の結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践を学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、呼吸リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、人工呼吸器や酸素吸入器管理、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習（討議） 【担当】 西村
11	療養上複雑で多様な課題を持ち呼吸機能障害のある人とその家族の自立促進へのケア：COPD、神経難病等の呼吸機能障害を持つ訪問看護利用者の事例の肺呼吸分画、胸部レントゲン・胸部 CT 等の画像検査、気管支内視鏡検査、生化学検査の結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践を学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、呼吸リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、人工呼吸器や酸素吸入器管理、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習（討議） 【担当】 西村
12	療養上複雑で多様な課題を持ち呼吸機能障害のある人とその家族の自立促進へのケア：COPD、神経難病等の呼吸機能障害を持つ訪問看護利用者の事例の肺呼吸分画、胸部レントゲン・胸部 CT 等の画像検査、気管支内視鏡検査、生化学検査の結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践を学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、呼吸リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、人工呼吸器や酸素吸入器管理、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習（討議） 【担当】 西村
13	療養上複雑で多様な課題を持ち呼吸機能障害のある人とその家族の自立促進へのケア：COPD、神経難病等の呼吸機能障害を持つ訪問看護利用者の事例の肺呼吸分画、胸部レントゲン・胸部 CT 等の画像検査、気管支内視鏡検査、生化学検査の結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践を学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、呼吸リハビリテーション、障害への対処、セルフケアへの看護ケア、人工呼吸器や酸素吸入器管理、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習（発表、討議） 【担当】 西村
14	療養上複雑で多様な課題を持ち認知機能障害のある人とその家族の自立促進へのケア：認知機能障害を持つ訪問看護利用者の事例の頭部CT・MRI 等の画像検査、生化学検査結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、包括的アセスメント、BPSD への対応、パーソンセンタードケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、包括的アセスメント、BPSD への対応、パーソンセンタードケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】 演習（討議） 【担当】 西村

15	療養上複雑で多様な課題を持ち認知機能障害のある人とその家族の自立促進へのケア：認知機能障害を持つ訪問看護利用者の事例の頭部CT・MRI等の画像検査、生化学検査結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、包括的アセスメント、BPSDへの対応、パーソンセンタードケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、包括的アセスメント、BPSDへの対応、パーソンセンタードケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
16	療養上複雑で多様な課題を持ち認知機能障害のある人とその家族の自立促進へのケア：認知機能障害を持つ訪問看護利用者の事例の頭部CT・MRI等の画像検査、生化学検査結果等の医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、包括的アセスメント、BPSDへの対応、パーソンセンタードケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、包括的アセスメント、BPSDへの対応、パーソンセンタードケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】演習（発表、討議） 【担当】西村
17	療養上複雑で多様な課題を持ち糖尿病、腎不全のある人とその家族の自立促進へのケア：糖尿病、腎不全を持つ訪問看護利用者の事例の生化学検査の結果を含めた医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、血液・腹膜透析管理、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
18	療養上複雑で多様な課題を持ち糖尿病、腎不全のある人とその家族の自立促進へのケア：糖尿病、腎不全を持つ訪問看護利用者の事例の生化学検査の結果を含めた医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、血液・腹膜透析管理、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
19	療養上複雑で多様な課題を持ち糖尿病、腎不全のある人とその家族の自立促進へのケア：糖尿病、腎不全を持つ訪問看護利用者の事例の生化学検査の結果を含めた医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、血液・腹膜透析管理、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
20	療養上複雑で多様な課題を持ち糖尿病、腎不全のある人とその家族の自立促進へのケア：糖尿病、腎不全を持つ訪問看護利用者の事例の生化学検査の結果を含めた医療診断や治療方針を踏まえ、看護実践について学ぶ。 【授業内容】 看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行い、医療処置を含めた包括的アセスメント、リハビリテーション、障害への対処、血液・腹膜透析管理、セルフケアへの看護ケア、家族支援、多職種連携やサポートシステムについて学ぶ。 【授業方法】演習（発表、討議） 【担当】西村
21	経口摂取以外の栄養法を行っている療養者と家族への自立促進へのケア 【授業内容】在宅経管栄養法、在宅中心静脈栄養における療養者・家族に対する指導が必要な事例の自立促進への看護実践について学ぶ。 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
22	カテーテル管理が必要な療養者と家族への自立促進へのケア 【授業内容】間欠的自己導尿、尿道留置カテーテル管理、膀胱瘻・腎瘻カテーテル管理における療養者・家族に対する指導が必要な事例の自立促進への看護実践について学ぶ。 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
23	療養上複雑で多様な課題を持つ困難事例のコンサルテーション 【授業内容】訪問看護事例の中で対応困難な訪問看護事例の事例検討を行い、ケアスタッフに対するコンサルテーションについてロールプレイ演習を実施し、コンサルテーション技術を学ぶ。 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村、鎌田
24	療養上複雑で多様な課題を持つ困難事例のコンサルテーション 【授業内容】訪問看護事例の中で対応困難な訪問看護事例の事例検討を行い、ケアスタッフに対するコンサルテーションについてロールプレイ演習を実施し、コンサルテーション技術を学ぶ。 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村、鎌田
25	療養上複雑で多様な課題を持つ困難事例のコンサルテーション 【授業内容】訪問看護事例の中で対応困難な訪問看護事例の事例検討を行い、ケアスタッフに対するコンサルテーションについてロールプレイ演習を実施し、コンサルテーション技術を学ぶ。 【授業方法】演習（発表、討議） 【担当】西村、鎌田

26	療養上複雑で多様な課題を持つ困難事例のコンサルテーション 【授業内容】訪問看護事例の中で対応困難な訪問看護事例の事例検討を行い、ケアスタッフに対するコンサルテーションについてロールプレイ演習を実施し、コンサルテーション技術を学ぶ。 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村、鎌田
27	在宅ケアにおける教育実践 【授業内容】在宅看護における看護基礎教育もしくは訪問看護における現任教育において教育対象者と教育テーマを選択する。教育テーマについて対象者が主体的に学習するための教育目標・内容・方法を検討したうえで教育計画を企画し、実際に実施、評価を行う。 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村、鎌田
28	在宅ケアにおける教育実践 【授業内容】在宅看護における看護基礎教育もしくは訪問看護における現任教育において教育対象者と教育テーマを選択する。教育テーマについて対象者が主体的に学習するための教育目標・内容・方法を検討したうえで教育計画を企画し、実際に実施、評価を行う。 【授業方法】演習（討議） 【担当】西村
29	在宅ケアにおける教育実践 【授業内容】在宅看護における看護基礎教育もしくは訪問看護における現任教育において教育対象者と教育テーマを選択する。教育テーマについて対象者が主体的に学習するための教育目標・内容・方法を検討したうえで教育計画を企画し、実際に実施、評価を行う。 【授業方法】演習（発表、討議） 【担当】西村
30	在宅ケアにおける教育実践、課題に対するフィードバック 【授業内容】在宅看護における看護基礎教育もしくは訪問看護における現任教育において教育対象者と教育テーマを選択する。教育テーマについて対象者が主体的に学習するための教育目標・内容・方法を検討したうえで教育計画を企画し、実際に実施、評価を行う。 【授業方法】演習（討議）、フィードバック 【担当】西村

学習方法

実践事例の活用、文献による研究事例を用いて演習する。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・ 山内豊明：フィジカルアセスメントガイドブック—目と手と耳でここまでわかる。東京，医学書院，2011.
- ・ 山内豊明：生命・生活の両面から捉える訪問看護アセスメント・プロトコル 改訂版。東京，中央法規出版，2015.
- ・ 日本訪問看護財団：訪問看護のフィジカルアセスメントと急変対応。東京，中央法規出版，2016.
- ・ 阿部勉編：生活期リハ・訪問リハで役立つフィジカルアセスメント リスク管理ハンドブック。名古屋，gene，2014.
- ・ 酒見英太監修：ジェネラリストのための内科診断リファレンス：エビデンスに基づく究極の診断学をめざして。東京，医学書院，2014.
- ・ 上田剛士：高齢者診療で身体診察を強力な武器にするためのエビデンス第2版。東京，シーニュ，2020.
- ・ 並河正晃：高齢者ケアを科学する。東京，医学書院，2002.
- ・ 澤口裕二：アウェアネス介助論—気づくことから始める介助論【上巻】解剖学・生理学と基礎的理解。東京，シーニュ，2014.
- ・ 澤口裕二：アウェアネス介助論—気づくことから始める介助論【下巻】接触と動きと介助の実践。東京，シーニュ，2014.
- ・ 藤島一郎、谷口洋：脳卒中の摂食・嚥下障害 第3版。東京，医歯薬出版，2017.
- ・ 小山珠美：口から食べる幸せをサポートする包括的スキル〜KTバランスチャートの活用と支援〜第2版。東京，医学書院，2017.
- ・ 栢下淳、藤島一郎、田中陽子編：嚥下調整食学会分類2013に基づく市販食品300 2018年データ更新版。東京，医歯薬出版，2018.
- ・ 日本看護科学学会 看護ケア開発・標準化委員会編：看護ケアのための摂食嚥下時の誤嚥・咽頭残留アセスメントに関する診療ガイドライン。東京，南江堂，2021.
- ・ 大宿茂：VF なしでできる！摂食・嚥下障害のフィジカルアセスメント—評価から食事介助の進め方。名古屋，日総研出版，2014.
- ・ 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会呼吸リハビリテーション委員会ワーキンググループ他：呼吸リハビリテーションマニュアル—運動療法。東京，照林社，2012.

評価方法

授業・討議への参加度（50%）、学習課題への取り組み（50%）

在宅看護学演習Ⅱ

更新日：2025/01/24 17:06:16

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	860700	授業コード	86070
担当教員	西村 和美, 井手 麻利子, 鎌田 ゆき						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 在宅看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

在宅で終末期を迎える療養者と家族の看護について、実践事例や文献による研究事例を用いて演習し、がん患者・非がん患者に対する在宅緩和ケアの方法、終末期経過別の的確なニーズの把握やケア実践方法を学ぶ。

到達目標

1	がん患者の在宅緩和ケアにおける症状コントロールおよび QOL 向上について、的確なニーズ把握やケア実践の具体的方法を考察することができる。
2	終末期の療養者と家族への在宅導入期のケアについて、在宅移行支援における意思決定支援、療養環境整備について、チームアプローチを含めた具体的方法を考察できる。
3	非がん患者の在宅でのエンド・オブ・ライフケアについて、的確なニーズ把握やケア実践の具体的方法を考察できる。
4	在宅で終末期を迎える療養者の臨死期のケアとして、特に緩和ケアおよびスピリチュアルケアについて、的確なニーズ把握やケア実践の具体的方法を考察できる。
5	在宅で終末期を迎える療養者の家族の臨死期および死別後のケアとして、看取り支援とグリーフケアの的確なニーズ把握やケア実践の具体的方法を考察できる。
6	在宅で終末期を迎える独居高齢者へのケアのために、多職種との連携協働する方策と地域におけるネットワーク構築や新たなサポートシステムの開発について提言できる。

DPとの関連

DP5 ○
DP6 (CNS) ◎
DP7 (CNS) ○

授業計画

1	在宅終末期ケアに関する基本的知識と研究動向 【授業内容】ターミナルケア、緩和ケア、エンド・オブ・ライフケア等、終末期ケアの各概念の定義 と範囲について理解し、国内外の研究動向について発表と討議を行う。 【授業方法】演習（発表・討議） 【担当】西村
2	在宅終末期ケアに関する基本的知識と研究動向 【授業内容】ターミナルケア、緩和ケア、エンド・オブ・ライフケア等、終末期ケアの各概念の定義 と範囲について理解し、国内外の研究動向について発表と討議を行う。 【授業方法】演習（発表・討議） 【担当】西村
3	がん患者の在宅緩和ケア（疼痛コントロール）（1） 【授業内容】WHO 方式がん疼痛治療法をはじめ、疼痛緩和のためのアセスメントとそれに基づく対処方法の基本的知識を学ぶ。ロールプレイ等を用いて痛みを的確にアセスメントし、薬剤の経路や量を含めた選択、痛みの増減に伴う対処法、オピオイドスイッチング、副作用対策、および薬物以外の緩和方法を演習する。 【授業方法】演習 【担当】福岡みらい病院 がん看護専門看護師 井手麻利子
4	がん患者の在宅緩和ケア（疼痛コントロール）（2） 【授業内容】WHO 方式がん疼痛治療法をはじめ、疼痛緩和のためのアセスメントとそれに基づく対処方法の基本的知識を学ぶ。ロールプレイ等を用いて痛みを的確にアセスメントし、薬剤の経路や量を含めた選択、痛みの増減に伴う対処法、オピオイドスイッチング、副作用対策、および薬物以外の緩和方法を演習する。 【授業方法】演習 【担当】西村
5	がん患者の在宅緩和ケア（疼痛コントロール）（3） 【授業内容】がん疼痛のある事例の痛みを的確にアセスメントし、薬剤の経路や量を含めた選択、痛みの増減に伴う対処法、オピオイドスイッチング、副作用対策、および薬物以外の緩和方法など最善の対処方法について事例検討を行いながら学ぶ。 【授業方法】演習 【担当】西村
6	がん患者の在宅緩和ケア（疼痛コントロール）（4） 【授業内容】学内での演習後、がん疼痛のある事例の痛みを的確にアセスメントし、薬剤の経路や量を含めた選択、痛みの増減に伴う対処法、オピオイドスイッチング、副作用対策、および薬物以外の緩和方法など最善の対処方法について事例検討を行いながら学ぶ。 【授業方法】演習 【担当】西村

7	がん患者の在宅緩和ケア（症状コントロール）（1） 【授業内容】疼痛以外の症状コントロール（倦怠感、呼吸症状、消化器症状、精神症状）について、実践事例を用いてアセスメントし、対処方法を修得する。具体的な使用薬剤を検討しマッサージ等は実技演習を行う。 【授業方法】演習 【担当】福岡みらい病院　がん看護専門看護師　井手麻利子
8	がん患者の在宅緩和ケア（症状コントロール）（2） 【授業内容】疼痛以外の症状コントロール（倦怠感、呼吸症状、消化器症状、精神症状）について、実践事例を用いてアセスメントし、対処方法を修得する。具体的な使用薬剤を検討しマッサージ等は実技演習を行う。 【授業方法】演習 【担当】西村
9	がん患者の在宅緩和ケア（症状コントロール）（3） 【授業内容】疼痛以外の症状コントロール（倦怠感、呼吸症状、消化器症状、精神症状）について、実践事例を用いてアセスメントし、対処方法を修得する。具体的な使用薬剤を検討しマッサージ等は実技演習を行う。 【授業方法】演習 【担当】西村
10	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者と家族への在宅導入期のケアテーマ：終末期の本人・家族への在宅移行支援とチームアプローチ 【授業内容】終末期の本人・家族への在宅移行支援とチームアプローチを学ぶ。在宅で終末期を迎える療養者の在宅導入期の方の在宅移行の意思決定支援、療養環境整備、チームアプローチについて看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。 【授業方法】演習 【担当】西村
11	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者と家族への在宅導入期のケアテーマ：終末期の本人・家族への在宅移行支援とチームアプローチ 【授業内容】終末期の本人・家族への在宅移行支援とチームアプローチを学ぶ。在宅で終末期を迎える療養者の在宅導入期の方の在宅移行の意思決定支援、療養環境整備、チームアプローチについて看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。 【授業方法】演習 【担当】西村
12	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者と家族への在宅導入期のケアテーマ：終末期の本人・家族への在宅移行支援とチームアプローチ 【授業内容】終末期の本人・家族への在宅移行支援とチームアプローチを学ぶ。在宅で終末期を迎える療養者の在宅導入期の方の在宅移行の意思決定支援、療養環境整備、チームアプローチについて看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。 【授業方法】演習 【担当】西村
13	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者と家族への在宅導入期のケアテーマ：終末期の本人・家族への在宅移行支援とチームアプローチ 【授業内容】終末期の本人・家族への在宅移行支援とチームアプローチを学ぶ。在宅で終末期を迎える療養者の在宅導入期の方の在宅移行の意思決定支援、療養環境整備、チームアプローチについて看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。 【授業方法】演習 【担当】西村
14	療養上複雑で多様な課題を持つ非がん患者への在宅終末期ケア 【授業内容】慢性呼吸不全患者または慢性腎不全患者のエンド・オブ・ライフケア、介護保険利用による訪問看護の看取り事例など在宅で終末期を迎える非がん患者の方の症状コントロール、在宅移行支援、療養環境整備、家族支援など看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】西村
15	療養上複雑で多様な課題を持つ非がん患者への在宅終末期ケア 【授業内容】慢性呼吸不全患者または慢性腎不全患者のエンド・オブ・ライフケア、介護保険利用による訪問看護の看取り事例など在宅で終末期を迎える非がん患者の方の症状コントロール、在宅移行支援、療養環境整備、家族支援など看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習、フィードバック 【担当】西村
16	療養上複雑で多様な課題を持つ非がん患者への在宅終末期ケア 【授業内容】慢性呼吸不全患者または慢性腎不全患者のエンド・オブ・ライフケア、介護保険利用による訪問看護の看取り事例など在宅で終末期を迎える非がん患者の方の症状コントロール、在宅移行支援、療養環境整備、家族支援など看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】西村
17	療養上複雑で多様な課題を持つ非がん患者への在宅終末期ケア 【授業内容】慢性呼吸不全患者または慢性腎不全患者のエンド・オブ・ライフケア、介護保険利用による訪問看護の看取り事例など在宅で終末期を迎える非がん患者の方の症状コントロール、在宅移行支援、療養環境整備、家族支援など看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】西村
18	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者の臨死期のケア 【授業内容】臨死期の判断とは、在宅終末期におけるスピリチュアルケアを学ぶ。在宅で終末期を迎える臨死期にある方の症状コントロール、スピリチュアルケアなど看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】西村

19	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者の臨死期のケア 【授業内容】臨死期の判断とは、在宅終末期におけるスピリチュアルケアを学ぶ。在宅で終末期を迎える臨死期にある方の症状コントロール、スピリチュアルケアなど看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例より事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】西村
20	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者の臨死期のケア 【授業内容】臨死期の判断とは、在宅終末期におけるスピリチュアルケアを学ぶ。在宅で終末期を迎える臨死期にある方の症状コントロール、スピリチュアルケアなど看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例 【授業方法】演習 【担当】西村
21	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者の臨死期のケア 【授業内容】臨死期の判断とは、在宅終末期におけるスピリチュアルケアを学ぶ。在宅で終末期を迎える臨死期にある方の症状コントロール、スピリチュアルケアなど看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例より事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】西村
22	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者家族への臨死期と死別後のケア 【授業内容】家族への在宅看取り支援とグリーフケア（予期悲嘆と死別悲嘆へのケア）について学ぶ。在宅で終末期を迎える臨死期にある方の在宅看取り支援とグリーフケアなど看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】西村
23	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者家族への臨死期と死別後のケア 【授業内容】家族への在宅看取り支援とグリーフケア（予期悲嘆と死別悲嘆へのケア）について学ぶ。在宅で終末期を迎える臨死期にある方の在宅看取り支援とグリーフケアなど看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】西村
24	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者家族への臨死期と死別後のケア 【授業内容】家族への在宅看取り支援とグリーフケア（予期悲嘆と死別悲嘆へのケア）について学ぶ。在宅で終末期を迎える臨死期にある方の在宅看取り支援とグリーフケアなど看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】西村
25	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者家族への臨死期と死別後のケア 【授業内容】家族への在宅看取り支援とグリーフケア（予期悲嘆と死別悲嘆へのケア）について学ぶ。在宅で終末期を迎える臨死期にある方の在宅看取り支援とグリーフケアなど看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】西村
26	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える独居高齢者へのケア 【授業内容】終末期の独居高齢者のためのネットワーク構築とサポートシステムの開発について学ぶ。在宅で終末期を迎える独居高齢者の方のネットワーク構築など看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】西村
27	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える独居高齢者へのケア 【授業内容】終末期の独居高齢者のためのネットワーク構築とサポートシステムの開発について学ぶ。在宅で終末期を迎える独居高齢者の方のネットワーク構築など看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】西村
28	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える独居高齢者へのケア 【授業内容】終末期の独居高齢者のためのネットワーク構築とサポートシステムの開発について学ぶ。在宅で終末期を迎える独居高齢者の方のネットワーク構築など看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】西村
29	療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える独居高齢者へのケア 【授業内容】終末期の独居高齢者のためのネットワーク構築とサポートシステムの開発について学ぶ。在宅で終末期を迎える独居高齢者の方のネットワーク構築など看護実践のエビデンスを明確にしつつ事例検討を行うことで実践的学びを深める。実践事例がない場合は、過去に経験した事例や研究結果事例により事例検討を行う。 【授業方法】演習 【担当】西村
30	本演習のまとめ、演習課題に対するフィードバック 【授業内容】療養上複雑で多様な課題を持ち在宅で終末期を迎える療養者と家族へのケアについて、終末期経過別の的確なニーズとケアについてまとめる。 【授業方法】演習、フィードバック 【担当】西村

学習方法

実践事例や文献による研究事例を用いて演習する。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・小笠原知枝：エンドオブライフケア看護学，東京，ヌーヴェルヒロカワ，2018.
- ・佐々木吉子他：はじめての看取りケア～病棟・在宅・救急外来・災害現場のケアと支援．東京，メヂカルフレンド社，2017.
- ・福井小紀子：病院からはじまる在宅看取りケア～地域包括ケアシステムのなかで病院・在宅・施設をつなぐ～．東京，メヂカルフレンド社，2018.
- ・箕岡真子：エンド・オブ・ライフケアの臨床倫理～ACPの歴史的背景から理論・実践事例まで概観．東京，日総研出版，2020.
- ・アンドリュー・グッドヘッド/ナイジェル・ハートレー：みんなのスピリチュアリティ～シシリー・ソンドース、トータルペインの現在～．京都，北大路書房，2020.
- ・キャサリン・M サンダース，白根美保子訳：家族を亡くしたあなたに死別の悲しみを癒すアドバイスブック．東京，筑摩書房，2000.
- ・浜野淳：いにちの終わりにどうかかわるのか．東京，医学書院，2017.
- ・坂口幸弘：悲嘆学入門 死別の悲しみを学ぶ．京都，昭和堂，2010.
- ・粕田晴之監修：こうすればうまくいく在宅緩和ケアハンドブック 改訂 3版，東京，中外医学社，2012.
- ・長尾和宏：緩和医療・終末期ケア.東京，中山書店．2017.
- ・岸本寛史：がんと心理療法のこころみ～夢・語り・絵をとおして～．東京，誠信書房，2020.
- ・細田満和子：「チーム医療」とは何か―医療とケアに生かす社会学からのアプローチ．東京，日本看護協会出版会，2019.
- ・エイミー・C・エドモンドソン，野津智子訳：チームが機能するとはどういうことか―「学習力」と「実行力」を高める実践アプローチ．東京，英治出版，2014.
- ・篠田道子：多職種連携を高める チームマネジメントの知識とスキル．東京，医学書院，2011.
- ・Worden J.W.：Grief Counseling and Grief Therapy.1991，鳴澤寛監訳：グリーフカウンセリング（初版）．東京，川島書店，1993.
- ・日本緩和医療学会ガイドライン統括委員会：患者さんと家族のための痛み治療ガイド．東京，金原出版，2017.
- ・田中美穂，児玉聡：終の選択～終末期医療を考える．東京，勁草書房，2017.

評価方法

授業・討議への参加度（50%）、学習課題への取り組み（50%）

在宅看護学実習Ⅰ

更新日：2025/03/05 15:02:41

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	860800	授業コード	86080
担当教員	西村 和美, 鎌田 ゆき						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 在宅看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

この実習では医療機関の退院調整部門において、在宅医療チームを基盤とした退院支援・調整とケアマネジメントを学び、専門看護師としての役割を担うための能力を養う。なお、本実習では専門看護師が備えるべき 6 つの能力のうち、多職種との「連携調整」「卓越した実践」「倫理的問題の調整」を中心に学習する。

到達目標

1	療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な患者とその家族に対し包括的アセスメントを行い、それに基づく退院支援計画を立案実践し評価することができる。（卓越した実践）
2	対象者の意向とニーズに応じ、その人らしい地域での生活継続実現のために、関係者との連携調整を行い、チームアプローチ、ケアマネジメントが実践できる。（連携調整）
3	療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な個別事例から地域が持つ顕在的・潜在的な課題を分析し、地域における社会資源の現状と課題を明確にし、地域包括ケアシステム実現のための提言ができる。
4	退院時等の療養者の生活の場が変化する際に生じる倫理的問題に対し、倫理的判断・臨床的判断を統合して、問題解決方法についての考えを述べることができる。（倫理的問題の調整）

DPとの関連

DP5 ○
DP6 (CNS) ◎
DP7 (CNS) ○

授業計画

1	実習方法 【授業方法】実習 【実習方法】 専門看護師が備えるべき 6 つの能力のうち、多職種との「連携調整」「卓越した実践」「倫理的問題の調整」を中心に学習する。 【実習場所】 宗像医師会病院：地域医療連携課 宗像医師会在宅医療連携拠点事業室（むーみんネット） 【実習期間】 1 年次後期を予定し、90 時間とする。実習時間は実習施設の就業時間に準ずる。 【担当】西村、鎌田
2	卓越した実践：療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な事例に対して包括的アセスメントを行い、看護師をはじめとしたケアスタッフの実践内容・方法を多角的に抽出し、実習指導者等からの助言を受けつつ実践を行う。その実践内容から「卓越した実践」について考察する。そして、実習期間中に地域ケア会議等に同席し、個別ケースの検討から地域が持つ顕在的・潜在的な健康課題を検討し、地域包括ケアシステム実現のための方策と看護職としての役割を考える。 【授業内容】 療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な入院中の療養者と家族を担当し、包括的アセスメントにより生活ニーズを明らかにする。そして、受け持ち事例の在宅移行への推進、在宅療養生活の安定・継続のために、退院支援・調整、ケアマネジメント、ネットワーク構築を実践する。
3	連携調整：療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な事例に対して、自らイニシアチブをとりつつ、多職種チームの一員として「連携調整」を行い、退院支援・調整の実践、モニタリング、評価までを実施する。また、チームアプローチの実践場面を言語化し分析することによって「連携調整」のグッドプラクティスを検討する。 【授業内容】 療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な入院中の療養者と家族を担当し、包括的アセスメントにより生活ニーズを明らかにする。そして、受け持ち事例の在宅移行への推進、在宅療養生活の安定・継続のために、退院支援・調整、ケアマネジメント、ネットワーク構築を実践する。
4	倫理的問題の調整：退院支援・調整が必要な事例の意思決定支援を行う。また、実習期間中に「倫理的問題の調整」が必要な事例があれば、実際の支援場面に同席したり、関係者にインタビューしたりすることで支援内容や方法を学ぶ。 【授業内容】 療養上複雑で多様な課題を持ち退院支援・調整が必要な入院中の療養者と家族を担当し、包括的アセスメントにより生活ニーズを明らかにする。そして、受け持ち事例の在宅移行への推進、在宅療養生活の安定・継続のために、退院支援・調整、ケアマネジメント、ネットワーク構築を実践する。

学習方法

目標に基づき、実習計画を立案する。
1 週毎に学習をリフレクションし、自己課題を明確にしながら実習をすすめる。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・白澤政和編：ケアマネジメント論～わかりやすい基礎理論と幅広い事例から学ぶ～．京都，ミネルヴァ書房，2019．
- ・小木曾加奈子編：地域包括ケアにおける高齢者に対するシームレスケア～ICFの視点を活かしたケアプロセス,退院支援,退院調整に焦点を当てて～．東京，学文社，2019．
- ・長江弘子編：生活と医療を統合する継続看護マネジメント 第2版．東京，医歯薬出版社，2018．
- ・永田智子，田口敦子編：外来で始める在宅療養支援 第2版：ニーズ把握・仕組みづくり・実践の．東京，日本看護協会出版会，2024．
- ・藤澤まこと 編：ナースが行う入退院支援 患者・家族の"その人らしく生きる"を支えるために．東京，メヂカルフレンド社，2020．
- ・宇都宮宏子，三輪恭子編：これからの退院支援・退院調整—ジェネラリストナースがつなぐ外来・病棟・地域．東京，日本看護協会出版会，2011．
- ・宇都宮宏子，山田 雅子編：看護がつながる在宅療養移行支援—病院・在宅の患者像別看護ケアのマネジメント．東京，日本看護協会出版会，2014．
- ・宇都宮宏子監修：退院支援ガイドブック 「これまでの暮らし」「そしてこれから」をみすえてかかわる．東京，学研メディカル秀潤社，2018．
- ・佐々木淳編：在宅医療～多職種連携ハンドブック～．東京，法研，2016．
- ・日本医療ソーシャルワーク研究会 編：医療福祉総合ガイドブック 2021年度版．東京，医学書院，2021．

評価方法

実習目標の達成度（60％）、実習記録およびレポート（40％）

在宅看護学実習Ⅱ

更新日：2025/03/05 15:03:05

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	860900	授業コード	86090
担当教員	西村 和美, 鎌田 ゆき						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 在宅看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	3	
	備考(配当)						

授業の目的

この実習では在宅看護学演習Ⅰを活かし、自立促進に関する看護を必要とする療養者を受け持ち、高度な看護実践を行う。また、専門看護師としての6つの能力のうち、「卓越した実践能力」と「連携調整」「倫理的問題の調整」を中心に、「教育」「相談」「研究」を高め、在宅看護スペシャリストとしての役割を学ぶ実習である。

到達目標

1	療養上複雑で多様な課題を持つ自立促進へのケアが必要な療養者とその家族に対して、関連する専門知識・理論を活用した包括的なアセスメントを行い、エビデンスに基づく専門性の高い看護を実践することができる。（卓越した実践能力）
2	自立促進への効果的なケアが提供されるために関係職種と連携調整を行い、多職種連携によるチームアプローチが実践できる。（連携調整）
3	療養上複雑で多様な課題を持つ倫理的問題に直面している療養者および家族が、自らの価値観と一致した選択ができるように、意思決定支援が実施できる。（倫理的問題の調整）
4	自立促進ケアに関連した課題について、ケアスタッフへの教育方法や相談活動方法を考えることができる。（教育・相談）
5	看護実践の中から在宅看護の専門知識・技術や看護実践の向上のために必要な研究課題について考えることができる。（研究）

DPとの関連

- DP5 ○
DP6 (CNS) ◎
DP7 (CNS) ○

授業計画

1	実習方法 【授業方法】実習 【方法】 本実習では専門看護師としての6つの能力のうち、「卓越した実践能力」と「連携調整」「倫理的問題の調整」を中心に「教育」「相談」「研究」を高める。 【実習場所】 楽らくサポートセンターレスピケアナース 福岡みらい病院訪問看護ステーション 【実習期間】 実習期間は、2年次を予定し、135時間とする。 実習時間は実習施設の就業時間に準ずる。 【担当】西村、鎌田
2	卓越した実践：療養上複雑で多様な課題を持つ自立促進へのケアが必要な療養者とその家族に対して、実際に関連する専門知識・理論を活用した包括的なアセスメントを行い、看護計画を立案、実施、評価を行う。 【授業内容】 実習では療養上複雑で多様な課題を持つ自立促進へのケアが必要な療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。
3	連携調整：療養上複雑で多様な課題を持つ自立促進へのケアが必要な療養者とその家族の療養生活が継続できるように実施されているケアカンファレンスやその他の活動に参加し、多職種・多機関との連携調整について考察する。また、受け持ち事例に対し「コーディネーション」が必要な場合は実践し、実践内容を振り返る。 【授業内容】 実習では療養上複雑で多様な課題を持つ自立促進へのケアが必要な療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。
4	倫理的問題の調整：実習期間中、療養上複雑で多様な課題を持ち「倫理的問題の調整」が必要な事例があれば、実習指導者が行う実際の支援場面に同席し支援方法を学び考察する。また、受け持ち事例に対し「倫理的問題の調整」が必要な場合は実践し、実践内容を振り返る。 【授業内容】 実習では療養上複雑で多様な課題を持つ自立促進へのケアが必要な療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。

5	教育：実習期間中に実習指導者が行う訪問看護ステーションにおける看護の質の向上のための教育場面に同席し、実習指導者にその意図や具体的な教育方法について学び考察する。 【授業内容】 実習では療養上複雑で多様な課題を持つ自立促進へのケアが必要な療養者と家族を2 事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。
6	相談：実習指導者が療養上複雑で多様な課題を持つ療養者や家族、ケアスタッフに行う実際の相談場面に同席し、相談内容やコンサルテーション方法について学び考察する。また、受け持ち事例について「コンサルテーション」が必要な場合は自ら実践し、実践内容を振り返る。 【授業内容】 実習では療養上複雑で多様な課題を持つ自立促進へのケアが必要な療養者と家族を2 事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。
7	研究：看護実践の中から在宅看護の質の向上に貢献できる研究課題を探究する。 【授業内容】 実習では療養上複雑で多様な課題を持つ自立促進へのケアが必要な療養者と家族を2 事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。

学習方法

目標に基づき、実習計画を立案する。

1 週毎に学習をリフレクションし、自己課題を明確にしながら実習をすすめる。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・ 山内豊明：訪問看護アセスメントハンドブック．東京，中央法規，2020．
- ・ 山内豊明：フィジカルアセスメント ガイドブック―目と手と耳でここまでわかる．東京， 医学書院，2011．
- ・ 山内豊明：生命・生活の両面から捉える訪問看護アセスメント・プロトコル 改訂版．中央法規出版，2015．
- ・ 日本訪問看護財団：訪問看護のフィジカルアセスメントと急変対応．東京，中央法規出版， 2016．
- ・ 阿部勉編：生活期リハ・訪問リハで役立つフィジカルアセスメント リスク管理ハンドブック．名古屋，gene，2014．
- ・ 酒見英太監修：ジェネラリストのための内科診断リファレンス：エビデンスに基づく究極の診断学をめざして．東京，医学書院，2014．
- ・ 上田剛士：高齢者診療で身体診察を強力な武器にするためのエビデンス第2版．東京，シーニュ， 2020．
- ・ 並河正晃：老年者ケアを科学する．東京，医学書院，2002．
- ・ 澤口裕二：アウェアネス介助論―気づくことから始める介助論【上巻】解剖学・生理学と基礎的理解．東京，シーニュ，2014．
- ・ 澤口裕二：アウェアネス介助論―気づくことから始める介助論【下巻】接触と動きと介助の実際．東京，シーニュ，2014．
- ・ 藤島一郎、谷口洋：脳卒中の摂食・嚥下障害 第3版．東京，医歯薬出版，2017．
- ・ 小山珠美：口から食べる幸せをサポートする包括的スキル〜KTバランスチャートの活用と支援〜第2版．東京，医学書院，2017．
- ・ 栢下淳、藤島一郎、田中陽子編：嚥下調整食学会分類2013に基づく市販食品300 2018年データ更新版．東京，医歯薬出版，2018．
- ・ 日本看護科学学会 看護ケア開発・標準化委員会編：看護ケアのための摂食嚥下時の誤嚥・咽頭残留アセスメントに関する診療ガイドライン．東京，南江堂，2021．
- ・ 大宿茂：VF なしでできる！摂食・嚥下障害のフィジカルアセスメント―評価から食事介助の進め方．名古屋，日総研出版，2014．
- ・ 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会呼吸リハビリテーション委員会ワーキンググルー プ他：呼吸リハビリテーションマニュアル―運動療法．東京，照林社，2012．

評価方法

実習目標の達成度（60％）、実習記録およびレポート（40％）

在宅看護学実習Ⅲ

更新日：2025/03/05 15:03:26

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	861000	授業コード	86100
担当教員	西村 和美, 鎌田 ゆき						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 在宅看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	3	
	備考(配当)						

授業の目的

この実習では、在宅看護学演習Ⅱで学んだ内容を活かし、終末期ケアに関する看護を必要とする事例を受け持ち、高度な看護実践を行う。また、専門看護師としての6つの能力のうち、「卓越した実践能力」と「連携調整」「倫理的問題の調整」を中心に「教育」「相談」「研究」を高め、在宅看護スペシャリストとしての役割を学ぶ実習である。

到達目標

1	療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアが必要な療養者と家族に対し、専門知識・理論に基づいた包括的なアセスメントを行い、経過時期別に看護問題を抽出し適切なケアが実践できる（卓越した実践）。
2	在宅療養支援診療所からの訪問診療に参加し、加えて、終末期の在宅ケアチームの専門職種間や関係機関との連絡調整を実施し、多職種連携によるチームアプローチが実践できる（連携調整）。
3	療養上複雑で多様な課題を持ち倫理的問題に直面している療養者および家族が、自らの価値観と一致した選択ができるように、意思決定支援が実施できる（倫理的問題の調整）。
4	終末期ケアに関連した課題について、ケアスタッフへの教育方法や相談活動方法を考えることができる（教育・相談）。
5	看護実践の中から在宅看護の専門知識・技術や看護実践の向上のために必要な研究課題を考えることができる（研究）。

DPとの関連

- DP1 ○
DP6 (CNS) ◎
DP7 (CNS) ○

授業計画

1	実習方法 【授業内容】 本実習では、専門看護師としての6つの能力のうち、「卓越した実践能力」と「連携調整」「倫理的問題の調整」を中心に「教育」「相談」「研究」を高める。 【授業方法】実習 【担当】西村、鎌田 【実習場所】 宗像医師会訪問看護ステーション 在宅療養支援診療所（コールメディカルクリニック福岡） 【実習期間】 実習期間は、2年次を予定し、135時間とする。 実習時間は実習施設の就業時間に準ずる。
2	卓越した実践：療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアが必要な療養者とその家族に対して、実際に関連する専門知識・理論を活用した包括的なアセスメントを行い、看護計画を立案、実施、評価を行う。 【方法】 実習では、療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアに関する看護を必要とする療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。可能な限り訪問看護開始前の在宅療養移行期から関わり、安定期、臨死期および死別後の家族へのグリーフケアを含めた経過時期別ケアを実践する。さらに、デスカンファレンスの企画・運営も行う。 訪問看護ステーションによる実習に加え、在宅療養支援診療所において1～2日実習し、訪問診療における在宅医やクリニックの看護師の役割を学ぶ機会とする。 事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。
3	連携調整：療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアが必要な療養者とその家族の療養生活が継続できるように実施されているケアカンファレンスやその他の活動に参加し、多職種・多機関との連携調整について考察する。 【授業内容】 実習では、療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアに関する看護を必要とする療養者と家族を2事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。可能な限り訪問看護開始前の在宅療養移行期から関わり、安定期、臨死期および死別後の家族へのグリーフケアを含めた経過時期別ケアを実践する。さらに、デスカンファレンスの企画・運営も行う。 訪問看護ステーションによる実習に加え、在宅療養支援診療所において1～2日実習し、訪問診療における在宅医やクリニックの看護師の役割を学ぶ機会とする。 事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。

4	倫理的問題の調整：療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアが必要な療養者・家族の倫理的問題に着目して看護実践を行う。また、実習期間中に「倫理的問題の調整」が必要な事例があれば、実際の支援場面に同席したり、関係者にインタビューしたりすることで支援内容や方法を学ぶ。 【授業内容】 実習では、療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアに関する看護を必要とする療養者と家族を 2 事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。可能な限り訪問看護開始前の在宅療養移行期から関わり、安定期、臨死期および死別後の家族へのグリーフケアを含めた経過時期別ケアを実践する。さらに、デスカンファレンスの企画・運営も行う。 訪問看護ステーションによる実習に加え、在宅療養支援診療所において 1～2 日実習し、訪問診療における在宅医やクリニックの看護師の役割を学ぶ機会とする。 事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。
5	教育：実習指導者が行う訪問看護ステーションにおける看護の質の向上のための教育場面に同席し、教育方法や技術についてディスカッションする。 【授業内容】 実習では、療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアに関する看護を必要とする療養者と家族を 2 事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。可能な限り訪問看護開始前の在宅療養移行期から関わり、安定期、臨死期および死別後の家族へのグリーフケアを含めた経過時期別ケアを実践する。さらに、デスカンファレンスの企画・運営も行う。 訪問看護ステーションによる実習に加え、在宅療養支援診療所において 1～2 日実習し、訪問診療における在宅医やクリニックの看護師の役割を学ぶ機会とする。 事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。
6	相談：実習指導者が訪問看護スタッフに行う実際の相談場面に同席し、相談内容やコンサルテーション方法についてディスカッションする。さらに、受け持ち事例でのデスカンファレンスを企画し実施する。 【授業内容】 実習では、療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアに関する看護を必要とする療養者と家族を 2 事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。可能な限り訪問看護開始前の在宅療養移行期から関わり、安定期、臨死期および死別後の家族へのグリーフケアを含めた経過時期別ケアを実践する。さらに、デスカンファレンスの企画・運営も行う。 訪問看護ステーションによる実習に加え、在宅療養支援診療所において 1～2 日実習し、訪問診療における在宅医やクリニックの看護師の役割を学ぶ機会とする。 事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。
7	研究：専門的看護実践のため看護研究の位置づけを考え、在宅看護の質の向上に貢献できる研究課題を探究する。 【授業内容】 実習では、療養上複雑で多様な課題を持ち終末期ケアに関する看護を必要とする療養者と家族を 2 事例以上担当し、包括的アセスメント、ケアの実践、多職種との連携調整、倫理的調整などを実践する。可能な限り訪問看護開始前の在宅療養移行期から関わり、安定期、臨死期および死別後の家族へのグリーフケアを含めた経過時期別ケアを実践する。さらに、デスカンファレンスの企画・運営も行う。 訪問看護ステーションによる実習に加え、在宅療養支援診療所において 1～2 日実習し、訪問診療における在宅医やクリニックの看護師の役割を学ぶ機会とする。 事例検討や勉強会など看護師等への教育活動の企画から実施までの過程に参加する。また、看護師や多職種からの相談業務を実習指導者の指導を受けながら実践する。

学習方法

目標に基づき、実習計画を立案する。
1 週毎に学習をリフレクションし、自己課題を明確にしながら実習をすすめる。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・ 日本在宅ケア学会編：エンドオブライフと在宅ケア 在宅ケア学 6．東京，ワールドプランニング，2015．
- ・ 長江弘子：看護実践にいかすエンド・オブ・ライフケア第 2 版．東京，日本看護協会出版会， 2018．
- ・ 日本訪問看護振興財団（監修），角田 直枝（編集）：訪問看護のための事例と解説から学ぶ在宅終末期ケア．中央法規，2008．
- ・ 宮下光令：緩和ケア 第 2 版(ナースング・グラフィカ)．大阪，メディカ出版，2016．
- ・ 角田直枝：癒しのエンゼルケア―家族と創る幸せな看取りと死後のケア．東京，中央法規， 2010．
- ・ 角田直枝：最新訪問看護研修テキスト ステップ 2 緩和ケア．東京，日本看護協会出版会， 2005．
- ・ 藤腹明子：看取りの心得と作法 17 カ条（初版）． 青海社，東京．2004．
- ・ 粕田晴之監修：こうすればうまくいく在宅緩和ケアハンドブック 第3版． 中外医学社， 2019．
- ・ 日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン作成委員会：がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2020 年版．東京，金原出版，2020．
- ・ 国立がん研究センター中央病院薬剤部：オピオイドによるがん疼痛緩和 改訂版．東京，エルゼビアジャパン，2012．
- ・ 角田直枝，濱本千春：がん疼痛ケアガイド．東京，中山書店，2012．
- ・ 篠田道子：多職種連携を高めるチームマネジメントの知識とスキル．東京，医学書院， 2011．

評価方法

実習目標の達成度（60％）、実習記録およびレポート（40％）

在宅看護学実習Ⅳ

更新日：2025/03/05 15:04:24

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	861100	授業コード	86110
担当教員	西村 和美, 鎌田 ゆき						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 在宅看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

この実習では、訪問看護ステーションを自ら開設した管理者のもとで実習し、訪問看護ステーションの開設・管理・運営の実際について学ぶ。また、訪問看護活動への参加やスタッフからの情報、データ分析等を通して、訪問看護の質改善に向けての課題を分析し、職場環境の整備やスタッフ教育などの具体的方策を考える。本実習では専門看護師が備えるべき6つの能力のうち、「教育」「相談」を中心に学習する。

到達目標

1	地域特性を考慮した訪問看護ステーションの開設のための準備と運営方針を考えることができる。
2	訪問看護ステーションの理念を踏まえた経営管理、人材管理の方法を説明できる。
3	訪問看護の質評価と改善にむけて、問題点抽出のため方法を考えることができる。
4	問題点抽出のために必要な訪問看護活動への参加やスタッフからの情報、必要なデータの収集により、訪問看護の質改善に向けての課題を分析することができる。
5	抽出した課題に対する職場環境の整備やスタッフ教育など具体的対策を考え、提言書を作成することができる。

DPとの関連

DP2 ○
DP6 (CNS) ○
DP7 (CNS) ◎

授業計画

1	実習方法 【授業方法】実習 【担当】西村、鎌田 【実習場所】なごみ訪問看護ステーション 楽らくサポートセンターレスピケアナース 【実習期間】実習期間は、2年次を予定し、90時間とする。 実習時間は実習施設の就業時間に準ずる。
2	実習施設において「地域特性を考慮した訪問看護ステーションの開設のための準備と運営、経営管理、人材管理の方法」の実際を知り、その方法を理解する。 【授業内容】 実習施設において「地域特性を考慮した訪問看護ステーションの開設のための準備と運営、経営管理、人材管理の方法」の実際を知り、その方法を理解する。
3	実習施設の訪問看護ステーションの管理者業務について、説明を受けた後に役割の参加観察、一部業務の実践を体験し実際の運営方法を学ぶ。 【授業内容】 実習施設の訪問看護ステーションの管理者業務について、説明を受けた後に役割の参加観察、一部業務の実践を体験し実際の運営方法を学ぶ。
4	実習施設の問題点抽出のために必要な訪問看護活動への参加やスタッフからの情報、必要なデータの収集により、訪問看護の質評価と改善に向けての課題を分析する。 【授業内容】 実習施設の問題点抽出のために必要な訪問看護活動への参加やスタッフからの情報、必要なデータの収集により、訪問看護の質評価と改善に向けての課題を分析する。
5	課題分析結果に基づき、職場環境の整備やスタッフ教育など具体的対策を考え、提言書を作成する。作成した提言書について、指導者からフィードバックあるいは議論することで、コンサルテーションの手法を学ぶ。 【授業内容】 課題分析結果に基づき、職場環境の整備やスタッフ教育など具体的対策を考え、提言書を作成する。作成した提言書について、指導者からフィードバックあるいは議論することで、コンサルテーションの手法を学ぶ。
6	教育：実習期間中に実習指導者が行う訪問看護ステーションにおける看護の質の向上のための教育場面に同席し、実習指導者にその意図や具体的な教育方法について学び考察する。 【授業内容】 教育：実習期間中に実習指導者が行う訪問看護ステーションにおける看護の質の向上のための教育場面に同席し、実習指導者にその意図や具体的な教育方法について学び考察する。
7	相談：実習指導者が療養者や家族、ケアスタッフに行う実際の相談場面に同席し、相談内容やコンサルテーション方法について学び考察する。 【授業内容】 相談：実習指導者が療養者や家族、ケアスタッフに行う実際の相談場面に同席し、相談内容やコンサルテーション方法について学び考察する。

学習方法

目標に基づき、実習計画を立案する。
1 週毎に学習をリフレクションし、自己課題を明確にしながら実習をすすめる。

オフィスアワー

月曜日・水曜日の昼休み

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・ 全国訪問看護事業協会：訪問看護ステーションの開設・運営ガイドブック～ここから始める～．大阪，メディカ出版，2021．
- ・ 全国訪問看護事業協会：訪問看護の安全対策～マニュアルの作成とヒヤリハット報告書の活用～ 第3版．東京，日本看護協会出版会，2017．
- ・ 一般社団法人全国訪問看護事業協会（編集）：訪問看護実務相談 Q&A 令和2年度改定版．東京，中央法規，2020．
- ・ 島内節：現場で使える在宅ケアのアウトカム評価～ケアの質を高めるために～．東京，ミネルヴァ書房，2018．
- ・ 加藤明子：訪問看護ステーションの労務管理．東京，日本看護協会出版会，2019．
- ・ 公益財団法人日本訪問看護財団：訪問看護お悩み相談室～報酬・制度・実践のはてなを解決～<令和2年版>．東京，中央法規出版，2020．

評価方法

実習目標の達成度（60％），実習記録およびレポート（40％）

老年看護学演習Ⅰ

更新日：2025/04/25 08:48:05

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	861200	授業コード	861200
担当教員	原田 紀美枝, 町島 希美絵, 姫野 稔子, 梶野 好美						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 老年看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

慢性期にある(緩解と増悪を繰り返す経過が長い) 高齢者とその家族に対し、長きにわたり続く経過に対し、セルフケア能力を高めQOLを向上できるように支援するとともに、キュアとケアの両面から看護過程を展開する専門性の高い看護実践能力を養う。

到達目標

1	慢性期にある高齢者及び家族を理解するための理論や概念を理解することができる。
2	慢性期にある高齢者の特徴と加齢的变化の影響を理解し、慢性期にある高齢者に対する包括的アセスメントを実施し看護過程を展開することができる。
3	慢性期にある高齢者や家族に対する高度な看護実践を行うため理論や概念を臨床適応させるための知識を獲得することができる。
4	複合的な問題を抱える慢性期にある高齢者や家族を支援するための老人看護専門看護師としての役割（教育・相談・調整）について考えることができる。

DPとの関連

DP2○
DP6(CNS)◎
DP7(CNS)○

授業計画

1	慢性期にある高齢者の特徴と加齢的变化の影響を踏まえた包括的アセスメントについて① 【授業内容】慢性期にある高齢者の急性増悪に至る過程において生じる問題について、加齢的变化の影響を踏まえたアセスメントとケアとキュアの両面からの支援方法を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】原田
2	慢性期にある高齢者の特徴と加齢的变化の影響を踏まえた包括的アセスメントについて② 【授業内容】慢性期にある高齢者の急性増悪から回復期において生じる問題について、加齢的变化の影響を踏まえたアセスメントとケアとキュアの両面からの支援方法を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】原田
3	慢性期にある高齢者の生活機能のアセスメントとセルフケアマネジメント 【授業内容】慢性期にある高齢者のセルフケア能力を見極めた包括的アセスメントと持てる力を活用したセルフケアマネジメントの在り方を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】原田
4	慢性期にある高齢者の生活障害とアセスメントと援助① 【授業内容】摂食・嚥下機能のアセスメントとセルフケアマネジメント、家族への支援の在り方を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】原田
5	慢性期にある高齢者の生活障害とアセスメントと援助② 【授業内容】排泄機能のアセスメントとセルフケアマネジメント、家族への支援の在り方を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】原田
6	慢性期にある高齢者の生活障害とアセスメントと援助③ 【授業内容】慢性期にある高齢者及び家族の生活の質の向上のために、生活リズムを整えるためのアセスメントの実際と援助の在り方を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】原田
7	機能障害が生じた高齢者の生活の構築とリハビリテーション 【授業内容】機能障害が生じた高齢者の生活の構築に向けたアセスメントと支援のあり方を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】町島
8	ヘルスプロモーション促進のための健康教育と看護の役割 【授業内容】慢性期にある高齢者に対する諸理論を活用した健康教育の在り方と看護師の役割を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】町島

9	慢性期にある高齢者と家族の看護の実際① 【授業内容】慢性期にある高齢者の生活機能のアセスメントとセルフケアマネジメントに対する事例展開 【授業方法】演習 【担当】原田・姫野・町島
10	慢性期にある高齢者と家族の看護の実際② 【授業内容】慢性期にある高齢者の生活機能のアセスメントとセルフケアマネジメントに対する事例展開 【授業方法】演習・プレゼンテーション 【担当】原田・姫野・町島・梶野
11	慢性期にある高齢者の看護における多職種連携 【授業内容】慢性期にある高齢者が悪化と緩解を繰り返す過程の中で、治療の場と療養生活の場を継なく多職種連携において、専門看護師が行う実践を事例を通して検討する。 【授業方法】演習 【担当】原田
12	慢性期にある高齢者と家族の看護の実際③ 【授業内容】慢性期にある高齢者の生活機能のアセスメントとセルフケアマネジメントに対する事例展開（多職種連携） 【授業方法】演習 【担当】原田・姫野・町島
13	慢性期にある高齢者と家族の看護の実際④ 【授業内容】慢性期にある高齢者の生活機能のアセスメントとセルフケアマネジメントに対する事例展開（多職種連携） 【授業方法】演習・プレゼンテーション 【担当】原田・姫野・梶野（訪問看護ステーション GRACE）
14	複合的な看護問題を持つ高齢者（対応困難事例）への看護介入 【授業内容】複合的な健康問題を持つ高齢者のアセスメントと支援のあり方について検討する。 【授業方法】演習 【担当】原田・梶野（訪問看護ステーション GRACE）
15	慢性期にある高齢者に対する支援の在り方と老人看護専門看護師の役割 【授業内容】慢性期にある高齢者に対する支援のあり方についてプレゼンテーションを行ない、老人看護専門看護師の役割を考える。 【授業方法】プレゼンテーション・意見交換 【担当】原田・姫野・町島・梶野（訪問看護ステーション GRACE）

学習方法

討議の準備として老年看護学特論や老年看護学病態・治療論で学修した知識をもとに、テーマに関する自己学習を行い、自身の考えをまとめた上で討議に参加する。演習の進め方は、専門性の高い実践能力を獲得するために模擬事例や学生が経験した事例をもとに事例検討を行う。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：金曜日の昼休み，t-himeno@jrckicn.ac.jp

原田：水曜日の昼休み，k-harada@jrckicn.ac.jp

町島：火曜日の昼休み，k-machishima@jrckicn.ac.jp

テキスト

テキストは用いず、講義時の配布資料に基づいて講義を行う。

参考文献

篠田道子：多職種連携を高めるチームマネジメントの知識とスキル．医学書院,2011

山本由子、金盛琢也、六角遼子他：退院後の生活を見据えた高齢者ケア 包括的アセスメントと健康障害へのアプローチ．看護技術2017年10月増刊．メジカルフレンド社,2017

評価方法

授業やディスカッションの参加度 40% プレゼンテーション60%

老年看護学演習Ⅱ

更新日：2025/04/25 08:48:24

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	861300	授業コード	861300
担当教員	町島 希美絵, 原田 紀美枝, 姫野 稔子, 福嶺 初美, 首藤 敏夫, 田中 勝, 平井 美代子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 老年看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

認知症高齢者とその家族の尊厳のある生活を支援するための包括的アセスメントおよびエビデンスに基づいた支援を考える能力を養う。

到達目標

1	認知症の病態や治療に対する最新の知識を基に体系的に理解できる。
2	認知症高齢者に対する包括的アセスメントの方法を理解し、認知症のステージに応じた看護の実際を説明することができる
3	認知症高齢者や家族の尊厳や価値観を脅かす倫理的諸問題を理解し、看護実践への活用方法を説明することができる。
4	社会における認知症の現状を理解し、複合的な問題を抱える認知症高齢者や家族を支援するための老人看護専門看護師としての役割（教育、相談、調整）と機能について考えることができる。

DPとの関連

DP1○
DP2○
DP6(CNS)◎

授業計画

1	社会における認知症の現状とケアシステムについて 【授業内容】社会における認知症の現状と認知症高齢者と家族を支えるケアシステムについて(法律的基盤と現状の課題)。 【授業方法】講義 【担当】福嶺
2	認知症疾患の病態と診断・治療について 【授業内容】認知症の病態と要因、症状の理解と生活環境の調整について検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】町島
3	認知症疾患の病態と診断・治療について 【授業内容】認知症の治療（薬物療法・非薬物療法）に伴い生活環境を調整する方法を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】町島
4	認知機能の評価方法(FAST/MOCA-J/認知症日常生活自立度判定基準) 【授業内容】認知機能の様々な評価方法（観察式・質問式）を活用し、認知高齢者のアセスメントを行う。 【授業方法】講義・演習 【担当】原田
5	認知症高齢者の包括的アセスメントの視点と生活支援 【授業内容】認知症高齢者の加齢的影響と身体合併症に関するアセスメントと生活支援の実際について検討する（アセスメント）。 【授業方法】講義・演習 【担当】首藤
6	認知症高齢者の包括的アセスメントの視点と生活支援 【授業内容】認知症高齢者の加齢的影響と身体合併症に関するアセスメントと生活支援の実際について検討する（生活支援計画）。 【授業方法】講義・演習 【担当】首藤
7	認知症高齢者とのコミュニケーションと療養的アプローチ1 【授業内容】パーソンセンタードケアとユマニチュード 【授業方法】講義・演習 【担当】姫野
8	認知症高齢者とのコミュニケーションと療養的アプローチ2 【授業内容】リアリティオリエンテーション・回想法・ライフヒストリー 【授業方法】講義・演習 【担当】姫野
9	認知症高齢者の事例を用いたアセスメントと支援計画のプレゼンテーション 【授業内容】認知症高齢者生活行動の特徴を踏まえた援助計画(倫理調整、他部署、多職種との連携、スタッフ教育を含む)を立案しプレゼンテーションを行う。 【授業方法】演習 【担当】町島・原田・姫野

10	対応困難事例のコンサルテーションとスタッフ教育 【授業内容】認知症ケアに関する倫理的課題の調整と、チーム内におけるコンサルテーション、スタッフ教育に関する実施計画を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】平井
11	認知症高齢者の家族への支援 【授業内容】介護家族の背景の理解と介護負担の軽減(虐待防止も含む) 家族への援助計画(倫理的課題、スタッフ教育を含む) を検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】福嶺
12	認知症看護における多職種連携 【授業内容】認知症高齢者を支える施設内の多職種連携および地域や行政機関等との連携の在り方について検討する。 【授業方法】講義・演習 【担当】田中
13	認知症高齢者のエンド・オブ・ライフケア 【授業内容】認知症高齢者のエンド・オブ・ライフケアの在り方を検討する(家族の支援も含む) 。 【授業方法】講義・演習 【担当】町島
14	フィールドワーク：地域包括支援センターにおける相談業務 【授業内容】地域包括支援センターにおける認知症高齢者介護に関する相談を経験し老人看護専門看護師の役割と実践を行う上での自己課題を明確にする。 【授業方法】フィールドワーク 【担当】町島・原田・姫野
15	認知症高齢者と家族への支援と多職種連携に関するプレゼンテーション 【授業内容】事例をもとに認知症高齢者と家族の支援のあり方及び他職種連携のあり方についてプレゼンテーションを行ない、認知症看護を実践するための自己課題を明確にする。 【授業方法】プレゼンテーション・意見交換 【担当】町島・原田・姫野

学習方法

学生が経験した看護実践事例や文献の事例、老人看護専門看護師の実践事例を用いて演習を進める。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：金曜日の昼休み, t-himeno@jrckicn.ac.jp

原田：水曜日の昼休み, k-harada@jrckicn.ac.jp

町島：火曜日の昼休み, k-machishima@jrckicn.ac.jp

テキスト

テキストは用いず、講義時の配布資料に基づいて講義を行う。

参考文献

トム・キットウッド、高橋誠一訳:認知症のパーソン・センタード・ケア~新しいケアの文化へ~.簡井書房,2017.

本田美和子他：ユマニチュード入門. 医学書院，2014.

評価方法

課題に対するプレゼンテーションディスカッションへの参加度およびレポートを通し総合的に評価する。

老年看護学実習Ⅰ（慢性期看護）

更新日：2025/04/25 08:48:43

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	861400	授業コード	861400
担当教員	原田 紀美枝, 町島 希美絵, 姫野 稔子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 老年看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	3	
	備考(配当)						

授業の目的

緩和と増悪を繰り返しながら長期にわたり療養する高齢者の健康問題に対しキュアとケアを融合させ、退院後の生活を見据えたケアマネジメントを行うことができるような高度で専門的な看護実践能力を養い、専門看護師の役割である実践・調整・教育・倫理調整・相談・研究を行うための能力を獲得する。

到達目標

1	緩和と増悪を繰り返し経過が長い高齢者と家族が抱える健康問題に対し、包括的なアセスメントを行い、キュアとケアを融合させた看護過程を展開することができる（実践）
2	緩和と増悪を繰り返す高齢者の退院調整で生じる課題を解決するため、他施設や在宅との連携における老人看護専門看護師の役割を理解することができる。（調整）
3	倫理的問題に直面している高齢者・家族及び専門職種間で生じた倫理的課題に対する調整方法を理解することができる。（倫理調整）
4	緩和と増悪を繰り返し経過が長い高齢者特有の看護に関する課題や問題について、スタッフへの教育方法や相談活動方法を考えることができる。（教育・相談）
5	看護実践の中から長きにわたり療養する高齢者看護の専門知識・技術や看護実践の向上のために必要な研究課題を考えることができる（研究）

DPとの関連

DP5○
DP6(CNS)◎
DP7(CNS)○

授業計画

	実習
1	【実習方法】 1．緩和と増悪を繰り返し経過が長い複雑で多様な健康問題を持つ高齢者を受け持ち、QOLの維持もしくは向上を目標に専門知識や理論を活用し看護計画の立案・実施・評価を行う。 2．受け持ち高齢者とその家族の生活背景を理解した上で、退院後の生活を見据えた、関係職種との連携を実施・評価する。 3．指導者である老人看護専門看護師が実践する緩和と増悪を繰り返し経過が長い 高齢者及びその家族に対する倫理調整の場面に参加し、回復過程における倫理調整のあり様を考える。 4．指導者である老人看護専門看護師が実践する看護スタッフからの相談の場面に参加し、老人看護専門看護師の役割・機能を考える。 5．指導者である老人看護専門看護師が実践する高齢者・家族およびスタッフへの教育企画に参加し、老人看護専門看護師の役割・機能を考える。 6．専門的看護実践のため看護研究の位置づけを考え、高齢者看護の質の向上に貢献できる研究課題を探究する。 【実習場所】 松江赤十字病院 11階病棟(糖尿病・内分泌内科・膠原病・腎臓内科) 【実習期間】 実習期間は、1年次を予定し、135時間とする。 実習時間は実習施設の就業時間に準ずる。 【指導方法】 臨地での実践及び老人看護専門看護師の役割機能に関する実践については、実習指導者である老人看護専門看護師の助言・指導を受けながら実践する。 担当教員のスーパーバイズを週に1回以上受けながら実習を展開していく。 1週目末：カンファレンス(教員、実習指導者)を実施する。 2週目末：中間カンファレンス(教員、実習指導者、病棟スタッフ)を実施する。 3週目末：最終カンファレンス(教員、実習指導者、病棟スタッフ)を実施する。

学習方法

目標に基づき、実習計画を立案する。
1週毎に実習での体験をもとにリフレクションし、自己課題を明確にしながら実習をすすめる。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。
姫野：金曜日の昼休み、t-himeno@jrckicn.ac.jp
原田：水曜日の昼休み、k-harada@jrckicn.ac.jp
町島：火曜日の昼休み、k-machishima@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・長江弘子：看護実践にいかすエンドオブ・ライフ・ケア．東京，日本看護協会出版会，2014．
- ・日本老年医学会：健康長寿診療ハンドブック.東京，日本老年医学会，2019．

評価方法

実習計画立案・実習目標の達成度（60％）、実習記録およびレポート（40％）

老年看護学実習Ⅱ（慢性期看護）

更新日：2025/04/25 08:48:58

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	861500	授業コード	861500
担当教員	原田 紀美枝, 町島 希美絵, 姫野 稔子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 老年看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

長期にわたり療養する高齢者と家族が、住み慣れた地域での生活を支えるケアマネジメントを行うことができるように、高度で専門的な看護実践を行なう能力を養うとともに、老人看護専門看護師の役割である実践・調整・倫理調整・教育・相談・研究を行うための能力を獲得する。

到達目標

1	長期にわたり療養する高齢者と家族が抱える健康問題に対し、包括的なアセスメントを行い、キュアとケアを融合させた看護過程を展開することができる（実践）
2	長期にわたり療養する高齢者や家族の意向やニーズに応じ、住み慣れた地域で生活を継続することができるように、関連する専門職種間との調整の実際を学び、一部を実践することができる。（調整）
3	倫理的問題に直面している高齢者・家族が、自らの価値観と一致した選択ができるような、意思決定支援の実際を学び一部を実践できる。（倫理調整）
4	長期にわたり療養する高齢者や家族が抱える課題や問題の解決に向けて、スタッフへの教育方法や相談活動方法の実際を学び、一部を実践することができる。（教育・相談）
5	看護実践の中から長期にわたり療養する高齢者看護の専門知識・技術や看護実践の向上のために必要な研究課題を考えることができる（研究）

DPとの関連

DP5○

DP6(CNS)◎

DP7(CNS)○

授業計画

	実習 【実習方法】 1．長期にわたり療養する健康問題を持つ高齢者と家族を受け持ち、対象者のセルフケア能力、対象者の意向やニーズに応じて、住み慣れた地域で療養生活を継続することができることを目標に専門知識や理論を活用し看護計画の立案・実施・評価を行う。 2．長期にわたり療養する高齢者とその家族の生活背景や地域特性を理解した上で、関係職種との調整に対する実施計画を立案し実践・評価する。 3．受け持ち対象者の療養支援を行う際に対象者及びその家族の価値観を重視した倫理調整に関する実施計画を立案し、一部実施・評価する。 4．長期にわたり療養する患者や家族への看護に対する訪問看護ステーションスタッフからの相談業務の一部を実施し評価する。 5．長期にわたり療養する高齢者や家族が対象者の意向やニーズに応じた療養生活を継続する上で必要なスタッフ教育について計画を立案し一部を実施、評価する。 6．専門的看護実践のため看護研究の位置づけを考え、高齢者看護の質の向上に貢献できる研究課題を探究する。
1	【実習場所】 福岡みらい病院 訪問看護ステーション 【実習期間】 実習期間は、1年次を予定し、90時間とする。 実習時間は実習施設の就業時間に準ずる。 【指導方法】 日々の実践及び老人看護専門看護師の役割機能に関する実践は、指導者である老人看護専門看護師の助言・指導を受ける。 担当教員のスーパーバイズを週に1回以上受けながら実習を展開していく。 1週目末：中間カンファレンス(教員、実習指導者) 2週目末：最終カンファレンス(教員、実習指導者、実習施設スタッフ)

学習方法

目標に基づき、実習計画を立案する。
1週毎に学習をリフレクションし、自己課題を明確にしながら実習をすすめる。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：金曜日の昼休み、t-himeno@jrckicn.ac.jp

原田：水曜日の昼休み、k-harada@jrckicn.ac.jp

町島：火曜日の昼休み、k-machishima@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定はしない

参考文献

特に指定しない

評価方法

実習計画立案・実習目標の達成度（60％）、実習記録およびレポート（40％）

老年看護学実習Ⅲ（認知症看護）

更新日：2025/04/25 08:49:15

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	861600	授業コード	861600
担当教員	町島 希美絵, 原田 紀美枝, 姫野 稔子						
備考							
配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 老年看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

もの忘れ外来・デイケアにおいて認知症の診断や検査・治療について理解し、認知症高齢者とその家族の生活支援を通して老人看護専門看護師の役割・機能（調整・倫理調整）を実践できる能力を獲得する。

到達目標

1	認知症に関する診断、検査・治療方法を理解し、認知症のステージやBPSDへのアセスメント力を身につけ、専門的な知識を活用した生活支援を行うことができる（実践）
2	認知症高齢者とその家族の支援を行う上で、対象者のニーズに応じた保健・医療・福祉の連携を図る能力を獲得する（調整）
3	複雑で多様な課題を抱える認知症高齢者と家族の倫理的問題に着目して看護を実践する（倫理調整）
4	実践を通して関係スタッフへの教育や相談が必要な内容について考察し、スタッフへの教育・相談業務における自己課題を明確にすることができる(教育・相談)

DPとの関連

DP5○
DP6(CNS)◎
DP7(CNS)○

授業計画

1	実習 【実習方法】 1) もの忘れ外来 （1）もの忘れ外来に受診する認知症高齢者とその家族の受診予約相談や初診時の診療介助を体験する。 （2）対象者に必要な職種や地域との連携調整、倫理的調整など場面に同席し支援方法を学ぶ。 （3）自己の体験を専門的知識や理論を用いて評価する。 2) 重度認知症デイケア （1）重度認知症デイケアに通所する認知症患者を受け持ち精神科医師・精神保健福祉士・作業療法士・看護師等と協働する。 （2）通所中の精神症状及び行動障害が著しい認知症患者の事例(実習指導者と目標を達成できる患者を選定)を受け持ち、精神症状等の軽快および生活機能の回復を目標に専門知識や理論を活用し、生活状況や社会資源の情報についての包括的なアセスメントと共に看護計画の立案・実施・評価を行う。 （3）精神症状及び行動障害が著しい認知症患者やその家族の倫理的問題に着目して看護実践を行う。また、実習期間中に「倫理的問題の調整」が必要な事例があれば、実際の支援場面に同席したり、関係者にインタビューしたりすることで支援内容や方法を学ぶ。 （4）デイケアスタッフカンファレンスに参加し、教育や相談が必要な内容について考察し、スタッフへの教育・相談業務における自己課題を明確にする。 【実習場所】 田主丸中央病院 もの忘れ外来、重度認知症デイケア 【実習期間】 実習期間は、2年次を予定し、90時間とする。 実習時間は実習施設の就業時間に準ずる。 【指導方法】 担当教員のスーパーバイズを週1回以上受けながら実習を展開していく。
---	---

学習方法

目標に基づき、実習計画を立案する。
1週毎に学習をリフレクションし、自己課題を明確にしながら実習をすすめる。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。
姫野：金曜日の昼休み、 t-himeno@jrckicn.ac.jp
原田：水曜日の昼休み、 k-harada@jrckicn.ac.jp
町島：火曜日の昼休み、 k-machishima@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・日本神経学会監修：認知症疾患診療ガイドライン．東京，医学書院，2017．
- ・篠田道子：多職種連携を高めるチームマネジメントの知識とスキル．東京，医学書院，2011．

評価方法

実習目標の達成度（60％）、実習記録およびレポート（40％）

老年看護学実習Ⅳ（認知症看護）

更新日：2025/04/25 08:49:32

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	861700	授業コード	861700
担当教員	町島 希美絵, 原田 紀美枝, 姫野 稔子						
備考							
配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 老年看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	3	
	備考(配当)						

授業の目的

認知症高齢者とその家族に対する高度で専門的な看護実践能力を獲得するとともに、専門看護師の役割である実践・教育・相談を行うための能力の獲得および研究課題を探究する。

到達目標

1	療養上複雑で多様な課題を持つ認知症高齢者と家族に対し、専門知識・理論に基づいた包括的なアセスメントを行い、認知症のステージの特性に応じたに看護問題を抽出しライフマネジメントを視野に入れた実践ができる（実践）
2	認知症ケア回診、病棟カンファレンス、身体拘束廃止対策委員会に参加し、認知症ケア対策課・認知症ケアチームの専門職種間との連絡調整を実施し、多職種連携によるチームアプローチが実践できる（調整）
3	療養上複雑で多様な課題を持ち倫理的問題に直面している認知症高齢者および家族が、自らの価値観と一致した選択ができるように、意思決定支援が実施できる（倫理調整）
4	認知症看護に関連した課題や問題について、スタッフへの教育方法や相談活動方法を考えることができる（教育・相談）
5	看護実践の中から認知症看護の専門知識・技術や看護実践の向上のために必要な研究課題を考えることができる（研究）

DPとの関連

DP5○
DP6(CNS)◎
DP7(CNS)○

授業計画

1	実習 【実習方法】 1．病棟 （1）身体合併症を有する認知症高齢者で精神症状や行動障害が著しい患者を受け持ち精神症状等の軽快および生活機能の回復を目標に専門知識や理論を活用し看護計画の立案・実施・評価を行う。 （2）認知症高齢者とその家族の生活背景を理解した上で、退院後の生活を見据え、関係職種との連携を行い適切な必要なライフマネジメントを行う。 （3）受け持ち対象者の退院療養支援を行う際に対象者及びその家族の価値観を重視した支援を行う。 （4）病棟カンファレンスや身体拘束廃止対策委員会に参加し、病棟および患者の個別の倫理的課題を抽出し調整を行う。 （5）専門的看護実践のため看護研究の位置づけを考え、認知症看護の質の向上に貢献できる研究課題を探究する。 2．認知症ケア回診への参加 （1）認知症ケア回診に参加する。 （2）認知症ケア回診での実際の相談場面に同席し、相談内容やコンサルテーション方法についてディスカッションする。 （3）実習指導者が行う看護の質の向上のための教育場面に同席し、教育方法や技術についてディスカッションする。 【実習場所】 田主丸中央病院 指導者に適切な病棟、患者を選定してもらう 【実習期間】 実習期間は、2年次を予定し、135時間とする。 実習時間は実習施設の就業時間に準ずる。 【指導方法】 担当教員のスーパーバイズを週1回以上受けながら実習を展開していく。
---	---

学習方法

目標に基づき、実習計画を立案する。
1週毎に学習をリフレクションし、自己課題を明確にしながら実習をすすめる。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。
姫野：金曜日の昼休み、t-himeno@jrckicn.ac.jp
原田：水曜日の昼休み、k-harada@jrckicn.ac.jp
町島：火曜日の昼休み、k-machishima@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定はしない

参考文献

- ・日本神経学会監修：認知症疾患診療ガイドライン．東京，医学書院，2017．
- ・長江弘子：看護実践にいかすエンドオブ・ライフ・ケア．東京，日本看護協会出版会，2014．

評価方法

実習目標の達成度（60％）、実習記録およびレポート（40％）

老年看護学特論Ⅰ

更新日：2025/04/25 08:49:49

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	861800	授業コード	861800
担当教員	姫野 稔子, 原田 紀美枝, 町島 希美絵, 井手 みのり						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 老年看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

高齢者および家族に対し高度な看護実践をするための看護理論やケアモデル、概念に対する理解を深める。また、高齢者の看護実践において生じる倫理的問題について看護理論やケアモデル、概念を活用し、解決・改善に向けた方策を探究することができる。

到達目標

1	古いメカニズムや生物学的・心理的・社会的な視点からAgingを説明できる。
2	老年看護に関連する諸理論やケアモデル、概念とその活用方法について説明できる。
3	高齢者や家族の尊厳や価値観を脅かす倫理的諸問題を理解し、看護実践への活用方法を説明できる。
4	老人看護看護看護専門看護師としての役割・機能について説明できる。

DPとの関連

DP1◎
DP2○
DP6(CNS)○

授業計画

1	老年看護の本質の理解 【授業内容】老年看護の理念・目標および原理原則、老年看護学の概念や要素および枠組み等、講義を通して老年看護の本質を探究する。 【授業方法】講義 【担当】姫野
2	Agingの理解Ⅰ 【授業内容】諸学説に基づく老化のメカニズムや加齢による生物学的・心理的・社会的視点からAgingの理解を深め、生活行動への影響を探究する。 【授業方法】講義 【担当】姫野
3	Agingの理解Ⅱ 【授業内容】老年期の発達段階・発達課題、ライフサイクル、老年看護学における発達・衰退について理解を深める。 【授業方法】講義 【担当】姫野
4	老年看護学に関する看護理論および活用Ⅰ 【授業内容】コンフォート理論の学問的・社会的背景、理論と概念の理解を深め、当該理論の高齢者ヘルスケア実践への活用方法を探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】原田
5	老年看護学に関する看護理論および活用Ⅱ 【授業内容】SOC理論の学問的・社会的背景、理論と概念の理解を深め、生涯発達の視点における高齢者理解と活用方法を探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】町島
6	老年看護学に関する看護理論および活用Ⅲ 【授業内容】社会的学習理論の学問的・社会的背景、理論と概念の理解を深め、当該理論を用いた分析方法および看護実践での活用方法を探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】姫野
7	老年看護学に関する看護理論および活用Ⅳ 【授業内容】情動的中範囲理論の学問的・社会的背景、理論と概念の理解を深め、当該理論を用いた分析方法および看護実践での活用方法を探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】姫野
8	老年看護学に関する看護理論および活用Ⅴ 【授業内容】役割理論の学問的・社会的背景、理論と概念の理解を深め、当該理論の活用方法を探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】原田
9	老年看護学に関するケアモデルおよび活用 【授業内容】高齢者と家族に関するパーソン・センタード・ケアの考え方や要素の理解を深め、高齢者の独自性を尊重したアプローチの方法を探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】原田

10	老年看護における倫理的問題Ⅰ 【授業内容】高齢者の意思決定支援における倫理的判断、法的解釈、コミュニケーションスキル、ACPについて理解を深め、看護介入の可能性を探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】姫野
11	老年看護における倫理的問題Ⅱ 【授業内容】身体拘束等、老年看護における倫理的問題と背景、人権擁護のための方策と看護師の役割を探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】町島
12	老年看護における倫理的問題Ⅲ 【授業内容】高齢者の権利擁護、エイジズム等、老年看護における倫理的問題と背景、権利擁護のための方策と看護師の役割を探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】町島
13	老年看護における倫理的問題Ⅳ 【授業内容】家族の代理意思決定やそのプロセスを支える看護師の倫理的判断について理解を深める。代理意思決定や倫理的判断に関する看護師としての専門的価値観や役割について探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】姫野
14	老人看護専門看護師としての役割・機能Ⅰ 【授業内容】老人看護専門看護師の機能（教育、相談、研究、調整、倫理的調整）について理解するとともに、老人看護専門看護師の社会的使命を探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】姫野・原田・町島
15	老人看護専門看護師の役割・機能Ⅱ 【授業内容】老人看護専門看護師の活動の場における現状を課題、今後の展望について検討する。 【授業方法】講義・討議 【担当】井手みのり（長崎大学病院）・姫野

学習方法

高齢者の看護実践に有用な理論やケアモデル、概念に関する講義を行い、看護実践における諸問題や倫理的課題の分析や活用方法を探究する。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：金曜日の昼休み，t-himeno@jrckicn.ac.jp

原田：水曜日の昼休み，k-harada@jrckicn.ac.jp

町島：火曜日の昼休み，k-machishima@jrckicn.ac.jp

テキスト

テキストは用いず、講義時の配布資料に基づいて講義を行う。

参考文献

Joyce, E. Thompson, et al. : Bioethical Decision Making For Nurses. 1992, ケイコ・イマイ・キシ他訳：看護倫理のための意思決定 10 のステップ. 東京，日本看護協会出版会，2004.

西川光則、長江弘子、横江由理子：本人の意思決定を尊重する意思決定支援. 東京，南江堂，2016.

評価方法

討議50%、課題レポート50%

老年看護学特論Ⅱ

更新日：2025/04/25 08:50:06

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	861900	授業コード	861900
担当教員	姫野 稔子, 原田 紀美枝, 町島 希美絵						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 老年看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

高齢者の加齢過程における身体的・精神的・社会的変化が健康や生活に及ぼす影響を評価する多様な評価方法を理解し、包括的評価が行える能力を養う。

到達目標

1	高齢者の加齢変化による身体的・精神的・社会的変化と健康および生活への影響が説明できる。
2	高齢者の健康や生活に関する多様な評価方法とその特徴を説明できる。
3	多様な評価方法を用いて、包括的な評価することができる。

DPとの関連

DP2◎
DP6(CNS)○
DP7(CNS)○

授業計画

1	高齢者の加齢変化と生活機能評価Ⅰ 【授業内容】高齢者を包括的にアセスメントすることの意義や方法論を理解する。包括的アセスメントの1つであるICFモデルの概念や視点、枠組みを理解する。 【授業方法】講義 【担当】姫野
2	高齢者の加齢変化と生活機能評価Ⅱ 【授業内容】ICFモデルによる高齢者の加齢変化と生活機能の捉え方を探究する（脳・神経機能、感覚機能、発声機能、循環機能、呼吸機能）。 【授業方法】講義・討議 【担当】姫野
3	高齢者の加齢変化と生活機能評価Ⅲ 授業内容】ICFモデルによる高齢者の加齢変化と生活機能の捉え方を探究する（消化・吸収機能、内分泌機能、腎・排泄機能、性・生殖機能、筋骨格機能、外皮系機能）。 【授業方法】講義・討議 【担当】姫野
4	高齢者の健康生活評価 【授業内容】高齢者総合機能評価 CGA（基本チェックリスト、CGA7、DASC-8）について理解を深め、看護実践における適用や活用方法を検討する。 【授業方法】講義・討議 【担当】姫野
5	高齢者のADL・IADL評価 【授業内容】ADL:Barthel index,DASC-21, IADL:Lawtonの尺度、老研式活動能力指標、DASC-21の構造や評価方法について講義を通して理解し、看護実践における適用や活用方法を検討する。 【授業方法】講義・討議 【担当】姫野
6	高齢者のADL・運動機能評価 【授業内容】障害高齢者の日常生活の自立度判定基準、バランス評価、歩行評価、転倒・転落アセスメント等の評価方法について講義を通して理解し、看護実践における適用や活用方法を検討する。 【授業方法】講義・討議 【担当】姫野
7	高齢者の栄養評価Ⅰ 【授業内容】フレイルおよびサルコペニアと各々の評価方法について講義を通して理解を深め、看護実践における適用や活用方法を検討する。 【授業方法】講義・討議 【担当】原田
8	高齢者の栄養評価Ⅱ 【授業内容】摂食嚥下機能評価について講義を通して理解を深め、看護実践における適用や活用方法を検討する。 【授業方法】講義・討議 【担当】原田

9	高齢者の精神的側面の評価Ⅰ 【授業内容】認知機能の評価（HDS-R、MMSE,Mini-Cog、DASC-21、ABC-DS）について講義を通して理解し、看護実践における適用や活用方法を検討する。 【授業方法】講義・討議 【担当】町島
10	高齢者の精神的側面の評価Ⅱ 【授業内容】老年期うつ病評価表（GDS15）,意欲の指標（Vitality index）について講義を通して理解し、看護実践における適用や活用方法を検討する。 【授業方法】講義・討議 【担当】町島
11	高齢者の家族機能の評価Ⅰ 【授業内容】家族機能の評価、介護力、介護負担等の社会的評価について講義を通して理解し、看護実践における適用や活用方法を検討する。 【授業方法】講義・討議 【担当】町島
12	高齢者の家族機能の評価Ⅱ 【授業内容】閉じこもりや社会的孤立等の社会的評価について講義を通して理解し、看護実践における適用や活用方法を検討する。 【授業方法】講義・討議 【担当】町島
13	高齢者の住環境の評価 【授業内容】認知症高齢者の施設入所環境評価 認知症高齢者への環境支援指針PEAP 日本版）について講義を通して理解し、個々の看護実践における適用や活用方法を検討する。 【授業方法】講義・討議 【担当】町島
14	事例による高齢者の包括的アセスメントⅠ 【授業内容】臨床で経験した複雑な事例について既習の評価方法を用いて包括的にアセスメントし、実践への適用と課題を検討する。 【授業方法】発表・討議 【担当】姫野・原田・町島
15	事例による高齢者の包括的アセスメントⅡ 【授業内容】臨床で経験した複雑な事例について既習の評価方法を用いて包括的にアセスメントし、実践への適用と課題を検討する。 【授業方法】発表・討議 【担当】姫野・原田・町島

学習方法

高齢者の健康および生活機能の様々な評価方法を講義で学び、事例の包括評価について討議を行う。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。
姫野：金曜日の昼休み，t-himeno@jrckicn.ac.jp
原田：水曜日の昼休み，k-harada@jrckicn.ac.jp
町島：火曜日の昼休み，k-machishima@jrckicn.ac.jp

テキスト

テキストは用いず、講義時の配布資料に基づいて講義を行います。

参考文献

安藤邑恵、小木曾加奈子：ICFの視点に基づく高齢者ケアプロセス．東京，学文社，2024．
島田裕之：サルコペニアと運動 エビデンスと実践．東京，医歯薬出版株式会社，2014．
その他、適宜提示します。

評価方法

討議40％、発表40％、課題レポート（討議および発表の内容をもとに修正をして整理する）20％

老年看護学特論Ⅲ

更新日：2025/04/25 08:50:26

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	862000	授業コード	862000
担当教員	姫野 稔子, 原田 紀美枝, 町島 希美絵, 井手 みのり						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 老年看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

高齢者と家族に生じやすい問題を理解し、高度な臨床判断および倫理的な判断により問題解決に向けた看護援助を実践する能力を養う。

到達目標

1	高齢者とその家族のアセスメントをにより価値・信念に基づいた支援が説明できる。
2	健康問題を有する高齢者とその家族への支援が説明できる。
3	様々な病期における高齢者と家族に生じる問題解決に向けた倫理的な判断と看護援助が説明できる。
4	高齢者と家族がより質の高い生活が送れるように老人看護専門看護師としての役割・機能（教育、相談、調整、倫理）が説明できる。

DPとの関連

DP1◎

DP2○

DP5○

授業計画

1	高齢者と家族の理解Ⅰ 【授業内容】家族の概念的定義、家族形態および家族機能の変化と課題を理解し、それに伴う家族の役割について探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】町島
2	高齢者と家族の理解Ⅱ 【授業内容】家族発達理論、家族システム理論について文献検討により整理し、理論を用いたアセスメント方法と家族援助について探究する。 【授業方法】発表・討議 【担当】町島
3	家族介護者の介護負担とストレスマネジメント 【授業内容】家族介護者の介護負担の現状と課題について、文献検討により理解を深め、家族介護者の価値観やQOLを踏まえたストレスマネジメント方法についた探究する。 【授業方法】発表・討議 【担当】町島
4	健康問題を有する高齢者とその家族への支援Ⅰ 【授業内容】認知症高齢者とその家族に生じる問題について文献検討により整理する。また、認知症高齢者の尊厳と家族の価値観を尊重する支援方法について倫理的調整および家族調整の観点から探究する。 【授業方法】発表・討議 【担当】原田
5	健康問題を有する高齢者とその家族への支援Ⅱ 【授業内容】摂食嚥下障害を有する高齢者やその家族に生じる問題について文献検討により整理す。また、生活機能低下や低栄養予防、環境調整の観点から高齢者とその家族への支援について探究する。 【授業方法】発表・討議 【担当】原田
6	健康問題を有する高齢者とその家族への支援Ⅲ 【授業内容】身体可動性障害を有する高齢者とその家族に生じる問題について文献検討により整理する。また、高齢者の自立および機能維持を目指す生活調整の観点から高齢者及びその家族へ支援について探究する。 【授業方法】発表・討議 【担当】姫野
7	入所・入院時に高齢者に生じる問題と看護の実践Ⅰ 【授業内容】入院・入所時に生じやすい問題（適応困難、不穏、転倒等）に関する文献および先行研究を整理し、個々の看護実践事例をもとにリスクスクマネジメントや問題解決に向けた倫理的な判断と看護援助について探究する。 【授業方法】講義・演習 【担当】原田
8	入所・入院時に高齢者に生じる問題と看護の実践Ⅱ 【授業内容】入院・入所時に生じやすい問題（適応困難、不穏、転倒等）に関する個々の看護実践事例をもとに倫理的な判断や支援の視点で発表し、ディスカッションする。 【授業方法】発表・討議 【担当】姫野・原田・町島

9	急性期・周手術期に高齢者に生じる問題と看護の実際Ⅰ 【授業内容】急性期・周手術期に高齢者と家族に生じやすい問題について文献や先行研究を整理し、個々の看護実践事例をもとに急性期・周手術期における高齢者と家族の特徴と問題解決に向けた倫理的な判断と看護援助について探究する。 【授業方法】発表・討議 【担当】姫野
10	急性期・周手術期に高齢者に生じる問題と看護の実際Ⅱ 【授業内容】急性期・周手術期に高齢者と家族に生じやすい問題に関する個々の看護実践事例をもとに倫理的な判断や支援の視点で発表し、ディスカッションする。 【授業方法】発表・討議 【担当】姫野・原田・町島
11	回復期・維持期に高齢者に生じる問題と看護に実際Ⅰ 【授業内容】回復期・維持期に高齢者と家族に生じやすい問題（積極的治療、胃瘻造設、意思決定アルゴリズム等）について文献や先行研究を整理し、個々の看護実践事例をもとに回復期・維持期における高齢者と家族の特徴と問題解決に向けた倫理的な判断と看護援助について探究する。 【授業方法】発表・討議 【担当】町島
12	回復期・維持期に高齢者に生じる問題と看護に実際Ⅱ 【授業内容】回復期・維持期に高齢者と家族に生じやすい問題に関する個々の看護実践事例をもとに倫理的な判断や支援の視点に基づき発表し、ディスカッションする。 【授業方法】発表・討議 【担当】姫野・原田・町島
13	終末期の高齢者に生じる変化のエビデンス 【授業内容】終末期において高齢者に生じる変化の機序や予後の予測、苦痛の緩和に関する医学的エビデンスを理解する。また、家族に対するグリーフケアや医療職者へのデスカンファレンスの在り方を探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】町島
14	終末期における高齢者と家族への支援 【授業内容】終末期における高齢者とその家族に生じる問題を文献検討により理解し、両者への支援方法について探究する。 【授業方法】発表・討議 【担当】姫野・原田・町島
15	老人看護専門看護師の役割と機能 【授業内容】医療施設と在宅・介護保険施設をつなぐ老人看護専門看護師の役割と機能（教育、相談、調整、倫理）について理解する。 【授業方法】講義・討議 【担当】井手みのり（長崎大学病院）

学習方法

既習の老年看護学特論Ⅰ、Ⅱおよび高齢者病態・治療学の内容を十分に復習した上で講義に臨むこと。講義および討議により学習を深化させる。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：金曜日の昼休み、t-himeno@jrckicn.ac.jp

原田：水曜日の昼休み、k-harada@jrckicn.ac.jp

町島：火曜日の昼休み、k-machishima@jrckicn.ac.jp

テキスト

テキストは用いず、講義時の配布資料に基づいて講義を行います。

参考文献

適宜提示します。

評価方法

討議40%、発表40%、課題レポート（発表および討議の内容をもとに修正をして整理する）20%

老年看護学特論Ⅳ

更新日：2025/04/25 08:50:43

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	862100	授業コード	862100
担当教員	姫野 稔子, 原田 紀美枝, 町島 希美絵, 梶野 好美, 村瀬 孝生, 原田 かおる						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 老年看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

国内外における高齢化の統計的輪郭および医療保健福祉制度・施策の変遷と現状を理解し、高齢者と家族の生活を支援するケアシステムの構築や活用方法について学ぶ。また、ケアシステムにおけるチーム医療に必要な専門看護師としての役割と機能を考察する能力を養う。

到達目標

1	国内外における高齢化の変遷と医療保健福祉制度・施策の現状について説明できる。
2	国内の高齢者医療保健福祉制度の現状と課題について説明できる。
3	高齢者と家族を支えるシステムを説明することができる。
4	高齢者サポートシステムの構築における老人看護専門看護師としての役割を説明できる。

DPとの関連

DP2○
DP5◎
DP6(CNS)○

授業計画

1	海外における高齢化の変遷と現状 【授業内容】 諸外国における高齢化の動向及び現状と課題を理解する。 【授業方法】 講義 【担当】 町島
2	海外における医療保健福祉制度・施策の現状 【授業内容】 諸外国における高齢者に関する医療保健福祉制度の現状を理解する。 【授業方法】 講義 【担当】 町島
3	日本における社会の高齢化に伴う医療保健福祉制度Ⅰ 【授業内容】 我が国における人口の高齢化および高齢者保健医療福祉制度の変遷を理解する。高齢者に関連する法律および制度、ケアシステム（老人福祉法、老人保健法、介護保険制度、地域包括ケアシステム）について理解する。 【授業方法】 講義 【担当】 原田
4	高齢者ケアの質保証に関するサポートシステムⅠ 【授業内容】 高齢者を取り巻く法律および制度および高齢者の権利擁護（高齢者虐待防止法、身体拘束原則禁止）に関するケアシステムについて文献検討・プレゼンテーション・ディスカッション討議を通して現状と課題、今後の展望を探究する。 【授業方法】 発表・討議 【担当】 原田
5	高齢者ケアの質保証に関するサポートシステムⅡ 【授業内容】 高齢者を取り巻く法律および制度（成年後見制度）および高齢者の権利擁護に関するケアシステムについて文献検討・プレゼンテーション・ディスカッションを通して現状と課題、今後の展望を探究する。 【授業方法】 発表・討議 【担当】 原田
6	高齢者の健康支援に関するサポートシステム 【授業内容】 高齢者保健医療福祉政策やサポートシステム構築について文献検討を通して現状と課題を整理し、質の高い高齢者ケアの提供に向けた討議を行う。 【授業方法】 発表・討議 【担当】 町島
7	地域における高齢者の療養と生活支援 【授業内容】 地域における高齢者の療養と生活を支援するために必要な多職種連携について文献検討により整理し、連携の在り方における専門看護師の役割・機能を探究する。 【授業方法】 文献検討・討議 【担当】 町島
8	地域包括ケアシステムと社会資源および構築の取り組みの実際 【授業内容】 地域包括ケアシステムと社会資源および地域包括ケアシステム構築の取り組みと課題を理解し、今後の展望について探究する。 【授業方法】 講義・討議 【担当】 原田

9	高齢者および家族のサポートシステムに関する事例検討Ⅰ 【授業内容】認知症高齢者等とその家族の意思決定支援に関する個々の事例から、既習の知識を用いたサポートシステムにおける専門看護師の役割・機能を探究する。 【授業方法】発表・討議 【担当】姫野
10	高齢者および家族のサポートシステムに関する事例検討Ⅱ 【授業内容】認知症高齢者等とその家族の意思決定支援に関する個々の事例から、既習の知識を用いたサポートシステムにおける専門看護師の役割・機能を探究する。 【授業方法】発表・討議 【担当】姫野
11	老年看護の場におけるサポートシステムの構築Ⅰ 【授業内容】医療施設と在宅の連携におけるサポートシステムの構築と現状（地域連携室・退院調整・在宅への移行）および専門看護師の役割を理解し、今後の展望について探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】原田（大阪医科薬科大学看護キャリアサポートセンター）
12	老年看護の場におけるサポートシステムの構築Ⅱ 【授業内容】介護老人福祉施設におけるサポートシステムの構築の現状と課題を理解し、今後の展望について探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】村瀬（特別養護老人ホーム よりあいの森）
13	老年看護の場におけるサポートシステムの構築Ⅲ 【授業内容】小規模多機能施設におけるサポートシステムの構築の現状と課題について理解し、今後の展望について探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】村瀬（特別養護老人ホーム よりあいの森）
14	高齢者サポートシステムにおける老人看護専門看護師の役割 【授業内容】高齢者サポートシステムにおける老人看護専門看護師の役割を理解する。老年看護の場におけるサポートシステムの構築Ⅰ～Ⅲ（単元5～7）および本単元を通して高齢者サポートシステムにおける老人看護専門看護師の役割を探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】梶野（訪問看護ステーションGRACE）
15	医療機関と地域をつなぐ老人専門看護師の実践 【授業内容】医療機関と地域をつなぐ老人専門看護師の実践（高齢者の健康問題の特徴と生活者としての健康支援）について理解し、老人看護専門看護師の役割を探究する。 【授業方法】講義・討議 【担当】梶野（訪問看護ステーションGRACE）

学習方法

多様な看護の場における高齢者のケアシステムについて講義を通して理解し、フィールドワークや発表、討議によって理解を深化させる。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：金曜日の昼休み、t-himeno@jrckicn.ac.jp

原田：水曜日の昼休み、k-harada@jrckicn.ac.jp

町島：火曜日の昼休み、k-machishima@jrckicn.ac.jp

テキスト

テキストは用いず、講義時の配布資料に基づいて講義を行います。

参考文献

適宜提示します。

評価方法

討議40%、発表40%、課題レポート（発表および討議の内容をもとに修正をして整理する）20%

老年看護学病態・治療論

更新日：2025/03/06 18:23:29

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	862200	授業コード	862200
担当教員	姫野 稔子, 尾前 豪, 勝治 一夫, 清島 圭二郎, 池村 聡, 藤井 弘二, 向井 靖, 山口 宗男, 原田 かおる						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 老年看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

老年期に発生頻度が高い疾患や病態を理解し、高度な看護実践を提供するために必要な病態生理および検査と診断、治療方法について学ぶ。また、高齢者特有の心身の状況に着目したアセスメントやリスクマネジメントの看護実践について理解を深める。

到達目標

1	老年期に発生頻度が高い疾患とそのメカニズム、病態生理が説明できる。
2	老年期に発生頻度が高い疾患に必要な検査および診断、治療の過程が説明できる。
3	老年期特有の心身症状に着目したアセスメントや検査・治療におけるリスクマネジメントが説明できる。

DPとの関連

DP2◎

DP6(CNS)○

DP7(CNS)○

授業計画

1	老年期に発生頻度が高い脳血管疾患の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントⅠ 【授業内容】脳出血、脳梗塞、高次脳機能障害等の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントについて理解する。 【授業方法】講義・討議 【担当】尾前（今津赤十字病院）
2	老年期に発生頻度が高い脳血管疾患の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントⅡ 【授業内容】脳出血、脳梗塞、高次脳機能障害等の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントについて理解する。 【授業方法】講義・討議 【担当】尾前（今津赤十字病院）
3	老年期に発生頻度が高い脳血管疾患の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントⅢ 【授業内容】認知症、睡眠障害、うつ、せん妄等の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントについて理解する。 【授業方法】講義・討議 【担当】勝治（今津赤十字病院）
4	老年期に発生頻度が高い脳血管疾患の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントⅣ 【授業内容】認知症、睡眠障害、うつ、せん妄等の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントについて理解する。 【授業方法】講義・討議 【担当】勝治（今津赤十字病院）
5	老年期に発生頻度が高い神経系疾患の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントⅠ 【授業内容】パーキンソン病および関連疾患、神経難病、摂食・嚥下障害等の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントについて理解する。 【授業内容】講義・討議 【担当】尾前（今津赤十字病院）
6	老年期に発生頻度が高い神経系疾患の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントⅡ 【授業内容】パーキンソン病および関連疾患、神経難病、摂食・嚥下障害等の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントについて理解する。 【授業方法】講義・討議 【担当】尾前（今津赤十字病院）
7	老年期に発生頻度が高い呼吸器系疾患の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメント 【授業内容】慢性閉塞性肺疾患、肺炎、感染症等の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントについて理解する。 【授業方法】講義・討議 【担当】尾前（今津赤十字病院）
8	老年期に発生頻度が高い内分泌疾患の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメント 【授業内容】生活習慣：糖尿病 高血圧等の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントについて理解する。 【授業方法】講義・討議 【担当】藤井（今津赤十字病院）
9	老年期に発生頻度が高い循環器疾患の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントⅠ 【授業内容】（心筋梗塞、心不全、慢性閉塞性動脈硬化症、電解質異常等）の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントについて理解する。 【授業方法】講義・討議 【担当】向井（福岡赤十字病院）
10	老年期に発生頻度が高い循環器疾患の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントⅡ 【授業内容】（心筋梗塞、心不全、慢性閉塞性動脈硬化症、電解質異常等）の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントについて理解する。 【授業方法】講義・討議 【担当】向井（福岡赤十字病院）

11	老年期に発生頻度が高い泌尿器疾患の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメント 【授業内容】前立せん肥大、尿失禁等の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントについて理解する。 【授業方法】講義・討議 【担当】清島（福岡赤十字病院）
12	老年期に発生頻度が高い眼科系疾患の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメント 【授業内容】白内障、緑内障、加齢黄斑変性症等の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントについて理解する。 【授業方法】講義・討議 【担当】山口（福岡赤十字病院）
13	老年期に発生頻度が高い運動器系疾患の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントⅠ 【授業内容】四肢の麻痺、骨折、廃用症候群、骨粗しょう症、関節リウマチ等の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントについて理解する。 【授業方法】講義・討議 【担当】池村（福岡赤十字病院）
14	老年期に発生頻度が高い運動器系疾患の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントⅡ 【授業内容】四肢の麻痺、骨折、廃用症候群、骨粗しょう症、関節リウマチ等の病態生理、検査、診断、治療、症状アセスメントについて理解する。 【授業方法】講義・討議 【担当】池村（福岡赤十字病院）
15	高齢者特有の心身症状に着目した看護 【授業内容】老人看護専門看護師に求められる高齢者特有の心身症状に着目した看護について検討する。 【授業方法】講義・討議 【担当】原田か（大阪医科薬科大学看護キャリアサポートセンター）、姫野

学習方法

老年期に発生頻度が高い疾患に関する講義および討議によって進めます。臨床知を高度な看護実践が提供できるよう知識の深化を目指します。

オフィスアワー

講師との窓口として、以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて対応します。
 姫野：金曜日の昼休み，t-himeno@jrckicn.ac.jp

テキスト

テキストは用いず、講義時の配布資料に基づいて講義を行う。

参考文献

大内尉義，秋山弘子、折茂肇：新老年学 第3版．東京，東京大学出版会，2010
 井口昭久：これからの老年学 第2版-サイエンスから介護まで-．名古屋，名古屋大学出版会，2008．
 メアリーA．マテソン 他著：看護診断に基づく老人看護学1～5．医学書院，2010．

評価方法

授業への参加度20%、討議40%、課題レポート40%

精神看護学演習Ⅰ

更新日：2025/01/24 16:29:31

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	862300	授業コード	862300
担当教員	牧 マリコ, 高橋 清美, 渡邊 真里子, 北條 智子, 川藤 友里栄, 山本 智之, 入江 正光						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 精神看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

複雑で解決困難な精神の健康問題をもつ人とその家族に、精神看護専門看護師として高度な看護援助活動を実践するために、セルフケア理論とストレングスモデルを基に看護現象をアセスメントし、必要な援助技法や効果的な介入方法を学修する。また、セルフヘルプグループや地域活動支援センター等でのリカバリの意味を探究するとともに、ACT、訪問看護ステーション等での困難事例や倫理的諸問題に関する事例検討を通して、精神看護専門看護師としての直接ケア、調整、相談、倫理調整を考察する。

到達目標

1	看護職者を含むケア提供者のストレスマネジメントに関する介入技法を理解できる。
2	身体疾患や慢性疾患を併発している精神疾患を有するひとの事例を通して、地域精神医療における精神看護専門看護師の介入方法を理解できる。
3	精神科リハビリテーションの背景となる理論を理解し、精神疾患を有するひとのリカバリについて言語化できる。
4	精神疾患を有するひとの人権擁護ならびに倫理的意思決定を支援する方法について考察できる。

DPとの関連

DP1○
DP5◎
DP7(CNS)○

授業計画

1	アサーションとアンガーマネジメント、リラクゼーションの概要と方法を理解する。 【授業内容】アサーションとアンガーマネジメント、リラクゼーションに関して学生自身が事前に学修を済ませたうえで、看護職者を含むケア提供者に対する相談や、看護職者に対する教育的機能を果たす上で必要な援助技法である、自己や他者のメンタルヘルスへの介入方法を理解する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】高橋
2	アサーションとアンガーマネジメント、リラクゼーションの概要と方法を理解する。 【授業内容】看護職者を含むケア提供者に対する相談や、看護職者に対する教育的機能を果たす上で必要な援助技法である、自己や他者のメンタルヘルスへの介入に対して、学生自身の事例を基に振り返り、精神看護専門看護師としての卓越した支援を考察する。 【授業方法】学生によるプレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋
3	精神看護専門看護師による看護スタッフのメンタルヘルスに対する介入支援の実際 【授業内容】精神看護専門看護師による看護スタッフのメンタルヘルスに対する介入支援の実際について講義形式で学修し、卓越した看護援助の組み立てを理解する。 【授業方法】講義,ディスカッション 【担当】川藤(太宰府病院)
4	精神看護専門看護師による退院支援、地域移行支援の実際① 【授業内容】精神看護専門看護師による、入院初期からの退院支援、地域移行支援の実際を講義形式で学修し、卓越した看護援助の組み立てを理解する。 【授業方法】講義,ディスカッション 【担当】川藤(太宰府病院)
5	精神看護専門看護師による退院支援、地域移行支援の実際② 【授業内容】精神看護専門看護師による、入院初期からの退院支援、地域移行支援の実際を講義形式で学修し、卓越した看護援助の組み立てを理解する。 【授業方法】講義,ディスカッション 【担当】川藤(太宰府病院)
6	退院支援、地域移行支援に対する介入 【授業内容】4，5講義での学修をもとに、学生が臨床で経験した事例について、入院初期からの退院支援、地域移行支援の実施、評価から得られた課題について考察する。 【授業方法】学生によるプレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋
7	精神的諸問題のアセスメントと看護介入：身体疾患を抱える患者① 【授業内容】地域に住む入退院を繰り返しながら身体疾患を抱える患者の事例を基に、精神症状を発症した患者への直接ケア、調整、相談について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】牧

8	精神的諸問題のアセスメントと看護介入：身体疾患を抱える患者② 【授業内容】地域に住む入退院を繰り返しながら身体疾患を抱える患者の事例を基に、精神症状を発症した患者への直接ケア、調整、相談について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】牧
9	精神的諸問題のアセスメントと看護介入：身体疾患を抱える患者③ 【授業内容】地域に住む入退院を繰り返しながら身体疾患を抱える患者の事例を基に、精神症状を発症した患者への直接ケア、調整、相談について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】牧
10	精神的諸問題のアセスメントと看護介入：医療従事者に依存的な患者① 【授業内容】地域に住む精神疾患を有し、不安が高く、訪問看護師への訴えの多い患者の事例を基に、調整、相談について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】牧
11	精神的諸問題のアセスメントと看護介入：医療従事者に依存的な患者② 【授業内容】地域に住む精神疾患を有し、不安が高く、訪問看護師への訴えの多い患者の事例を基に、調整、相談について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】牧
12	精神的諸問題のアセスメントと看護介入：医療従事者に依存的な患者③ 【授業内容】地域に住む精神疾患を有し、不安が高く、訪問看護師への訴えの多い患者の事例を基に、調整、相談について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】牧
13	地域における精神保健医療福祉施設の現状と課題について学ぶ。 【授業内容】ACTや訪問看護ステーション等の精神保健医療福祉施設の現状と課題について調べたうえで、地域精神看護を行うために必要な知識、技能を講義で学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】牧
14	精神保健問題を持ちながら地域生活をする人に対する卓越した看護援助の組み立てを検討する① 【授業内容】精神保健問題を持ちながら地域で生活をしている人に対して、学生が設定した事例を基に、CNSとして必要な知識、技能とは何かを考察し問題解決に向けた看護援助について検討する。 【授業方法】学生によるプレゼンテーション、ディスカッション 【担当】牧
15	精神保健問題を持ちながら地域生活をする人に対する卓越した看護援助の組み立てを検討する② 【授業内容】精神保健問題を持ちながら地域で生活をしている人に対して、学生が設定した事例を基に、CNSとして必要な知識、技能とは何かを考察し問題解決に向けた看護援助について検討する。 【授業方法】学生によるプレゼンテーション、ディスカッション 【担当】牧
16	ACTでの見学を通して困難事例に対する介入方法を学修する 【授業内容】ACTでの精神保健医療福祉チームによる介入方法の学修を振り返り、専門看護師としての直接ケア、調整、相談を学修し課題を明らかにする。 【授業方法】施設内見学、ディスカッション 【担当】牧、渡邊(ちはやACTクリニック)、北條(ちはやACTクリニック)
17	ACTでの見学を通して困難事例に対する介入方法を学修する 【授業内容】ACTでの精神保健医療福祉チームによる介入方法の学修を振り返り、専門看護師としての直接ケア、調整、相談を学修し課題を明らかにする。 【授業方法】施設内見学、ディスカッション 【担当】牧、渡邊(ちはやACTクリニック)、北條(ちはやACTクリニック)
18	ACTでの見学を通して困難事例に対する介入方法を学修する 【授業内容】ACTでの精神保健医療福祉チームによる介入方法の学修を振り返り、専門看護師としての直接ケア、調整、相談を学修し課題を明らかにする。 【授業方法】施設内見学、ディスカッション 【担当】牧、渡邊(ちはやACTクリニック)、北條(ちはやACTクリニック)
19	ACTでの見学を通して困難事例に対する介入方法を学修する 【授業内容】ACTでの精神保健医療福祉チームによる介入方法の学修を振り返り、専門看護師としての直接ケア、調整、相談を学修し課題を明らかにする。 【授業方法】施設内見学、ディスカッション 【担当】牧、渡邊(ちはやACTクリニック)、北條(ちはやACTクリニック)
20	ACTでの見学を通して困難事例に対する介入方法を学修する 【授業内容】ACTでの精神保健医療福祉チームによる介入方法の学修を振り返り、専門看護師としての直接ケア、調整、相談を学修し課題を明らかにする。 【授業方法】施設内見学、ディスカッション 【担当】牧、渡邊(ちはやACTクリニック)、北條(ちはやACTクリニック)
21	ACTでの見学を通して困難事例に対する介入方法を学修する 【授業内容】ACTでの精神保健医療福祉チームによる介入方法の学修を振り返り、専門看護師としての直接ケア、調整、相談を学修し課題を明らかにする。 【授業方法】施設内見学、ディスカッション 【担当】牧、渡邊(ちはやACTクリニック)、北條(ちはやACTクリニック)

22	ACT での見学を通して困難事例に対する介入方法を学修する 【授業内容】 ACTでの精神保健医療福祉チームによる介入方法の学修を振り返り、専門看護師としての直接ケア、調整、相談を学修し課題を明らかにする。 【授業方法】 ディスカッション・グループワーク 【担当】 牧
23	ACT 見学での学修の振り返り 【授業内容】 ACTでの精神保健医療福祉チームによる介入方法の学修を振り返り、専門看護師としての直接ケア、調整、相談に関する課題を明らかにする。 【授業方法】 学生によるプレゼンテーション、ディスカッション 【担当】 牧
24	精神看護に特化した訪問看護ステーションにおける事例を用いた困難事例への看護介入方法について学修する① 【授業内容】 精神障害者および家族に対する地域支援の実際と現状課題について、専門看護師としての直接ケア、調整、相談の実際を学修し課題を考察する。 【授業方法】 講義、ディスカッション 【担当】 入江(セノータ訪問看護福岡東ステーション)
25	精神看護に特化した訪問看護ステーションにおける事例を用いた困難事例への看護介入方法について学修する② 【授業内容】 精神障害者および家族に対する地域支援の実際と現状課題について、専門看護師としての直接ケア、調整、相談の実際を学修し課題を考察する。 【授業方法】 講義、ディスカッション 【担当】 山本(くおーれ訪問看護ステーション)
26	セルフヘルプグループ活動見学 【授業内容】 セルフヘルプグループでの活動見学を通して、精神保健問題を持ちながら地域生活をする人のリカバリならびにストレングスについて考察する。 【授業方法】 セルフヘルプグループ見学並びに、ディスカッション 【担当】 高橋
27	精神科領域における倫理的諸課題： 演習時で経験したこと、または臨床経験における問題と解決策についてディスカッションする。 【授業内容】 精神科領域における倫理的課題について、学生の臨床経験、もしくは本演習で経験した事例を振り返り、問題の所在や解決策等について検討する。 【授業方法】 学生によるプレゼンテーション、ディスカッション 【担当】 牧
28	精神科領域における倫理的諸課題： 演習時で経験したこと、または臨床経験における問題と解決策についてディスカッションする。 【授業内容】 精神科領域における倫理的課題について、学生の臨床経験、もしくは本演習で経験した事例を振り返り、問題の所在や解決策等について検討する。 【授業方法】 学生によるプレゼンテーション、ディスカッション 【担当】 牧
29	地域における倫理調整における役割と今後の展望： 精神科における倫理調整に関する文献やインタビューから、地域における倫理調整についてディスカッションする。 【授業内容】 地域精神看護における倫理調整について、CNSとしての役割や今後の展望について考察する。 【授業方法】 学生によるプレゼンテーション、ディスカッション 【担当】 高橋
30	地域における倫理調整における役割と今後の展望および最終フィードバック： 精神科における倫理調整に関する文献やインタビューから、地域における倫理調整についてディスカッションする。 【授業内容】 地域精神看護における倫理調整について、CNSとしての役割や今後の展望についてディスカッションする。 【授業方法】 講義、ディスカッション 【担当】 高橋

学習方法

各回の授業内容を事前学習し疑問点を明確にしておく。第16～22回は、ちはやACTクリニックを見学し学修を深める。授業内容について、講義および学生によるプレゼンテーション、ディスカッションを通じて理解し、レポートにまとめる。

オフィスアワー

メールにてアポイントをとってください

高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp

牧：m-maki@jrckicn.ac.jp

テキスト

適宜紹介する

参考文献

適宜紹介する

評価方法

討議への参加度30%、プレゼンテーション30%、レポート40%

精神看護学実習Ⅰ

更新日：2025/01/24 16:02:25

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	862400	授業コード	862400
担当教員	高橋 清美, 牧 マリコ						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 精神看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

専門看護師の役割と機能を具体的に理解するために、精神看護専門看護師が実践している「直接ケア」「相談」「調整」「倫理調整」「教育活動」や「研究活動」の観察を通して、専門看護師としての態度の理解を深めるとともに、専門看護師としての役割を遂行する際の自己の傾向と課題を明らかにする。

到達目標

1	実習目的を達成するための実習計画を作成することが出来る
2	「直接ケア」「相談」「調整」「倫理調整」「教育活動」「研究活動」に関する精神看護専門看護師の活動に同行し、精神看護専門看護師の役割を理解することができる。
3	「直接ケア」「相談」「調整」「倫理調整」「教育活動」「研究活動」に関する精神看護専門看護師の活動に同行し、精神看護専門看護師の機能を理解することができる。
4	専門看護師としての役割を遂行する際の自己の傾向と課題が言語化できる。

DPとの関連

DP1◎
DP5○
DP6(CNS)○

授業計画

1	実習
	1. 実習場所：福岡県立精神医療センター太宰府病院、松江赤十字病院 2. 実習指導者：精神看護専門看護師（以下、CNSと略す） 3. 実習期間：1週間。実習の目的が到達できない場合は、実習期間を延長する場合がある。 4. 実習方法 1) 事前準備 実習計画書の作成：シラバス及び実習要項に基づき、自己の実習目的・目標・行動計画などの実習計画書を作成し、指導教員の助言を受け適宜修正する。 2) 実習 CNSに同行し、専門看護師の役割と機能についての実際を参加観察する。 実習最終日に、専門看護師の役割と機能について検討を行い、CNSから学修した内容について指導を受ける。 3) 実習報告 実習で修得した内容や指導者からスーパーバイズを受けた内容を実習報告書としてまとめ、学内で企画する実習報告会で発表する。

学習方法

主体的に実習計画書を作成し、目的と目標を達成するように記録様式を整えてください。事前準備、実習、実習報告会の流れを十分に意識しながら、実習に臨んでください。

オフィスアワー

メールにてアポイントをとってください
高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp
牧：m-maki@jrckicn.ac.jp

テキスト

適宜紹介いたします

参考文献

特講・演習で提示したテキスト全般

評価方法

実習計画書20％、レポート20％、実習報告書40％、実習目標の達成度20％

精神看護学実習Ⅱ

更新日：2025/01/24 16:07:11

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	862500	授業コード	862500
担当教員	高橋 清美, 牧 マリコ						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 精神看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

精神科病院において実際の診断・治療の場面に参加し、精神看護専門看護師に必要とされる精神的問題をもつ患者の診断及び治療に関する知識、技能と態度を培う。また、専門職のスーパービジョンを受けながら、患者の症状や生活に適した精神科薬物療法や各種治療技法の適用の理解を深め、卓越した働きかけをするための能力を養う。

到達目標

1	実習目的を達成するための実習計画を作成することが出来る。
2	患者のニーズを踏まえて、患者の治療が適切に行われるためのアセスメントを行い、患者に必要な介入技能を獲得することができる。
3	精神科における診断、治療計画の策定、治療技法についての基礎的知識を修得し、その実施プロセスを理解することができる。
4	患者への面接を行い、精神症状の査定を行うことができる。
5	診断に基づき、患者の状態に応じた治療の方向性を考察し、高度な実践を行うCNSとしての役割を説明できる。
6	専門看護師として卓越した働きかけをする能力が向上するための自己課題を言語化できる。

DPとの関連

DP2○
DP5○
DP 7 (CNS)◎

授業計画

1	実習
	1. 実習場所：福岡県立精神医療センター太宰府病院、松江赤十字病院 2. 実習指導者：精神看護専門看護師（以下、CNSと略す） 精神科専門医 3. 実習期間：2週間 ただし、実習の目的が到達できない場合は、実習期間を延長する場合がある。 4. 実習方法 1) 事前準備 (1) 実習計画書の作成 実習の目的・目標・行動計画などの実習計画書を作成し、指導教員の助言を受け適宜修正する。 2) 実習内容 1週目：精神疾患を持つ患者に対する診療行為を見学し、見学内容から精神症状のアセスメントを行い、精神科医による診断と治療計画、処方に関する指導を受ける。CNSの同伴のもとに、初診患者に対し診察前の予備面接を行い精神症状の査定を実施する。実施後は、CNSから指導、助言を受ける。 2週目：精神疾患を持つ患者や家族に行われている精神科薬物療法や各種治療技法の実際を参加観察したり、患者の症状や生活に適した各種療法の適用に関するアセスメントを行う。精神科医療チームを構成するほかの専門職との関わりや調整等、CNSとしての役割を学修する。 実習最終日には、実習指導者及び担当教員から指導を受ける。 3) 実習報告 実習で修得した内容、指導者からスーパーバイズを受けた内容を実習報告書としてまとめ、学内で企画する実習報告会で発表する。

学習方法

主体的に実習計画書を作成し、目的と目標を達成するように記録様式を整えてください。事前準備、実習、実習報告会の流れを十分に意識しながら、実習に臨んでください。

オフィスアワー

メールにてアポイントをとってください
高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp
牧：m-maki@jrckicn.ac.jp

テキスト

適宜紹介いたします

参考文献

特講・演習で提示したテキスト全般

評価方法

実習計画書20%、レポート20%、実習報告書40%、実習目標の達成度20%

精神看護学実習Ⅲ

更新日：2025/01/24 16:11:06

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	862600	授業コード	862600
担当教員	高橋 清美, 牧 マリコ						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 精神看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	3	
	備考(配当)						

授業の目的

既習得の諸理論や専門知識を統合させ、複雑で対応困難な状況や場面に遭遇している精神障害者とその家族に対して、医療施設での直接ケアを実施し、卓越した看護実践能力を修得する。

到達目標

1	複雑で対応困難な状況や場面に遭遇している精神障害者とその家族に対して、高度で専門的な看護実践能力を習得することができる。
2	専門看護師としての態度について理解を深め、役割を遂行する際の自己の傾向と課題を明らかにすることができる。

DPとの関連

DP5○
DP6(CNS)○
DP7(CNS)◎

授業計画

1	実習 1. 実習場所：見立病院 2. 実習指導者：精神看護専門看護師（以下、CNSと略す） 精神科認定看護師（以下、CNと略す） 3. 実習期間：3週間 4. 実習方法：CNS、CNの指導のもと、困難な状況にある精神疾患患者1～2事例を受持ち、看護実践を行う。ただし、受持ち患者及び状況の複雑性などにより実習の目的が到達できない場合は、実習期間を延長する場合がある。 1) 事前準備 実習計画書の作成：シラバス及び実習要項に基づき、自己の実習の目的・目標・行動計画などの実習計画書を作成し、指導教員の助言を受け適宜修正する。 2) 実習 ・CNS、CNの指導のもと、複雑で対応困難の状況や場面に遭遇している精神障害者とその家族を1～2名受持ち直接ケアを実施する。専門的に精神状態やセルフケア、および精神力動的視点に関するアセスメントができ、アセスメントに基づいた目標を立案し、実践および評価ができる。 ・看護実践において、病棟スタッフのカンファレンスの場で報告し討議を行う。 ・ケア方法について、受持ち患者の担当スタッフとともに評価を行い、患者に適したケアに対して助言したり、効果的なケアについては継続して行えるよう依頼したりして、看護モデルの役割を提示する。 ・看護実践における倫理的課題について、CNSもしくはCN、及び病棟スタッフと討議を行う。 ・実習最終日に、看護実践を行った事例について検討を行い、CNSもしくはCNと指導教員から学修した内容について指導を受ける。 3) 実習報告：実習で修得した内容、実践内容、指導者からスーパーバイズを受けた内容を実習報告書としてまとめ、学内で企画する実習報告会で発表する。
---	--

学習方法

主体的に実習計画書を作成し、目的と目標を達成するように記録様式を整えてください。事前準備、実習、実習報告会の流れを十分に意識しながら、実習に臨んでください。

オフィスアワー

メールにてアポイントをとってください
高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp
牧：m-maki@jrckicn.ac.jp

テキスト

適宜紹介いたします

参考文献

特講・演習で提示したテキスト全般

評価方法

実習計画書20％、レポート20％、実習報告書40％、実習目標の達成度20％

精神看護学実習Ⅳ

更新日：2025/01/24 16:18:53

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	862700	授業コード	862700
担当教員	高橋 清美, 牧 マリコ						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 精神看護学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						

授業の目的

サブスペシャリティを確立するために、地域精神看護の領域での専門的な知識と技法を活用し、問題解決に向けた直接ケアを実践できる能力を修得する。また、社会が求める精神保健医療福祉に対するニーズに対して、地域精神看護専門看護師（以下、CNSと略す）として今後の課題解決に向けた創造的な企画実践能力を養う。

既習得の諸理論や専門知識を統合させ、精神看護に特化した訪問看護ステーションなどにおいてコンサルテーションやコーディネーションを展開し、精神看護専門看護師（以下、CNSと略す）としての問題解決のための看護介入を計画・実施・評価する能力を培う。

到達目標

1	精神疾患をもつ人やその家族が、地域で生活を維持していくために必要な介入を理解できる。
2	地域で生活している精神疾患をもつ人やその家族に対する看護実践の中で、職場環境の整備やスタッフ教育に関する情報を収集し、ダイナミクスをアセスメントし、精神看護の質評価と改善に向けての介入方法を検討できる。
3	患者や家族の目標を捉えたうえで、患者が地域生活を維持していくための関係専門職チームと連携調整し、チームアプローチ、ケアマネジメントが実践できる。
4	患者の地域生活維持の実現の中で生じる倫理的課題を捉え、判断し、倫理調整や問題解決方法について検討することができる。
5	地域精神に関連した課題や問題についてスタッフへの教育方法や相談活動方法を考えることができる。
6	精神看護の質の向上のために求められる重要な研究課題を見出すことができる。

DPとの関連

DP5○
DP 6 (CNS)◎
DP7(CNS)○

授業計画

1	地域での直接ケア実習 【授業内容】 目的：地域で生活している精神疾患をもつ人やその家族の問題解決を促進するための直接ケアを実施する能力を修得する。また、地域精神看護に関する課題を見出す。 【授業方法】 1. 実習場所：精神看護に特化した訪問看護ステーション（セノテ訪問看護ステーション、くおーれ訪問看護ステーション） 2. 実習指導者：精神看護専門看護師（以下、CNSと略す） 3. 実習期間：2週間 ただし、実習の目的が到達できない場合は、実習期間を延長する場合がある。 4. 実習方法 1) 事前準備 実習計画書の作成：実習の目的・目標・行動計画などの実習計画書を作成し、指導教員の助言を受け適宜修正する。 2) 実習内容 ・CNSの指導の下に、複雑で対応困難な状況や場面に遭遇している精神障害者とその家族を1～2名受け持ち直接ケアを実施する。専門的に精神状態やセルフケア、および精神力動的視点に関するアセスメントができ、アセスメントに基づいた目標を立案し、実践および評価が出来る。 ・組織や地域のニーズに対する役割機能を踏まえて、自身のアセスメントに基づいた方策を展開し、実習指導者と看護管理者から指導を受ける。 ・実習最終日には、実習指導者及び担当教員から指導を受ける。 3) 実習報告 実習で修得した内容、指導者からスーパーバイズを受けた内容を実習報告書としてまとめ、学内で企画する実習報告会で発表する。報告書は、指導教員と実習指導者へ提出する。
---	--

2	医療施設での実習 【授業内容】 目的：医療施設に入院している患者に対する地域移行・地域定着を促進する能力を修得する。 【授業方法】 1. 実習場所：見立病院 2. 実習指導者：精神看護専門看護師（以下、CNSと略す） 3. 実習期間：1週間 ただし、実習の目的が到達できない場合は、実習期間を延長する場合がある。 4. 実習方法 1) 事前準備 (1) 実習施設への依頼：実習に際し、指導教員の助言を得ながら必要な書類を準備し、実習施設への依頼など実習を行うための調整を行う。 (2) 実習計画書の作成：実習の目的・目標・行動計画などの実習計画書を作成し、指導教員の助言を受け適宜修正する。 2) 実習内容 ・医療施設に所属し活動しているCNSに同行し、地域移行・地域定着を促進するための「相談」「調整」「倫理調整」「教育活動」「研究活動」等の場面に参加観察し具体的な理解を深める。 ・CNSの指導の下で、「相談」「調整」「倫理調整」「教育活動」「研究活動」のうちの一部を実践し地域精神看護の役割と機能について具体的に学ぶ。 ・看護実践における倫理的課題について、CNSおよび病棟スタッフと討議を行う。 ・組織や地域のニーズに対する役割機能を踏まえて、自身のアセスメントに基づいた方策を展開し、実習指導者と看護管理者から指導を受ける。 ・実習最終日には、実習指導者及び担当教員から指導を受ける。 3) 実習報告 実習で修得した内容、指導者からスーパーバイズを受けた内容を実習報告書としてまとめ、学内で企画する実習報告会で発表する。報告書は、指導教員と実習指導者へ提出する。
3	コンサルテーションおよびコーディネーション実習 【授業内容】 目的：精神看護に特化した訪問看護ステーションにおいてコンサルテーションやコーディネーションを展開し、問題解決のための看護介入を学ぶ。 【授業方法】 1. 実習場所：精神看護に特化した訪問看護ステーション（セノテ訪問看護ステーション、くおーれ訪問看護ステーション） 2. 実習指導者：精神看護専門看護師（以下、CNSと略す） 3. 実習期間：1週間 ただし、実習の目的が到達できない場合は、実習期間を延長する場合がある。 4. 実習方法 1) 事前準備 (1) 実習施設への依頼：実習に際し、指導教員の助言を得ながら必要な書類を準備し、実習施設への依頼など実習を行うための調整を行う。 (2) 実習計画書の作成：実習の目的・目標・行動計画などの実習計画書を作成し、指導教員の助言を受け適宜修正する。 2) 実習内容 ・指導教員のスーパービジョンを受けながらこれまでの学修を統合したうえで、訪問看護ステーションに所属し活動しているCNSに同行し、コンサルテーションやコーディネーションを実践している場면을体験し、地域精神看護の役割と機能について具体的に学ぶ。 ・問題解決のための看護介入の経過について、見学した場면을1つ取り上げ、介入を計画し、その計画をロールプレイにて実践し評価する過程を経験する。 ・実習最終日には、実習指導者及び担当教員から指導を受ける。 3) 実習報告 実習で修得した内容、指導者からスーパーバイズを受けた内容を実習報告書としてまとめ、学内で企画する実習報告会で発表する。報告書は、指導教員と実習指導者へ提出する。

学習方法

主体的に実習計画書を作成し、目的と目標を達成するように記録様式を整えてください。事前準備、実習、実習報告会の流れを十分に意識しながら、実習に臨んでください。

オフィスアワー

メールにてアポイントをとってください
 高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp
 牧：m-maki@jrckicn.ac.jp

テキスト

適宜紹介いたします

参考文献

特論、演習で紹介した書籍や文献

評価方法

実習計画書20%、レポート20%、実習報告書40%、実習目標の達成度20%

精神看護学特論Ⅰ

更新日：2025/01/24 16:39:27

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	862800	授業コード	862800
担当教員	高橋 清美, 牧 マリコ						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 精神看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

精神保健医療福祉関連法規の成立過程や施策の歴史の変遷、並びに我が国の精神障害者の倫理的課題や人権擁護について学修する。我が国と諸外国の制度や施策を比較・検討し、今後の精神保健医療福祉の課題と専門看護師の役割を探究する。

到達目標

1	国内の精神保健医療福祉関連法規の成立過程を理解できる。
2	諸外国の制度や施策と比較しながら、本邦における現状の精神保健医療福祉の課題を説明できる。
3	本邦における精神障害者の倫理的課題や人権擁護の課題について議論できる。
4	今後の精神保健医療福祉の課題をふまえたうえで専門看護師の役割について説明が出来る。

DPとの関連

DP1◎
DP2○
DP6(CNS)○

授業計画

1	精神保健医療及び看護の歴史の変遷 【授業内容】日本及び世界の精神保健医療と看護に関して、精神障害に対する偏見や民間療法などを含めた歴史と動向について教授する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美
2	精神保健医療福祉の現状 【授業内容】日本及び世界における精神保健福祉の現状について教授する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美
3	障害者運動の歴史 【授業内容】日本及び世界における障害者運動の歴史を踏まえ、国連「障害者権利条約」や日本の「障害者総合支援法」の設立に至る経緯について教授する。 また、障害者の人権上の課題や精神看護専門看護師に求められる役割についての理解を深める。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美
4	精神障害者の現状と国際比較 【授業内容】障害者が置かれている状況について、精神科病床数や罹患患者数等の諸外国との国際比較、トリエステ等の諸外国の医療・生涯に関連した現状を中心に教授し、我が国における課題について討議する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美
5	精神障害と法制度 【授業内容】精神障害者にまつわる事件と法制定について、ライシャワー事件と「精神衛生法」、宇都宮事件と「精神保健法」等を取り上げて教授する。障害者と法制度との関連について検討し、日本の精神保健医療福祉に関する制度改革の方向性について討議する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美
6	精神保健福祉法と入院制度 【授業内容】精神保健福祉法に基づく入院制度について教授し、諸外国の状況も踏まえ、現行の法律の良い点と改善点について討議する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】牧マリコ
7	精神障害者の生活支援制度 【授業内容】障害者総合支援法に基づく生活支援制度について教授し、諸外国の状況も踏まえ、地域における生活者としての精神障害者に対する現行の法律の良い点と改善点について討議する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】牧マリコ
8	システムとしての精神保健福祉 【授業内容】日本における精神保健福祉対策の概要及び総合的な自立支援システム、精神科病院から地域医療サービスへの転換政策について教授し、精神保健看護の役割について討議する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】牧マリコ

9	リハビリテーション精神看護の概念と精神保健看護のあり方 【授業内容】精神看護におけるリカバリー概念、リカバリー運動や当事者参加を含む医療政策について教授し、当事者参加型のリカバリーと社会的意思決定のあり方について討議する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美
10	精神障害者に対する人権擁護と虐待防止 【授業内容】障害者・児童への虐待の防止や配偶者暴力防止法等の法整備や課題について学ぶ。虐待防止、被虐待者への民間活動と行政との連携についての課題を討議する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美
11	精神保健医療福祉における治療施設と地域ケアの連携 【授業内容】日本の地域における精神保健福祉に関する地域資源の現状や心理教育を学ぶ。精神障害者が地域生活に必要な支援を受けられるための治療施設と地域ケアの連携のあり方について討議する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】牧マリコ
12	精神障害者とその家族に対する地域ケアサポート・システム 【授業内容】精神障害者とその家族に対するアウトリーチ・サービスや地域ケアのサービスモデルを学び、精神看護専門看護師として働く場での利用者とサービス提供者の実態について理解を深める。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】牧マリコ
13	精神科看護における退院支援と社会資源 【授業内容】退院支援に対する「治療共同体」から「生活共同体」へという考え方の転換、近隣住民を味方にしたネットワークやピアサポート等の人的資源を始めとする社会資源を学び、社会資源の有効活用について討議する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】牧マリコ
14	精神障害者に対する就労支援と法制度 【授業内容】障害者の就労に関する法制度や精神障害者の就労状況を学び、精神障害者の就労についての課題や支援のあり方を討議する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美
15	ノーマライゼーションの研究動向 【授業内容】ノーマライゼーションの概念、ノーマライゼーションと精神障害者に関連した研究を学ぶ。また、これまで学修した法制度を考慮しながら、精神障害とノーマライゼーションのあり方について討議する。全体フィードバック。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】高橋清美

学習方法

各回の授業内容を事前学習しそれぞれの授業内容に応じて関心のあるテーマの学生プレゼンテーションを10分間行う。その後、授業内容について、教員からの講義も踏まえ、ディスカッションを通じて理解し、レポートにまとめる。

オフィスアワー

メールにてアポイントをとってください

高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp

牧：m-maki@jrckicn.ac.jp

テキスト

- ・日本専門看護師協議会監修（2009）.精神看護スペシャリストに必要な理論と技法．日本看護協会出版会．
- ・Mary Fran Tracy Eileen T. O'Grady(1996)/中村美鈴 江川幸二(監訳)(2020).高度実践看護統合的アプローチ 第2版.へるす出版．

参考文献

適宜紹介する

評価方法

プレゼンテーション50%、レポート50%

精神看護学特論Ⅱ

更新日：2025/01/24 16:46:44

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	862900	授業コード	862900
担当教員	宮田 正和, 高橋 清美, 吉岡 和子, 本武 敏弘, 芝田 寿美男						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 精神看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

人間の身体と精神活動、対人関係などに現れる精神的健康問題のメカニズムを理解し、精神的健康レベルを評価する方法を学修する。

到達目標

1	精神疾患の診断における原理と実際を修得できる
2	精神疾患の補助診断としての心理検査の目的や種類、方法を修得できる
3	Mental Status Examination, Mental Health Assessment の方法を修得できる
4	地域精神看護に活用できるアセスメントツールを修得できる
5	模擬面接を実施し精神的健康レベルを評価する方法を修得できる

DPとの関連

DP2○

DP6(CNS)○

DP7(CNS)◎

授業計画

1	精神疾患の診断面接の原理と実際：総論 および睡眠・覚醒障害群、神経生理学的アセスメント法 【授業内容】精神科診断面接の構造及び基本的な考え方を学修する。睡眠・覚醒障害群の診断に必要な知識と精神科治療法の特徴について学修する。神経生理学的アセスメントについて学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】宮田正和（シエスタ荒木医院）
2	精神疾患の診断の原理と実際：不安症/不安障害群、心的外傷およびストレス因関連障害群、強迫症及び関連症群/強迫性障害および関連障害群 【授業内容】不安症/不安障害群、心的外傷およびストレス因関連障害群、強迫症及び関連症群/強迫性障害および関連障害群の診断に必要な知識と精神科治療法の特徴、特に行動分析の視点から学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】芝田寿美男（福岡赤十字病院）
3	精神疾患の診断面接の原理と実際：双極性障害および関連障害群、抑うつ障害群 【授業内容】双極性障害および関連障害群、抑うつ障害群の診断に必要な知識と精神科治療法の特徴、特に行動分析の視点から学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】芝田寿美男（福岡赤十字病院）
4	精神疾患の診断面接の原理と実際：統合失調スペクトラム症および他の精神病性障害群 【授業内容】統合失調スペクトラム症および他の精神病性障害群の診断に必要な知識と精神科治療法の特徴、特に行動分析の視点から学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】芝田寿美男（福岡赤十字病院）
5	精神疾患の診断面接の原理と実際：身体症状と関連がある障害群および摂食障害群 【授業内容】身体症状と関連がある障害群および摂食障害群の診断に必要な知識と精神科治療法の特徴について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】宮田正和（シエスタ荒木医院）
6	精神疾患の診断面接の原理と実際：物質関連障害および嗜癮性障害群 【授業内容】物質関連障害および嗜癮性障害群の診断に必要な知識と精神科治療法の特徴について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】宮田正和（シエスタ荒木医院）
7	精神疾患の診断面接の原理と実際：パーソナリティ障害群 【授業内容】パーソナリティ障害群の診断に必要な知識と精神科治療法の特徴について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】宮田正和（シエスタ荒木医院）
8	精神疾患の診断面接の原理と実際：神経発達症群/神経発達障害群 【授業内容】経発達症群/神経発達障害群の診断に必要な知識と精神科治療法の特徴について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】宮田正和（シエスタ荒木医院）
9	精神疾患の補助診断としての心理検査：総論および知能検査 【授業内容】心理検査の全般的な目的、種類、方法の概要等を学修する。知能検査の目的、種類、方法と看護への応用について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】吉岡和子（福岡県立大学）

10	精神疾患の補助診断としての心理検査：人格検査、投影法、その他 【授業内容】人格検査の目的、種類、方法等と看護への応用について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】吉岡和子（福岡県立大学）
11	Mental Status Examination、Mental Health Assessment を学ぶ 【授業内容】Mental Status Examination、Mental Health Assessmentを使用する目的、方法、アセスメントツールの具体的な項目やその活用法について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】本武敏弘（福岡女学院看護大学）
12	Mental Status Examination、Mental Health Assessment を学ぶ 【授業内容】Mental Status Examination、Mental Health Assessmentを使用する目的、方法、アセスメントツールの具体的な項目やその活用法について学修する。 【授業方法】学生によるプレゼンテーション、ディスカッション 【担当】本武敏弘（福岡女学院看護大学）
13	地域精神看護に活用できるアセスメントツールについて学ぶ 【授業内容】地域精神看護に活用できるアセスメントツールを使用する目的、方法、アセスメントツールの具体的な項目や活用方法について学修する 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】高橋清美
14	地域精神看護に活用できるアセスメントツールについて学ぶ 【授業内容】地域精神看護に活用できるアセスメントツールを使用する目的、方法、アセスメントツールの具体的な項目や活用方法について学修する 【授業方法】学生によるプレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美
15	診断とアセスメントの実際を学ぶ 【授業内容】学生が準備した臨床事例の診断とアセスメントを学ぶためにロールプレイによる模擬面接を実施し精神的健康レベルを評価する方法を学修する。全体のまとめを行う。 【授業方法】模擬面接の演習、ディスカッション 【担当】高橋清美

学習方法

各回の授業内容を事前学習し疑問点を明確にしておく。授業方法に「学生によるプレゼンテーション」があるコマについては十分に事前学習で準備を行い授業に参加する。授業内容について、講義およびプレゼンテーション、ディスカッションを通じて理解し、レポートにまとめる。

オフィスアワー

メールにてアポイントをとってください
高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp

テキスト

適宜紹介します。

参考文献

適宜、紹介いたします。

評価方法

討議への参加度30%、プレゼンテーション30%、レポート40%

精神看護学特論III-A

更新日：2025/01/24 16:51:22

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	863000	授業コード	863000
担当教員	高橋 清美, 牧 マリコ, 津野 稔一, 青木 裕史, 渡邊 真里子						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 精神看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

個人・集団・家族を対象とする精神看護実践を行うために必要な精神力動的精神療法、ストレングスモデル、元気回復行動プラン、およびリラクゼーションの理論と援助法を学修する。

到達目標

1	個人・集団・家族への精神力動的 精神療法 、 ストレングスモデル 、 元気回復行動プラン 、 リラクゼーション技法 に関する理論が理解できる。
2	個人・集団・家族への精神力動的 精神療法 、 ストレングスモデル 、 元気回復行動プラン 、 リラクゼーション技法 に必要な能力や技術が理解できる。
3	個人・集団・家族への精神力動的 精神療法 、 ストレングスモデル 、 元気回復行動プラン 、 リラクゼーション技法 の理論、能力や技能を理解したうえで、多職種と協働し高度な看護実践を探究できる。

DPとの関連

DP2○
DP5◎
DP6(CNS)○

授業計画

1	精神力動的個人精神療法の基礎理論：精神の機能と構造 【授業内容】フロイトの精神力動理論における精神の機能と構造、精神性的発達について学修する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美
2	精神力動的個人精神療法の基礎理論：防衛機制と自我防衛機制、転移と抵抗 【授業内容】防衛機制と自我防衛機制、転移と抵抗について学修する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美
3	個人精神療法の目的と治療構造 【授業内容】個人精神療法の目的と治療構造、具体的な展開と看護への応用について学修する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美
4	精神力動的集団精神療法の原理：日本語版治療共同体の治療構造 【授業内容】ヤーロムの集団の治療的機能、治療共同体の理念と治療構造の実際、集団精神療法の心理教育への適応について学修する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】牧マリコ
5	精神力動的集団精神療法の原理：構造化された小集団ミーティング 【授業内容】患者—スタッフミーティングのシナリオに基づく小集団でのロールプレイの経験を通して、専門職者の役割や機能を学修する。 【授業方法】演習、ディスカッション 【担当】牧マリコ 高橋清美
6	精神力動的集団精神療法の原理：構造化された小集団ミーティング 【授業内容】患者—スタッフミーティングのシナリオに基づく小集団でのロールプレイの経験を通して、専門職者の役割や機能を学修する。 【授業方法】演習、ディスカッション 【担当】牧マリコ 高橋清美
7	個人精神療法と集団精神療法の事例への適用 【授業内容】薬物療法、個人精神療法、集団精神療法、社会療法を組み合わせた治療を行っている事例の具体的な展開技法を学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】渡邊真里子（ちはやACTクリニック）
8	個人精神療法と集団精神療法の事例への適用 【授業内容】薬物療法、個人精神療法、集団精神療法、社会療法を組み合わせた治療を行っている事例の具体的な展開技法を学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】渡邊真里子（ちはやACTクリニック）
9	ストレングスモデルについて① 【授業内容】ストレングスモデルの基礎理論、ストレングスアセスメントについて学修する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美

10	ストレングスモデルについて② 【授業内容】ストレングスモデルの基礎理論、ストレングスアセスメントについて学修する。 【授業方法】講義、学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美
11	リカバリーとストレングスモデルの考え方と実際 【授業内容】リカバリーとストレングスモデルの考え方と実際について学修する。 【授業方法】演習、ディスカッション 【担当】高橋清美
12	元気回復行動プラン（WRAP）の概要 【授業内容】精神疾患による身体症状や精神症状をセルフコントロールするための方法論を学ぶ。 【授業方法】講義 【担当】津野稔一（NPO法人 くるめ出逢いの会オープンスペースゆるか） 青木裕史（NPO法人 くるめ出逢いの会オープンスペースゆるか）
13	元気回復行動プラン（WRAP）の技法 【授業内容】WRAPにおける各種技法（元気に役立つ道具箱、日常生活管理プラン、引き金と行動プラン、注意サインと行動プラン、深刻な状況であることを知らせるプランと行動プラン、クライシスプラン、クライシス後のプラン）を学ぶ。 【授業方法】演習 【担当】津野稔一（NPO法人 くるめ出逢いの会オープンスペースゆるか） 青木裕史（NPO法人 くるめ出逢いの会オープンスペースゆるか）
14	元気回復行動プラン（WRAP）の技法 【授業内容】WRAPにおける各種技法（元気に役立つ道具箱、日常生活管理プラン、引き金と行動プラン、注意サインと行動プラン、深刻な状況であることを知らせるプランと行動プラン、クライシスプラン、クライシス後のプラン）を学ぶ。 【授業方法】演習 【担当】津野稔一（NPO法人 くるめ出逢いの会オープンスペースゆるか） 青木裕史（NPO法人 くるめ出逢いの会オープンスペースゆるか）
15	リラクセーション療法 【授業内容】リラクセーション療法としての呼吸法、イメージ療法、タッチング、音楽療法等の理論、ならびに視聴覚教材による実際を学修する。 全体のまとめ 【授業方法】演習 【担当】高橋清美

学習方法

各回の授業内容を事前学習し疑問点を明確にしておく。学生は、第1講義～第4講義と第9、10講義にて、授業内容に関する関心があるテーマを10分間プレゼンテーションする。授業内容について、教員の講義や事前学習、ディスカッションを通じて理解し、レポートにまとめる。

オフィスアワー

メールにてアポイントをとってください

高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp

牧：m-maki@jrckicn.ac.jp

テキスト

適宜紹介する

参考文献

適宜紹介する

評価方法

討議への参加度20%、プレゼンテーション30%、レポート50%

精神看護学特論Ⅲ-B

更新日：2025/01/24 16:52:46

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	863100	授業コード	863100
担当教員	高橋 清美, 中野 眞樹子, 本武 敏弘, 川藤 友里栄						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 精神看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

個人・集団・家族を対象とする精神看護実践を行うために必要な薬物療法、認知行動療法、心理教育などの治療技法の理論と援助法を学修する。

到達目標

1	向精神薬を用いた薬物療法を理解できる。
2	認知行動療法について理解できる。
3	心理教育の原理を理解したうえで事例を基にしたプログラムを考案することができる。
4	各種治療やリハビリテーションを活用した看護実践を提供する精神看護専門看護師の役割と責任を探究する。

DPとの関連

DP2◎
DP5○
DP6(CNS)○

授業計画

1	向精神薬を用いた薬物療法の原理と実際：総論 【授業内容】日本の精神医療における薬物療法の実際や課題を学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】松島 敏夫（九州大学病院精神科神経科）
2	向精神薬を用いた薬物療法の原理と実際：精神疾患がある人への抗精神病薬、向パーキンソン病薬 【授業内容】抗精神病薬、向パーキンソン病薬の効果や副作用のモニタリング、対象者やその家族への心理教育について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】松島 敏夫（九州大学病院精神科神経科）
3	向精神薬を用いた薬物療法の原理と実際：精神疾患がある人への抗うつ薬、気分安定薬 【授業内容】抗うつ薬、気分安定薬の効果や副作用のモニタリング、対象者やその家族への心理教育について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】平河 則明（九州大学病院精神科神経科）
4	向精神薬を用いた薬物療法の原理と実際：抗不安薬、睡眠薬、抗酒薬、抗てんかん薬 【授業内容】抗不安薬、睡眠薬、抗酒薬、抗てんかん薬の効果や副作用のモニタリング、対象者やその家族への心理教育について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】平河 則明（九州大学病院精神科神経科）
5	薬物療法に関する精神看護専門看護師の役割と実際 【授業内容】薬物療法に関する精神看護専門看護師の役割と実際を学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】川藤 友里栄（福岡県立太宰府病院）
6	認知行動療法の原理 【授業内容】認知療法、認知行動療法の適用、効果について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】中野 眞樹子（笑む笑む訪問看護ステーション）
7	認知行動療法の実際：認知再構成法 【授業内容】認知行動療法を取り入れた自己の看護実践について発表する。 【授業方法】学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】中野 眞樹子（笑む笑む訪問看護ステーション）
8	認知行動療法の実際：問題解決法 【授業内容】問題解決法の実際について学ぶ。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】中野 眞樹子（笑む笑む訪問看護ステーション）
9	抑うつ障害群の人の認知行動療法 【授業内容】抑うつ障害群の人に対する認知行動療法の実際について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】中野 眞樹子（笑む笑む訪問看護ステーション）
10	統合失調スペクトラム症および他の精神病性障害群の人の認知行動療法 【授業内容】統合失調スペクトラム症および他の精神病性障害群の人に対する認知行動療法の実際について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】本武 敏弘（福岡女学院看護大学）

11	パーソナリティ障害群の人の認知行動療法 【授業内容】感情調整困難な人に対する認知行動療法の実際を学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】本武 敏弘 （福岡女学院看護大学）
12	心理教育の原理 【授業内容】心理教育の基本的な考え方、疾患や状態像に応じた心理教育、リカバリー思考の心理教育を学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】高橋 清美
13	心理教育の実際① 【授業内容】具体的事例をもとに心理教育プログラムを作成しスーパービジョンを通して自己課題を検討する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】本武 敏弘 （福岡女学院看護大学）
14	心理教育の実際② 【授業内容】具体的事例をもとに心理教育プログラムを作成しスーパービジョンを通して自己課題を検討する。 【授業方法】学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】本武 敏弘 （福岡女学院看護大学）
15	患者の主體的な治療への参加の促進：コンコーダンス・スキル、Shared decision making 【授業内容】コンコーダンス・スキル、Shared decision makingの基本的な考え方を理解したうえで精神看護専門看護師の役割と責任を考察する。全体のまとめ 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】高橋 清美

学習方法

各回の授業内容を事前学習し疑問点を明確にしておく。授業内容について、講義およびプレゼンテーション、ディスカッションを通じて理解し、レポートにまとめる。

オフィスアワー

メールにてアポイントをとってください

高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp

テキスト

適宜紹介する

参考文献

適宜紹介する

評価方法

討議への参加度30%、プレゼンテーション30%、レポート40%

精神看護学特論Ⅳ

更新日：2025/01/24 16:59:53

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	863200	授業コード	863200
担当教員	高橋 清美, 牧 マリコ						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 精神看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

複雑で解決困難な精神の健康問題をもつ人とその家族に、精神看護専門看護師として高度な看護援助活動を実践するために必要な理論と方法を学修する。

到達目標

1	精神的課題がある人々に対して、こころの発達と危機に対する高度な看護援助を実践するために必要な理論と方法が理解できる。
2	精神的課題がある人に対して、精神看護援助活動を実践するために必要な基本的理論と技法 を理解し、卓越した看護実践について議論する。
3	精神的課題がある個人や集団の人権を保障するために、教育や啓発に必要な理論や技法 が理解できる。

DPとの関連

DP1○

DP2○

DP6◎

授業計画

1	オレム看護理論① 【授業内容】オレムの看護理論の理論構成、セルフケアの定義、看護の定義、看護の主要概念を学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】牧マリコ
2	オレム看護理論② 【授業内容】セルフケア理論、セルフケア不足理論、看護システム理論について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】牧マリコ
3	オレム-アンダーウッドモデル 【授業内容】オレム-アンダーウッドモデルの誕生と展開の歴史、現状、オレム-アンダーウッドモデルの特徴を学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】牧マリコ
4	オレム-アンダーウッドモデル、ストレンクスモデルを用いた事例アセスメント 【授業内容】データベースの整理、発達段階の査定、精神状態の査定（Mental Status Examination,Mental Health Assessment）自我状態の査定、セルフケアの査定、ストレンクスモデルを用いての総合アセスメント、問題の明確化、長期目標・短期目標の設定、退院のイメージ図の作成、計画立案を学修する。 【授業方法】演習、ディスカッション 【担当】牧マリコ
5	オレム-アンダーウッドモデル、ストレンクスモデルを用いた事例アセスメント 【授業内容】データベースの整理、発達段階の査定、精神状態の査定（Mental Status Examination,Mental Health Assessment）自我状態の査定、セルフケアの査定、ストレンクスモデルを用いての総合アセスメント、問題の明確化、長期目標・短期目標の設定、退院のイメージ図の作成、計画立案を学修する。 【授業方法】演習、ディスカッション 【担当】牧マリコ
6	オレム-アンダーウッドモデル、ストレンクスモデルを用いた事例アセスメント 【授業内容】データベースの整理、発達段階の査定、精神状態の査定（Mental Status Examination,Mental Health Assessment）自我状態の査定、セルフケアの査定、ストレンクスモデルを用いての総合アセスメント、問題の明確化、長期目標・短期目標の設定、退院のイメージ図の作成、計画立案を学修する。 【授業方法】演習、ディスカッション 【担当】牧マリコ
7	オレム-アンダーウッドモデル、ストレンクスモデルを用いた事例アセスメント 【授業内容】データベースの整理、発達段階の査定、精神状態の査定（Mental Status Examination,Mental Health Assessment）自我状態の査定、セルフケアの査定、ストレンクスモデルを用いての総合アセスメント、問題の明確化、長期目標・短期目標の設定、退院のイメージ図の作成、計画立案を学修する。 【授業方法】演習、ディスカッション 【担当】牧マリコ
8	事例検討 【授業内容】学生が提示した事例展開に関する検討を行い、教員からのスーパービジョンを通して学修する。 【授業方法】学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美

9	家族エンパワメントモデル 【授業内容】家族エンパワメントモデルの家族の定義、モデルの構成要素、適用の範囲、具体的な展開方法を学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】高橋清美
10	家族発達理論、家族危機理論、家族システム理論 【授業内容】家族発達理論、家族危機理論、家族システム理論の概要と実際について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】高橋清美
11	家族支援に関する事例検討 【授業内容】学生がまとめた看護計画に関するディスカッションや教員からのスーパービジョンを通して学修する。 【授業方法】学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美
12	チーム・ビルディング、多職種によるチーム・ケアの展開 【授業内容】チーム・ビルディングの考え方と実際の展開方法、多職種によるチーム・ケアの目的、方法、展開について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】高橋清美
13	チーム・ビルディング、多職種によるチーム・ケアの事例検討 【授業内容】チーム・ビルディング、多職種によるチーム・ケアの実際と考察を事例検討し、ディスカッションと教員からのスーパービジョンを通して学修する。 【授業方法】学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美
14	精神看護に於ける看護倫理 【授業内容】精神科看護師の倫理的ジレンマに関する概要を学んだうえで、学生が準備した事例について倫理的葛藤の調整について学修する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】高橋清美
15	精神看護に於ける看護倫理 【授業内容】精神科看護師の倫理的ジレンマに関する概要を学んだうえで、学生が準備した事例について倫理的葛藤の調整について学修する。全体のまとめ 【授業方法】学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美

学習方法

各回の授業内容を事前学習し疑問点を明確にしておく。授業方法で「学生によるプレゼンテーション」と指定されたコマでは学生主体によるプレゼンテーションを行う。授業内容について、講義およびプレゼンテーション、ディスカッションを通じて理解し、レポートにまとめる。

オフィスアワー

メールにてアポイントをとってください
 高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp
 牧：m-maki@jrckicn.ac.jp

テキスト

ドロセアE. オレム(2005).オレム看護論 第4版 看護実践における基本概念, 医学書院.

参考文献

適宜紹介する

評価方法

討議への参加度20%、プレゼンテーション40%、レポート40%

精神看護学特論Ⅴ

更新日：2025/01/24 16:56:51

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	863300	授業コード	863300
担当教員	高橋 清美, 入江 正光, 山本 智之, 川藤 友里栄, 本武 敏弘						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 C N S コース 精神看護学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

複雑で解決困難な精神の健康問題がある人とその家族に、精神看護専門看護師として高度な看護援助活動を実践するために、セルフケア理論とストレングスマデルを基に看護現象をアセスメントし、必要な援助技法や効果的な介入方法を学修する。また、セルフヘルプグループや地域活動支援センター等でのリカバリーの意味を探究するとともに、ACT、訪問看護ステーション等での困難事例や倫理的諸問題に関する事例検討を通して、精神看護専門看護師としての直接ケア、調整、相談、倫理調整を考察する。

到達目標

1	長期入院や急性期における患者の地域移行・地域定着、並びに地域で暮らす患者の地域定着を促進するための高度実践の理論を理解できる。
2	長期入院や急性期における患者の地域移行・地域定着を促進するために、高度実践の理論的な基盤と介入の方略、具体的な介入方法を学修できる。
3	地域で暮らす患者の地域定着を促進するために、高度実践の理論的な基盤と介入の方略、具体的な介入方法を学修できる。
4	地域精神看護における包括的アセスメントについて検討することができる。

DPとの関連

DP5○
DP6(CNS)◎
DP7(CNS)○

授業計画

1	精神障がい者の地域移行・地域定着を促進することを目的とした精神看護専門看護師の活動の歴史、定義、対象、方法、今後の課題 【授業内容】欧米と日本の精神障がい者の地域移行・地域定着を促進することを目的とした精神看護専門看護師の活動の歴史、定義、対象、方法の今後の課題を学ぶ。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】高橋清美
2	急性期で入院した精神障がい者の地域移行・地域定着促進における精神看護専門看護師の病院、地域での直接ケアと調整、相談(暴力のある患者に焦点をあてて) 【授業内容】急性期にある重度の精神障がい者の地域移行・地域定着促進における精神看護専門看護師の病院、地域での直接ケアと調整、相談を暴力のある患者の事例をもとに学ぶ。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】本武敏弘(福岡女学院看護大学)
3	急性期で入院した精神障がい者の地域移行・地域定着促進における精神看護専門看護師の病院、地域での直接ケアと調整、相談(暴力のある患者に焦点をあてて) 【授業内容】急性期にある重度の精神障がい者の地域移行・地域定着促進における精神看護専門看護師の病院、地域での直接ケアと調整、相談を暴力のある患者の事例をもとに学ぶ。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】本武敏弘(福岡女学院看護大学)
4	地域で精神障がい者の生活をサポートする資源(デイケア、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、地域活動支援センター、就労移行・就労継続支援事業所など)における直接ケアと調整、相談 【授業内容】地域で精神障がい者の生活をサポートする様々な資源の目的、対象、実際の活動などについて学ぶ。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】入江正光 (Fusion株式会社 セノーテ訪問看護福岡東ステーション)
5	地域移行・地域定着促進における精神障がい者の家族への精神看護専門看護師の直接ケアと調整、相談(入退院を繰り返す患者について) 【授業内容】地域移行・地域定着促進における精神障がい者の家族への精神看護専門看護師の直接ケアと調整、相談の実際について入退院を繰り返す患者の問題に焦点をあてて学ぶ。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】川藤友里栄 (福岡県立精神医療センター太宰府病院)
6	地域移行・地域定着促進における精神障がい者の家族への精神看護専門看護師の直接ケアと調整、相談(入退院を繰り返す患者について) 【授業内容】地域移行・地域定着促進における精神障がい者の家族への精神看護専門看護師の直接ケアと調整、相談の実際について入退院を繰り返す患者の問題に焦点をあてて学ぶ。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】川藤友里栄 (福岡県立精神医療センター太宰府病院)
7	地域で生活する精神障がい者への危機介入における精神看護専門看護師の直接ケアと調整、相談(自殺企図の問題がある患者について)① 【授業内容】地域で生活する重度の精神障がい者への危機介入における精神看護専門看護師の直接ケアと調整、相談や倫理調整について、自殺企図に至った患者に焦点をあてて学ぶ。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】山本智之 (くおーれ訪問看護ステーション)

8	地域で生活する精神障がい者への危機介入における精神看護専門看護師の直接ケアと調整、相談(自殺企図の問題がある患者について)② 【授業内容】地域で生活する重度の精神障がい者への危機介入における精神看護専門看護師の直接ケアと調整、相談や倫理調整について、自殺企図に至った患者に焦点をあてて学ぶ。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】入江正光（Fusion株式会社 セノテ訪問看護福岡東ステーション）
9	陰性感情のためにケアに向かえない専門職者に対する精神看護専門看護師の調整やコンサルテーションの機能を用いたチーム・ビルディング(人格的な問題をもつ患者へのケア提供者の陰性感情に焦点をあてて) 【授業内容】陰性感情のためにケアに向かえない専門職者に対する精神看護専門看護師の調整やコンサルテーションの機能を用いたチーム・ビルディングの方法を、人格的な問題をもつ患者へのケア提供者の陰性感情に焦点をあてて学ぶ。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】川藤友里栄（福岡県立精神医療センター太宰府病院）
10	精神障害をもつ人が質の高い地域生活を実現するための医療機関、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、就労移行支援事業、就労継続支援事業、保健所、精神保健福祉センター、保健福祉事務所、民生委員等に対する、調整やコンサルテーションの機能を用いた地域資源のネットワーク化と新たな地域資源の開発 【授業内容】精神障害をもつ人が質の高い地域生活を実現するための医療機関、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、就労移行支援事業、就労継続支援事業、保健所、精神保健福祉センター、保健福祉事務所、民生委員等に対する、調整やコンサルテーションの機能を用いた地域資源のネットワーク化と新たな地域資源の開発について学ぶ。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】山本智之（くおれ訪問看護ステーション）
11	訪問看護における精神看護専門看護師の直接ケアと調整、相談(未治療、治療中断者への薬物療法をしないケア) 【授業内容】訪問看護における精神看護専門看護師の直接ケアと調整ならびに相談について、未治療、治療中断者への薬物療法をしないケアの事例に焦点を当てて学ぶ。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】入江正光（Fusion株式会社 セノテ訪問看護福岡東ステーション）
12	訪問看護における精神看護専門看護師の直接ケアと調整、相談(未治療、治療中断者への薬物療法をしないケア) 【授業内容】訪問看護における精神看護専門看護師の直接ケアと調整ならびに相談について、未治療、治療中断者への薬物療法をしないケアの事例に焦点を当てて学ぶ。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】山本智之（くおれ訪問看護ステーション）
13	精神障がい者の地域移行・地域定着促進における倫理調整 【授業内容】精神障がい者の地域移行・地域定着促進における倫理調整に焦点をあてて学ぶ。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】高橋清美
14	精神障がい者の地域移行・地域定着促進における倫理調整 【授業内容】精神障がい者の地域移行・地域定着促進における倫理調整に焦点をあてて学ぶ。 【授業方法】学生によるプレゼンテーション、ディスカッション 【担当】高橋清美
15	全講義の振り返り 【授業内容】講義全体の学修内容を振り返り思考の整理を行う。 【授業方法】ディスカッション 【担当】高橋清美

学習方法

各回の授業内容を事前学習し疑問点を明確にしておく。第14回では学生主体によるプレゼンテーションを行う。授業内容について、講義およびプレゼンテーション、ディスカッションを通じて理解し、レポートにまとめる。

オフィスアワー

メールにてアポイントをとってください

高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp

テキスト

適宜、必要文献を紹介いたします

参考文献

適宜紹介する

評価方法

討議への参加度30%、プレゼンテーション30%、レポート40%

助産学総論

更新日：2025/02/02 14:17:51

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	870100	授業コード	87010
担当教員	永松 美雪						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

日本と世界の助産の歴史と文化、助産師教育の変遷、助産師の機能と役割、助産師の法的責務、リプロダクティブヘルス、性と生殖にかかわる倫理問題について学ぶとともに、自律した専門職としての助産師のあり方について考察する。

到達目標

1	日本及び世界の助産の歴史と助産師の職業の歴史を説明できる。
2	助産や助産師の定義や役割・機能について説明できる。
3	助産ケアの基盤となる法的責務や理論・倫理について説明できる。

DPとの関連

DP6（助産）◎
DP7（助産）○
DP8（助産）○

授業計画

1	助産とは 【授業内容】助産の概念 発表資料作成、討議の方法、レポートについて 【授業方法】講義
2	日本の助産の歴史 【授業内容】古代から江戸時代、明治～昭和時代の助産の変遷 【授業方法】発表・討議
3	日本の母子保健の歴史 【授業内容】母子保健の歴史 【授業方法】発表・討議
4	諸外国の助産の歴史 【授業内容】諸外国の助産の歴史（諸外国のうち国を選択） 【授業方法】発表・討議
5	諸外国の母子保健の歴史 【授業内容】諸外国の母子保健の歴史（諸外国のうち国を選択） 【授業方法】発表・討議
6	助産の定義と関連する法律 【授業内容】助産の定義、関連する法律 【授業方法】発表・討議
7	助産師の業務・責務と関連する法律 【授業内容】助産師の業務・責務と関連する法律 【授業方法】発表・討議
8	わが国におけるこれからの助産師の役割・働き方 【授業内容】助産師の役割・働き方 【授業方法】発表・討議
9	助産学を支える理論 【授業内容】助産学を支える理論 【授業方法】発表・討議
10	助産学を支える研究 【授業内容】助産学を支える研究 【授業方法】発表・討議
11	日本の助産師職能団体の役割 【授業内容】日本助産師会、日本看護協会などの役割 【授業方法】発表・討議
12	国際的な助産師職能団体の役割 【授業内容】ICM、WHO、FIGO、UNICEF などの役割 【授業方法】発表・討議

13	助産師と倫理 【授業内容】倫理的判断を支える諸概念、倫理的助産実践を支える諸規定、倫理的課題と意思決定支援 【授業方法】発表・討議
14	現在の日本と諸外国における妊娠・出産・育児に関する文化の違い 【授業内容】日本と諸外国における助産と育児に関する文化の比較検討（諸外国のうち国を選択） 【授業方法】発表・討議
15	現在の日本と諸外国における助産師と教育 【授業内容】日本と諸外国における助産師教育の比較検討（諸外国のうち国を選択）と最終授業のフィードバック 【授業方法】発表・討議

学習方法

この科目は助産を学ぶ最初の基礎的な授業であるため、1単位30時間で、講義と事前学習した内容の発表・討議により授業を進める。助産や助産教育の歴史をふまえて、助産師の役割・機能について実践と関連付け、自律した助産師の在り方について考え、助産の展望を検討する。また、専門職業人として安全で満足できる助産ケアの基盤となる考え方を学ぶ。授業終了後1週間以内に、14回目・15回目のテーマに関するレポートを提出する。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

我部山キヨ子 武谷雄二編集 (2022). 助産学概論 第6版．東京: 医学書院．

参考文献

福井トシ子編 (2024). 助産師業務要覧 基礎編 第4版．東京: 日本看護協会出版会．

福井トシ子編 (2024). 助産師業務要覧 実践編 第4版．東京: 日本看護協会出版会．

山本あい子編 (2024). 助産師基礎教育テキスト 第1巻 助産概論．東京: 日本看護協会出版会．

評価方法

授業参加度（20％）、発表・資料（40％）、レポート（40％）

ウィメンズヘルス I

更新日：2025/02/02 15:14:45

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	870200	授業コード	87020
担当教員	永松 美雪						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

周産期女性の健康に影響を及ぼす思春期や成熟期の健康問題とその支援について学ぶとともに、女性の健康の支援者である助産師のあり方について考察する。

到達目標

1	各ライフステージの女性の健康にかかわる助産ケアの重要性を説明できる。
2	思春期女性と成熟期女性の健康課題について説明できる。
3	思春期女性と成熟期女性への支援にかかわる助産師の役割について説明できる。

DPとの関連

DP6（助産）◎
DP7（助産）○
DP8（助産）○

授業計画

1	各ライフステージの女性の健康にかかわる助産ケア 【授業内容】性差医療の発展と意義、各ライフステージの女性の健康にかかわる助産ケア 【授業方法】講義
2	思春期女性の成長と発達 【授業内容】身体発達・性機能の成熟、心理・社会的発達、アイデンティティの形成 【授業方法】発表・討議
3	思春期女性を取り巻く社会的問題、思春期女性の健康問題① 【授業内容】月経異常、10代妊娠 【授業方法】発表・討議
4	思春期女性を取り巻く社会的問題、思春期女性の健康問題② 【授業内容】性感染症 【授業方法】発表・討議
5	思春期女性を取り巻く社会的問題、思春期女性の健康問題③ 【授業内容】摂食障害 【授業方法】発表・討議
6	成熟期女性の特徴、ライフプランを考慮した健康と健康問題（子宮内膜症） 【授業内容】成熟期女性の特徴、ライフプランを考慮した健康、子宮内膜症 【授業方法】発表・討議
7	成熟期女性と不妊 【授業内容】不妊治療と支援 【授業方法】講義
8	事例検討：思春期・成熟期女性の健康を支援する助産師の役割 【授業内容】思春期・成熟期女性の事例検討、最終授業のフィードバック 【授業方法】講義

学習方法

助産ケアの主な対象である女性を理解するための視点を強化する。助産ケアには、対象者理解において思春期や成熟期女性であるという視点を持つことが重要である。女性の健康を支援する助産師の役割とは何かについて問いながら学習を進めていく。授業は、講義、発表・討議、事例検討を組み合わせる。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

堀内成子 編集 (2022). 助産診断・技術学 I 第 6 版. 東京: 医学書院.

参考文献

吉沢豊予子他 (2024). 助産師基礎教育テキスト 第 2 巻. ウィメンズヘルス. 東京: 日本看護協会出版会.
福井トシ子, 井本寛子 編集 (2024). 助産師業務要覧 第4版. 基礎編. 東京: 日本看護協会出版会.
福井トシ子, 井本寛子 編集 (2024). 助産師業務要覧 第4版. 実践編. 東京: 日本看護協会出版会.
井上裕美 (2018). 病気がみえる Vol.9 婦人科・乳腺外科 第 4版. 東京: メディックメディア.

評価方法

授業参加度（20％）、発表・資料（30％）、筆記試験（50％）

ウィメンズヘルスⅡ

更新日：2025/02/02 14:59:51

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	870300	授業コード	87030
担当教員	永松 美雪						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

性差医学、婦人科疾患、更年期障害、人工妊娠中絶、不妊症など、今日的な女性の健康課題を取り上げ、生涯を通じた女性の健康支援のあり方について探究する。それらを通し、生涯にわたる女性の健康問題に関わる助産師に求められる基礎的能力を習得する。

到達目標

1	生涯を通じた女性の健康課題について説明できる。
2	更年期女性と老年期女性の健康課題に対する支援のあり方について考察できる。
3	生涯にわたる女性の健康問題にかかわる助産師に求められる役割について考察できる。

DPとの関連

DP6（助産）◎
DP7（助産）○
DP8（助産）○

授業計画

1	更年期女性特有の特徴 【授業内容】更年期女性特有の身体的・心理的・社会的特徴 【授業方法】講義 【担当】永松
2	更年期女性特有の健康課題とそのケア① 【授業内容】更年期障害についての治療とケア 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
3	更年期女性特有の健康課題とそのケア② 【授業内容】排尿障害についての治療とケア 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
4	更年期女性特有の健康課題とそのケア③ 【授業内容】子宮脱についての治療とケア 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
5	事例検討：更年期女性の健康を支援する助産師の役割 【授業内容】事例検討 【授業方法】討議 【担当】永松
6	老年期女性特有の健康問題とそのケア 【授業内容】加齢に伴う全身の変化や喪失体験と不適応についての治療とケア 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
7	老年期女性の健康を支援する助産師の役割 【授業内容】事例検討 【授業方法】討議 【担当】永松
8	乳がんの治療を受ける女性と家族の支援 【授業内容】乳がんの治療を受ける女性と家族の支援 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
9	良性の子宮腫瘍性疾患の診断と治療 【授業内容】子宮筋腫 【授業方法】講義 【担当】高石清美（山口赤十字病院）
10	悪性の腫瘍性疾患の診断と治療 【授業内容】子宮がん、卵巣がん 【授業方法】講義 【担当】高石清美（山口赤十字病院）

11	事例検討：生殖器摘出を受ける女性と家族の支援 【授業内容】事例検討 【授業方法】討議 【担当】永松
12	乳がん健診技術の演習 【授業内容】乳がん健診の技術と早期発見のための保健教育 【授業方法】演習 【担当】永松
13	子宮がん健診技術の演習 【授業内容】子宮がん健診の技術と早期発見のための保健教育 【授業方法】演習 【担当】永松
14	世界におけるウィメンズヘルスの支援① 【授業内容】各自、国外の国とウィメンズヘルスの支援に関するテーマを選択し、文献をもとに発表 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
15	世界におけるウィメンズヘルスの支援② 【授業内容】各自、国外の国とウィメンズヘルスの支援に関するテーマを選択し、文献をもとに発表 最終授業のフィードバック 【授業方法】発表・討議 【担当】永松

学習方法

ウィメンズヘルスⅠおよびその他の助産関連科目における既習知識を前提に、助産師として女性の生涯の健康を支援することについて探究していく。十分な事前学習は必要であるが、女性の健康を支援する助産師の役割について言語化ができるように学習を積み重ねていく。
授業は講義、発表・討議、事例検討、演習を組み合わせる。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

堀内成子 編集 (2021). 助産診断・技術学Ⅰ 第6版. 東京: 医学書院.

参考文献

吉沢豊予子他 (2024). 助産師基礎教育テキスト 第2巻. ウィメンズヘルス. 東京: 日本看護協会出版会.
福井トシ子, 井本寛子 編集 (2024). 助産師業務要覧 第4版. 基礎編. 東京: 日本看護協会出版会.
福井トシ子, 井本寛子 編集 (2024). 助産師業務要覧 第4版. 実践編. 東京: 日本看護協会出版会.
井上裕美 (2018). 病気がみえる Vol.9 婦人科・乳腺外科 第4版. 東京: メディックメディア.

評価方法

授業参加度（20％）、発表・資料（30％）、筆記試験（50％）

リプロダクティブ・ヘルス

更新日：2025/02/02 14:46:07

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	870400	授業コード	87040
担当教員	永松 美雪						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

国の人口政策や経済問題などとも深くかかわるリプロダクティブ・ヘルスの課題について、先進国、途上国の現状を多角的に分析し、その対応について考察する。

到達目標

1	リプロダクティブ・ヘルスの課題をめぐる背景と現状について説明できる。
2	リプロダクティブ・ヘルスの課題に対する助産師の支援について説明できる。
3	健康教育について学び、リプロダクティブ・ヘルスに関する健康教育の指導および相談等の対応について説明できる。
4	受胎調節実施指導の資格取得の申請に向け、必要な知識や技術を身につけることができる。

DPとの関連

- DP6（助産）◎
DP7（助産）○
DP8（助産）○

授業計画

1	途上国のリプロダクティブ・ヘルスの課題 【授業内容】 途上国のリプロダクティブ・ヘルスの課題（途上国のうち国を選択） 【授業方法】 発表・討議 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
2	途上国のリプロダクティブ・ヘルスの支援と予防対策 【授業内容】 途上国のリプロダクティブ・ヘルスの支援と予防対策（途上国のうち国を選択） 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
3	先進国のリプロダクティブ・ヘルスの課題 【授業内容】 先進国のリプロダクティブ・ヘルスの課題（先進国のうち国を選択） 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
4	先進国のリプロダクティブ・ヘルスの支援と予防対策 【授業内容】 先進国のリプロダクティブ・ヘルスの支援と予防対策（先進国のうち国を選択） 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
5	日本のリプロダクティブ・ヘルスの課題 【授業内容】 日本のリプロダクティブ・ヘルスの課題 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
6	日本のリプロダクティブ・ヘルスの支援と予防対策 【授業内容】 日本のリプロダクティブ・ヘルスの支援と予防対策 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
7	健康教育の概念と理論 【授業内容】 リプロダクティブ・ヘルスに関する健康教育の概念と理論 【授業方法】 講義 【担当】 永松
8	相談・教育活動の技術 【授業内容】 リプロダクティブ・ヘルスに関する相談・教育活動の技術 【授業方法】 講義 【担当】 永松
9	事例検討：男女間暴力 【授業内容】 被害者支援と予防教育 【授業方法】 講義 【担当】 永松

10	事例検討：男女間暴力 【授業内容】加害者支援 【授業方法】講義 【担当】原健一（DV対策・予防センター九州）
11	家族計画 【授業内容】家族計画の歴史、母体保護法 【授業方法】講義 【担当】永松
12	受胎調節実地指導に関する対応 【授業内容】受胎調節実地指導に関する指導および相談 【授業方法】講義 【担当】永松
13	各受胎調節実地指導方法① 【授業内容】各受胎調節実地指導案とシナリオを用いたロールプレー 【授業方法】演習 【担当】永松
14	各受胎調節実地指導方法② 【授業内容】各受胎調節実地指導案とシナリオを用いたロールプレー 【授業方法】演習 【担当】永松
15	受胎調節実地指導試験、事例に対する受胎調節実地指導の実施 【授業内容】受胎調節実地指導試験（60分間）、事例に対する受胎調節実地指導の実践、最終授業のフィードバック 【授業方法】試験 【担当】永松

学習方法

助産師にはリプロダクティブ・ヘルスの課題について国内外を問わず多角的に捉え、その対応について考え実践していく能力が求められる。講義は個人発表またはグループディスカッション形式をとる。そのため十分な予習・復習が必須となる。受胎調節実施指導の資格取得の申請に向け、必要な知識を身につけることができているか受胎調節実地指導試験を受け、受胎調節実地指導案を作成し、演習と事例に対する指導を実施する。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

堀内成子 編集 (2021). 助産診断・技術学Ⅰ 第6版. 東京: 医学書院.

参考文献

福井トシ子 編 (2024). 助産師業務要覧 基礎編 第4版. 東京, 日本看護協会出版会.

評価方法

授業参加度（20％）、発表・資料（40％）、受胎調節実地指導案（40％）

女性のフィジカルアセスメント

更新日：2025/01/29 09:55:09

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	870500	授業コード	87050
担当教員	石山 さゆり						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

女性の形態と機能、生殖器の発生から内分泌機能の成熟、さらにライフサイクルにおける女性の身体変化などを基礎として、女性の健康アセスメントに必要な問診の視点を理解するとともに、助産診断・介入に必要なフィジカルアセスメントの手法を習得する。

到達目標

1	助産師が行うフィジカルアセスメントについて説明できる。
2	女性のフィジカルアセスメントの特徴と診察技法が説明できる。
3	乳房のアセスメントについて説明できる。
4	妊婦のフィジカルアセスメントについて説明できる。
5	産婦のフィジカルアセスメントについて説明できる。
6	褥婦のフィジカルアセスメントについて説明できる。

DPとの関連

DP6（助産）○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	フィジカル・イグザミネーションとフィジカルアセスメント 【授業内容】助産師が行うフィジカルアセスメント 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
2	女性のフィジカルアセスメントの特徴と診察に必要な技法（1） 【授業内容】妊娠初期の診察における基本姿勢および面接（問診）技法 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
3	女性のフィジカルアセスメントの特徴と診察に必要な技法（2） 【授業内容】妊娠初期の乳房を含む全身の診察に必要な技法（視診、触診、計測診） 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
4	妊婦のフィジカルアセスメント 【授業内容】妊娠後期のレオポルド胎児触診法、腹囲・子宮底測定法、胎児心音聴取法・胎児モニターリング 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
5	女性のフィジカルアセスメントの特徴と診察に必要な技法（3） 【授業内容】妊娠初期の内診、膣鏡診、細胞診、性感染症検査法 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
6	産婦のフィジカルアセスメント（1） 【授業内容】ザイツ法、内診、破水の診断、胎児位置・回旋の診断方法 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
7	産婦のフィジカルアセスメント（2） 【授業内容】分娩後2時間に必要なアセスメント技法（問診・視診・触診・計測診）とケア 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
8	褥婦のフィジカルアセスメント 【授業内容】産褥期に必要なアセスメント技法（問診、視診・触診・計測診、乳房と哺乳）とケア、最終授業のフィードバック 【授業方法】講義・演習 【担当】石山

学習方法

女性生殖器の解剖・生理、妊娠、分娩、産褥の経過については母性看護学で学んだ知識・技術を踏まえ、講義を進めます。事前学習を行い、内診はシュミレーションモデルを使い、内診所見の口頭試問を行います。胎児モニターリングの装着および所見が読み取れように学修し正常からの逸脱の判断ができるようにしてくだ

さい。

オフィスアワー

木曜日の昼休み、もしくは事前にメール（石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

我部山キヨ子：助産師のためのフィジカルイグザミネーション 第2版．東京，医学書院，2018．

参考文献

井上真智子 編：もう困らない！プライマリ・ケアでの女性の診かた：女性診療に携わるすべての人に役立つ問診・診察・検査のノウハウ．東京，羊土社，2015．

鈴木俊治、舛森とも子：超早わかり助産ケア技術：決定版！．大阪，メディカ出版，2015．

平澤美恵子，村上睦子監修：写真でわかる助産技術アドバンス：妊産婦の主体性を大切にしたいケア，安全で母子に優しい助産のわざ．東京，インターメディカ，2025．

進純郎他：助産外来の健診技術．東京，医学書院，2010．

荒木勤：最新産科学 正常編（改定第23版）．東京，文光堂，2023．

荒木勤：最新産科学 異常編（改定第23版）．東京，文光堂，2023．

日本ラクテーション・コンサルタント協会：母乳育児支援スタンダード 第2版．東京，医学書院，2015．

BFHI2009 翻訳編集委員会訳：UNICEF/WHO 赤ちゃんとお母さんにやさしい 母乳育児支援，2009．

評価方法

授業への参加度（10％）、筆記試験（90％）

妊娠期のアセスメントとケア

更新日：2025/01/27 16:34:59

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	870600	授業コード	87060
担当教員	石山 さゆり						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義・演習						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

妊婦が身体的・心理的・社会的に健康であるか、また正常からの逸脱の有無をアセスメントし、妊婦・胎児が正常に経過するために必要な能力の習得を目指す。

到達目標

1	正常妊婦の経過と正常からの逸脱を診断できるための基礎知識を習得できる
2	妊娠期のアセスメントに基づいたケア計画が立案できる
3	妊婦・胎児が正常に経過するために必要なケアが説明できる

DPとの関連

DP6○

DP7◎

DP8○

授業計画

1	助産診断、助産過程の概要 【授業内容】助産診断、助産過程の展開について学修する 【授業方法】講義 【担当】石山
2	妊娠期の助産診断（妊娠中期の事例） 【授業内容】妊娠中期の事例を基に妊娠期の助産診断について学修する 【授業方法】講義・演習（課題提示Teams） 【担当】石山
3	胎児の発育、器官形成、構造と機能 【授業内容】胎児の発育、器官形成について学修し、構造と機能について助産師の視点で考察する 【授業方法】講義・ディスカッション 【担当】石山
4	保健指導と企画書 【授業内容】保健指導企画書の作成方法について学修する 【授業方法】講義・演習(課題提示と提出Teams) 【担当】石山
5	事例の助産診断、計画立案 【授業内容】妊娠中期の事例の助産診断と助産計画を立案し、ディスカッションする 【授業方法】演習、学生によるプレゼンテーション フィードバック 【担当】石山
6	妊娠に伴う母体の変化と正常からの逸脱の判断とケア 【授業内容】妊娠に伴う母体の変化と正常からの逸脱の判断とケアについて学修する 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
7	妊娠期の保健指導（切迫早産） 【授業内容】切迫早産事例の保健指導案を立案し、プレゼンテーションを行い、ディスカッションする 【授業方法】演習、学生によるプレゼンテーション フィードバック 【担当】石山
8	妊娠期の助産診断とケア(妊娠後期事例) 【授業内容】妊娠後期の事例を基に妊娠期の助産診断について学修する 【授業方法】演習 課題提示と提出（Teams） 【担当】石山
9	ハイリスク妊婦・胎児のアセスメントとケア（胎児モニタリング） 【授業内容】胎児モニタリングの判読方法について実際例をもとにアセスメントし、学修する 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
10	妊婦の心理・社会的アセスメントとケア 【授業内容】妊婦の心理・社会的アセスメントとケアについて学修する 【授業方法】講義・演習（課題提示）ディスカッション フィードバック 【担当】石山

11	ハイリスク妊婦・胎児のアセスメントとケア（糖尿病合併妊娠） 【授業内容】糖尿病合併妊娠事例をもとにハイリスク妊婦・胎児のアセスメントとケアについて学修する 【授業方法】講義・ディスカッション フィードバック 【担当】石山
12	ハイリスク妊婦・胎児のアセスメントとケア（精神疾患等合併妊娠） 【授業内容】周産期の精神疾患のケアについて事例をもとに学修する 【授業方法】講義・演習（事例提示）ディスカッション フィードバック 【担当】石山
13	事例の助産診断、計画立案 【授業内容】妊娠後期の事例の助産診断と助産計画を立案し、ディスカッションする 【授業方法】演習、学生によるプレゼンテーション フィードバック 【担当】石山
14	妊娠後期事例の保健指導 【授業内容】妊娠後期事例の保健指導案を立案し、プレゼンテーションを行い、ディスカッションする 【授業方法】演習、学生によるプレゼンテーション フィードバック 【担当】石山
15	妊娠期の集団指導 【授業内容】妊娠期の集団指導のプレゼンテーションと討議を行う 【授業方法】演習・学生によるデモンストレーション ディスカッション フィードバック 【担当】石山

学習方法

周産期学（正常編、異常編）、女性のフィジカルアセスメントの知識を用い、妊婦・胎児をアセスメントしケアを行うための思考過程を学習する。それらを踏まえ事例に基づいて、妊娠各期の母児のアセスメントを行い、ケア計画の立案と保健指導により事例の展開を行う。

オフィスアワー

木曜日の昼休み、もしくは事前にメール（石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

我部山キヨ子編：助産学講座6助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期 第6版．東京,医学書院,2021.

参考文献

日本産科婦人科学会：産婦人科診療ガイドライン 産科編. 日本産科婦人科学会, 2023.
北川真理子：今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程 改訂第4版．東京，南江堂，2019．
日本助産診断・実践研究会編：マタニティ診断ガイドブック 第6版．東京，医学書院，2020．
医療情報科学研究所編：病気がみえる 産科Vol10 第4版．東京，MEDIC MEDIA，2018.
日本産科婦人科学会 日本産婦人科医会編：産婦人科診療ガイドライン産科編2023．東京，日本産科婦人科学会事務局，2023．
遠藤俊子編：ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア．東京，日本看護協会出版会，2020．
平澤美恵子：写真でわかる助産技術．東京，インターメディカ，2016．
平澤美恵子：写真でわかる助産技術(アドバンス)．東京，インターメディカ，2021．
進純郎：助産外来の健診技術．東京，医学書院，2010．
永田 雅子：新版 周産期のこころのケア 親と子の出会いとメンタルヘルス.. 東京，遠見書房，2017．

評価方法

講義参加度(10%)，事例展開課題、保健指導案（30%），筆記試験（60%）

分娩期のアセスメントとケア

更新日：2025/02/05 14:37:35

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	870700	授業コード	87070
担当教員	石山 さゆり						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義・演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

産婦が身体的・心理的・社会的に健康であるか、また正常からの逸脱の有無をアセスメントし、産婦とその家族が安全・安楽に出産するために必要な能力の習得を目指す。

到達目標

1	正常な分娩経過と正常からの逸脱を診断できるための基礎知識を習得できる
2	分娩期のアセスメントをもとにケア計画が立案できる
3	分娩介助技術を習得できる
4	出産が正常に経過するために必要なケアを説明できる

DPとの関連

DP6○

DP7◎

DP8○

授業計画

1	分娩期の助産診断とケア（1）分娩期の助産過程の特徴 初期診断に必要な情報 【授業内容】分娩期の助産過程の特徴と初期診断に必要な情報について学修する 【授業方法】講義 【担当】石山
2	分娩期の助産診断とケア（2）分娩期のケア 【授業内容】分娩の経時変化に伴うアセスメントとケアの実践について学修する 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
3	分娩介助法（1） 【授業内容】分娩介助について学習し、演習する 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
4	分娩介助法（2）デモンストレーション 【授業内容】分娩介助法の実践について演習する 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
5	分娩期の助産診断とケア（3）母体状態、胎児の状態のアセスメント 初産婦事例 【授業内容】初産婦事例をもとに母体の状態、胎児の状態のアセスメントを学修する 【授業方法】講義・演習 発表（フィードバック） 【担当】石山
6	出産の促進・産痛緩和のケア 【授業内容】出産の促進・産痛緩和のケアについて学修し、演習する 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
7	分娩介助技術評価（物品の準備 分娩野作成まで） 【授業内容】分娩介助法（必要物品の確認 ～分娩野作成まで）を実演する 【授業方法】演習（実技） 【担当】石山
8	分娩期の助産診断とケア（4）産婦の心理・社会的アセスメントとケア 【授業内容】産婦の心理と社会的アセスメントとケアについて学修する 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
9	分娩期の助産計画立案 【授業内容】自然分娩、分娩促進、前期破水、GBS、帝王切開、糖尿病合併妊娠、妊娠高血圧症候群などの助産計画を立案し、プレゼンテーションを行い、ディスカッションする 【授業方法】演習、発表、フィードバック 【担当】石山

10	無痛分娩の管理と助産ケアの実際 【授業内容】無痛分娩の管理と助産ケアの実際について学修し演習する 【授業方法】講義・演習 【担当】ゲストスピーカー（筑紫クリニック 池田美紀）、石山
11	正常な経過からの逸脱またはハイリスク産婦・胎児のアセスメントとケア 【授業内容】分娩誘導、吸引分娩、産科異常出血事例のアセスメントとケアについて学修する 【授業方法】講義 【担当】石山
12	フリースタイル出産（演習） 【授業内容】フリースタイル出産、回旋異常について学修し演習する 【授業方法】演習 【担当】石山
13	分娩期の助産診断とケア（５）母体状態、胎児の状態のアセスメント 経産婦事例 【授業内容】経産婦事例をもとに母体の状態、胎児の状態のアセスメントを学修する 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
14	正面介助分娩の実際 【授業内容】正面分娩助産法の実践について学修し実技演習を行う 【授業方法】講義・実技演習 【担当】ゲストスピーカー（筑紫クリニック 有吉直美）、石山
15	分娩介助技術評価 【授業内容】分娩助産法（肛門保護～胎盤娩出まで）を実演する 【授業方法】演習（実技） 【担当】石山

学習方法

周産期学（正常編、異常編）、女性のフィジカルアセスメントの知識を用い、産婦・胎児をアセスメントし、ケアを行うための思考過程を学ぶ。それらを踏まえ、分娩第１期から４期までの母児の事例のアセスメントを行い、ケア計画を立案する。分娩助産法を学習する前の準備として、分娩機転がシュミレーションできるように自己学習しておく。基本的な分娩助産技術を習得するために、練習を重ね技術試験に臨む。

オフィスアワー

木曜日の昼休み、もしくは事前にメール（石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

我部山キヨ子編：助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期 第6版.東京，医学書院，2021．

参考文献

日本産科婦人科学会：産婦人科診療ガイドライン 産科編. 日本産科婦人科学会, 2023.
医療情報科学研究所編：病気がみえる 産科Vol10 第4版．東京，MEDIC MEDIA，2018．
京都産婦人科救急診療研究会編著：母体急変時の初期対応 第3版．大阪，メディカ出版，2020．
村上明美：仰臥位分娩助産技術 DVD で学ぶ助産師の「わざ」熟練の技を求めて．東京，医歯薬出版，2015．
平澤美恵子：写真でわかる助産技術．東京，インターメディカ，2012．
平澤美恵子：新訂第2版 写真でわかる助産技術（アドバンス．東京，インターメディカ，2025．

評価方法

講義参加度（10％）、課題（20％）、技術試験（10％）、筆記試験（60％）

産褥期・新生児のアセスメントとケア

更新日：2025/01/29 09:45:37

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	870800	授業コード	87080
担当教員	石山 さゆり						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

産後の母体と新生児の経過が正常（生理的な変化）であるか、また、逸脱・異常およびハイリスク状態の徴候がないかをアセスメントし、褥婦と新生児に対して適切なケアを選択し、親として自立が図れるよう家族を含めた健康教育（個別・集団、訪問による指導を含む）を行うために必要な能力を習得する。

到達目標

1	正常な経過をたどる褥婦と新生児および家族に対するケアの原則について説明できる
2	正常な経過をたどる褥婦と新生児に対する助産過程の展開ができる
3	産褥期に必要な不可欠な授乳指導、沐浴指導、退院指導についての保健指導案を作成できる
4	特別なケアを必要とする褥婦と新生児およびその家族のケアを考察することができる

DPとの関連

- DP6（助産）○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	産褥期における社会的課題 【授業内容】周産期における社会的問題について、プレゼンテーションと討議を行う。 【授業方法】演習、発表、討議、フィードバック 【担当】石山
2	助産師が行う産褥期・新生児期のケア 【授業内容】産褥期の助産過程の展開、産褥期のケアに求められる実践能力、新生児期のケアの基本について学修する。 【授業方法】講義 課題提示（初産婦事例） 【担当】石山
3	褥婦の身体的・心理的・社会的側面のアセスメントと助産診断・ケア① 【授業内容】経膈分娩後、産褥1日目の初産婦の事例を用いて、褥婦のアセスメントと助産診断・ケアについてプレゼンテーションと討議を行う。 【授業方法】演習 グループワーク 発表 フィードバック 【担当】石山
4	子宮外生活への適応のアセスメントと助産診断・ケア① 【授業内容】経膈分娩にて出生した日齢1日目の新生児の事例を用いて、子宮外生活への適応のアセスメントと助産診断・ケアについてプレゼンテーションと討議を行う。 【授業方法】演習 グループワーク 発表 フィードバック 【担当】石山
5	褥婦の身体的・心理的・社会的側面のアセスメントと助産診断・ケア② 【授業内容】母乳育児に関するアセスメントとケアについて学修し、助産ケアの演習を行う 【授業方法】講義・演習 【担当】石山
6	助産ケアの実際 【授業内容】実際に行われている外来の助産ケアの実際を学修する。 【授業方法】講義・演習 【担当】福岡赤十字病院 本田しのぶ
7	親役割獲得を促進する支援① 【授業内容】親役割獲得を促進する支援である育児指導や授乳指導に関する指導案のプレゼンテーションおよび討議を行う。 【授業方法】演習 発表 フィードバック 【担当】石山
8	褥婦の身体的・心理的・社会的側面のアセスメントと助産診断・ケア③ 【授業内容】経膈分娩後、産褥3日目の初産婦の事例を用いて、褥婦のアセスメントと助産診断・ケアについてプレゼンテーションと討議を行う。 【授業方法】演習 グループワーク 発表 フィードバック 【担当】石山
9	子宮外生活への適応のアセスメントと助産診断・ケア② 【授業内容】経膈分娩にて出生した日齢3日目の新生児の事例を用いて・ケアについてプレゼンテーションと討議を行う。ケアについてプレゼンテーションと討議を行う。 【授業方法】演習 グループワーク 発表 フィードバック 【担当】石山

10	親役割獲得を促進する支援② 【授業内容】親役割獲得を促進する支援の1つである沐浴指導に関する指導案のプレゼンテーションおよび討議を行う。 【授業方法】演習 学生によるプレゼンテーション フィードバック 【担当】石山
11	セルフケアを伸ばす支援 【授業内容】セルフケアを伸ばす支援の1つである退院指導に関する指導案のプレゼンテーションおよび討議を行う。 【授業方法】演習 学生によるプレゼンテーション フィードバック 【担当】石山
12	帝王切開のケア 【授業内容】産褥期における帝王切開のケアについて学修する。 【授業方法】講義 【担当】石山
13	ペリネイタルロスとグリーフケア、医療者のレジリエンス 【授業内容】ペリネイタルロスを経験した女性へのケア、ケアを行う医療者のレジリエンスについて学修し、討議を行う。 【授業方法】演習 ディスカッション フィードバック 【担当】石山
14	正常からの逸脱① 【授業内容】褥婦の正常からの逸脱について情報収集から診断までの思考過程を強化する。大学院生による討議を行う。 【授業方法】演習 課題提示、グループワーク 発表 フィードバック 【担当】石山
15	正常からの逸脱② 【授業内容】褥婦の正常からの逸脱について情報収集から診断までの思考過程を強化し、討議を行う。 【授業方法】演習 課題提示、グループワーク 発表 フィードバック 【担当】石山

学習方法

褥婦、新生児の事例を用いた産後1日目から退院までの助産過程の展開を行う。その中で、対象の個性を生かした助産計画及び保健指導案を作成し、討議を行う。また、特別なケアを必要とする褥婦と新生児およびその家族について講義・演習を通して学修する。以上を通して、褥婦・新生児に対する助産ケアにアセスメント力および実践力の強化を図る。

オフィスアワー

木曜日の昼休み、もしくは事前にメール（石山：s-ishiyama@jrckcn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

我部山キヨ子編：助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期 第6版.東京, 医学書院, 2021.
石井邦子他：助産学講座 8 助産診断・技術学 [3] 新生児・乳幼児期 第6版. 東京. 医学書院, 2021.

参考文献

荒木勤：最新産科学 正常編（改定第23版）. 東京, 文光堂, 2023.
荒木勤：最新産科学 異常編（改定第23版）. 東京, 文光堂, 2023.
北川真理子, 内山和美：今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程（改定第4版）. 東京, 南江堂, 2019.
仁志田博司：新生児学入門 第6版. 東京, 医学書院, 2024.
日本ラクテーションコンサルタント協会編：母乳育児支援スタンダード第2版. 東京, 医学書院, 2015.

評価方法

講義参加度（10%）、事例展開課題、保健指導案（30%）、筆記試験（60%）

周産期学（正常編）

更新日：2025/02/03 09:58:56

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	870900	授業コード	87090
担当教員	藤田 恭之, 濱崎 洋一郎, 貴島 雅子, 和田 智子, 本 理恵, 石山 さゆり						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

正常な妊娠・分娩・産褥のアセスメントに必要な周産期学の知識として、妊娠の成立過程さらに妊娠分娩産褥に伴う生理的变化について考察する。

到達目標

1	妊娠の成立と維持に必要な内容が説明できる
2	胎児の発育、胎児・胎盤系について説明できる
3	妊娠・分娩・産褥に伴う母体の生理的变化を説明できる
4	産道の解剖、分娩の三要素、分娩機転について説明できる
5	母子の栄養、母子感染について説明できる

DPとの関連

DP6（助産）○

DP7（助産）◎

DP8（助産）○

授業計画

1	妊娠の成立と維持 【授業内容】妊娠の成立と維持について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 濱崎洋一郎
2	胎児胎盤系の生理 【授業内容】胎児・胎盤ユニット、胎盤の剥離機転と止血機構について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 濱崎洋一郎
3	妊娠による母体の生理学的変化 【授業内容】妊娠による性器および全身(循環器系、消化器系、腎・泌尿器系、代謝・内分泌系)の生理的变化について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 貴島雅子
4	出産による母体の生理学的変化 【授業内容】出産による、性器および全身(循環器系、消化器系、腎・泌尿器系、代謝・内分泌系)の生理的变化について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 貴島雅子
5	ME 機器を用いた検査方法 【授業内容】超音波検査法、胎児心拍モニタリング、X線検査について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 藤田恭之
6	産道の解剖、分娩の三要素、分娩機転、胎位・胎勢 【授業内容】産道の解剖、分娩の三要素、分娩機転、胎位・胎勢について学修をする。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 和田智子
7	母の栄養 【授業内容】妊娠期～産褥期の母体の栄養について、DOHad 学説を中心に学修する。 【授業方法】講義・討議 【担当】石山さゆり
8	母乳育児 【授業内容】母子の栄養、母子感染について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 本理恵

学習方法

本科目は助産師が責任を持って行う正常な妊娠の診断、分娩経過の診断、分娩介助、褥婦の診断を行うための基礎となる科目です。周産期学（異常編）と連動し、正常と正常からの逸脱の判断ができるよう知識の習得を目指します。

オフィスアワー

担当教員 藤田恭之先生とメール（y-fijita@fukuoka-med.jrc.or.jp）等で連絡を取り、日時を調整する。

テキスト

特に指定しない

参考文献

荒木勤：最新産科学 正常編 第 23 版. 東京, 文光堂, 2023.

日本産科婦人科学会：産婦人科診療ガイドライン 産科編. 日本産科婦人科学会, 2023.

進純郎：分娩介助学 第2版. 東京, 医学書院, 2014.

評価方法

筆記試験（100%）

周産期学（異常編）

更新日：2025/02/06 13:14:04

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	871000	授業コード	87100
担当教員	藤田 恭之, 和田 智子, 石山 さゆり						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

妊娠・分娩・産褥期における異常と合併症妊娠の病態、治療についての知識を習得する。また、緊急時の処置とその技術を習得する。

到達目標

1	妊娠・分娩・産褥期におこりやすい異常について説明できる
2	合併症妊娠の病態、治療について説明できる
3	異常が発生した場合の初期対応と医師との連携について説明できる
4	緊急時の初期対応について説明できる
5	会陰裂傷縫合について説明できる

DPとの関連

- DP6（助産）○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	妊娠継続が困難な疾患の病態と治療 【授業内容】不妊、出生前診断、流早産、子宮内胎児死亡、絨毛性疾患について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 藤田恭之
2	受精卵の着床異常と胎児の発育異常の病態、治療 【授業内容】子宮外妊娠、多胎、胎児発育不全、血液型不適合妊娠、薬物・放射線の影響について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 和田智子
3	異常妊娠と合併症妊娠の病態と管理 【授業内容】妊娠高血圧症候群、前置胎盤（自己血貯血）、常位胎盤早期剥離、癒着胎盤、前期破水、切迫早産、合併症妊娠（心疾患、糖尿病、甲状腺疾患、婦人科疾患、感染症など）について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 藤田恭之
4	分娩の3要素の異常と対応 【授業内容】分娩促進・誘発、進入異常・回旋異常、C P D、胎位の異常・臍帯の異常について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 和田智子
5	産科救急 【授業内容】一次救急、異常出血 双手圧迫法、IVRなどの止血方法について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 藤田恭之
6	産科手術 【授業内容】吸引分娩術、帝王切開術、骨盤位娩出術、人工妊娠中絶、肩甲難産、麻酔分娩について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 藤田恭之
7	骨盤底、会陰の解剖、会陰切開方法、縫合デモンストレーション 【授業内容】骨盤底、会陰の解剖、会陰切開、陰部神経麻酔方法について学修する。 【授業方法】講義 【担当】福岡赤十字病院 藤田恭之
8	麻酔分娩の実際 【授業内容】麻酔分娩の実際について学修する。 【授業方法】講義 【担当】ゲストスピーカー（宗像セントラルクリニック 川浪大郎）、石山さゆり

学習方法

周産期学（正常編）と連動し、正常からの逸脱の判断ができるための知識習得と周産期におこりやすい異常と緊急時の初期対応について学びます。

オフィスアワー

担当教員 藤田先生とメール（y-fujita@fukuoka-med.jrc.or.jp）等で連絡を取り、日時を調整する。

テキスト

特に指定しない

参考文献

荒木勤：最新産科学 正常編 第 23 版. 東京, 文光堂, 2023 .
荒木勤：最新産科学 異常編 第 23 版. 東京, 文光堂, 2023.
日本産科婦人科学会：産婦人科診療ガイドライン 産科編. 日本産婦人科学会, 2023.
進純郎：正常分娩の助産術 トラブルへの対応と会陰裂傷縫合. 東京, 医学書院, 2010.

評価方法

筆記試験(90%), 参加度(10%)

新生児学

更新日：2025/03/07 17:06:51

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	871100	授業コード	87110
担当教員	松本 直子, 齋藤 未来, 竹中 陽子, 有富 友香, 伊東 亜希子, 山本 夏希						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義・演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

新生児の分類とその評価を行う知識を深めるとともに、子宮内環境から子宮外環境への臓器別の生理的適応変化とそれをもとにしたフィジカルアセスメントを習得する。また、出生時の適応障害、在胎週数別に見た合併症とその症状を理解し、新生児の治療方法として、基本的治療（ケアや栄養管理）、薬物治療（薬剤投与の実際など）、特殊な治療（人工換気、交換輸血、脳低温 療法など）について最近の知見も含めて学び、ケアの提供ができるようになる。

到達目標

1	新生児の病態生理と疾病の特徴について説明できる。
2	新生児に特有なケアと家族への支援について説明できる。
3	新生児蘇生の基本的手技を習得する。

DPとの関連

DP1 ○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	新生児学総論 【授業内容】 発育と発達とその評価 新生児診断学 新生児医療における生命倫理 【授業方法】 講義 Zoom 【担当】 松本直子（山口赤十字病院）
2	新生児の養護と管理 【授業内容】 母子関係と家族の支援 医療事故と医原性疾患 災害と新生児医療 【授業方法】 講義 Zoom 【担当】 齋藤未来（山口赤十字病院）
3	呼吸器系と循環器系の基礎と臨床 【授業内容】 呼吸器系の基礎と臨床 循環器系の基礎と臨床 【授業方法】 講義 Zoom 【担当】 松本直子（山口赤十字病院）
4	内分泌・代謝系と栄養・消化器系の基礎と臨床 【授業内容】 水・電解質バランスの基礎と臨床 内分泌・代謝系の基礎と臨床 栄養・消化器系の基礎と臨床 黄疸の病態と臨床 【授業方法】 講義 Zoom 【担当】 松本直子（山口赤十字病院）
5	新生児医療と看護 【授業内容】 新生児医療とあたたかい心 体温調整と保温 栄養・消化器系の基礎と臨床 低出生体重児の看護 【授業方法】 講義 Zoom 【担当】 竹中陽子（山口赤十字病院）
6	主要疾患の看護 【授業内容】 RDS、TTN、PDA、VSD、IDM、高ビリルビン血症、多血、NEC、初期嘔吐、感染 【授業方法】 講義 Zoom 【担当】 仲貴乃（山口赤十字病院）
7	血液系、免疫系と感染 【授業内容】 血液系の基礎と臨床 免疫系と感染の基礎と臨床 【授業方法】 講義 Zoom 【担当】 松本直子（山口赤十字病院）

8	新生児発達促進ケア（ディベロプメンタルケア） 【授業内容】 痛みのケア、ポジショニング 【授業方法】 講義 Zoom 【担当】 山根緑（山口赤十字病院）
9	中枢神経系の基礎と臨床 【授業内容】 中枢神経系の基礎と臨床 先天異常と遺伝 主要疾患の病態と遺伝 【授業方法】 講義 【担当】 松本直子（山口赤十字病院）
10	低出生体重児のケア 【授業内容】 カロリー計算、水分出納の考え方、退院支援、ファミリーケア 【授業方法】 講義 【担当】 西田由美（山口赤十字病院）
11	事例検討：低出生体重児のアセスメント 【授業内容】 低出生体重児の事例によるアセスメント 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
12	事例検討：低出生体重児のケア計画 【授業内容】 低出生体重児の事例によるケア計画 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
13	新生児蘇生法① 【授業内容】 新生児蘇生の基礎知識とアルゴリズムの理解 （学内で周産期新生児医学会の新生児蘇生講習会の受講） 【授業方法】 講義・演習 【担当】 永松
14	新生児蘇生法② 【授業内容】 新生児蘇生の手技を習得 （学内で周産期新生児医学会の新生児蘇生講習会の受講） 【授業方法】 講義・演習 【担当】 永松
15	新生児蘇生法③ 【授業内容】 各事例に応じた新生児蘇生法を選択し、実施・評価 （学内で周産期新生児医学会の新生児蘇生講習会の受講） 【授業方法】 講義・演習 【担当】 永松

学習方法

1～9回はNICUの小児科医師または看護師・助産師によるオンライン講義で受講し、10回は施設を訪問する。新生児学入門で事前学習を行う。11回目～15回は、学内で永松が担当する。そのうち、13回～15回は新生児蘇生法の事前試験と事後試験があるため、新生児蘇生法テキストで事前学習を行う。

オフィスアワー

新生児学の授業についての質問や問い合わせは、金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取ってください。

テキスト

仁志田博司 (2024). 新生児学入門 (第 6版). 東京: 医学書院.
 細野茂春 (2021). 新生児蘇生法テキスト (改訂第 5 版). 東京: メジカルビュー.

参考文献

石井邦子他 (2021). 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ〔3〕新生児期・乳幼児期 第6版. 東京: 医学書院.

評価方法

授業参加度（20％）、筆記試験（80％）

助産と薬理

更新日：2024/10/15 15:50:23

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	871200	授業コード	87120
担当教員	柳原 延章, 高橋 浩二郎						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

女性のライフステージ、妊娠時における薬物動態の基礎、正常周産期の妊産婦および授乳婦のケア、そして産科救急に必要な薬品の薬理作用の知識を習得する。
さらに、受胎調節実地指導に必要なピルを含めた避妊薬の知識を習得する。

到達目標

1	妊娠期の薬物の催奇形性や胎児毒性及び妊婦にかかわる薬物療法の概要を説明することができる。
2	経口避妊薬やホルモン補充療法の概要を説明することができる。
3	授乳婦や新生児に対する薬物療法の概要を説明することができる。

DPとの関連

DP6（助産）○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	妊娠期の薬物の催奇形性や胎児毒性について学習する。 【授業内容】薬物の催奇形性と胎児毒性 【授業方法】講義 【担当】九州東邦株式会社 高橋浩二郎
2	妊娠期の各種疾患に用いる薬剤について学習する。 【授業内容】妊娠糖尿病や妊娠高血圧症等の妊娠時の各種疾患に対する治療薬について学習する。 【授業方法】講義 【担当】九州東邦株式会社 高橋浩二郎
3	産科救急に必要な薬品について学習する。 【授業内容】産科救急に用いる薬剤の実例 【授業方法】講義 【担当】九州東邦株式会社 高橋浩二郎
4	続発性無月経及びそのホルモン治療薬について学習する。 【授業内容】続発性無月経及びそのホルモン治療等。 【授業方法】講義 【担当】自律神経バランス研究所 柳原延章
5	経口避妊薬や受胎調節治療薬について学習する。 【授業内容】経口避妊薬などの受胎調節治療薬等 【授業方法】講義 【担当】自律神経バランス研究所 柳原延章
6	新生児に用いる薬剤や授乳に影響を与える薬剤について学習する。 【授業内容】新生児に用いる薬剤や授乳に影響を及ぼす薬剤等 【授業方法】講義 【担当】自律神経バランス研究所 柳原延章
7	妊婦や胎児に影響を及ぼした過去の事例（薬害）について自主学習し、発表する。 【授業内容】妊娠にまつわる薬害問題 【授業方法】演習：自主学習とプレゼンテーション 【担当】自律神経バランス研究所 柳原延章
8	国家試験問題を学習する。 【授業内容】過去の国家試験問題の解説及び解答 【授業方法】講義 【担当】自律神経バランス研究所 柳原延章

学習方法

授業内容について、講義および自主学習によるプレゼンテーションさらにディスカッションを通じて理解する。
いくつかのテーマに関して、事前課題を提示する。その課題レポートおよび、講義を合わせて理解し、考察を行う。
最新の医薬品情報を適宜収集・確認する習慣を身につける。

オフィスアワー

yanagin@med.uoeh-u.ac.jp、t-kojiro@kitakyu-hp.or.jpまでアポイントをとってください。

テキスト

指定しない、適宜、資料を配布する。

参考文献

松田 静治：妊婦と薬物治療の考え方：投与時の注意と禁忌（全面改訂第2版）．東京，ヴァンメディカル，2004．
Gerald, G.Briggs,et al.: Drugs in Pregnancy and Lactation: A Reference Guide to Fetal and Neonatal Risk 8thEd.. Lippincott Williams & Wilkins, 8.
日本産科婦人科学会・日本女性医学学会：ホルモン補充療法ガイドライン．東京，日本産科婦人科学会，2017．
日本産科婦人科学会編：低用量経口避妊薬の使用に関するガイドライン改訂版．日本産科婦人科学会雑誌，58（3）：894-962, 2006．
伊藤真也，村島温子編：妊娠と授乳：薬物治療コンサルテーション（改訂3版），南山堂，2020．

評価方法

筆記試験（80％）、授業参加度及び課題レポート（20％）

地域母子保健

更新日：2025/02/02 15:34:11

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	871300	授業コード	87130
担当教員	永松 美雪						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

国内外の母子を取り巻く状況を視野に入れ、地域における母子保健活動を推進するために助産師に必要な基礎的能力を習得する。

到達目標

1	わが国や諸外国の母子保健の状況と母子保健活動を説明できる。
2	地域における母子と家族に対しての支援を説明できる。

DPとの関連

- DP6（助産）○
DP7（助産）○
DP8（助産）◎

授業計画

1	地域母子保健活動の意義と母子保健の現状と動向 【授業内容】 ・地域の概念、地域の特性と地域母子保健、 ・地域母子保健活動の意義 ・人口動態統計、母体保護統計、子ども虐待死亡事例分析統計、母子保健をめぐる諸問題 【授業方法】講義 【担当】永松
2	わが国の母子保健行政 【授業内容】母子保健行政の進展、母子保健関係法規、国都道府県や市町村の役割 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
3	わが国のおもな母子保健制度 【授業内容】健康診査、保健指導、療養援護、医療対策、予防接種、ひとり親家庭の支援 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
4	わが国の母子保健施策 【授業内容】健康日本21・健やか親子21、少子化社会対策大綱と次世代育成支援対策推進法 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
5	災害時の地域母子保健活動と国際母子保健 【授業内容】災害時の地域母子保健活動・諸外国の母子保健活動・海外在住日本人の母子保健・在日外国人の母子保健 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
6	病院・診療所による地域母子保健活動の実際 【授業内容】病院・診療所による妊婦健診、産後健診、産後育児相談、産後ケア事業など 【授業方法】講義 【担当】鳥本直子（あさの葉レディースクリニック）
7	市町村による地域母子保健活動の実際 【授業内容】市町村による妊娠期から育児期までの地域母子保健活動 【授業方法】講義 【担当】松浦栄梨子（宗像市子ども家庭課）
8	1か月の事例検討① 【授業内容】1か月健康診査を受ける母子家族への助産計画 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
9	1か月の事例検討② 【授業内容】1か月健康診査の母子家族のアセスメントおよび支援とその評価 【授業方法】演習 【担当】永松
10	4か月の事例検討① 【授業内容】4か月健康診査を受ける母子家族への助産計画 【授業方法】発表・討議 【担当】永松

11	4か月の事例検討② 【授業内容】4か月健康診査の母子家族のアセスメントおよび支援とその評価 【授業方法】演習 【担当】永松
12	1歳6か月の事例検討① 【授業内容】1歳6か月健康診査を受ける母子家族への助産計画 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
13	1歳6か月の事例検討② 【授業内容】1歳6か月健康診査の母子家族のアセスメントおよび支援とその評価 【授業方法】演習 【担当】永松
14	3歳の事例検討① 【授業内容】3歳健康診査を受ける母子家族への助産計画 【授業方法】発表・討議 【担当】永松
15	3歳の事例検討② 【授業内容】3歳健康診査の母子家族のアセスメントおよび支援とその評価 【授業方法】演習 【担当】永松

学習方法

講義のほかに課題として事前学習の発表をもとに討議形式にて進める。

自己学習として1か月健康診査、4か月健康診査、1歳半健康診査、3歳健康診査を受ける母子と家族への助産計画を立案し、授業で発表・討議を行う。その助産計画をもとに、事例によるロールプレイにて母子家族のアセスメントおよび支援を行い、実施・評価内容を助産計画用紙に記載する。最終授業後1週間以内に提出する。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

我部山キヨ子他 (2023). 助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健. 東京: 医学書院.

参考文献

石井邦子他 (2021). 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ〔3〕新生児期・乳幼児期 第6版. 東京: 医学書院.

評価方法

授業への参加度（20%）、発表・資料（20%）、産後健診記録（20%）、筆記試験（40%）

助産経営管理学

更新日：2025/02/02 15:48:18

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	871400	授業コード	87140
担当教員	永松 美雪						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

妊産婦や新生児により安全で満足できるケアを提供するための業務を遂行するための管理（関連法律を含む）と助産機能評価について探究する。また、経営、医療事故、災害などのリスクマネジメントについて、現在の周産期医療現場が抱える課題と対応について考察する。

到達目標

1	助産管理に関する法規と助産師の義務・責任を説明できる。
2	周産期管理システムとリスクマネジメントについて説明ができる。
3	助産業務が行われる場による助産管理の特徴と他職種、他機関、他部門との連携と調整について説明できる。
4	無床助産所と有床助産所における助産管理と地域連携について説明できる。
5	開業助産院の計画（案）を作成し、助産と経営について説明できる。

DPとの関連

DP6（助産）○

DP7（助産）○

DP8（助産）◎

授業計画

1	助産管理の基本 【授業内容】 管理の基本概念とプロセス、助産管理の概念 【授業方法】 講義 【担当】 永松
2	助産と医療経済 【授業内容】 助産に関する医療経済 【授業方法】 講義 【担当】 永松
3	関係法規① 【授業内容】 助産管理に関する関係法規 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
4	関係法規② 【授業内容】 助産管理に関する関係法規 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
5	助産師の法的責任と義務 【授業内容】 助産師の法的責任と義務 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
6	周産期医療体制と地域連携 【授業内容】 周産期医療体制、地域連携 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
7	助産に関する医療安全と危機管理 【授業内容】 安全対策と医療事故防止、災害対策など 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
8	産科棟の管理 【授業内容】 産科病棟の管理 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
9	院内助産・院内助産院の管理 【授業内容】 院内助産・院内助産院の管理 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松

10	外来の助産管理 【授業内容】 外来の助産管理 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松
11	助産所の助産管理と助産所開設 【授業内容】 助産所の管理に関する法規、助産所開設に必要な事項 【授業方法】 講義 【担当】 永松
12	無床助産所における助産管理 【授業内容】 無床助産所における助産管理と地域連携 【授業方法】 講義 【担当】 益永孝子（にじいろ助産院）
13	有床助産所における助産管理 【授業内容】 有床助産所における助産管理と地域連携 【授業方法】 講義 【担当】 高崎望（笑望助産院）
14	有床助産所における運営と経営 【授業内容】 有床助産所における運営と経営 【授業方法】 講義 【担当】 高崎望（笑望助産院）
15	作成した開業助産計画（案）の発表 【授業内容】 各自で作成した開業助産計画（案）の発表、最終授業のフィードバック 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松

学習方法

助産管理は個々の助産師にも求められることから、助産業務に必要な法的根拠については、予習・復習をしておくこと。授業は講義と発表・討議の組み合わせで進める。有床助産所と無床助産所の助産師から運営と経営についての講義後に、学習した内容をもとに、最終授業では各自で作成した開業助産計画をもとに発表し討議する。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

我部山キヨ子、毛利多恵子 (2022). 助産管理 第 5 版. 東京: 医学書院.
日本助産師会：助産所開業マニュアル2021-開設・管理・運営．東京，日本助産師会出版，2021.

参考文献

福井トシ子編 (2024). 助産師業務要覧 基礎編 第 3 版．東京: 日本看護協会出版会．
日本助産師会助産業務ガイドライン改訂特別委員会編 (2024). 助産業務ガイドライン 2024 年改訂版 (PDF). 東京: 日本助産師会．
hrome-extension://efaidnbmninnbpcajpcgiclfndmkaj/https://www.midwife.or.jp/user/media/midwife/page/guide-line/tab01/josangl2024_PW.pdf

評価方法

授業参加度（20％）、発表・資料（20％）、開業助産計画書（20％）、筆記試験（40％）

フィールドワーク演習

更新日：2025/01/29 10:08:02

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	871500	授業コード	87150
担当教員	石山 さゆり, 永松 美雪						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

履修者各自が、それぞれの専門領域において、探究すべき課題の明確化を図るために、フィールドワークのテーマ・目的を定め、計画を立案し、実施評価までの一連のプロセスを踏む。

到達目標

1	文献等をもとに、各自の専門領域で、探究すべきテーマを明確にできる。
2	1に基づき本演習を、自立して計画し、実施できる。
3	文献や理論を活用して、演習成果をレポートとして記述でき、評価できる。

DPとの関連

- DP2 ◎
DP6（助産）○
DP7（助産）○

授業計画

1	フィールドワークのスケジュールとテーマの討議 【授業内容】フィールドワークのスケジュールおよび進め方と追求するテーマについての討議 【授業方法】発表・討議 【担当】永松、石山 【方法】フィールドワーク演習のスケジュールおよび進め方、レポート作成方法の説明を受け、追求するテーマについて 討議する。
2	フィールドワークのテーマと目的の発表準備 【授業内容】フィールドワークのテーマにあった目的と方法 【授業方法】演習 【担当】永松、石山 【方法】各自のテーマと目的にあった専門領域あるいは関心領域の地域・集団・個人を対象としたフィールドの情報を収集する。
3	フィールドワークのテーマと目的の発表 【授業内容】フィールドワークのテーマにあった目的と方法 【授業方法】発表・討議 【担当】永松、石山 【方法】各自のテーマと目的にあった専門領域あるいは関心領域の地域・集団・個人を対象としたフィールドを選択する。
4	フィールドワークの演習計画の発表 【授業内容】フィールドワークの演習計画書作成 【授業方法】発表・討議 【担当】永松、石山 【方法】各自のテーマと目的に沿った演習計画書を作成する。 ※演習の実施期間は学内での講義・演習等に支障のない時間で設定する。
5	フィールドワークの演習計画の修正 【授業内容】フィールドワークの演習計画書の修正 【授業方法】演習 【担当】永松、石山 【方法】各自のテーマと目的に沿った演習計画書を作成する。 ※演習期間は学内での講義・演習等に支障のない時間で設定する。
6	フィールドワーク演習計画の事前交渉と必要な手続きの発表 【授業内容】フィールドワーク演習計画の事前交渉と必要な手続き 【授業方法】発表・討議 【担当】永松、石山 【方法】演習計画の事前交渉と必要な手続きのための書類を作成する。 ※フィールドワークを実施する場合は、学務課教務係へ手続きが必要である。
7	フィールドワーク演習計画の事前交渉と必要な手続きの修正 【授業内容】フィールドワーク演習計画の事前交渉と必要な手続きの修正 【授業方法】演習 【担当】永松、石山 【方法】演習計画の事前交渉と必要な手続きのための書類を作成する。 ※フィールドワークを実施する場合は、学務課教務係へ手続きが必要である。

8	フィールドワーク担当者への連絡（6月） 【授業内容】 フィールドワーク担当者への連絡と文章の送付 【授業方法】 演習（フィールドワーク） 【担当】 フィールドでの担当者 【方法】 演習計画に従い実施する。
9	フィールドワークの実施（7月～8月） 【授業内容】 フィールドワークの実施 【授業方法】 演習（フィールドワーク） 【担当】 フィールドでの担当者 【方法】 事前交渉に従い実施する。
10	フィールドワークの実施（7月～8月） 【授業内容】 フィールドワークの実施 【授業方法】 演習（フィールドワーク） 【担当】 フィールドでの担当者 【方法】 事前交渉に従い実施する
11	フィールドワークの実施（7月～8月） 【授業内容】 フィールドワークの実施 【授業方法】 演習（フィールドワーク） 【担当】 フィールドでの担当者 【方法】 事前交渉に従い実施する
12	フィールドワークの実施（7月～8月） 【授業内容】 フィールドワークの実施 【授業方法】 演習（フィールドワーク） 【担当】 フィールドでの担当者 【方法】 事前交渉に従い実施する
13	フィールドワーク演習の評価 【授業内容】 フィールドワークの評価と報告書作成の準備 【授業方法】 演習 【担当】 永松、石山 【方法】 演習で探究したテーマと目的について、理論や文献を活用し演習レポートにまとめ、報告書として作成する。
14	フィールドワークの発表 【授業内容】 フィールドワークの発表と研究テーマの検討 【授業方法】 発表・討議 【担当】 永松、石山 【方法】 フィールドワークレポートをもとに発表し、研究テーマを検討する。
15	フィールドワークの報告書の送付 【授業内容】 フィールドワークの報告書の送付 フィールドワーク演習のフィードバック 【授業方法】 演習 【担当】 永松、石山 【方法】 フィールドワークを実施した担当者へ報告書を送付する。

学習方法

発表・討議以外の時間も使い、各自が計画的に準備し取り組む演習である。各自の関心領域での演習計画書を立案する。各自の目標が達成できるようフィールドの担当者と事前連絡を取り、フィールドワーク公文書を作成し、自立して演習を行う。フィールドワークを行う1か月前までに、フィールドワーク実施届とフィールドワーク公文書依頼書を学務課へ提出する。各自が主体的な演習を通じて探究したテーマと目的について、理論や文献を活用し演習のレポートとしてまとめ、研究テーマにつなげる。また、レポートを報告書としてフィールドの担当者へ送付する。各発表前に、研究指導教員から個別指導を受け進める。演習以外の時間にも個別指導や個人学習に取り組む。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは各指導教員のメールアドレスを確認し、事前にアポイントを取ってください。

永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp 石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

指定しない

評価方法

演習計画書（50%） 演習レポート（50%）

助産基礎実習

更新日：2025/01/29 10:02:13

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	871600	授業コード	87160
担当教員	石山 さゆり, 永松 美雪						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	8	
	備考(配当)						

授業の目的

周産期の母子とその家族が安全・安楽に、主体的に出産に臨めるために必要な基本的助産診断・技術能力、態度を習得することを目指す。

到達目標

1	妊娠期の母子の健康状態を診断し、必要な保健指導が説明できる。
2	分娩期の母子の健康状態を診断し、分娩介助が実施できる（10 例程度）。
3	褥婦の健康状態を診断し、必要な援助が実施できる。
4	新生児の健康状態を診断し、必要な援助が実施できる。

DPとの関連

- DP6（助産）○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	I．目標 【授業内容】 （妊娠期） 1）妊娠期に必要な診察技術を用い、母子の健康状態を診断できる。 2）妊婦の生活行動、心理社会的な側面、出産育児行動を診断できる。 3）妊婦とその家族が出産・育児に向けて準備ができるような援助ができる。 4）妊婦に必要な保健指導の内容が説明できる。 （分娩期） 1）分娩期に必要な診察技術を用い、母子の健康状態を診断できる。 2）1）の診断に基づき、母子が安全・安楽に分娩が経過できるような援助が実施できる。 3）母子ともに安全な分娩介助が実施できる。 4）出産直後の産婦、新生児のケアが実施できる。 5）正常分娩からの逸脱を予測し、必要な援助が考えられる。 （産褥・新生児期） 1）産褥期に必要な診察技術を用い、褥婦の健康状態を診断できる。 2）新生児の発育・発達、胎外生活への適応（健康状態）の診断ができる。 3）褥婦のセルフケア能力を高めるための援助ができる。 4）母乳哺育確立のための援助が実施できる。 5）褥婦をサポートする家族への援助ができる。 6）退院から産後健診までの母子及び家族の健康状態、家族環境の診断ができる。 7）産後の母子、家族の健康診断ができ、適切な援助について説明できる。 8）親子・家族関係や心理状態を診断し、母子及び家族へ支援について考察できる。
2	II．方法 【授業方法】実習 1）実習場所：総合病院、産科クリニックで実習を行う。 （福岡赤十字病院、熊本赤十字病院、唐津赤十字病院、筑紫クリニック、宗像セントラルクリニックなど） 2）実習日程：2026年 1 月 5日～ 3月 2日（8 週間）

学習方法

周産期学、妊娠期、分娩期、産褥期、新生児のアセスメントとケア、女性のフィジカルアセスメントの科目を学修し、分娩介助技術を習得したのち臨地実習に臨む。実習前に助産計画案、保健指導案の作成を行い、受け持ち事例の援助に役立てる。分娩経過をアセスメントし、分娩介助を実施する。分娩介助技術は分娩期評価表に基づき臨地実習指導者から評価を受ける。夜間・休日実習になる場合もある。

オフィスアワー

木曜日の昼休み、もしくは必要時メール（石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp）（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。
実習期間中は実習担当教員が巡回指導を行います。

テキスト

助産学およびすべての関連科目の図書、文献

参考文献

助産学およびすべての関連科目の図書、文献

評価方法

実習評価表（100%）

助産所実習

更新日：2025/02/03 09:06:28

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	871700	授業コード	87170
担当教員	永松 美雪						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

助産所の管理システムを理解し、妊産婦ケアの実際、出産における安全性の確保と医療連携のあり方について研究し、自律した助産師として、助産ケアを評価・分析するための基礎を養う。

到達目標

1	無床助産所と有床助産所における助産管理と地域連携の実際を説明できる。
2	助産所における妊産婦・新生児のケアの実際を説明できる。
3	出産における安全性の確保と緊急時における医療連携のあり方について考察できる。

DPとの関連

- DP6（助産）○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	企画型実習（2年前期：4日間、7月第1・2週を予定）※2名で実習する。 【授業内容】 1．実習期間 7月に、2グループに分かれ、各4日間の実習を行う。 2．実習場所 助産院 町のさんばさん（有床助産所：北九州市八幡区） 3．実習の進め方 企画型実習は、主体性が尊重され、学ぶ意識と十分な事前準備が求められる。 ① 各自で町のさんばさんについての情報を集める。 ② グループのメンバーと収集した情報や「町のさんばさんで経験できること一覧表」「助産所実習計画書の書き方」をもとに話し合い、これまでの助産基礎実習、専門実習Ⅰ、専門実習Ⅱ、参加型の助産所実習での経験や企画型の助産所実習の目標を踏まえて、各グループで実習計画書、使用する実習記録用紙、実習評価表を作成する。 ③ グループでいっしょに企画した実習計画について、各グループ1名の代表学生の計2名は、1か月前（6月中旬）に院長川野助産師と日程調整を行い、実習担当教員と打ち合わせに行き、実習期間の行事等を確認し、助言を受け実行可能な実習計画に修正する。 ④ 毎日、各自で実習記録を記載し、翌日、実習指導者へ提出する。 ⑤ 文献を活用してレポートにまとめ、最終日にレポートを実習指導者へ提出する。 ⑥ 実習後に実施したことを実習目標に沿って適切に評価する。
---	--

学習方法

助産所実習は1年後期の参加型実習と2年前期の企画型実習によりなる。本実習においては、経営、管理、ケア、安全、連携、質評価などのキーワードを押さえておくことが不可欠である。また、本実習は、実習生の主体性が尊重され、学ぶ意識と十分な事前準備が求められる。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

指定しない

参考文献

我部山キヨ子, 毛利多恵子 (2022). 助産管理 第5版. 東京: 医学書院.
日本助産師会 (2021). 助産所開業マニュアル2021 開設・管理・運営. 東京: 日本助産師会出版.

評価方法

参加型（40％）：〈内訳〉実習目標の達成度 80％、課題レポート 20％
企画型（60％）：〈内訳〉実習目標の達成度（実習計画含む）80％、課題レポート 20％

助産所実習

更新日：2025/02/03 08:58:13

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	871700	授業コード	
担当教員	永松 美雪						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

助産所の管理システムを理解し、妊産婦ケアの実際、出産における安全性の確保と医療連携のあり方について研究し、自律した助産師として、助産ケアを評価・分析するための基礎を養う。

到達目標

1	無床助産所と有床助産所における助産管理と地域連携の実際を説明できる。
2	助産所における妊産婦・新生児のケアの実際を説明できる。
3	出産における安全性の確保と緊急時における医療連携のあり方について考察できる。

DPとの関連

- DP6（助産）○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	参加型実習
	1．実習時期 11月から12月に 4 日間の実習を行う。 2．実習場所 1．笑望助産院（有床助産所：福岡県田川市）とにじいろ助産院（無床助産所：福岡県福津市） 3．実習の進め方 参加型実習は、実習生の主体性が尊重され、学ぶ意識が求められる。 ① 笑望助産院にて2日間、にじいろ助産院にて2日間の計4日間の実習を行う。 ② 無床助産所と有床助産所における助産管理と地域連携の実際を把握する。 ③ 助産師とともに行動し、助産所や地域で展開される助産ケアの実際を見学する。 ④ 状況によっては助産師とともに対象者に対する援助に参加する。 ⑤ 助産師と医師や他職種との連絡・連携について学ぶ。 ⑥ 事後カンファレンスにて、疑問や学習上の問題点を整理する。 ⑦ 毎日、その日の参加を通じた学びについて整理する。 ⑧ 以上の内容について、レポートにまとめ後日提出する。 ⑨ 2年次の企画型実習に向けて、自己の課題を明確にする。

学習方法

助産所実習は1年後期の参加型実習と2年前期の企画型実習によりなる。本実習においては、経営、管理、ケア、安全、連携、質評価などのキーワードを押さえておくことが不可欠である。また、本実習は、実習生の主体性が尊重され、学ぶ意識と十分な事前準備が求められる。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

指定しない

参考文献

我部山キヨ子, 毛利多恵子 (2022). 助産管理 第 5 版. 東京: 医学書院.
日本助産師会 (2021). 助産所開業マニュアル2021 開設・管理・運営. 東京: 日本助産師会出版.

評価方法

参加型（40％）：〈内訳〉実習目標の達成度 80％、課題レポート 20％
企画型（60％）：〈内訳〉実習目標の達成度（実習計画含む）80％、課題レポート 20％

新生児集中ケア基礎実習

更新日：2025/02/03 09:20:59

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	871800	授業コード	87180
担当教員	永松 美雪						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

急性期にある新生児のケア（身体的ケア、発達支援、親子関係の促進、授乳支援など）に必要な基礎的能力を養う。新生児集中治療室における、新生児とその家族に必要なケアと周産期医療体制（病院内での他職種との協働や地域関係機関との連携のあり方など）について考察する。

到達目標

1	NICU 看護の原則に基づき、受け持ち新生児とその家族に対するケアを実施できる。
2	NICU の役割・機能を理解し、ハイリスク新生児および母親・家族に対する看護者の役割について説明できる。
3	周産期医療体制（他職種との連携、地域の関係機関との連携など）について説明できる

DPとの関連

DP1 ○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	I．実習目標 【授業内容】 1．軽症の新生児とその家族を受け持ち、看護計画を立案し実施する。 2．受け持ち事例への面談やコンサルテーションなどに参加し、ケアを多角的に学ぶ。 3．NICU の役割・機能を理解し、ハイリスク新生児および母親・家族に対するケアの特徴や看護者の役割について考察する。
2	II．実習方法 【授業方法】実習 1．実習期間 1 週間（5 日間） 調整中 2．実習場所 総合病院山口赤十字病院 3．実習の進め方 ① NICU 看護に関する事前学習を行う。 ②実習施設の概要について調べる。 ③実習目標に従い、担当教員の助言を得ながら実習計画を立てる。 ④実習で使用する記録用紙や評価表を作成する。 ⑤受け持ち対象児に対する看護過程を展開する。 ⑥受け持ち対象児と家族への看護を振り返り、文献を活用しながらレポートにまとめる。 ⑦実施したことを実習目標に沿って適切に評価する。

学习方法

本科目では、関連科目（新生児学や周産期学、産褥期・新生児のアセスメントとケアなど）での既習知識を押さえておくことが不可欠である。また本実習は、実習生の主体性を尊重する企画型実習であり、学ぶ意識と十分な事前準備が必要である。実習記録は一部を除いて各自で作成するが、実習内容が明確にできる記録の工夫を行うこと。本実習で新生児の健康状態を中心に据えた看護を学ぶことを通して、改めて自らの助産観を深める機会となることを期待する。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメールにて（m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp；永松）アポイントを取って下さい。

テキスト

指定しない

参考文献

仁志田博司 (2024). 新生児学入門 (第 6版)．東京: 医学書院．
細野茂春 (2021). 新生児蘇生法テキスト (改訂第 5 版)．東京: メジカルビュー．

評価方法

事前学習・実習計画（20％）、実習目標の達成度（60％）、レポート（20％）

保健・看護総合特論

更新日：2025/01/23 12:40:25

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	880100	授業コード	88010
担当教員	池松 裕子						
備考	必修/選択：選択（教育・研究者コース必修） 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

科学とは何かを考察し、看護学・保健学が目指す科学の在り方を探究したうえで、臨床における看護実践および看護研究の意義について検討し、自身の学問探究の方向性への手がかりを得る。

到達目標

1	科学の種類を述べ、看護学がどの種類の科学であることを考察できる。
2	看護学および看護実践における科学とアートとの関係について説明できる。
3	看護学の発展における科学の役割を説明できる。
4	看護実践を構成する知の種類について考察できる。
5	看護の知を創造するための研究について議論することができる。

DPとの関連

DP2 ○

DP3 ◎

授業計画

1	さまざまな学問分野の特徴を挙げて分類し、看護学と比較することを通し、看護学との類似点・相違点を明確にする。 【授業内容】 科学の種類、看護学の特徴 【授業方法】 講義・ディスカッション
2	他の科学との比較から見えてきた看護学の特徴を明確にする。 【授業内容】 看護とは・看護学とは 【授業方法】 講義・ディスカッション
3	看護実践を支える科学について議論する。 【授業内容】 ひとつひとつの看護実践の根拠となっている科学的知見 【授業方法】 ディスカッション
4	看護実践におけるアートの役割について議論する 【授業内容】 看護におけるアートとは何か 【授業方法】 ディスカッション
5	看護実践における倫理知について考察する。 【授業内容】 倫理とは何か、倫理が支える看護の知 【授業方法】 ディスカッション
6	看護学の発展に必要な研究について考察する 【授業内容】 看護の発展に寄与する研究と研究の限界 【授業方法】 講義・ディスカッション
7	看護の知の創造に結び付く研究(1) 【授業内容】 各自の専門分野に必要な知 【授業方法】 学生プレゼンテーション
8	看護の知の創造に結び付く研究(2) 【授業内容】 各自の専門分野に必要な知 【授業方法】 学生プレゼンテーション

学習方法

本科目は本学研究科における導入科目と位置付けられる。
これまでの知を使う立場から、知を創造する立場へと転換していくために、看護とは何かを深く探求し、看護の科学とアートについての見識を高め、自己の研究課題の方向性を見出すことを目指す。

オフィスアワー

火曜日の昼休み

メール（y-ikematsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントをとってください。

テキスト

指定しない

参考文献

村上陽一郎：新しい科学論：「事実」は理論をたおせるか．講談社，1979．

Kim, H. S. : The nature of theoretical thinking in nursing. 2000, 上鶴重美 監訳：看護学における理論思考の本質．日本看護協会出版会，2003．

Kuhn, T. S. : The structure of scientific revolutions. 2012, 青木薫訳：科学革命の構造（新版）．みすず書房，2023．

Chinn, P. L. , Kramer, M. K. : Integrated knowledge development in nursing. 2004, 川原由香里監訳：チン&クレイマー看護学の総合的な知の構築に向けて．エルゼビア・ジャパン，2007．

Walker, L. O. , Avant, K. C. : Strategies for theory construction in nursing. 2005, 中木高夫, 川崎修一訳：看護における理論構築の方法．医学書院，2008．

Rodgers, B. L. , Knafl, K. A. : Concept development in nursing. 2000, 近藤麻理訳：看護における概念開発：基礎・方法・応用．医学書院，2023．

評価方法

授業への参加（ディスカッション、プレゼンテーション）30%、レポート70%

看護理論

更新日：2025/02/03 18:58:21

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	880200	授業コード	88020
担当教員	本田 多美枝						
備考	必修/選択：選択（教育・研究者コース必修） 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

卓越した看護実践の基盤となる諸理論について理解を深めるために、理論開発進展の経緯、看護理論の定義や意義、看護理論を評価する視点を学ぶ。また、高度な看護実践を先導していくために有用となる看護理論について理解し、実践事例への理論適用と検討を通して、看護実践の質向上につなげていくための能力を修得する。

到達目標

1	看護理論とは何か、看護理論を評価する視点を説明できる
2	看護理論開発の進展経緯を社会背景との関連において理解し、高度な看護実践を先導していく看護職者として、看護理論を学ぶ意義を説明できる
3	各専門分野の看護実践を行っていくうえで有用となる看護理論を理解し、実践事例への理論適用と討論を通して、看護実践の質向上につなげていくための能力を修得する

DPとの関連

DP1 ○

DP2 ◎

DP5 ○

授業計画

1	看護理論の定義・構成要素・意義、理論の分類と実践への活用、看護領域における理論開発進展の経緯 【授業内容】看護理論の定義・構成要素・意義、理論の分類（大理論・中範囲理論・小理論）と実践への活用、看護領域における理論開発進展の経緯 【授業方法】講義および討議
2	理論の評価モデル 【授業内容】理論の評価モデル、理論の分析およびクリティークの視点 【授業方法】講義および討議
3	理論の理解① 【授業内容】セルフケア理論 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
4	理論の理解② 【授業内容】Interaction model 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
5	理論の理解③ 【授業内容】適応モデル 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
6	理論の理解④ 【授業内容】障害受容、悲嘆の理論 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
7	理論の理解⑤ 【授業内容】ケアリング 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
8	理論の理解⑥ 【授業内容】拡張する意識としての健康 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
9	理論の理解⑦ 【授業内容】不確実性の理論 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
10	実践事例への理論適用①：看護実践の振り返りと看護理論を活用しての分析・討論 【授業内容】各自のこれまでの看護実践を振り返り、看護理論を活用して現象を分析し、考察した内容の発表・討議を行う 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
11	実践事例への理論適用②：看護実践の振り返りと看護理論を活用しての分析・討論 【授業内容】各自のこれまでの看護実践を振り返り、看護理論を活用して現象を分析し、考察した内容の発表・討議を行う 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
12	実践事例への理論適用③：看護実践の振り返りと看護理論を活用しての分析・討論 【授業内容】各自のこれまでの看護実践を振り返り、看護理論を活用して現象を分析し、考察した内容の発表・討議を行う 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議

13	実践事例への理論適用④：看護実践の振り返りと看護理論を活用しての分析・討論 【授業内容】各自のこれまでの看護実践を振り返り、看護理論を活用して現象を分析し、考察した内容の発表・討議を行う 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
14	実践事例への理論適用⑤：看護実践の振り返りと看護理論を活用しての分析・討論 【授業内容】各自のこれまでの看護実践を振り返り、看護理論を活用して現象を分析し、考察した内容の発表・討議を行う 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションと討議
15	看護科学の発展・看護実践の質向上と看護理論 【授業内容】看護科学の発展・看護実践の質向上と看護理論、まとめ 【授業方法】講義および討議、プレゼンテーションのFB

学習方法

授業は教員による講義および大学院生によるプレゼンテーション（3回～14回）と討論にて進める。プレゼンテーション担当の大学院生は、前週までに教員および大学院生に必読文献を提示する。各大学院生は事前学習を行い、授業に参加する。10-14 回では、各自のこれまでの看護実践を振り返り、看護理論を活用して現象を分析し、考察した内容の発表・討議を行う。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。
t-honda@jrckicn.ac.jp（本田）

テキスト

筒井真優美編（2020）. 看護理論家の業績と理論評価（第2版）. 医学書院.

参考文献

野川道子、桑原ゆみ、神田直樹編（2023）. 看護実践に活かす中範囲理論（第3版）. メヂカルフレンド社.
筒井真優美編（2019）. 看護理論21の理解と実践への応用（改訂第3版）. 江南堂.
Walker,L.O., & Avant,K.C.（2005）/中木高夫・川崎修一訳（2008）. 看護における理論構築の方法. 医学書院.
その他、適宜紹介します

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション（50％） レポート（50％）

看護倫理

更新日：2025/03/07 16:38:43

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	880300	授業コード	88030
担当教員	丸山 マサ美						
備考	必修/選択：選択（教育・研究者コース必修）（助産コース必修） 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

看護倫理の基本的考え方や諸概念について学び、看護実践における倫理とは何かを探究するとともに、臨床における倫理的問題や葛藤についての分析およびそれらに対する解決策の検討を通して、高度な看護実践に求められる倫理的思考や関係者間における倫理的調整能力を養う。

到達目標

1	倫理的な看護実践に必要な原則、モデル、諸概念について説明できる。
2	倫理的看護実践について説明できる。
3	目標1，2を基に倫理に合う看護実践を考えることができる。

DPとの関連

DP1 ◎

DP5 ○

授業計画

1	看護実践の倫理を考えるためのバイオエシックスの原理 【授業内容】看護実践で遭遇した倫理的問題について考える。 【授業方法】講義
2	看護倫理を考えるための諸概念（総論） 【授業内容】倫理的意思決定、利益衡量等について学ぶ。 【授業方法】講義・演習
3	専門職倫理（各論） 【授業内容】看護者の責任について学ぶ。 【授業方法】講義・演習
4	人権擁護と看護の役割（各論） 【授業内容】患者や患者家族の人権について学び、看護者職者の役割を考える。 【授業方法】演習
5	4分割法による事例検討（各論） 【授業内容】事例検討により4分割法を学ぶ。 【授業方法】講義・演習
6	ナラティブ・アプローチによる事例検討（各論） 【授業内容】事例検討によりナラティブ・アプローチを学ぶ。 【授業方法】講義・演習
7	倫理コンサルテーションの役割（各論） 【授業内容】プロフェッショナリズムと倫理コンサルテーションの役割を検討する。 【授業方法】講義・演習
8	総括－倫理的課題と対応について 【授業内容】自身の経験から関心のある倫理的課題とその対応策を検討する。 【授業方法】討議

学習方法

臨床で話題となっている看護に関する倫理問題を事例から考究しましょう。授業は、講義および事例検討（DVD）、全体討議で進めていきます。講義内容に関連した事項について、文献・資料等を確認して授業に臨んで下さい。適宜、文献・資料は、紹介します。

オフィスアワー

メールで事前に連絡をとってください。
丸山マサ美：maruyama.masami.970@m.kyushu-u.ac.jp

テキスト

丸山マサ美：生命倫理学概論．東京，大学教育出版，2024．

参考文献

下記以外は、授業内で紹介します。

・小西恵美子：看護倫理を考える言葉.東京,日本看護協会出版会,2018.

- ・Fry, S.T.: Ethics in Nursing Practice THIRD EDITION-A Guide to Ethical Decision Making, 2008. 片田範子, 山本あい子訳：看護実践の倫理【第3版】倫理的意
思決定のためのガイド．東京，日本看護協会出版会，2010．
- ・柳井圭子他：看護のための法学〔第5版〕．東京,ミネルヴァ書房,2020．
- ・宮脇美保子：看護実践のための倫理と責任．東京，中央法規，2014．
- ・Chambliss, D. F.：Beyond Caring：Hospitals, Nurses, and the Social Organization of Ethics，1996．浅野祐子訳：ケアの向こう側 看護職が直面する道徳的・
倫理的矛盾．東京，日本看護協会出版会，2002．
- ・Thompson, J. E., Thompson, H. O. Bioethical Decision making for nurses, 1985. ケイコ・イマイ・キシ，竹内博明監修・監訳：看護倫理のための意思決定 10
のステップ．東京，日本看護協会出版会，2004．
- ・丸山マサ美編著、医療倫理学第2版、中央法規出版、2009年4月
- ・丸山マサ美編著、バイオエシックス、川島書店、2018年5月
- ・丸山マサ美編著、生命倫理学概論、大学教育出版会、2024年6月

＊追加文献（洋書）については、講義の中で、随時紹介します。

評価方法

授業への参画（討議）：40％，課題レポート：60％、＊出席重視 総合的に評価する。

グローバルヘルス

更新日：2025/01/21 09:39:44

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	880400	授業コード	88040
担当教員	小川 里美						
備考	必修/選択：選択（教育・研究者コース必修） 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

グローバル化に伴い多様化・複雑化する健康課題について学際的な視点で分析し、看護の役割について考察する。

到達目標

1	健康にかかわる要因について説明することができる
2	多様な健康課題における赤十字の活動について説明することができる。
3	国内外の健康課題と看護介入について考察することができる

DPとの関連

DP2 ◎

授業計画

1	グローバリゼーションと健康・赤十字 【授業内容】グローバリゼーションに伴う健康課題と赤十字の活動を概観する 【授業方法】講義
2	健康と開発 【授業内容】MDG から SDG へ - 開発概念と健康の関係を概観する 【授業方法】講義
3	健康課題と看護（1） 【授業内容】国内外の健康課題と看護の役割（1） 【授業方法】講義
4	健康課題と看護（2） 【授業内容】国内外の健康課題と看護の役割（2） 【授業方法】講義、演習（学生のプレゼンテーション）
5	健康課題と看護（3） 【授業内容】国内外の健康課題と看護の役割（3） 【授業方法】講義、演習（学生のプレゼンテーション）
6	健康課題と看護（4） 【授業内容】国内外の健康課題と看護の役割（4） 【授業方法】講義、演習（学生のプレゼンテーション）
7	健康課題と看護（5） 【授業内容】国内外の健康課題と看護の役割（5） 【授業方法】講義、演習（学生のプレゼンテーション）
8	グローバルヘルスとわが国の国際保健医療協力の現状（赤十字を含む）と今後の展望、課題への取り組みに関するフィードバック 【授業内容】国内外の健康課題と国際協力の現状と課題、展望について 【授業方法】講義

学習方法

毎回のテーマについて、文献を活用し事前学習をして講義に臨んでください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。
s-ogawa@jrckicn.ac.jp（小川）

テキスト

特に指定しない

参考文献

- ・McCracken, K., Phillips, D.: Global Health: An Introduction to Current and Future Trends, NewYork, Routledge, 2017.
- ・アマルティア・セン：不平等の再検討。東京，岩波書店，1999.
- ・稲賀繁美編：異文化理解の倫理にむけて。名古屋，名古屋大学出版会，2000.
- ・久間圭子：医療の比較文化論。京都，世界思想社，2003.

評価方法

授業への参加度（10%） プレゼンテーション（50%） レポート（40%）

専門外国語講読Ⅰ

更新日：2025/04/30 12:41:12

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	880500	授業コード	88050
担当教員	ガックラ マヘンダークマール						
備考	必修/選択：選択（教育・研究者コース必修） 授業形態：講義、演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

保健・看護領域および関連領域の外国語で書かれた論文の講読を行う。

到達目標

1	専門分野の英語論文を読むことができる。
2	個々の文、段落、文章を支える構造的原理についての知識を獲得し、予測しつつ読むことができる。
3	母語も併用して概念を整理し、英語の構造に合わせて、一段落程度の文章を作成することができる。
4	既得の知識・技術と目標とする知識・技術を認識して、後者を獲得するための行程と方法を立案できる。

DPとの関連

DP1 ○
DP2 ◎

授業計画

1	英語論文講読への導入、学習方略内省、学習計画立案 受講生が提示した論文について、特に Abstract の構造分析について 【授業内容】配布したハンドアウトを読みながら英語論文とabstractとの関りについて 【授業方法】演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【担当】ガックラ
2	英語論文と abstract との関りについてを中心に講義・演習① 【授業内容】配布したハンドアウトを読みながら英語論文とabstractとの関りについて 【授業方法】演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【担当】ガックラ
3	英語論文と abstract との関りについてを中心に講義・演習② 【授業内容】配布したハンドアウトを読みながら英語論文とabstractとの関りについて 【授業方法】演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【担当】ガックラ
4	英語論文と abstract との関りについてを中心に講義・演習③ 【授業内容】配布したハンドアウトを読みながら英語論文とabstractとの関りについて、プレゼンテーション内容の確認と担当割の作成 【授業方法】演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【担当】ガックラ
5	担当学生が用意した英語の論文と abstract を中心にプレゼンテーション① 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて 【授業方法】演習・ディスカッション・プレゼンテーション（プレゼンテーションとディスカッションを評価します） 【担当】ガックラ
6	担当学生が用意した英語の論文と abstract を中心にプレゼンテーション② 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて 【授業方法】演習・ディスカッション・プレゼンテーション（プレゼンテーションとディスカッションを評価します） 【担当】ガックラ
7	担当学生が用意した英語の論文と abstract を中心にプレゼンテーション③ 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて 【授業方法】演習・ディスカッション・プレゼンテーション（プレゼンテーションとディスカッションを評価します） 【担当】ガックラ
8	担当学生が用意した英語の論文と abstract を中心にプレゼンテーション④とフィードバック（学習方略再点検） 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて 【授業方法】演習・ディスカッション・プレゼンテーション（プレゼンテーションとディスカッションを評価します） 【担当】ガックラ

学習方法

【予習】授業計画に沿って、事前に配布したハンドアウトによる授業内容の確認。担当の学生がプレゼンテーションするための英語論文を事前に提出し、プレゼンテーションの準備を行い授業に臨む。担当者は、論文の内容・構成・abstractとの関連が説明できるよう熟読をし、さらにレジュメを予定日の1週間前までに担当教員に電子提出をしておくこと。
【復習】Abstract および論文の構造と各項目の要件の確認をする。また、論文特有の英語表現を確認する。

オフィスアワー

火曜日～金曜日昼休み。事前にアポイントメントを取ることが望ましい。
ガックラ マヘンダークマール：m-gakkula@jrckicn.ac.jp

テキスト

英語論文とabstractに関するハンドアウト、受講生が準備する英語論文

参考文献

- ① 安原和也：英語論文表現入門—中高基本 150 語から学ぶ英語学術表現の世界。岡山，大学教育出版，2011.
- ② 安原和也：英語論文重要語彙 717. 東京，三修社，2012.
- ③ Murray, Rowena：How to Write a Thesis. Philadelphia, Open University Press, 2002.

評価方法

プレゼンテーション資料作成（40％）、授業中のプレゼンテーション（30％）、議論の展開への貢献（30％）

研究方法（研究方法総論）

更新日：2025/01/27 16:56:49

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	880600	授業コード	88060
担当教員	姫野 稔子, 牧 マリコ						
備考	必修/選択：必修 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

看護・保健領域における研究方法の基本概念および考え方を修得する。実践における研究活動に必要な基礎的能力を修得することができる。

到達目標

1	量的研究法と質的研究法の基盤となる考え方及び研究方法の基本を理解できる
2	Research Question と研究目的に応じて適切な研究デザインを選択できる
3	研究計画書作成のステップを理解できる
4	臨床での事象を研究活動に結び付けることができる

DPとの関連

- DP1 ○
DP3 ◎
DP4 ○

授業計画

1	研究の概要と研究過程 【授業内容】看護における研究の意義と役割を学び、研究過程を概観する。 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト1の第1章(P.14～28)を熟読し、疑問点を整理しておく 【復習】30分：小テストを中心に授業内容を復習する。 【担当】姫野
2	Research Question と研究目的に応じた研究デザインの選択 【授業内容】基本的な研究デザインを概観し、Research Question と研究目的に応じた研究方法選択の基準を学ぶ。 【授業方法】講義（講義終了後、知識確認のためICTを用いて小テストを実施する） 【予習】30分：テキスト1：第1章のP.22～23および第2章(P.29～38)を熟読し、疑問点を整理しておく。 【復習】30分：小テストを中心に授業内容を復習する。 【担当】姫野
3	文献レビューと文献クリティーク 【授業内容】研究における文献レビューやクリティークの意義を理解し、基本的な文献レビューやクリティークの方法を学ぶ。 【授業方法】講義（講義終了後、知識確認のためICTを用いて小テストを実施する） 【予習】30分：テキスト1の第2章(P.39～60)を熟読し、疑問点を整理しておく。 【復習】30分：小テストを中心に授業内容を復習する。 【担当】牧
4	研究における研究倫理の確保、研究の限界 【授業内容】研究倫理の基本と研究倫理を確保する具体的方法について学ぶ。 【授業方法】講義（講義終了後、知識確認のためICTを用いて小テストを実施する） 【予習】30分：テキスト1の第3章(P.61～81)を熟読し、疑問点を整理しておく。 【復習】30分：小テストを中心に授業内容を復習する。 【担当】牧
5	研究計画書作成のステップ 【授業内容】研究計画書を作成するステップと注意点を学ぶ。 【授業方法】講義（講義終了後、知識確認のためICTを用いて小テストを実施する） 【予習】30分：テキスト1の第6章(P.205～216)を熟読し、疑問点を整理しておく。 【復習】30分：小テストを中心に授業内容を復習する。 【担当】姫野
6	量的研究の主な研究デザイン① 【授業内容】量的研究とは：量的記述的研究デザインおよび研究の枠組みについて学ぶ 【授業方法】講義（講義終了後、知識確認のためICTを用いて小テストを実施する） 【予習】30分 第1・2回目講義の関連箇所について復習する。テキスト1の第4章を熟読しておく。 【復習】30分 小テストの内容を中心に復習する。 【担当】姫野
7	量的研究デザイン② 【授業内容】仮説検証型デザイン、因果関係検証デザインについて学ぶ。測定用具の信頼性と妥当性について学ぶ。 【授業方法】講義（講義終了後、知識確認のためICTを用いて小テストを実施する） 【復習】30分 小テストの内容を中心に復習する。 【担当】姫野

8	量的研究の具体的な進め方① 【授業内容】量的研究における仮説、標本抽出の種類、データ収集方法を学ぶ。 【授業方法】講義（講義終了後、知識確認のためICTを用いて小テストを実施する） 【予習】30分 テキスト1の第4章(P.83～108)を熟読しておく。 【復習】30分 小テストの内容を中心に復習する。 【担当】姫野
9	量的研究の進め方②データの分析方法 【授業内容】記述統計・推測統計について学ぶ 【授業方法】講義（講義終了後、知識確認のためICTを用いて小テストを実施する） 【予習】30分 テキスト1の第4章を熟読しておく。 【復習】30分 小テストの内容を中心に復習する。 【担当】姫野
10	質的研究の特質と目的 【授業内容】質的研究方法の特質、基盤となる考え方、目的、質的研究の種類について学ぶ。 【授業方法】講義 【予習】30分 テキスト1の第5章を熟読しておく。 【復習】授業の要点をまとめる。 【担当】牧
11	質的研究におけるデータ、データ収集 【授業内容】質的研究における研究の場と時間枠、サンプリング、サンプルサイズ、データの集め方について学ぶ。 【授業方法】講義 【予習】前回の講義内容を確認する。 【復習】授業の要点をまとめる。 【担当】牧
12	質的研究におけるデータ分析 【授業内容】質的研究方法のデータ分析方法について学ぶ。 【授業方法】講義 【予習】前回の講義内容を確認する。 【復習】授業の要点をまとめる。 【担当】牧
13	質的研究のまとめ方、質的研究における真実性と質の確保 【授業内容】質的データを用いた論文のまとめ方、プレゼンテーションの仕方、質的研究における真実性と質の確保について学ぶ。 【授業方法】講義 【予習】前回の講義内容を確認する。 【復習】授業の要点をまとめる。 【担当】牧
14	討議1 質的研究クリティーク・フィードバック 【授業内容】事前に選択した質的研究のクリティークに関する討議を通して、質的研究方法への理解を深める。 【授業方法】講義：グループワーク・プレゼンテーション・討議 【予習】90分：指定された質的研究をクリティークし、疑問点をまとめる。 【復習】30分：ディスカッションを参考にクリティーク内容を修正する。 【担当】牧・姫野
15	討議2 量的研究クリティーク・フィードバック 【授業内容】事前に選択した量的研究のクリティークに関する討議を通して、量的研究方法への理解を深める。 【授業方法】講義：グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション 【予習】90分：指定された量的研究をクリティークし、疑問点をまとめる。 【復習】30分：討議を参考にクリティーク内容を修正する。 【担当】姫野・牧

学習方法

- ・学士課程において修得しておくべき知識については、各自学習して参加してください。
- ・自分の修士論文のテーマを意識して事後学習をしてください。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します

姫野：火曜日の昼休み、t-himeno@jrckicn.ac.jp

牧：月曜日の昼休み、m-maki@jrckicn.ac.jp

テキスト

1. 前田ひとみ 他：ナースিং・グラフィカ 基礎看護④ 看護研究．大阪，メディカ出版，2023．
2. 宣間真美：質的研究実践ノート．東京，医学書院，2007．
3. グレグ美鈴，麻原きよみ，横山美江：よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 看護研究のエキスパートをめざして 第2版．医歯薬出版，2016．

参考文献

- Gray, J. R., Burns, S. K.:The Practice of Nursing Research [9th edition] Appraisal, Synthesis, and Generation of Evidence. 2020, 黒田裕子，逸見功，佐藤富美子翻訳：バーンズ&グロープ [原著第9版] 看護研究入門—評価・統合・エビデンスの生成—．東京，エルゼビア・ジャパン，2023．
- Polit, D. F., Beck, C. T.:Nursing Research 2th Edition Principles and Methods. 2004, 近藤潤子監訳：看護研究 原理と方法（第2版）．東京，医学書院，2010．
- 坂下玲子 他：系統看護学講座 別巻 看護研究．東京，医学書院，2023．
- 南裕子 他：看護における研究 第2版．東京，日本看護協会出版会，2018．

評価方法

授業参加度（20％）、定期試験（80％）

※授業で実施する小テストは科目の評価には含めない。事後学習として活用すること。

研究方法 A- I （量的研究方法の基礎）

更新日：2025/01/07 13:53:29

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	880700	授業コード	88070
担当教員	中山 晃志						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

看護・保健領域での研究において使用されている量的研究方法に特化して、統計分析の基礎を習得する。

到達目標

1	データの種類や基本統計量について把握し、記述することができる。
2	統計検定の流れを把握し、正しく検定結果の解釈ができる。
3	目的に沿った検定手法を選ぶことができる。

DPとの関連

DP1 ○

DP3 ◎

DP4 ○

授業計画

1	母集団と標本，データの種類 【授業内容】母集団と標本（記述統計と推測統計）の概念，データの種類 【授業方法】講義
2	記述統計（1） 【授業内容】1 変量データの記述（度数分布と図表，代表値），復習問題のFB 【授業方法】講義（討議）
3	記述統計（2） 【授業内容】1 変量データの記述（散布度），2 変量データの記述（量×量，相関，回帰），復習問題のFB 【授業方法】講義（討議）
4	記述統計（3） 【授業内容】2 変量データの記述（質×質，クロス表／量×質），復習問題のFB 【授業方法】講義
5	推測統計への準備，推測統計（1） 【授業内容】確率・確率分布，推定論（点推定・区間推定），復習問題のFB 【授業方法】講義
6	推測統計（2） 【授業内容】検定の流れ 【授業方法】講義（討議）
7	推測統計（3） 【授業内容】検定手法各論(1) （平均） 【授業方法】講義
8	推測統計（4） 【授業内容】検定手法各論(2) （分散，比率，相関，クロス表，ノンパラメトリック） 【授業方法】講義

学習方法

・統計学は，基礎となる「データの種類」や「記述統計」が分かっていないと，そこから先の統計学の理解が難しくなります。1つ1つの基礎を積み上げながら自分の中でイメージを描き，理解をしていくことが大事です。

・講義では，普段聞きなれないような言葉や似たような用語がたくさん出てきます。その1つ1つの言葉や用語をチェックし，しっかりと覚えていって下さい。そうすると，「この用語とこの用語にはこんな関係があるんだ!」とか，「この言葉が出てくるってことは検定をしてるんだな!」といったことに気づき，イメージも広がり，理解がしやすくなると思います。

オフィスアワー

メールアドレスを明記し，事前にアポイントメントを取ってください。

中山：t-nakayama@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない。毎回，資料を配布する。

参考文献

稲葉由之：ブレストップ統計学Ⅰ 記述統計学（第2版）．東京，弘文堂，2024．
縣俊彦：やさしい保健統計学（改訂第5版増補）．東京，南江堂，2019．

評価方法

レポート評価（100%）

研究方法 B-Ⅰ（質的研究方法の基礎）

更新日：2025/01/24 18:03:11

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	880800	授業コード	88080
担当教員	牧 マリコ						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

質的研究手法を用いるための基礎知識として、質的データの収集方法および分析方法、さらに分析結果の解釈等について、文献や模擬データによる演習によって学ぶ。

到達目標

1	データ収集方法について、演習によりデータ収集を体験し、質的データの意味について理解することができる。
2	データの分析方法について、演習によりコード化などを体験し、データをまとめていく分析の意味について理解することができる。
3	質的研究におけるデータ分析と分析後の解釈のつながりを検討することができる。

DPとの関連

DP1 ○

DP3 ◎

DP4 ○

授業計画

1	質的研究の特徴 【授業内容】研究方法（研究方法総論）で学習した質的研究の特徴について復習、模擬データ収集のためのリサーチクエスチョン検討、インタビューガイドの作成 【授業方法】講義、演習
2	質的データとは（1） 【授業内容】質的データ収集演習（1）インタビュー演習 【授業方法】演習
3	質的データとは（2） 【授業内容】質的データ収集演習（2）逐語録の作成 【授業方法】演習
4	データの分析方法（1） 【授業内容】コード化、カテゴリー化 【授業方法】模擬データによる演習
5	データの分析方法（2） 【授業内容】コード化、カテゴリー化 【授業方法】GW：模擬データによる演習
6	データの分析方法（3） 【授業内容】コード化、カテゴリー化 【授業方法】GW：模擬データによる演習
7	データの分析方法（4） 【授業内容】コード化、カテゴリー化 【授業方法】GW：模擬データによる演習 【担当】牧
8	質的研究におけるデータ分析後の解釈 【授業内容】分析結果の全体発表、質的研究におけるデータ分析後の解釈 【授業方法】発表と討議、フィードバック

学習方法

研究方法（研究方法総論）で学んだ質的研究法の基礎知識を元に、質的記述の研究でのデータの収集方法および分析方法、さらに分析結果の解釈等について、主に模擬データによる演習により体験しながら学ぶ。各回に提示する演習課題に取り組んでください。

オフィスアワー

月曜日の昼休み、もしくはメール（m-maki@jrckicn.ac.jp）にてアポイントをとってください。

テキスト

グレッグ美鈴，麻原きよみ，横山美江(2016)．よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 看護研究のエキスパートをめざして 第2版．医歯薬出版．

参考文献

- 萱間真美(2007)．質的研究実践ノート．医学書院．
- Immy Holloway, Stephanie Wheeler(2002)/野口美和子(訳)(2006)．ナースのための質的研究入門．医学書院．

- ・ 佐藤郁哉(2008)．質的データ分析法 原理・方法・実践．新曜社．
- ・ 松葉祥一・西村ユミ編集(2014)．現象学的看護研究― 理論と分析の実際．医学書院．
- ・ 川喜田二郎(1967)．発想法．中公新書．
- ・ 山浦晴男(2012)．質的統合法入門 考え方と手順．医学書院．

評価方法

演習課題（50％）レポート（50％）

研究方法 A- II （量的研究方法）

更新日：2025/01/18 14:51:14

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	880900	授業コード	88090
担当教員	姫野 稔子						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

調査研究における質問票の作成、調査の実施、回収した質問票の扱い方、分析の手法を実践を通して習得する。

到達目標

1	研究の枠組みの作成方法を理解することができる。
2	研究の枠組みと質問票の関係を理解することができる。
3	測定用具の開発方法を理解することができる。
4	データ収集・データクリーニング・データコーディングの方法を理解することができる。
5	SPSSを用いた分析方法を理解し、実施することができる。

DPとの関連

DP1 ○

DP3 ◎

DP4 ○

授業計画

1	調査研究の進め方 【授業内容】 調査研究のプロセスや研究計画のアウトラインについて理解する 【授業方法】 講義
2	質問紙の作成方法・データ収集方法 【授業内容】 質問紙の作成のプロセスやデータ収集方法について理解する。 【授業方法】 講義
3	研究の枠組みの作成方法（1） 【授業内容】 理論的枠組みの作成方法を理解する。 【授業方法】 講義
4	研究枠組みの作成方法（2） 【授業内容】 概念枠組みの作成方法および測定用具の開発・使用のルールについて理解する。 【授業方法】 講義
5	データ入力とデータクリーニングの方法 【授業内容】 回収した調査票のデータクリーニングの方法を理解する。 【授業方法】 講義
6	コーディング表の作成とデータコーディング 【授業内容】 回収した調査票の結果をコーディングする方法を理解する。 【授業方法】 演習
7	Excell への入力、ダブルエントリー、データクリーニング 【授業内容】 調査結果を入力し、ダブルエントリーおよびデータクリーニングする方法を理解する。 【授業方法】 演習
8	Excell データを SPSS に読み込む。データの加工と分析方法 【授業内容】 SPSSの構成を理解し、データの加工の方法および分析方法を理解する。 【授業方法】 演習

学習方法

事前学修としては、研究方法総論の量的研究の内容及び研究方法 A- I の内容の既習箇所を復習しておくこと。提示した資料及び理解を促進するための文献を熟読しておく。事後学修としては、毎回の資料を復習し、理解が十分でない箇所を次回に質問する。単元の後半は、配布されたフォーマットに架空の調査データを入力して授業資料とし、それをもとに演習を展開する。その際はSPSSを搭載したPCを使用する。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：金曜日の昼休み、t-himeno@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない。授業内にて適宜指示する。

参考文献

- ・古谷野亘・長田久雄：実証研究の手引き―調査と実験の進め方・まとめ方―．東京，ワールド プランニング，1992．
- ・竹原健二・渡辺多恵子：看護・医療系の調査研究エッセンス．東京，医学書院，2010．

評価方法

レポート及び課題（60％），授業参加度（40％）

研究方法B-II（質的研究方法）

更新日：2024/12/27 10:24:33

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	881000	授業コード	88100
担当教員	山本 孝治						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

質的研究手法に基づく多様な事例の研究を通して、その応用性と汎用性を理解することで質的研究法を習得する。

到達目標

1	様々な質的研究の手法の特徴を列挙でき、限界を述べることができる。
2	研究課題に適した質的研究手法を選択するための基本的考え方を説明できる。
3	質的研究の事例においてどのように質的研究方法が活用されているのかについて説明できる。

DPとの関連

- DP1 ○
DP3 ◎
DP4 ○

授業計画

1	質的研究手法の概要 【授業内容】科目オリエンテーション/質的研究の特徴 【授業方法】講義・討議 【予習】15分：「研究方法（研究方法総論）」の「質的研究」に関する授業の復習 テキスト第1章を熟読する 【復習】15分：授業内容をまとめる
2	質的研究方法のQ and A 【授業内容】質的研究における適切なサンプルサイズ、質的研究は一般化を目指せないのか？等 【授業方法】講義・討議 【予習】15分：テキスト第3章、第5章、第6章、第7章、第8章を熟読 【復習】15分：授業内容をまとめる
3	質的研究へのアプローチ①：記述民俗学（エスノグラフィー） 【授業内容】記述民俗学的（エスノグラフィー）に基づく質的研究方法の特徴を学ぶ。 【授業方法】講義（学生の発表・全員での討議）発表に対するフィードバック 【予習】15分：テキスト第9章を熟読 【復習】30分：授業内容をまとめる
4	質的研究へのアプローチ②：グラウンディッド・セオリー/MGTA 【授業内容】グラウンディッド・セオリー、MGTAに基づく質的研究方法の特徴を学ぶ。 【授業方法】講義（学生の発表・全員での討議）発表に対するフィードバック 【予習】15分：テキスト第10章を熟読 【復習】30分：授業内容をまとめる
5	質的研究へのアプローチ③：現象学 【授業内容】現象学に基づく質的研究方法の特徴を学ぶ。 【授業方法】講義（学生の発表・全員での討議）発表に対するフィードバック 【予習】15分：テキスト第11章を熟読 【復習】30分：授業内容をまとめる
6	質的研究へのアプローチ④：アクションリサーチ 【授業内容】アクション・リサーチの研究手法としての特徴を学ぶ。 【授業方法】講義（学生の発表・全員での討議）発表に対するフィードバック 【予習】15分：テキスト第12章を熟読 【復習】30分：授業内容をまとめる
7	質的研究へのアプローチ⑤：ナラティブリサーチ 【授業内容】ナラティブリサーチの特徴を学ぶ。 【授業方法】講義（学生の発表・全員での討議）発表に対するフィードバック 【予習】15分：テキスト第13章、14章を熟読 【復習】30分：授業内容をまとめる
8	質的研究手法のまとめ 【授業内容】本科目で学んだ質的研究方法を復習し、研究課題や研究の目的に適した手法を選択するための基準を学ぶ。 近年の質的研究のTopics（事例研究、SCAT等） 【授業方法】講義・討議 【予習】15分：1～7回の復習 【復習】90分：レポート作成

学習方法

「研究方法（研究方法総論）」を復習して参加してください。
授業は学生の発表と討議を中心に進めます。

オフィスアワー

木曜日の昼休みあるいはメールでのアポイントメントにて設定します。
山本：k-yamamoto@jrckicn.ac.jp

テキスト

Holloway, I. & Wheeler, S. : Qualitative Research in Nursing (2002). 野口美和子監訳：ナースのための質的研究入門 研究方法から論文作成まで 第2版．東京，医学書院，2006．

参考文献

Flick, U. : Qualitative Sozialforschung (2007). 小田博志監訳：新版質的研究入門—<人間の科学>のための方法論．東京，春秋社，2011．
他、授業にて紹介します。

評価方法

発表（プレゼンテーション）および討議への参加（50％）、レポート（50％）を総合的に評価します。

看護教育論

更新日：2025/02/03 19:08:34

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	881100	授業コード	88110
担当教員	本田 多美枝						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

看護ケアの質を高めるために必要な看護職者への教育的働きかけ、教育環境づくりを行っていくための能力を獲得するために、看護継続教育の展開に必要な学習・教育の理論や方法論や技術について学ぶ。さらに、現任教育の実践事例の多角的検討を行って、現任教育の現状と課題を分析し、高度な看護実践を可能にする教育方法を探究する。

到達目標

1	看護学教育における継続教育の現状と課題を説明できる
2	高度実践看護師として、看護職者に対して教育的機能を発揮していくために必要となる学習・教育に関する理論や方法論や技術について説明できる
3	現任教育の実践事例の多角的検討を行い、高度看護実践を可能にする現場の条件に応じた教育方法を提案できる

DPとの関連

DP1 ○

DP5 ◎

授業計画

1	看護学教育における継続教育の位置づけと目的、継続教育の基準 【授業内容】 看護学教育における継続教育の位置づけと目的、生涯学習支援について 【授業方法】 講義および討論
2	看護職者の学習形態の特徴とその支援① 【授業内容】 自らの意志で学ぶこととその教育・支援（成人学習理論、動機づけ等） 【授業方法】 講義および討論
3	看護職者の学習形態の特徴とその支援② 【授業内容】 仕事を通して学ぶこととその教育・支援（OJT、経験学習モデル、リフレクション等） 【授業方法】 講義および討論
4	看護職者の学習形態の特徴とその支援③ 【授業内容】 研修を通して学ぶこととその教育・支援（off-JT、シミュレーション、ガニエの9教授事象等、多様な教育方法） 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーションおよび討論
5	対象別に見た看護継続教育の現状と課題① 【授業内容】 新人看護職員 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーションと討論
6	対象別に見た看護継続教育の現状と課題② 【授業内容】 中堅看護師 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーションと討論
7	対象別に見た看護継続教育の現状と課題③ 【授業内容】 スペシャリスト 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーションと討論
8	対象別に見た看護継続教育の現状と課題④ 【授業内容】 臨床での教育者 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーションと討論
9	現任教育プログラムの展開① 【授業内容】 教育のプロセスと教育者の役割 【授業方法】 講義および討論
10	現任教育プログラムの展開② 【授業内容】 計画の立案・実施 【授業方法】 講義および討論
11	現任教育プログラムの展開③ 【授業内容】 評価 【授業方法】 講義および討論
12	現任教育の実践事例の検討① 【授業内容】 各自の職場での役割や立場を踏まえ、現状分析の結果から教育計画を立案し、発表・討議を行う 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーションおよび討論
13	現任教育の実践事例の検討② 【授業内容】 各自の職場での役割や立場を踏まえ、現状分析の結果から教育計画を立案し、発表・討議を行う 【授業方法】 大学院生によるプレゼンテーションおよび討論

14	現任教育の実践事例の検討③ 【授業内容】各自の職場での役割や立場を踏まえ、現状分析の結果から教育計画を立案し、発表・討議を行う 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論
15	看護ケアの質向上を牽引する人材として、高度実践看護師に求められている教育的機能について議論する 【授業内容】看護ケアの質向上を牽引する人材として、高度実践看護師に求められている教育的機能について議論する。プレゼンテーションについてのFB 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーションおよび討論

学習方法

授業は、教員による講義および大学院生によるプレゼンテーションと討論にて進める。プレゼンテーション担当の大学院生は、前週までに教員および大学院生に必読文献を提示する。各大学院生は事前学習を行い、授業に参加する。12-14 回では、各自の職場での役割や立場を踏まえ、現状分析の結果から教育計画を立案し、発表・討議を行う。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールにてアポイントをとってください。
t-honda@jrckicn.ac.jp（本田）

テキスト

特に指定しない

参考文献

- ・舟島なをみ（2015）．院内教育プログラムの立案・実施・評価（第2版）．医学書院．
- ・杉森みど里・舟島なをみ（2024）．看護教育学（第8版）．医学書院．
- ・福澤英弘（2009）．人材開発マネジメントブック—学習が企業を強くする—．日本経済新聞出版社．
- ・Benner, P., et al.（2010）/早野 ZITO 真佐子訳（2011）．ベナ— ナースを育てる．医学書院．
- ・Merriam, S.B., & Caffarella,R.S.（1999）/立田慶裕・三輪建二監訳（2005）．成人期の学習—理論と実践．鳳書房．
- ・鈴木克明（2015）．研修設計マニュアル 人材育成のためのインストラクショナルデザイン．北大路書房．
- ・鈴木克明・美馬のゆり編（2018）．学習設計マニュアル 「おとな」になるためのインストラクショナルデザイン．北大路書房．

その他、適宜紹介します

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション（50％） レポート（50％）

看護管理論

更新日：2025/02/17 11:05:28

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	881200	授業コード	88120
担当教員	近末 清美						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

変化し続ける社会の中で高度実践看護師として個人および組織を適切に機能させる管理能力を獲得するために、看護管理の基礎概念と主要な理論、管理プロセスに関する知識を得るとともに、現場における責務と役割についての認識を深め、実践場における看護管理の方法と活動を探究する。

到達目標

1	組織運営に関する諸理論、看護マネジメントの諸理論、方法論について理解できる
2	多職種との協働・連携に関する理論とその応用について理解できる
3	医療安全、資源管理、看護の質保証の概念を理解し、看護の質向上の取り組みについて考察できる
4	看護活動を取り巻く法律と制度について理解できる
5	メディアや公衆とコミュニケーションをとるための技法について理解し、応用できる
6	高度実践看護師として管理者との連携・調整、組織における位置づけと役割、社会への貢献について考察できる

DPとの関連

DP1 ○

DP5 ◎

授業計画

1	看護管理の定義 【授業内容】マネジメントとは、看護管理とは、看護制度と看護管理、看護管理の歴史 【授業方法】講義
2	日本の医療制度 【授業内容】医療提供体制、医療保険制度、診療報酬制度、地域包括ケアシステム 【授業方法】講義、討議
3	組織論 【授業内容】組織とは、組織デザイン 【授業方法】講義、討議
4	リーダーシップとフォロワーシップ 【授業内容】リーダーシップ論 【授業方法】講義、討議
5	リーダーシップとデリゲーション 【授業内容】デリゲーション 【授業方法】演習
6	医療の中の協働① 【授業内容】協働とは、保健医療福祉に携わる人々との協働・連帯、コンフリクトと交渉 【授業方法】講義、討議
7	医療の中の協働② 【授業内容】チーム医療の実際 【授業方法】学生によるプレゼンテーションと討議
8	業務遂行のマネジメント 【授業内容】労務管理、業務管理、物的資源管理 【授業方法】講義、討議
9	看護職の法的責任 【授業内容】看護活動を取り巻く法律と制度 【授業方法】講義、討議
10	看護職者の基本的責務 【授業内容】倫理、看護職者の基本的責務 【授業方法】講義、討議
11	看護職のキャリア開発 【授業内容】キャリアとは、キャリア開発、WLB 【授業方法】講義、討議
12	医療安全① 【授業内容】医療事故と安全対策の経緯、リスクマネジメント 【授業方法】講義、討議

13	医療安全② 【授業内容】 学生によるプレゼンテーションと討議 【授業方法】 講義
14	人的資源管理 【授業内容】 ダイバーシティ・マネジメント 【授業方法】 講義、討議
15	まとめー日本の医療における看護管理の展望 【授業内容】 日本の医療における看護管理の課題の検討 【授業方法】 学生によるプレゼンテーションと討議

学習方法

教員による講義と討議、学生によるプレゼンテーションを行い学生主体の参加型授業を行う。
学生は分担して各回の理論や概説を自分の経験に引き寄せた討議やプレゼンテーションをする。

オフィスアワー

メールで事前に連絡をとってください
近末：chikasue@st-mary.ac.jp

テキスト

特に指定しない

参考文献

・原玲子：学習課題とクイズで学ぶ看護マネジメント入門（第2版）．東京, 日本看護協会出版会, 2020.
・看護管理学習テキスト 第1巻～第5巻、別巻（第3版2025年版）．東京, 日本看護協会出版会, 2025.
他講義中に紹介します

評価方法

授業への参加度（10％） プレゼンテーション（40％） レポート（50％）

看護政策論

更新日：2025/02/17 11:21:48

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	881300	授業コード	88130
担当教員	近末 清美						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

看護職者として保健医療福祉制度の在り方、改革の方向等を見据えて、身近な看護政策とその決定プロセスについて理解を深め、看護政策の変遷・現状と課題を考察するとともに、政策に関与し提言していく基本的な能力を育成する。

到達目標

1	看護職者として政策決定過程を理解し、政策的課題を把握できる。
2	看護政策の変遷を理解し、現代および将来に向けた課題を見いだすことができる。
3	看護職者として政策過程に参画するための基礎的能力を養うことができる。

DPとの関連

DP1 ○
DP2 ○
DP5 ◎

授業計画

1	政策決定過程と看護職者の関与 【授業内容】政策と看護の関係および政策決定過程、看護職者の政策への参画 【授業方法】講義、討議
2	診療報酬制度と看護職者の関与① 【授業内容】診療報酬制度における看護職員人員配置基準の見直し 【授業方法】講義、討議
3	診療報酬制度と看護職者の関与② 【授業内容】診療報酬制度における特定の看護技術の評価 【授業方法】講義、討議
4	看護職者の政策過程への参画① 【授業内容】婦・士から師への名称改正 【授業方法】講義、討議
5	看護職者の政策過程への参画② 【授業内容】准看護師（婦）の養成停止を目指した運動 【授業方法】講義、討議
6	私の政策提言① 【授業内容】看護の質の向上に向けて、関心のある政策課題を取り上げ、新たな提案を行い、その実現方略を検討する。（例：保健師助産師看護師法、診療報酬における看護職員の配置） 【授業方法】学生によるプレゼンテーションと討議
7	私の政策提言② 【授業内容】看護の質の向上に向けて、関心のある政策課題を取り上げ、新たな提案を行い、その実現方略を検討する。（例：看護師の特定行為研修制度、ナース・プラクティショナー） 【授業方法】学生によるプレゼンテーションと討議
8	看護政策実現に向けた行動 【授業内容】看護の質の向上に向けて、看護職者が政策過程に進むことの意義について検討する。 【授業方法】学生によるプレゼンテーションと討議

学習方法

授業は、講義および学生のプレゼンテーション、全体討議で進めていきます。講義内容に関連した事項について、文献・資料等を確認して授業に臨んでください。最近の保健・医療・福祉政策の動向を把握しましょう。
本科目に履修にあたり、「看護管理論」を履修することをおすすめします。

オフィスアワー

メールで事前に連絡をとってください。
近末：chikasue@st-mary.ac.jp

テキスト

特に指定しません。

参考文献

- ・見藤隆子、石田昌宏他：看護職者のための政策過程入門 第2版．東京，日本看護協会出版会，2017．
- ・野村陽子：看護制度と政策．東京，法政大学出版局，2015．
- ・井部俊子監修：看護管理学習テキスト第3版 第1巻ヘルスケアシステム論．東京，日本看護協会出版会，2019．
- ・田村やよひ：私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法 第2版．東京，日本看護協会出版会，2018．
- ・看護行政研究会編：看護六法令和7年度版．東京，新日本法規，2025．

その他、適宜紹介します。

評価方法

授業への参画（プレゼンテーション、討議）：50%，課題レポート：50%

専門外国語講読Ⅱ

更新日：2025/04/30 12:41:50

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	881400	授業コード	88140
担当教員	ガックラ マヘンダークマール						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

保健・看護の理論、実践、研究等に関する英語文献を講読する。

到達目標

1	Abstract の役割と必須要素を理解し、専門分野の英語論文を読むことができる。
2	個々の文、段落、文章を支える構造的原理についての知識を獲得し、予測しつつ読むことができる。
3	英語論文が正確に、速く、読めるようになる
4	良い英語論文とそうではない英語論文を見分けることができるようになる

DPとの関連

DP1 ○

DP2 ○

DP3 ◎

授業計画

1	授業オリエンテーション、 Abstract の役割ならびに Abstract の必須要素および構造を理解する ① 【授業内容】配布したハンドアウトを読みながら英語論文とabstractとの関りについて確認 【授業方法】演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【担当】ガックラ
2	複数の Abstract を比較・分析し、 Abstract の構造を理解する ② 【授業内容】配布したハンドアウトを読みながら英語論文とabstractとの関りについて確認 【授業方法】演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【担当】ガックラ
3	Abstract を複数読み、良い Abstract とそうではない Abstract とを読み分ける授業 ③ 【授業内容】配布したハンドアウトを読みながら英語論文とabstractとの関りについて確認 【授業方法】演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【担当】ガックラ
4	英語論文の役割ならびに英語論文の必須要素および構造を理解する ④ 【授業内容】配布したハンドアウトを読みながら英語論文とabstractとの関りについて確認 【授業方法】演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【担当】ガックラ
5	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論） ① 、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】演習・討議・プレゼンテーション（プレゼンテーションとディスカッションを評価します） 【担当】ガックラ
6	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論） ② 、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】演習・討議・プレゼンテーション（プレゼンテーションとディスカッションを評価します） 【担当】ガックラ
7	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論） ③ 、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】演習・討議・プレゼンテーション（プレゼンテーションとディスカッションを評価します） 【担当】ガックラ
8	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論） ④ 、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】講義・討議・プレゼンテーション（プレゼンテーションとディスカッションを評価します） 【担当】ガックラ
9	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論） ⑤ 、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】演習・討議・プレゼンテーション（プレゼンテーションとディスカッションを評価します） 【担当】ガックラ
10	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論） ⑥ 、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】演習・討議・プレゼンテーション（プレゼンテーションとディスカッションを評価します） 【担当】ガックラ

11	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論）⑦、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】講義・討議・プレゼンテーション（プレゼンテーションとディスカッションを評価します） 【担当】ガックラ
12	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論）⑧、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】演習・討議・プレゼンテーション（プレゼンテーションとディスカッションを評価します） 【担当】ガックラ
13	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論）⑨、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】演習・討議・プレゼンテーション（プレゼンテーションとディスカッションを評価します） 【担当】ガックラ
14	プレゼンテーション（予定された英語論文の読解、議論）、質疑応答、フィードバック 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション⑩、英文の論文とabstractとの関りについて質疑応答を通して確認 【授業方法】演習・討議・プレゼンテーション（プレゼンテーションとディスカッションを評価します） 【担当】ガックラ
15	英語論文の読解方法および速読のポイントのまとめ、フィードバック（学習方略再点検） 【授業内容】各学生担当者からのプレゼンテーション⑪、フィードバック（学習方略再点検） 【授業方法】演習・討議・プレゼンテーション 【担当】ガックラ

学習方法

- ・授業の各回で行うプレゼンテーションのスケジュールを立て、担当日を定める
- ・毎回の授業に予定されている英語論文を事前に読んで、疑問点などをリストアップし、授業に出席する
- ・研究方法については、日本語で書かれた文献も併せて読み、授業中に説明ができるようにしておく
- ・英語論文の構造を念頭に、内容を予測しながら、速く読めるようにする

オフィスアワー

火曜日～金曜日昼休み。事前にアポイントメントを取ることが望ましい。
ガックラ マヘンダークマール：m-gakkula@jrckicn.ac.jp

テキスト

英文の 論文とAbstract

受講生が各自の修士論文を作成するうえで必読の英語論文（1人につき5本選定の予定）

参考文献

- ・Burns, T., Sinfield, S.: Essential Study Skills. London, SAGE Publications, 2006.
- ・Cottrell, S.: The Study Skills Handbook (2nd ed.) . Basingstoke, Palgrave-Macmillan, 2003. Cottrell, S.: Critical Thinking Skills. Basingstoke, Palgrave-Macmillan, 2005.
- ・Greetham, B.: How to Write Better Essays. Basingstoke, Palgrave-Macmillan, 2001. Levin, P.: Write Great Essays!. Maidenhead, Open University Press, 2004.
- ・Race, P.: How to Study. Oxford, Blackwell, 2003.

評価方法

プレゼンテーション資料作成（40％）、授業中のプレゼンテーション（30％）、議論の展開への貢献（30％）

フィジカルアセスメント特論

更新日：2025/03/18 17:48:00

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	881500	授業コード	88150
担当教員	木村 涼平, 後小路 隆, 橋本 恵太郎						
備考	必修/選択：選択（CNSコース必修） 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

多様な健康問題を持つ対象の身体状況の診査や診査に基づく臨床判断をするための知識及び技 術を修得する。

到達目標

1	フィジカルアセスメントの目的・意義・構成要素を理解できる。
2	フィジカルイグザミネーションの基本技術（問診・視診・触診・打診・聴診）が実践できる。
3	全身のスクリーニングが実践できる。
4	システムレビューが実践できる。
5	高度実践看護師として、より高度なフィジカルアセスメントが実践できる。

DPとの関連

DP6（CNS）○

授業計画

1	イントロダクション 【授業内容】 ・フィジカルアセスメントの目的・意義 ・フィジカルアセスメントの構成要素 【授業方法】講義 【担当】木村涼平
2	臨床推論の基礎と医療面接① 【授業内容】 ・臨床推論の基礎 ・医療面接技法 【授業方法】講義 【担当】橋本 恵太郎（筑波大学医学医療系地域医療教育学）
3	臨床推論の基礎と医療面接② 【授業内容】 ・臨床推論の実際 ・医療面接技法の実際 【授業方法】講義・演習（学生によるプレゼンテーション） 【担当】橋本 恵太郎（筑波大学医学医療系地域医療教育学）
4	システムレビュー（呼吸機能） 【授業内容】 ・呼吸機能の概観 ・問診・視診・触診・打診・聴診 ・血液ガス分析・呼吸機能検査結果の読解 ・呼吸機能検査のデータの読解 【授業方法】講義・演習（学生によるプレゼンテーション） 【担当】木村涼平
5	システムレビュー（循環機能） 【授業内容】 ・循環機能の概観 ・問診・視診・触診・打診・聴診 ・スクラッチテスト ・中心静脈圧の推定 ・末梢循環の確認 ・心電図の読解 【授業方法】講義・演習（学生によるプレゼンテーション） 【担当】木村涼平

6	システムレビュー（脳・運動機能） 【授業内容】 ・意識レベル ・感覚機能（視覚・聴覚・味覚・嗅覚・痛覚・温度覚・触覚・振動覚・関節運動覚・関節位置覚、二点識別覚・立体覚・書字感覚・温度覚） ・脳神経（第Ⅰ～第Ⅻ脳神経） ・高次脳機能 ・小脳機能 ・運動調節機能（含：麻痺、筋トーンズ） ・反射（生理的反射と病的反射） 【授業方法】講義・演習（学生によるプレゼンテーション） 【担当】木村涼平
7	システムレビュー（摂食・嚥下機能） 【授業内容】 ・摂食・嚥下機能の概観 ・嚥下スクリーニング検査 【授業方法】講義・演習（学生によるプレゼンテーション） 【担当】木村涼平
8	システムレビュー（栄養吸収・代謝調節機能） 【授業内容】 ・栄養吸収・代謝機能の概観 ・消化管・肝臓疾患に関する問診 ・腹部の視診・触診・打診・聴診 ・栄養評価 【授業方法】講義・演習（学生によるプレゼンテーション） 【担当】木村涼平
9	システムレビュー（排泄機能・生殖機能） 【授業内容】 ・問診・視診・触診・聴診 ・排尿・排便機能とその異常 ・乳房・生殖器に関する問診・視診・触診 ・生殖機能障害のアセスメント 【授業方法】講義・演習（学生によるプレゼンテーション） 【担当】木村涼平
10	システムレビュー（内分泌・内部環境調節機能・生体防御機能） 【授業内容】 ・問診・視診・触診・聴診 ・体液バランス、電解質バランス ・腎機能・内分泌機能検査の読み方・負荷試験 ・皮膚、免疫・リンパ系に関する問診・視診・触診 ・免疫・アレルギー・膠原病のアセスメント 【授業方法】講義・演習（学生によるプレゼンテーション） 【担当】木村涼平
11	診断機器を用いたフィジカルイグザミネーション演習（１） 【授業内容】 ・超音波診断の基礎 ・超音波診断機器の基礎的な使用方法 【授業方法】演習 【担当】後小路隆（学校法人巨樹の会 令和健康科学大学）
12	診断機器を用いたフィジカルイグザミネーション演習（２） 【授業内容】 ・超音波診断機器を用いたフィジカルイグザミネーション 【授業方法】演習 【担当】後小路隆（学校法人巨樹の会 令和健康科学大学）
13	シナリオ演習（１） 【授業内容】 ・病態による事例の検討 【授業方法】演習 【担当】木村涼平
14	シナリオ演習（２） 【授業内容】 ・場所による事例の検討 【授業方法】演習 【担当】木村涼平
15	シナリオ演習（３） 【授業内容】 ・状況による事例の検討 【授業方法】演習 【担当】木村涼平

講義を通して患者の身体を機能別にシステムレビューする意味と方法を理解する。シナリオ演習では、各システムを複合的にアセスメントできるように学習する。

オフィスアワー

月曜日の昼休みもしくは授業終了後、メールによるアポイントに応じます。

木村：r-kimura@jrckicn.ac.jp

テキスト

スコット・スターン / アダム・シーファー / ダイアン・オールトカーム・編・竹本毅・訳. 考える技術 第4版 診療でエビデンスを使いこなす. 日経BP社. 2020/10/26

参考文献

- ・福井次矢他監修：バイツ診察法 第2版. 東京，メディカル・サイエンス・インターナショナル，2015.
- ・Jill, Fuller., et al. : Health Assessment a nursing approach 3rd edition. Philadelphia, Lippincott Williams & Wilkins, 2000.

評価方法

授業への参加度（20%）、プレゼンテーション（10%）、レポート（30%）、実技演習（40%）

病態生理学特論

更新日：2025/03/03 18:42:45

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	881600	授業コード	88160
担当教員	荒川満枝						
備考	必修/選択：選択（CNSコース必修） 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

対象の病態生理学的変化や生理機能の異常、様々な疾患や病態の評価方法ならびに治療介入による変化等、臨床判断するための知識と技術を修得する。

到達目標

1	組織・細胞レベルで疾病を理解し、説明することができる。
2	病態を、疾患の回復過程との関係性を踏まえて説明することができる。
3	疾病の原因とその生体の反応を踏まえた看護を計画できる。

DPとの関連

DP2 ◎
DP5 ○
DP6（CNS）○

授業計画

1	身体の構造と機能の概要 1 【授業内容】 ・履修者の実践と本科目の履修内容との関連性に関する討論 ・細胞と恒常性の維持に関する知識・理解の確認と討論 【授業方法】 講義
2	身体の構造と機能の概要 2 【授業内容】 ・履修者の実践と本科目の履修内容との関連性に関する討論 ・組織、器官の関係と恒常性の維持に関する知識・理解の確認と討論 【授業方法】 講義
3	総論：病理診断方法概要，細胞の障害と修復 【授業内容】 ・正常細胞の形態や機能，細胞周期に関する理解（細胞・組織観察含む） ・組織観察の基本とその原理，意義 ・変性，細胞死，酸化ストレス，萎縮・老化，肥大・過形成，化生（細胞・組織観察含む） 【授業方法】 講義
4	総論：炎症と免疫，アレルギー，移植と再生医療 【授業内容】 ・炎症の兆候と炎症反応と免疫担当細胞の働き（細胞・組織観察含む） ・各アレルギー反応における免疫担当細胞の働き ・ES細胞，iPS細胞 ・創傷治癒 【授業方法】 講義
5	総論：感染症 【授業内容】 ・主要な病原体と感染症 ・新型コロナウイルス感染症など新興・再興感染症 ・感染症の治療と予防；抗菌薬と薬剤耐性，抗ウイルス薬 ・感染症における対症療法と看護の重要性 【授業方法】 講義
6	総論：感染症と免疫 【授業内容】 ・免疫の仕組みの理解 ・感染症と免疫 【授業方法】 講義
7	総論：循環障害 【授業内容】 ・静水圧と浸透圧に関する理解と浮腫，充血・うっ血（細胞・組織観察含む） ・凝固系・線溶系の理解と出血，出血傾向，血栓，塞栓，梗塞（細胞・組織観察含む） ・ショック 【授業方法】 講義

8	総論：代謝障害 【授業内容】 ・脂質代謝異常（細胞・組織観察含む） ・タンパク質代謝異常（細胞・組織観察含む） ・糖質代謝異常 【授業方法】講義
9	総論：腫瘍 【授業内容】 ・腫瘍の定義・分類（細胞・組織観察含む） ・悪性腫瘍の転移，進行度 ・腫瘍の宿主への影響 ・腫瘍の発生機序，がん遺伝子，がん抑制遺伝子 ・腫瘍の診断方法，腫瘍マーカー 【授業方法】講義
10	総論：先天異常と遺伝子異常，老化1 【授業内容】 ・染色体異常，遺伝性疾患の実例 ・胎児の障害 ・遺伝子の異常による疾患と遺伝子多型 【授業方法】講義
11	総論：先天異常と遺伝子異常，老化2 【授業内容】 ・染色体異常，遺伝性疾患の実例 ・胎児の障害 ・遺伝子の異常による疾患と遺伝子多型 【授業方法】講義
12	各論：循環器，呼吸器，消化器，内分泌疾患の事例紹介と分析（プレゼンテーションと討議） 【授業内容】 動脈硬化症，心肥大，狭心症，心筋梗塞，肺炎，慢性閉塞性肺疾患，肺がん，消化器がん，クローン病，潰瘍性大腸炎，肝硬変，膵炎，糖尿病等 【授業方法】学生によるプレゼンテーションと討議
13	各論：脳・神経疾患，腎・泌尿器・生殖器・乳腺の事例紹介と分析（プレゼンテーションと討議） 【授業内容】 脳梗塞，髄膜炎，アルツハイマー病，腎不全，ネフローゼ症候群，腎がん，前立腺がん，子宮筋腫，子宮頸がん 等 【授業方法】学生によるプレゼンテーションと討議
14	各論：受講生の専門分野における実践事例 【授業内容】 受講生の実践事例を元に、病態生理学の知識を活用し、健康状態のアセスメントおよび個別の看護援助について検討する。それぞれの専門性に合わせて個別（またはグループ）で検討し、プレゼンテーションを行う。 【授業方法】学生によるプレゼンテーション
15	各論：受講生の専門分野における実践事例 【授業内容】 受講生の実践事例を元に、病態生理学の知識を活用し、健康状態のアセスメントおよび個別の看護援助について検討する。それぞれの専門性に合わせて個別（またはグループ）で検討し、プレゼンテーションを行う。 【授業方法】学生によるプレゼンテーション

学習方法

総論では、講義を通して患者の病態を細胞・組織レベルで理解する。各論では、各受講者の追究したい疾患を中心に、総論で得た知識を統合してプレゼンテーションし、ディスカッションを通して深く学ぶ。

オフィスアワー

アポイントを取ってください。
arakawam@fdcnet.ac.jp（荒川）

テキスト

大橋健一他(2021). 系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 疾病のなりたちと回復の促進 1 (第6版). 東京: 医学書院.

参考文献

田中越郎(2016). 系統看護学講座 専門基礎分野 病態生理学 疾病のなりたちと回復の促進 2(第3版). 東京: 医学書院.

評価方法

レポート 50%、プレゼンテーション 30%、ディスカッション内容 20%

臨床薬理

更新日：2025/04/25 09:35:41

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	881700	授業コード	88170
担当教員	柳原 延章, 高橋 浩二郎, 高橋 富美, 姫野 稔子, 立野 淳子						
備考	必修/選択：選択（CNSコース必修） 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

薬品が生体に及ぼす影響およびその作用機序について学び、多様な健康問題をもつ対象の特性や病態に応じて使用される薬物の判断根拠、投与後のモニタリング、服薬管理能力の向上のための臨床応用の知識を獲得する。

到達目標

1	薬物療法に関して、基本的知識を身につけることができる。
2	薬物動態学を理解し説明することができる。
3	最新の医薬品情報を適宜収集・確認する習慣を身につける。
4	エビデンスに基づいた薬物治療を理解することができる。
5	看護の分野における薬物管理の実践を理解することができる。

DPとの関連

DP6（CNS）◎

DP7（CNS）○

授業計画

1	臨床薬理学の定義と概念を学習する。 【授業内容】臨床薬理学の基礎 【授業方法】講義 【担当】高橋浩二郎：九州東邦株式会社、管理薬剤師
2	臨床薬物治療学(1): 治療学における臨床薬物動態を学習する。 【授業内容】治療学における臨床薬物動態学 【授業方法】講義 【担当】柳原延章、自律神経バランス研究所 所長
3	臨床薬物治療学(2): 臨床薬物動態学の理論を学習する。 【授業内容】薬物投与計画、薬物送達システム、薬物代謝酵素及びトランスポーター 【授業方法】講義 【担当】柳原延章、自律神経バランス研究所 所長
4	薬物治療学各論(1): 循環器疾患治療薬を学習する。 【授業内容】循環器疾患治療薬 【授業方法】講義 【担当】高橋富美：産業医科大学医学部薬理学 教授
5	薬物治療学各論(2): 消化器及び呼吸器疾患治療薬を学習する。 【授業内容】消化器及び呼吸器疾患治療薬 【授業方法】講義 【担当】高橋富美：産業医科大学医学部薬理学 教授
6	薬物治療学各論(3): 代謝及び内分泌疾患治療薬を学習する。 【授業内容】代謝及び内分泌疾患の治療薬 【授業方法】講義 【担当】高橋富美：産業医科大学医学部薬理学 教授
7	薬物作用と薬物動態の基本(1): 生理活性物質、病態や薬物の作用機序を学習する。 【授業内容】生理活性物質、病態や薬物作用メカニズム 【授業方法】講義 【担当】高橋浩二郎：九州東邦株式会社、管理薬剤師
8	薬物作用と薬物動態の基本(2)と処方箋学を学習する。 【授業内容】薬物作用の基礎と処方箋学 【授業方法】講義 【担当】高橋浩二郎：九州東邦株式会社、管理薬剤師
9	薬物治療学各論(4): 精神疾患や腎泌尿器科疾患治療薬を学習する。 【授業内容】精神疾患や腎泌尿器科疾患治療薬 【授業方法】講義 【担当】高橋富美：産業医科大学医学部薬理学 教授

10	薬物治療学各論(5): 抗炎症薬、抗リウマチ薬、鎮痛薬等を学習する。 【授業内容】抗炎症薬、抗リウマチ薬、鎮痛薬 【授業方法】講義 【担当】高橋富美：産業医科大学医学部薬理学 教授
11	臨床薬物治療学(3): 薬物相互作用、薬理遺伝学、時間薬理学を学習する。 【授業内容】薬物相互作用、薬理遺伝学、時間薬理学 【授業方法】講義 【担当】柳原延章、自律神経バランス研究所 所長
12	臨床薬物治療学(4): 病態時における薬物療法を学習する。 【授業内容】各種病態時における薬物療法 【授業方法】講義 【担当】柳原延章、自律神経バランス研究所 所長
13	臨床薬物治療学(5): 病態時における臨床薬物療法の実際を自主学習し課題発表をする。 【授業内容】薬物療法の実際 【授業方法】自主学習の結果をプレゼンテーションする。 【担当】柳原延章、自律神経バランス研究所 所長
14	老年看護分野における高齢者の薬物投与と服薬管理 【授業内容】高齢者の薬物投与と投与に関するモニタリング・服薬管理の実際を学ぶ 【授業方法】講義 【担当】姫野稔子
15	クリティカルケア看護分野における患者の薬物投与と生活調整、服薬管理 【授業内容】クリティカルケア看護分野における患者の薬物投与と投与後のモニタリングと生活調整、服薬管理の実際を学ぶ 【授業方法】講義 【担当】立野淳子

学習方法

授業について、講義およびプレゼンテーション、ディスカッションを通じて理解する。特に、実際の薬物療法をテーマにした課題発表とレポート提出をし、講義と合わせて理解し学習する。

オフィスアワー

yanagin-jiritu@outlokk.jp（柳原延章）
ftakahashi@med.uoeh-u.ac.jp（高橋富美）
t-kojiro@izu.bbiq.jp（高橋浩二郎）までアポイントをとってください。

テキスト

「日本臨床薬理学会：臨床薬理学 第4版．東京，医学書院，2017」の講義部分を資料として配布します。

参考文献

日本臨床薬理学会：臨床薬理学 第4版．東京，医学書院，2017．

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション・レポート（20％）、筆記試験（80％）

コンサルテーション I

更新日：2025/04/25 09:25:33

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	881800	授業コード	88180
担当教員	立野 淳子						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

看護職を含むケア提供者が抱えている問題を解決するのを助けるためのコンサルテーションに必要な基本的知識を修得する。

到達目標

1	コンサルテーション論の理論的背景や定義、コンサルタントの役割について理解する。
2	コンサルテーション論に基づき、コンサルテーションのタイプやモデル、プロセスについて学ぶ。
3	事例を用いて、コンサルテーションの実際を実践的に理解する。

DPとの関連

DP1 ○
DP5 ◎

授業計画

1	コンサルテーション概論① 【授業内容】コンサルテーション論の背景を学び、コンサルテーションの定義やコンサルタントの役割について理解する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】立野
2	コンサルテーション概論② 【授業内容】コンサルテーションの定義、タイプ、モデル、プロセス、コンサルタントの役割について理解する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】立野
3	コンサルテーション概論③ 【授業内容】コンサルテーションとスーパービジョンの違いについて理解する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】立野
4	コンサルテーション概論④ 【授業内容】コンサルテーションのプロセスについて理解する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】立野
5	コンサルテーションの実際① 【授業内容】「コンサルティ中心」・「クライアント中心」のケースコンサルテーション事例を通して、コンサルテーションプロセス、コンサルタントの役割について理解を深める。 【授業方法】演習 【担当】立野
6	コンサルテーションの実際② 【授業内容】「プログラム中心」・「クライアント中心の管理コンサルテーション」の事例を通して、コンサルテーションプロセス、コンサルタントの役割について理解を深める。 【授業方法】演習、ディスカッション 【担当】立野
7	コンサルテーションの実際③ 【授業内容】「課題適応型コンサルテーション」、「プロセス適応型コンサルテーション」の違いについて理解する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】立野
8	まとめ 【授業内容】ディスカッションを通しての学びを発表する 【授業方法】プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】立野

学習方法

講義を通して、コンサルテーションの基本的知識を理解する。事例を通して、コンサルテーションタイプ、モデル、プロセス、コンサルタントの役割について理解する。

オフィスアワー

立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp

テキスト

川野雅資：コンサルテーションを学ぶ．東京，クオリティケア，2013．

参考文献

適宜紹介します

評価方法

ディスカッションへの参加度（60％） プレゼンテーション（40％）

コンサルテーションⅡ

更新日：2025/04/25 09:25:58

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	881900	授業コード	88190
担当教員	立野 淳子						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

コンサルテーションに関する基本的知識、コンサルテーションモデルを基に、コンサルテーション事例や演習を通して、専門看護師が実践するコンサルテーションに必要な臨床判断、目標設定、問題解決の方略や技術を修得する。

到達目標

1	コンサルテーションモデルについて説明ができる。
2	専門看護師が行うコンサルテーションに必要な判断、知識、問題解決のための方略を説明ができる。
3	専門領域におけるコンサルテーションを通して、コンサルタントの役割、コンサルテーションプロセス、評価について説明ができる。
4	高度な実践者のコンサルテーション役割について討議できる。

DPとの関連

DP6（CNS）◎

DP7（CNS）○

授業計画

1	オリエンテーション 【授業内容】学修の進め方について概説し、これまでのコンサルテーション経験を振り返る。 【授業方法】講義・文献抄読。高度実践看護 統合的アプローチ 第2版 の Chapter9 Consultationを読み、専門看護師によるコンサルテーションモデルを理解する。 【担当】立野
2	コンサルテーションの歴史や基本となる概念 【授業内容】コンサルテーション論の歴史的背景やコンサルテーションの種類、プロセスを捉える基本概念や用語の学修を行う。 【授業方法】講義・ディスカッション 【担当】立野
3	コンサルテーション事例の文献検討 【授業内容】専門看護師が行うコンサルテーションに必要な判断、知識、問題解決のための方略を理解するために、コンサルテーション事例を文献検討する。 【授業方法】文献検討演習、ディスカッション 【担当】立野
4	コンサルテーションの実際① 【授業内容】高度実践看護 統合的アプローチ 第2版 を参考に、コンサルテーション場面をアウトカムモデルで分析する意義について討議する。 【授業方法】学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】立野
5	高度実践看護におけるコンサルテーションの意義 【授業内容】コンサルテーションが活用される場面やコンサルタントの役割、コンサルテーションの効果について討議する。 【授業方法】講義、ディスカッション 【担当】立野
6	コンサルテーションの実際② 【授業内容】コンサルテーション場面をアウトカムモデルで分析し、コンサルテーション・プロセスに含まれる機能や実践、アウトカムを検討する。コンサルテーションが機能する組織（システム）づくりについて討議する。 【授業方法】学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】立野
7	コンサルテーションの実際③ 【授業内容】コンサルテーション場面をアウトカムモデルで分析し、コンサルテーション・プロセスに含まれる機能や実践、アウトカムを検討する。コンサルテーションが機能する組織（システム）づくりについて討議する。 【授業方法】学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】立野
8	まとめ 【授業内容】専門領域において、求められる変化の方向性を設定し、望ましい変化に向かうためのコンサルテーションの模擬活用例の作成と発表を行う。 【授業方法】学生プレゼンテーション、ディスカッション 【担当】立野

学習方法

講義、グループディスカッションを通して、専門看護師が行うコンサルテーションの実際、コンサルタントの役割について理解を深める。模擬コンサルテーション事例を通して、専門領域におけるコンサルテーションを実践的に理解する。

オフィスアワー

立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp

テキスト

井部俊子他（監修）：専門看護師の思考と実践．東京，医学書院，2015．

参考文献

川野雅資：コンサルテーションを学ぶ．東京，クオリティケア，2013

Mary Fran Tracy Eileen T. O'Grady(編)：Hamric and Hanson's Advanced Practice Nursing: An Integrative Approach．1996，中村美鈴 江川幸二(監訳)：高度実践看護 統合的アプローチ 第2版，東京，へるす出版，2020．

評価方法

授業への参加度（60％） 課題プレゼンテーション（40％）

専門実習Ⅰ

更新日：2025/01/29 10:05:11

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	882000	授業コード	
担当教員	石山 さゆり, 永松 美雪						
備考	必修/選択：選択（助産コース必修） 授業形態：実習 領域：助産コース						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

履修者各自が、それぞれの専門領域において、探究すべき課題の明確化を図るために、実習テーマ・目的を定め、計画を立案し、実施評価までの一連のプロセスを踏む。
尚、助産教育コースを受けるものは、継続受け持ち事例の妊娠期から産後の健康診査までの母子と家族に対して助産ケアを行い、助産実践力の向上をめざす。

到達目標

1	妊娠期の助産診断を実施し、ケアができる。
2	妊婦や家族への保健指導ができる。
3	産後の母子の助産診断を実施し、ケアができる。
4	産後の母子と家族への保健指導が実施できる。

DPとの関連

DP6（助産）○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	授業計画
	【授業内容】Ⅰ．目標：妊娠期および産褥期、育児期の母児に対して、助産診断を行い、継続的な助産ケアを展開する。 【授業方法】Ⅱ．方法 1．実習時期：2月初旬から 3月（産後2週間健診または1か月健診）まで 2．対象者：妊娠後期以降の合併症のない妊婦 1名（2月下旬～3月初旬に分娩予定） 3．実習施設：福岡赤十字病院、宗像セントラルクリニックなど 4．実習の進め方 1）妊娠後期から妊婦健康診査を行い、助産診断・助産計画を立案する。 2）助産計画に従って、実施・評価する。 3）妊婦健康診査において保健指導を実施する。 4）産後の母子の健康診査を行い、必要なケアを実施する。 5）産後の保健指導を実施する。 6）妊娠期および産後の保健指導を行う前に、必ず保健指導案を立案し、教員と臨床指導者の指導を受け、実施の許可を得て実施する。 Ⅲ．実習上の留意点 助産ケアの展開においては、エビデンスに基づく実践を心がける。 助産診断をもとに予防的ケアを行い、助産ケアの一貫性、継続性を図る意義などについて考察する。

学習方法

本実習では妊娠後期の妊婦を受け持ち、妊娠期から産後健診までの長期にわたり母子の健康状態を把握する。母子が健やかに経過するために必要な知識、技術を実践する能力を養う。妊娠後期の妊婦健診は週 1 回となる。身体だけではなく、心理社会的背景もアセスメントし、必要な保健指導ができるように研鑽し計画性を持って実施する。

オフィスアワー

木曜日の昼休 み、もしくは事前にメー ル（石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp）（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

指定しない

参考文献

助産学関連の図書、文献など

評価方法

実習評価表（100％）

専門実習Ⅰ

更新日：2025/01/21 11:41:58

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	882000	授業コード	
担当教員	姫野 稔子, 小川 里美, 緒方 文子, 森山 ますみ, 永松 美雪, 川崎 幹子, 西山 陽子, 山本 孝治, 原田 紀美枝, 高橋 清美, 牧 マリコ, 西村 和美, 立野 淳子, 本田 多美枝, 阿部 オリエ						
備考	必修/選択：専攻領域必修 授業形態：実習 領域：助産コース以外の専門領域						
配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

履修者各自が、それぞれの専門領域において、探究すべき課題の明確化を図るために、実習テーマ・目的を定め、計画を立案し、実施評価までの一連のプロセスを踏む。

到達目標

1	これまでの経験や文献等をもとに、各自の専門領域で、探究すべきテーマを明確にできる
2	1に基づき本実習を、自立して計画・実施・評価できる
3	文献や理論を活用して、実習成果をレポートとして記述できる

DPとの関連

DP1○
DP2○
DP5◎

授業計画

1	授業計画
	【授業内容】 【授業方法】 実習 【方法】 1．各自の専門領域の中で関心がある領域の地域・集団・個人を対象とし、フィールドにおいて、各自の目的に沿った実習を計画し、実施する（フィールドの開拓、実習計画の交渉などを 含む）。 2．実習で探究したテーマを、理論や文献を活用して、レポートにまとめる。 ※レポートは、実習終了後 1 ヶ月以内に提出する。 【実習場所】 ・各自が目的にあったフィールドを選定する (選定にあたっては、各専門領域の教員と相談する) 【実習期間】 ・学内での講義・演習等に支障のない時間で設定する。 ・実習時間は 2 単位 90 時間とする。 ※フィールドワークを実施する場合は、学務課教務係へ手続きが必要です。 《研究に伴うフィールドワーク》を確認してください。 【担当】 各専門領域の教員

学習方法

各自の専門領域あるいは関心領域での実習計画を立案し、各自の目標が達成できるよう、自立して実習を行い、その結果を実習レポートとしてまとめる

オフィスアワー

各専門領域の教員のメールアドレスを確認し、事前にアポイントを取ってください

テキスト

指定しない

参考文献

指定しない

評価方法

「実習と文献検討をもとに、探究すべき課題」についてのレポート（60％）、目標達成度（40％）

専門実習Ⅱ

更新日：2025/02/03 09:30:07

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	882100	授業コード	
担当教員	永松 美雪, 石山 さゆり						
備考	必修/選択：選択（助産コース必修） 授業形態：実習 領域：助産コース						
配当	学部/学科	大学院 修士課程 助産コース 助産学					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

履修者各自が、それぞれの専門領域の実践力の向上を図るために、実習テーマ・目的を定め、計画を立案し、実施評価までの一連のプロセスを踏む。尚、助産教育コースを受けるものは、母子と家族を支援するための助産実践力の向上をめざす。

到達目標

1	地域において妊産褥婦・乳幼児への母子保健サービスが提供されるしくみを説明できる。
2	妊婦健診、産後健診、乳幼児健診、育児相談会、学級活動、育児支援などを通して、母子保健活動の実際を説明できる。
3	支援が必要な母子に対し、保健・医療・福祉の連携を理解し、助産師の役割を考察できる。

DPとの関連

- DP6（助産）○
DP7（助産）◎
DP8（助産）○

授業計画

1	実習方法 市町村や病院・診療所が実施している母子保健活動に参加する。 1. 実習時期 5月3・4週目を予定している。各施設5日、合計10日間 2. 実習場所 宗像市 教育子ども部 子ども家庭課 子ども保健係 あさの葉レディースクリニック 育児支援室・産婦人科外来 3. 実習の進め方 (1)実施準備 ① 学生は1年次に「地域母子保健学」で学習した講義資料をもとに復習する。 ② 3月末までに学生は実習期間に各施設で予定されている産後健診、乳幼児健診、育児相談会、学級活動などの情報を各施設のHPなどで最新の情報を確認して学習する。 ③ 4月末までに各計画を立案し、教員から指導を受ける。施設へ相談が必要な場合は、日程調整後に担当者へ相談する。 (2)実施方法 ① 実習時に「地域母子保健学」の講義資料を持参する。 ② 宗像市が実施する乳幼児健診（4か月、1歳6か月、3歳）や育児相談会（10か月すくすく相談会）に参加する。 ③ 宗像市が実施する学級活動として、妊婦・両親学級（たまご学級）、離乳食教室（栄養なんでも相談会）、子育て支援事業、未就学児の小集団保育・発達支援（たんぽぽルーム）などに参加する。 ④ 宗像市が実施する妊婦への母子手帳交付時および産後の個別相談や家庭訪問（妊婦訪問、新生児訪問など）の対象者とかかわる機会があれば参加する。 ⑤ あさの葉レディースクリニックが実施する妊婦健診・助産師外来に参加する。 ⑥ あさの葉レディースクリニックが実施する産後2週間健診（あさの実る一む・フォローアップ健診：月曜日・水曜日・金曜日）、産後1か月健診（火曜日）に参加する。 ⑦ あさの葉レディースクリニックが実施する母親学級（2週間に1回の木曜日）、マタニティヨガクラス、タッチケア、育児教室、離乳食教室などに参加する。 ⑧ あさの葉レディースクリニックが実施する産後の母乳外来、育児相談、産後ケア事業の対象者とかかわる機会があれば参加する。
---	--

学習方法

本実習では市町村や病院・診療所が実施している母子保健活動に参加しながら、助産師としての母子への支援を行うことができるための能力を養うため、事前打ち合わせにより事前学習が必要である。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくは事前にメール（永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp）（石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp）にてアポイントを取って下さい。

テキスト

指定しない

参考文献

助産学関連の図書、文献など

評価方法

実習評価表（100％）

専門実習Ⅱ

更新日：2025/01/21 11:33:40

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	882100	授業コード	
担当教員	姫野 稔子, 小川 里美, 緒方 文子, 森山 ますみ, 永松 美雪, 川崎 幹子, 西山 陽子, 山本 孝治, 原田 紀美枝, 高橋 清美, 西村 和美, 牧 マリコ, 立野 淳子, 本田 多美枝, 阿部 オリエ						
備考	必修/選択：選択 授業形態：実習 分野：助産コース以外の専門領域						
配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

履修者各自が、それぞれの専門領域の実践力の向上を図るために、実習テーマ・目的を定め、計画を立案し、実施評価までの一連のプロセスを踏む。尚、助産教育コースを受けるものは、分娩・産褥早期の継続事例（新生児を含む）やその家族に対して助産ケアを行い、助産実践力の向上をめざす。

到達目標

1	各自の専門領域で必要とされる実践力について文献等を通して明確にできる
2	1に基づき自己の実践力を評価し、本実習で取り組む実習テーマを設定できる
3	設定したテーマに基づき、実習計画の立案・実施・評価ができる
4	文献や理論を活用して、実習の成果をレポートとして記述できる

DPとの関連

DP1○
DP2○
DP3○
DP4○
DP5◎

授業計画

1	授業計画 【授業内容】 【授業方法】 実習 【方法】 1．各自の専門領域の地域・集団・個人を対象とし、フィールドにおいて、各自が設定したテーマに沿った実習を計画、実施する（フィールドの開拓、実習計画の交渉などを含む）。 2．実践力向上に向けて実施した実習の成果を、理論や文献を活用して、レポートにまとめる。 ※レポートは、実習終了後 1 ヶ月以内に提出する。
	【実習場所】 ・各自が目的にあったフィールドを選定する （選定にあたっては、各専門領域の教員と相談する） 【実習期間】 ・学内での講義・演習等に支障のない時間で設定する。 ・実習時間は 2 単位 90 時間とする。 ※フィールドワークを実施する場合は、学務課教務係へ手続きが必要です。 《研究に伴うフィールドワーク》を確認してください。 【担当】

学習方法

各自の専門領域あるいは関心領域での実習計画を立案し、各自の目標が達成できるよう、自立して実習を行い、その結果を実習レポートとしてまとめる

オフィスアワー

各専門領域の教員のメールアドレスを確認し、事前にアポイントを取ってください

テキスト

指定しない

参考文献

指定しない

評価方法

「課題に基づく実習成果」についてのレポート（60％）、目標達成度（40％）

文献クリティーク演習

更新日：2025/01/24 15:33:11

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	882200	授業コード	
担当教員	高橋 清美, 牧 マリコ						
備考	必修/選択：選択（CNSコース（精神看護学）必修） 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

臨床の看護の質を向上させるために、文献を批判的に検討できることを目指す。研究テーマに関連した文献クリティーク・討議を通じて各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を検討する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について理解し、研究テーマに関連した文献を選択できる
2	文献クリティークを通して、研究課題を明確にし、相応しい研究方法を記述できる

DPとの関連

DP2 ◎

DP3 ○

DP4 ○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】演習計画のスケジュールの説明、研究動機とテーマの自己紹介 【授業方法】演習 【担当】高橋、牧
2	英文文献の検索方法 【授業内容】英文文献の検索方法の説明 【授業方法】講義 【担当】図書館司書（多川・白倉）
3	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
4	文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
5	文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
6	文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（5） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（6） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（7） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
10	文献レビューおよびクリティーク・討議（8） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧

11	文献レビューおよびクリティーク・討議（９） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（５） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（１） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（１） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（２） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（２） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（３） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（３） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（４） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（４） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】研究の仮テーマの確定 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
17	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（１） 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（１） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
18	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（２） 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（２） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
19	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（３） 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（３） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
20	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（４） 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（４） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
21	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（５） 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（５） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成（１） 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成（１） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成（２） 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成（２） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成（３） 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成（３） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
25	研究計画の中間報告 【授業内容】研究計画の中間報告 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
26	研究計画に関する修正・検討（１） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（１） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
27	研究計画に関する修正・検討（２） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（２） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧

28	研究計画に関する修正・検討（３） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（３） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
29	研究計画に関する修正・検討（４） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（４） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧
30	研究計画に関する修正・検討（５）、フィードバック 【授業内容】研究計画に関する修正・検討を行う 課題（文献レビュー、研究計画書等）に対するフィードバックを行う 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】高橋、牧

学習方法

各自が研究テーマを確定し、研究課題を明確にし、相応しい研究方法を記述した研究計画書の作成を進めてください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールによるアポイントメントに応じます。各専門領域の教員のメールアドレスを確認してください。

高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp

牧：m-maki@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

適宜紹介する

評価方法

授業への参加度（20%）、発表・資料（30%）、研究計画書（50%）

文献クリティーク演習

更新日：2025/04/25 08:51:04

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	882200	授業コード	
担当教員	姫野 稔子, 原田 紀美枝, 町島 希美絵						
備考	必修/選択：選択（CNSコース（老年看護学）必修） 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

臨床の看護の質を向上させるために、文献を批判的に検討できることを目指す。研究テーマに関連した文献クリティーク・討議を通じて各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を検討する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について理解し、研究テーマに関連した文献を選択できる
2	文献クリティークを通して、研究課題を明確にし、相応しい研究方法を記述できる

DPとの関連

DP2 ◎
DP3 ○
DP4 ○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】演習計画のスケジュールの説明、研究動機とテーマの自己紹介 【授業方法】講義 【担当】姫野 原田 町島
2	英文献の検索方法 【授業内容】データベースと文献管理ツールについて学修する 【授業方法】講義 【担当】図書館司書（多川・白倉）
3	量的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、大学院生による発表 【授業方法】討議・発表 【担当】姫野 原田 町島
4	量的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】量的研究論文のクリティーク、大学院生による発表 【授業方法】討議・発表 【担当】姫野 原田 町島
5	質的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、大学院生による発表 【授業方法】討議・発表 【担当】姫野 原田 町島
6	質的研究論文のクリティークと討議・発表 【授業内容】質的研究論文のクリティーク、大学院生による発表 【授業方法】討議・発表 【担当】姫野 原田 町島
7	研究テーマに関連した文献クリティーク・討議（1） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業方法】討議・発表 【担当】姫野、原田
8	研究テーマに関連した文献クリティーク・討議（2） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業方法】討議・発表 【担当】姫野 原田 町島
9	研究テーマに関連した文献クリティーク・討議（3） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業方法】討議・発表 【担当】姫野 原田 町島
10	研究テーマに関連した文献クリティーク・討議（4） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業方法】討議・発表 【担当】姫野 原田 町島

11	研究テーマに関連した文献クリティーク・討議 (5) 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議 (5) 【授業方法】討議・発表 【担当】姫野 原田 町島
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (1) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (1) 【授業方法】発表 【担当】姫野 原田 町島
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (2) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (2) 【授業方法】発表 【担当】姫野 原田 町島
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (3) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (3) 【授業方法】発表 【担当】姫野 原田 町島
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (4) 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (4) 【授業方法】発表 【担当】姫野 原田 町島
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】研究の仮テーマの確定 【授業方法】発表 【担当】姫野 原田 町島
17	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク (1) 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク (1) 【授業方法】演習 (学生発表) 【担当】姫野 原田 町島
18	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク (2) 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク (2) 【授業方法】演習 (学生発表) 【担当】姫野 原田 町島
19	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク (3) 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク (3) 【授業方法】演習 (学生発表) 【担当】姫野 原田 町島
20	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク (4) 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク (4) 【授業方法】演習 (学生発表) 【担当】姫野 原田 町島
21	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク (5) 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク (5) 【授業方法】演習 (学生発表) 【担当】姫野 原田 町島
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (1) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 (1) 【授業方法】演習 (学生発表) 【担当】姫野 原田 町島
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (2) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 (2) 【授業方法】演習 (学生発表) 【担当】姫野 原田 町島
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成 (3) 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成 (3) 【授業方法】演習 (学生発表) 【担当】姫野 原田 町島
25	研究計画の中間報告 【授業内容】研究計画の中間報告 【授業方法】演習 (学生発表) 【担当】姫野 原田 町島
26	研究計画に関する修正・検討 (1) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 (1) 【授業方法】演習 (学生発表) 【担当】姫野 原田 町島
27	研究計画に関する修正・検討 (2) 【授業内容】研究計画に関する修正・検討 (2) 【授業方法】演習 (学生発表) 【担当】姫野 原田 町島

28	研究計画に関する修正・検討（３） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（３） 【授業方法】演習（学生発表） 【担当】姫野 原田 町島
29	研究計画に関する修正・検討（４） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（４） 【授業方法】演習（学生発表） 【担当】姫野 原田 町島
30	研究計画に関する修正・検討（５）、 FB 【授業内容】研究計画に関する修正・検討を行う 課題（文献レビュー、研究計画書等）に対するFBを行う 【授業方法】演習（学生発表） 【担当】姫野 原田 町島

学習方法

合同講義の後、各コースに分かれゼミナール形式で行います。各自が研究テーマを確定し、研究課題を明確にし、相応しい研究方法を記述した研究計画書の作成を進めてください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールによるアポイントメントに応じます。各専門領域の教員のメールアドレスを確認してください。

姫野：t-himeno@jrckicn.ac.jp

原田：k-harada@jrckicn.ac.jp

町島：火曜日の昼休み、k-machishima@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

適宜紹介する

評価方法

授業への参加度（20％）、発表・資料（30％）、研究計画書（50％）

文献クリティーク演習

更新日：2025/01/30 09:20:09

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	882200	授業コード	
担当教員	西村 和美						
備考	必修/選択：選択（CNSコース（在宅看護学）必修） 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

臨床の看護の質を向上させるために、文献を批判的に検討できることを目指す。研究テーマに関連した文献クリティーク・討議を通じて各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を検討する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について理解し、研究テーマに関連した文献を選択できる。
2	文献クリティークを通して、研究課題を明確にし、相応しい研究方法を記述できる。

DPとの関連

DP2 ◎

DP3 ○

DP4 ○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】演習計画のスケジュールの説明、研究動機とテーマの自己紹介 【授業方法】演習 【担当】西村
2	英文文献の検索方法 【授業内容】英文文献の検索方法の説明 【授業方法】講義 【担当】図書館司書（多川・白倉）
3	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
4	文献レビューおよびクリティーク・討論（2） 【【授業内容】量的研究論文のクリティーク 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
5	文献レビューおよびクリティーク・討論（3） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
6	文献レビューおよびクリティーク・討論（4） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（5） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（6） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（7） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
10	文献レビューおよびクリティーク・討議（8） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村

11	文献レビューおよびクリティーク・討論（９） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（５） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（１） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（１） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（２） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（２） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（３） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（３） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（４） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（４） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】研究の仮テーマの確定 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
17	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（１） 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（１） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
18	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（２） 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（２） 【授業方法】演習演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
19	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（３） 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（３） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
20	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（４） 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（４） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
21	研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク（５） 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（５） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成（１） 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成（１） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成（２） 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成（２） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成（３） 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成（３） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
25	研究計画の中間報告 【授業内容】研究計画の中間報告 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
26	研究計画に関する修正・検討（１） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（１） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
27	研究計画に関する修正・検討（２） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（２） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村

28	研究計画に関する修正・検討（３） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（３） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
29	研究計画に関する修正・検討（４） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（４） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村
30	研究計画に関する修正・検討（５）、フィードバック 【授業内容】研究計画に関する修正・検討を行う 課題（文献レビュー、研究計画書等）に対するフィードバックを行う 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】西村

学習方法

ゼミナール形式で行います。

各自が研究テーマを確定し、研究の方向性を導き出せるように進めてください。

オフィスアワー

月曜日もしくは水曜日の昼休み、もしくはメールによるアポイントメントに応じます。西村：k-nishimura@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

適宜紹介する

評価方法

授業への参加度（20%）、発表・資料（30%）、研究計画書（50%）

文献クリティーク演習

更新日：2025/04/25 09:26:31

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	882200	授業コード	
担当教員	立野 淳子, 池松 裕子						
備考	必修/選択：選択（CNSコース〔クリティカルケア看護学〕必修） 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

臨床の看護の質を向上させるために、文献を批判的に検討できることを目指す。研究テーマに関連した文献クリティーク・討議を通じて各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を検討する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について理解し、研究テーマに関連した文献を選択できる
2	文献クリティークを通して、研究課題を明確にし、相応しい研究方法を記述できる

DPとの関連

DP2 ◎

DP3 ○

DP4 ○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】演習計画のスケジュールの説明、研究動機とテーマの自己紹介 【授業方法】演習 【担当】立野, 池松
2	英文文献の検索方法 【授業内容】英文文献の検索方法の説明 【授業方法】講義 【担当】図書館司書（多川・白倉）
3	文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
4	文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業内容】量的研究論文のクリティーク 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
5	文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
6	文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業内容】質的研究論文のクリティーク 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
7	文献レビューおよびクリティーク・討議（5） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（1） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
8	文献レビューおよびクリティーク・討議（6） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（2） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
9	文献レビューおよびクリティーク・討議（7） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（3） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
10	文献レビューおよびクリティーク・討議（8） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（4） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松

11	文献レビューおよびクリティーク・討議（９） 【授業内容】文献レビューおよびクリティーク・討議（５） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
12	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（１） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（１） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
13	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（２） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（２） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
14	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（３） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（３） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
15	文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（４） 【授業内容】文献レビューおよび研究の仮テーマの検討（４） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
16	研究の仮テーマの確定 【授業内容】研究の仮テーマの確定 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
17	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（１） 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（１） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
18	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（２） 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（２） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
19	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（３） 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（３） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
20	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（４） 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（４） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
21	研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（５） 【授業内容】研究の仮テーマに沿った文献レビューとクリティーク（５） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
22	文献レビューに基づき研究計画書の作成（１） 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成（１） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
23	文献レビューに基づき研究計画書の作成（２） 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成（２） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
24	文献レビューに基づき研究計画書の作成（３） 【授業内容】文献レビューに基づき研究計画書の作成（３） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
25	研究計画の中間報告 【授業内容】研究計画の中間報告 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
26	研究計画に関する修正・検討（１） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（１） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
27	研究計画に関する修正・検討（２） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（２） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松

28	研究計画に関する修正・検討（３） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（３） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
29	研究計画に関する修正・検討（４） 【授業内容】研究計画に関する修正・検討（４） 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松
30	研究計画に関する修正・検討（５）、フィードバック 【授業内容】研究計画に関する修正・検討を行う 課題（文献レビュー、研究計画書等）に対するフィードバックを行う 【授業方法】演習（学生プレゼンテーション） 【担当】立野, 池松

学習方法

合同講義の後、各コースに分かれゼミナール形式で行います。各自が研究テーマを確定し、研究課題を明確にし、相応しい研究方法を記述した研究計画書の作成を進めてください。

オフィスアワー

メールによるアポイントに応じます。

立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp

池松：y-ikematsu@jrckicn.ac.jp

テキスト

適宜紹介する

参考文献

相原 守夫、診療ガイドラインのためのGRADEシステム 第3版、中外医学社; 第3版 (2018/12/21)

適宜紹介する

評価方法

授業への参加度（20％）、発表・資料（30％）、研究計画書（50％）

文献クリティーク演習

更新日：2025/01/30 09:52:01

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	882200	授業コード	
担当教員	永松 美雪, 石山 さゆり						
備考	必修/選択：選択（助産コース必修） 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

臨床の看護の質を向上させるために、文献を批判的に検討できることを目指す。研究テーマに関連した文献クリティーク・討議を通じて各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を検討する。

到達目標

1	文献検索の方法および文献の種類について理解し、研究テーマに関連した文献を選択できる。
2	文献クリティークを通して、研究課題を明確にし、相応しい研究方法を記述できる。

DPとの関連

- DP2 ○
DP3 ○
DP4 ○

授業計画

1	演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 【授業内容】演習計画のスケジュールの説明、研究動機とテーマの自己紹介 【授業方法】講義 【担当】永松、石山
2	英文文献の検索方法 【授業内容】英文文献の検索方法の説明 【授業方法】講義 【担当】図書館司書（多川・白倉）
3	研究テーマに関連した国内の文献クリティーク・討議（5回） 【授業内容】各自で選択した研究テーマに関連した国内の文献クリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【担当】永松、石山
4	研究テーマに関連した国外の文献クリティーク・討議（5回） 【授業内容】各自で選択した研究テーマに関連した国外の文献クリティーク 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【担当】永松、石山
5	研究の仮テーマの確定 【授業内容】進めようとしている研究の仮テーマの検討および確定 【授業方法】演習 【担当】永松、石山
6	研究の仮テーマにそった文献レビュー・討議 【授業内容】研究の仮テーマにそった文献レビュー 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【担当】永松、石山（研究指導教員・研究副指導教員と討議）
7	文献レビューに基づき研究計画書の作成（研究倫理審査申請書の作成） 【授業内容】文献レビューに基づいた研究計画書の作成 （事例研究・質的研究・量的研究を行う場合、研究倫理申請書と資料の作成） 【授業方法】大学院生によるプレゼンテーション・討議 【担当】永松、石山（研究指導教員・研究副指導教員と討議）

学習方法

ゼミナール形式で15回行う。ゼミナール以外に個別相談と個人学習に取り組む。各自が研究テーマを確定し、文献クリティークを通して、文献レビューに基づいて研究疑問を明確にし、研究目的を達成する研究方法を記述した研究計画書の作成を進める。人を対象とする事例研究・質的研究・量的研究を行う場合、研究倫理申請書と資料の作成が必要である。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールによるアポイントメントに応じます。各専門領域の教員のメールアドレスを確認してください。
永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp 石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

適宜紹介する

評価方法

授業への参加度・プレゼンテーション（50％）、研究計画書（50％）

課題研究

更新日：2025/01/24 17:04:52

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	882300	授業コード	88230A
担当教員	高橋 清美, 牧 マリコ						
備考	必修/選択：選択（CNSコース〔精神看護学〕必修） 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

臨床現場において問題解決が必要な各自の研究課題を取りあげ、研究計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を課題研究としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2 ○

DP3 ◎

DP4 ○

授業計画

1	研究計画発表会の準備（第1講義～第3講義） 本学課題研究審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、課題研究作成過程を展開する。 【授業内容】 文献レビューおよびフィールド活動を通して研究課題を設定し、リサーチクエスト、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】 演習 【担当】 高橋、牧
2	本学研究倫理審査委員会への申請 【授業内容】 本学研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】 演習 【担当】 高橋、牧
3	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】 研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】 演習 【担当】 高橋、牧
4	データ分析・結果 【授業内容】 選択したデータ分析方法に基づき、データを分析、分析結果を整理する。 【授業方法】 演習 【担当】 高橋、牧
5	論文作成 【授業内容】 課題研究は、課題研究作成のガイドラインを踏まえて作成する。 【授業方法】 演習 【担当】 高橋、牧
6	課題研究審査・課題研究発表会の準備 【授業内容】 課題研究審査・課題研究発表会における準備 【授業方法】 演習 【担当】 高橋、牧

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。研究指導教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールによるアポイントメントに応じます。各専門領域の教員のメールアドレスを確認してください。

高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp

牧：m-maki@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

随時提示する

評価方法

課題研究作成過程、課題研究審査および最終試験に基づき評価する。

課題研究

更新日：2025/01/21 11:29:04

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	882300	授業コード	88230B
担当教員	姫野 稔子, 原田 紀美枝						
備考	必修/選択：選択（CNSコース〔老年看護学〕必修） 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

臨床現場において問題解決が必要な各自の研究課題を取りあげ、研究計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を課題研究としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2 ○

DP3 ◎

DP4 ○

授業計画

1	研究計画の作成 本学課題研究審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、課題研究作成過程を展開する。 【授業内容】 文献レビューおよびフィールド活動を通して研究課題を設定し、リサーチクエスト、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田
2	本研究倫理審査委員会への申請 【授業内容】 研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田
3	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】 研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田
4	データ分析・結果 【授業内容】 選択したデータ分析方法に基づき、データを分析、分析結果を整理する。 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田
5	論文作成 【授業内容】 課題研究は、課題研究作成のガイドラインを踏まえて作成する。 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田
6	課題研究審査・課題研究発表会の準備 【授業内容】 課題研究審査・課題研究発表会における準備 【授業方法】演習 【担当】姫野 原田

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。研究指導教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールによるアポイントメントに応じます。各専門領域の教員のメールアドレスを確認してください。

姫野：t-himeno@jrckicn.ac.jp

原田：k-harada@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

随時提示する

評価方法

課題研究作成過程、課題研究審査および最終試験に基づき評価する。

課題研究

更新日：2025/01/30 09:32:07

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	882300	授業コード	88230C
担当教員	西村 和美						
備考	必修/選択：選択（CNSコース〔在宅看護学〕必修） 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

臨床現場において問題解決が必要な各自の研究課題を取りあげ、研究計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる。
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる。
3	研究の成果を課題研究としてまとめ、発表することができる。

DPとの関連

DP2 ○

DP3 ◎

DP4 ○

授業計画

1	研究計画の作成 本学課題研究審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、課題研究作成過程を展開する。 【授業内容】 文献レビューおよびフィールド活動を通して研究課題を設定し、リサーチクエスト、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】 演習 【担当】 西村
2	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】 本学研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】 演習 【担当】 西村
3	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】 研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】 演習 【担当】 西村
4	データ分析・結果 【授業内容】 選択したデータ分析方法に基づき、データを分析、分析結果を整理する。 【授業方法】 演習 【担当】 西村
5	論文作成 【授業内容】 課題研究は、課題研究作成のガイドラインを踏まえて作成する。 【授業方法】 演習 【担当】 西村
6	課題研究審査・課題研究発表会の準備 【授業内容】 課題研究審査・課題研究発表会における準備 【授業方法】 演習 【担当】 西村

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。研究指導教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールによるアポイントメントに応じます。各専門領域の教員のメールアドレスを確認してください。
西村：k-nishimura@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

随時提示する

評価方法

課題研究作成過程、課題研究審査および最終試験に基づき評価する。

課題研究

更新日：2025/04/25 09:26:54

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	882300	授業コード	
担当教員	立野 淳子						
備考	必修/選択：選択（CNSコース〔クリティカルケア看護学〕必修） 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

臨床現場において問題解決が必要な各自の研究課題を取りあげ、研究計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を課題研究としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2 ○

DP3 ◎

DP4 ○

授業計画

1	研究計画の作成 本学課題研究審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、課題研究作成過程を展開する。 【授業内容】 文献レビューおよびフィールド活動を通して研究課題を設定し、リサーチクエスト、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】 演習 【担当】 立野
2	本研究倫理審査委員会への申請 【授業内容】 本研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】 演習 【担当】 立野
3	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】 研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】 演習 【担当】 立野
4	データ分析・結果 【授業内容】 選択したデータ分析方法に基づき、データを分析、分析結果を整理する。 【授業方法】 演習 【担当】 立野
5	論文作成 【授業内容】 課題研究は、課題研究作成のガイドラインを踏まえて作成する。 【授業方法】 演習 【担当】 立野
6	課題研究審査・課題研究発表会の準備 【授業内容】 課題研究審査・課題研究発表会における準備 【授業方法】 演習 【担当】 立野

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。研究指導教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。

オフィスアワー

メールによるアポイントに応じます。
担当教員にご連絡ください。
立野：j-tatsuno@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

随時提示する

評価方法

課題研究作成過程、課題研究審査および最終試験に基づき評価する。

課題研究

更新日：2025/01/29 10:10:11

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	882300	授業コード	88230E
担当教員	永松 美雪, 石山 さゆり						
備考	必修/選択：選択（助産コース必修） 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学院 修士課程					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

臨床現場において問題解決が必要な各自の研究課題を取りあげ、研究計画書に基づき研究を実施し、論文としてまとめる能力を養う。

到達目標

1	設定した研究課題について、倫理的配慮がなされた実施可能なレベルの研究計画書を作成できる
2	研究計画に基づき必要な調整を行い、データ収集と分析ができる
3	研究の成果を課題研究としてまとめ、発表することができる

DPとの関連

DP2 ○

DP3 ◎

DP4 ○

授業計画

1	研究計画の作成 本学課題研究審査に関する日程と院生の研究計画に基づき、課題研究作成過程を展開する。 【授業内容】 文献レビューおよびフィールド活動を通して研究課題を設定し、リサーチクエスト、研究目的、研究方法、研究倫理の確保、作業スケジュール、研究成果の発表に関する計画書を作成する。 【授業方法】 演習 【担当】 永松、石山、西村、川崎、山本
2	本研究倫理審査委員会への申請 【授業内容】 本研究倫理審査委員会の規程に基づき、審査申請の手続きを行う。 【授業方法】 演習 【担当】 永松、石山、西村、川崎、山本
3	研究計画に基づいたデータ収集 【授業内容】 研究計画と作業スケジュールに基づき、研究フィールドおよび研究協力者に対する依頼、データ収集作業に関する調整、データ収集を行う。 【授業方法】 演習 【担当】 永松、石山、西村、川崎、山本
4	データ分析・結果 【授業内容】 選択したデータ分析方法に基づき、データを分析、分析結果を整理する。 【授業方法】 演習 【担当】 永松、石山、西村、川崎、山本
5	論文作成 【授業内容】 課題研究は、課題研究作成のガイドラインを踏まえて作成する。 【授業方法】 演習 【担当】 永松、石山、西村、川崎、山本
6	課題研究審査・課題研究発表会の準備 【授業内容】 課題研究審査・課題研究発表会における準備 【授業方法】 演習 【担当】 永松、石山、西村、川崎、山本

学習方法

演習はゼミナール形式で行います。研究指導教員と協議の上、年間計画を立案し、研究計画書の作成からデータ収集・分析、論文作成、発表までを計画的に進めてください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメールによるアポイントメントに応じます。各専門領域の教員のメールアドレスを確認してください。

永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp

石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp

テキスト

指定しない

参考文献

随時提示する

評価方法

課題研究作成過程、課題研究審査および最終試験に基づき評価する。